

子ども・若者に関する意識調査
— 報告書 —

令和4年3月
鹿児島県

目 次

I 調査の概要

1 調査の目的.....	1
2 調査方法.....	1
3 本報告書を見る際の注意事項.....	1

II 調査結果

1 回答者の属性.....	3
(1) 性別.....	3
(2) 年齢.....	3
(3) 職業.....	3
(4) 就業経験.....	3
2 人生観・充実度.....	4
(1) 自己診断.....	4
(2) 充実感.....	14
3 子供・若者が抱える困難.....	19
(1) 社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験.....	19
(2) 社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験をした理由.....	20
(3) 受けたことのある支援.....	29
(4) 円滑に送ることができていなかった状態が改善した経験.....	32
4 他者との関わり方.....	34
(1) 家族・親族との関わり方.....	34
(2) 学校で出会った友人との関わり方.....	38
(3) 職場・アルバイト関係の人との関わり方.....	42
(4) 地域の人との関わり方.....	46
(5) インターネット上での他者・コミュニティとの関わり方.....	50
5 支援機関.....	54
(1) 育成支援機関等の認知度.....	54
(2) 育成支援機関等の利用希望.....	56
(3) 育成支援機関等の利用を希望する理由.....	57
(4) 育成支援機関等の利用を希望しない理由.....	58
(5) 希望する支援.....	60
(6) 相談したり支援を受けやすい相手.....	62
(7) 希望する支援の形.....	64
(8) 支援者のタイプ.....	66
(9) 問題解決のための情報収集方法.....	68

6	学校や職場以外で他者で行う活動	70
(1)	学校や職場以外で他者で行った活動内容	70
(2)	学校や職場以外で他者で行ってみたい活動内容	72
(3)	学校や職場以外で他者と活動を行いたい場面	78
(4)	他者との活動に参加したいと思える場所	80
(5)	他者との活動を行えると良いと思う場所	82
(6)	他者との活動への参加で支障となること	84
7	社会参加	86
(1)	社会のために役立ちたいか	86
(2)	社会貢献の手段	88
(3)	ボランティア活動に対する興味	90
(4)	ボランティア活動に興味がある理由	92
8	将来像	94
(1)	将来への希望	94
(2)	将来のイメージ	95
9	インターネットの安全・安心について	103
(1)	インターネットの利用に関連するトラブルへの不安感	103
(2)	インターネットの利用に関連するトラブルで不安があること	104
(3)	インターネットの安全・安心に関する話題で参考となる情報	106
(4)	インターネットの安全・安心に関する国や地方公共団体の情報発信の方法	108
10	就労に対する意識・不安について	110
(1)	仕事の目的	110
(2)	希望する雇用形態	112
(3)	転職に対する意識	113
(4)	働くことへの不安	114
11	新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識の変化について	121
(1)	生活全体の満足度	121
(2)	感染症拡大前と比較した意識の変化	122
(3)	不安の増加	124
	調査票	126

I 調査の概要

1 調査の目的

本県における青少年の意識や生活状況等について現状を把握し、今後の青少年育成に係る施策の充実に向けた基礎資料とする。

2 調査方法

調査区域：鹿児島県全域

調査対象：13 歳から 29 歳までの鹿児島県民 4,000 人（住民基本台帳に基づき無作為抽出）

調査方法：郵送による配布及び郵送または WEB 方式による回収

調査期間：令和 3 年 7 月 20 日（火）～令和 3 年 8 月 16 日（月）

回収結果：配 布 数 4,000 人

有効回答数 1,566 人（郵送回答 1,042 人，WEB 回答 524 人）

有効回答率 39.2%

調査機関：アシスト株式会社

3 本報告書を見る際の注意事項

- ① 比率はすべて百分比で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入している。このため、百分比の合計が 100%にならない場合がある。
- ② 複数回答の設問は、百分比の合計は 100%を超える場合がある。
- ③ グラフ中における「n」は、各設問の回答者数（サンプル数）のことである。
- ④ 「n」の少ない属性については、統計的誤差が生じる可能性が高く分析には適さないため、コメントは控えている。
- ⑤ 調査結果の分析にあたり、下記文献と比較している。
ただし、調査対象の年齢が今回調査と異なる調査については、参考でグラフ掲載のみとしコメントは控えている。

■令和元年度 子供・若者の意識に関する調査（内閣府）

（13 歳から 29 歳までの男女 インターネット調査 標本数 10,000 サンプル）

※本文中では、「内閣府調査(令和元年度)」と表記している。

■平成 30 年度 インターネットの安全・安心に関する世論調査（内閣府）

（全国 18 歳以上の日本国籍を有する者 3,000 人 有効回収数 1,666 人）

※本文中では、「内閣府調査(平成 30 年度)」と表記している。

■平成 29 年度 子供・若者の現状と意識に関する調査（内閣府）

（16 歳から 29 歳までの男女 インターネット調査 標本数 10,000 サンプル）

※本文中では、「内閣府調査(平成 29 年度)」と表記している。

■令和 2 年度

新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査（6 月・12 月）（内閣府）

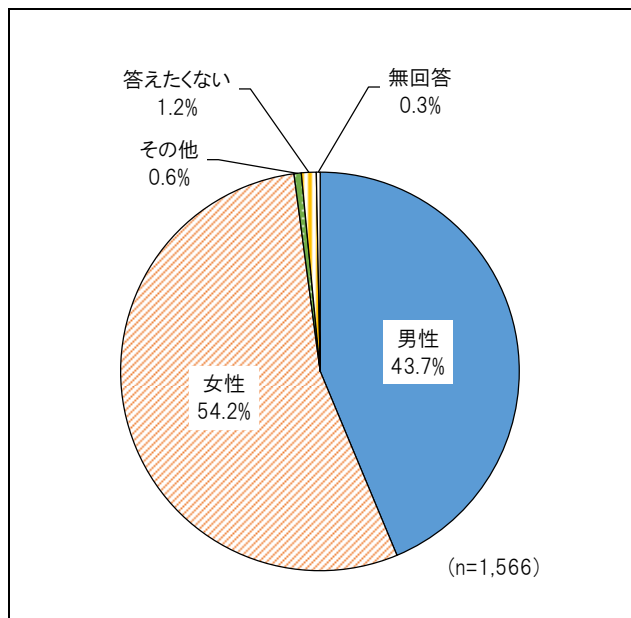
（15 歳以上の国内居住のインターネットパネル登録モニター インターネット調査 回収数 10,128）

※本文中では、「内閣府調査(令和 2 年度)」と表記している。

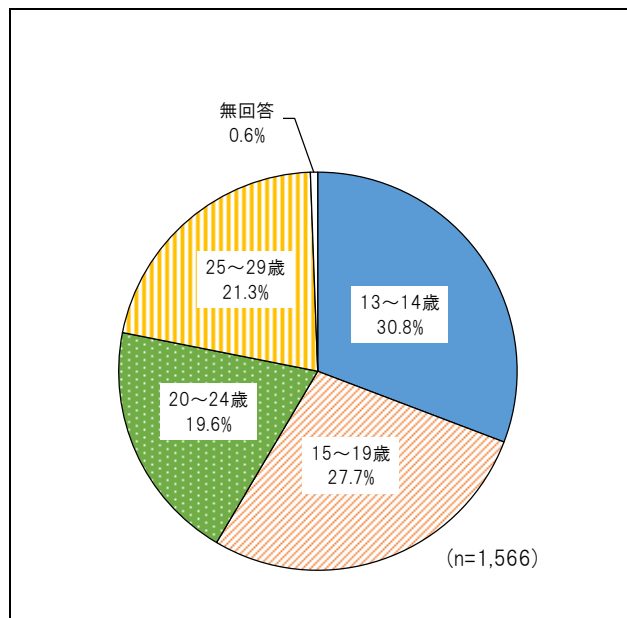
Ⅱ 調査結果

1 回答者の属性

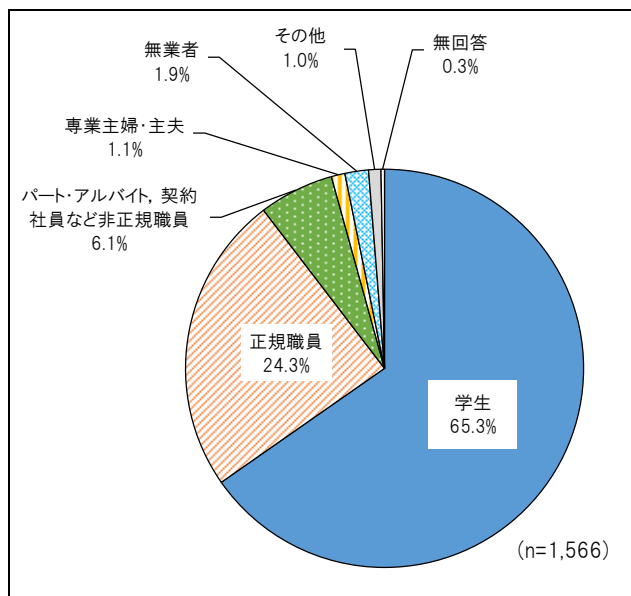
(1) 性別



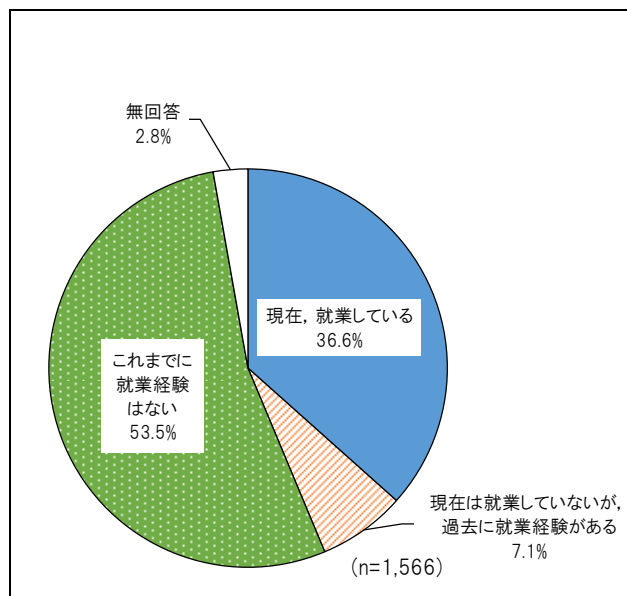
(2) 年齢



(3) 職業



(4) 就業経験



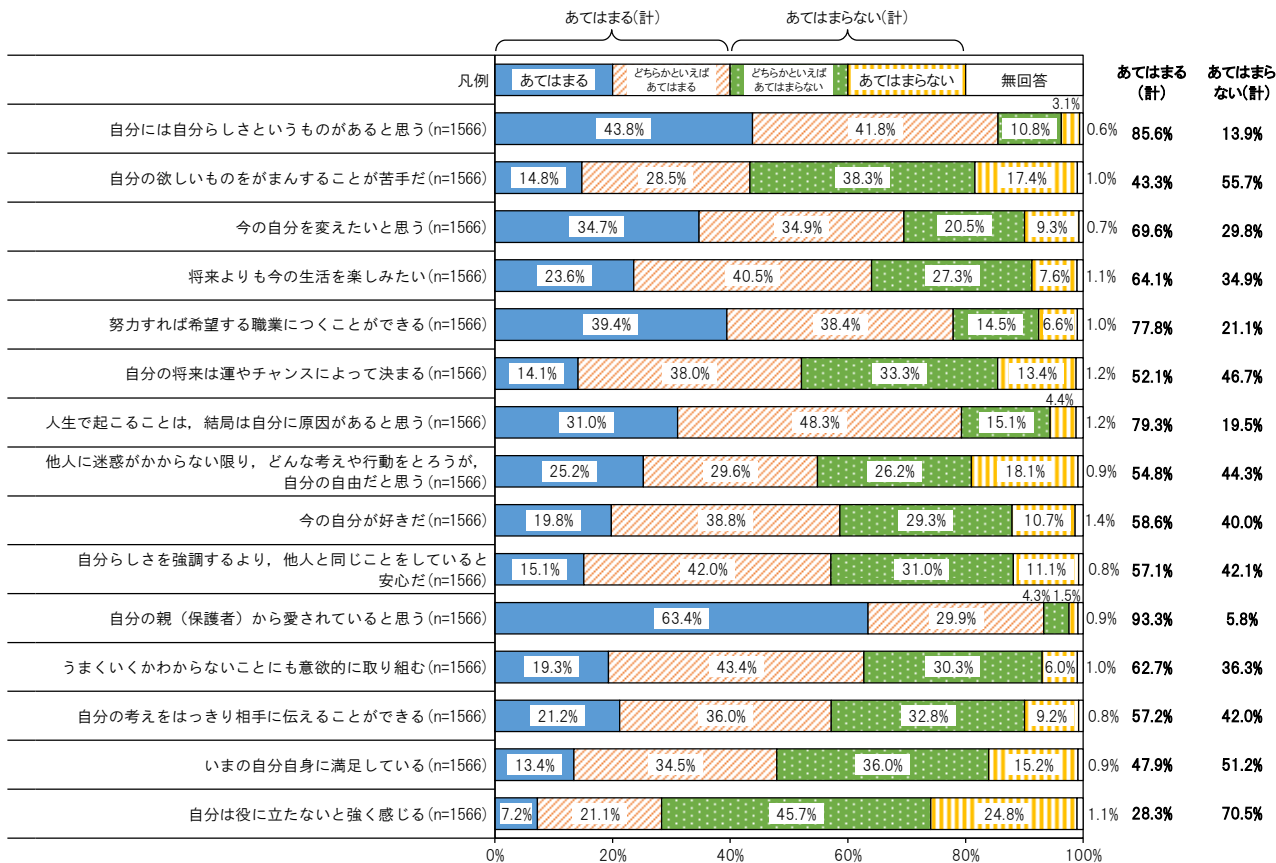
2 人生観・充実度

(1) 自己診断

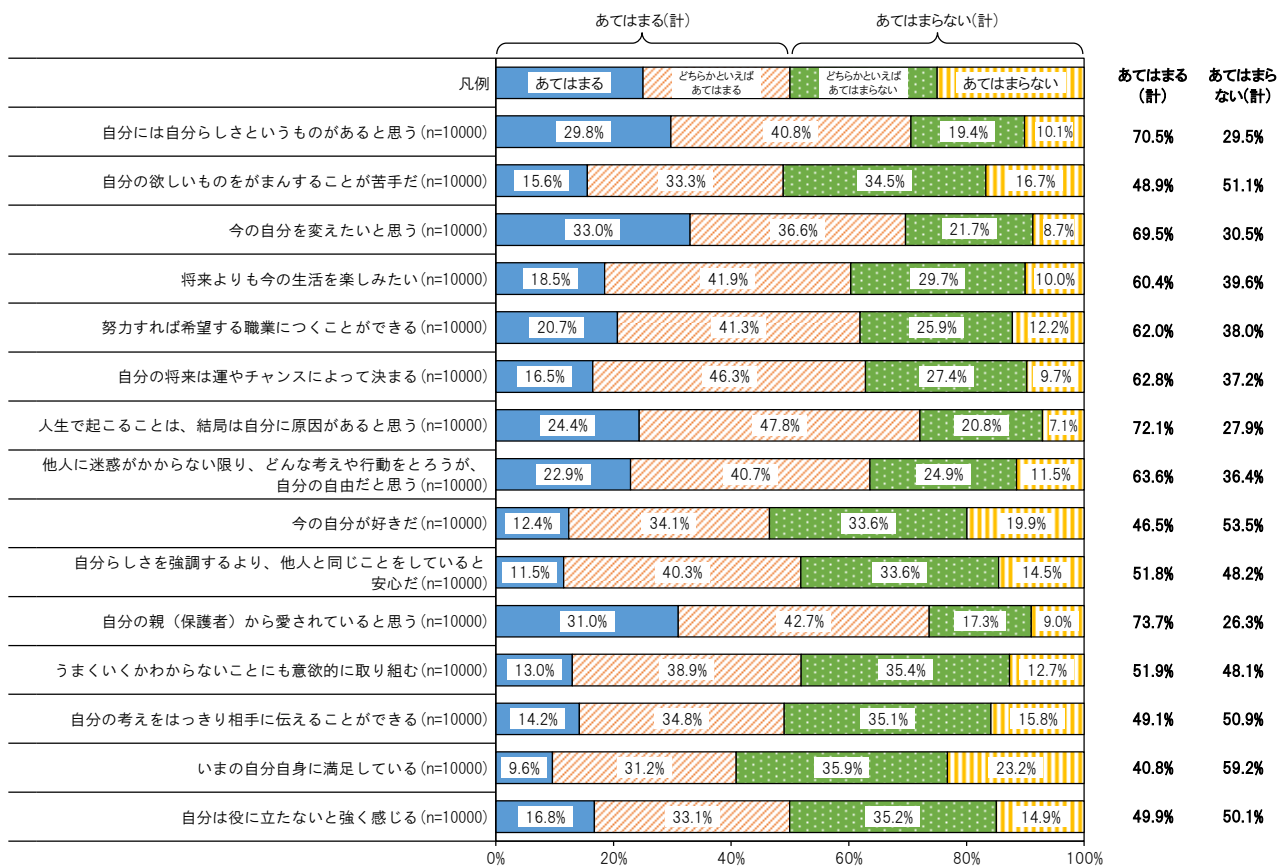
Q1 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。【それぞれひとつだけ】

自己診断として、「あてはまる(計)」は、「自分の親(保護者)から愛されていると思う」(93.3%)が最も高く、次いで「自分には自分らしさというものがあると思う」(85.6%)、「人生で起こることは、結局は自分に原因があると思う」(79.3%)となっている。一方、「あてはまらない(計)」は、「自分は役に立たないと強く感じる」(70.5%)が最も高く、次いで「自分の欲しいものをがまんすることが苦手だ」(55.7%)、「いまの自分自身に満足している」(51.2%)となっている。

内閣府調査と比較すると、「あてはまる(計)」は「自分の親(保護者)から愛されていると思う」が19.6ポイント高くなっている。



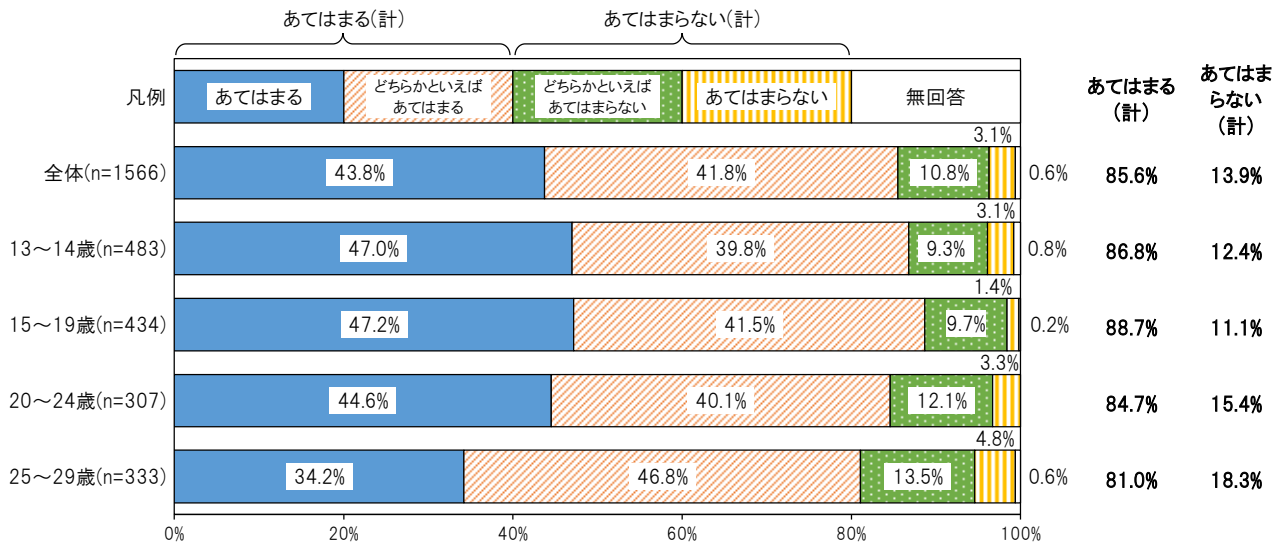
<内閣府調査(令和元年度)>



【自分には自分らしさというものがあると思う】

自己診断の【自分には自分らしさというものがあると思う】について、全体では、「あてはまる」(43.8%)が最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」(41.8%)となっている。

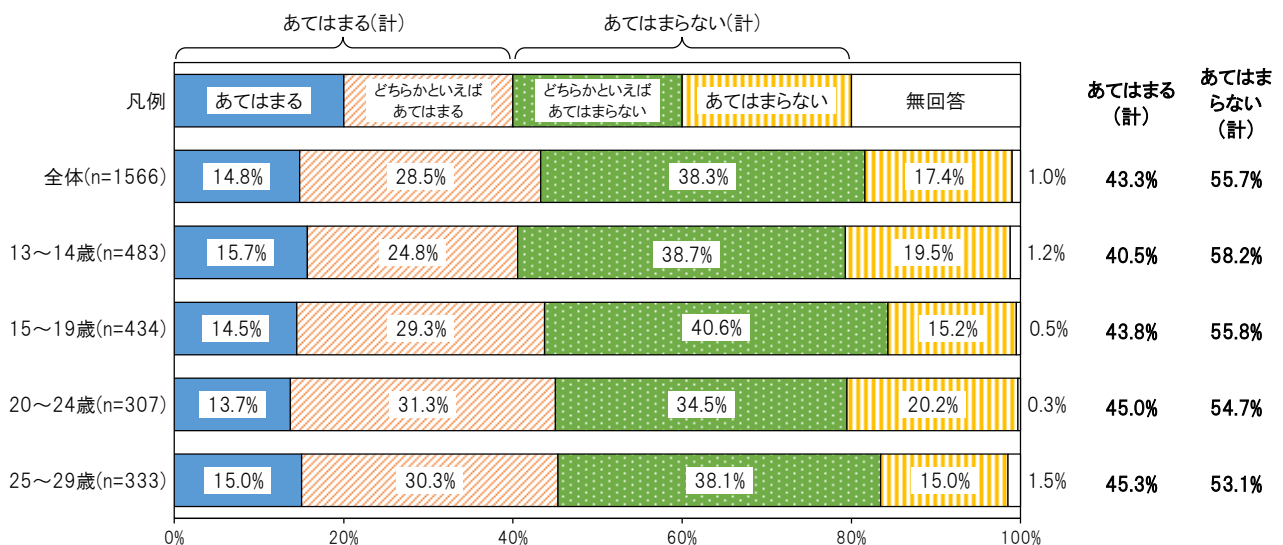
年齢別にみると、「あてはまる(計)」は「15～19歳」(88.7%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「あてはまらない(計)」は「25～29歳」(18.3%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【自分の欲しいものをがまんすることが苦手だ】

自己診断の【自分の欲しいものをがまんすることが苦手だ】について、全体では、「どちらかといえばあてはまらない」(38.3%)が最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」(28.5%)となっている。

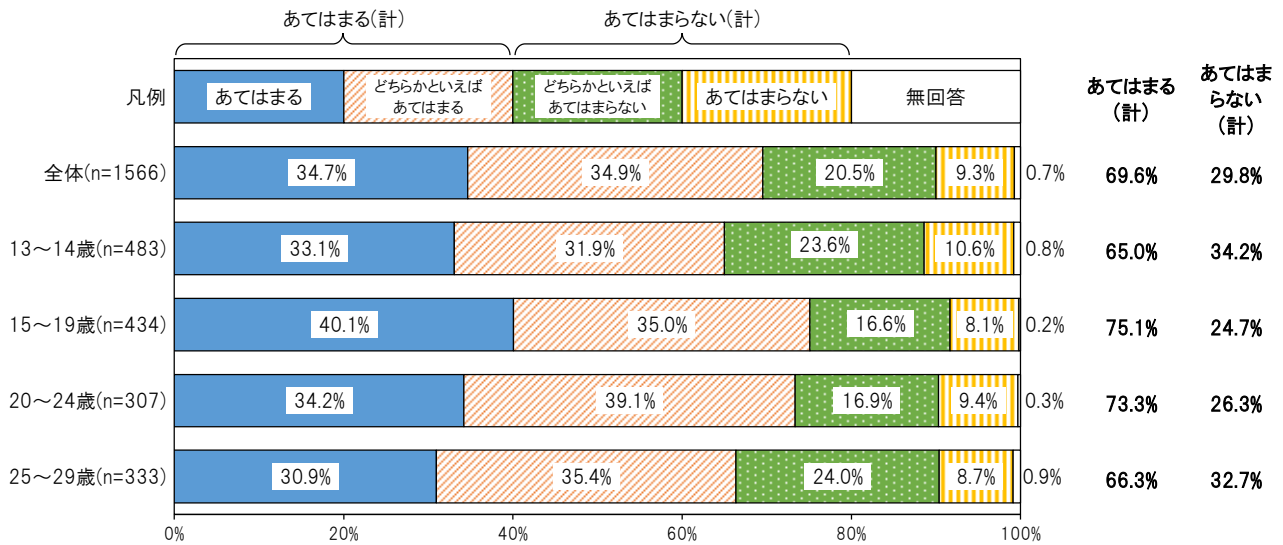
年齢別にみると、「あてはまる(計)」は「25～29歳」(45.3%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「あてはまらない(計)」は「13～14歳」(58.2%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【今の自分を変えたいと思う】

自己診断の【今の自分を変えたいと思う】について、全体では、「どちらかといえばあてはまる」(34.9%)が最も高く、次いで「あてはまる」(34.7%)となっている。

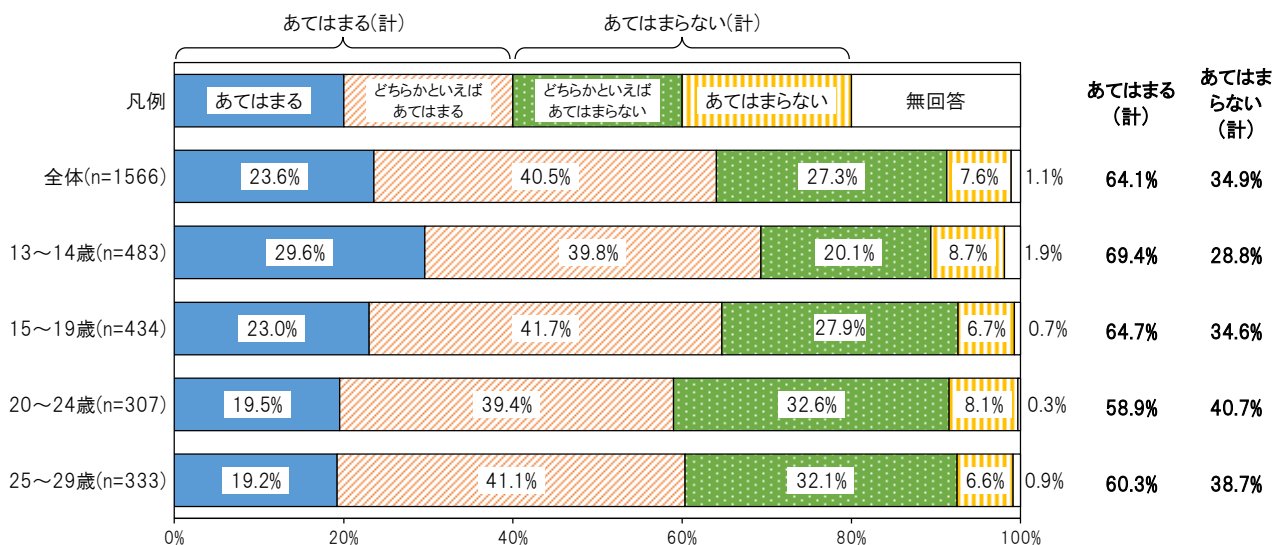
年齢別にみると、「あてはまる」は「15～19 歳」(40.1%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「あてはまらない(計)」は「13～14 歳」(34.2%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【将来よりも今の生活を楽しみたい】

自己診断の【将来よりも今の生活を楽しみたい】について、全体では、「どちらかといえばあてはまる」(40.5%)が最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」(27.3%)となっている。

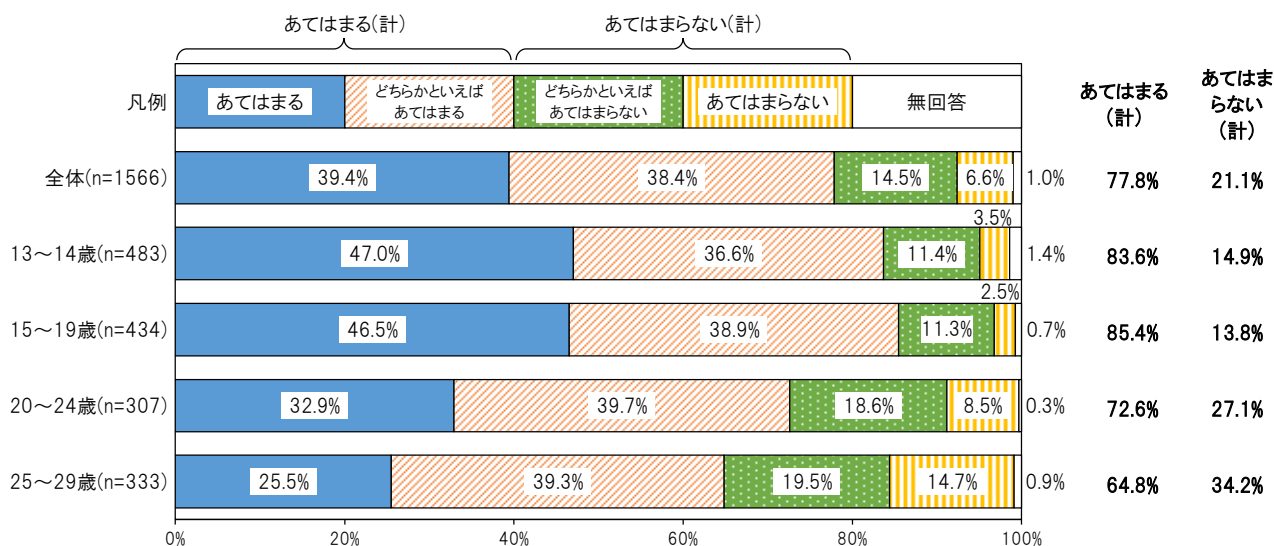
年齢別にみると、「あてはまる」は「13～14 歳」(29.6%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「あてはまらない(計)」は「20～24 歳」(40.7%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【努力すれば希望する職業につくことができる】

自己診断の【努力すれば希望する職業につくことができる】について、全体では、「あてはまる」(39.4%)が最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」(38.4%)となっている。

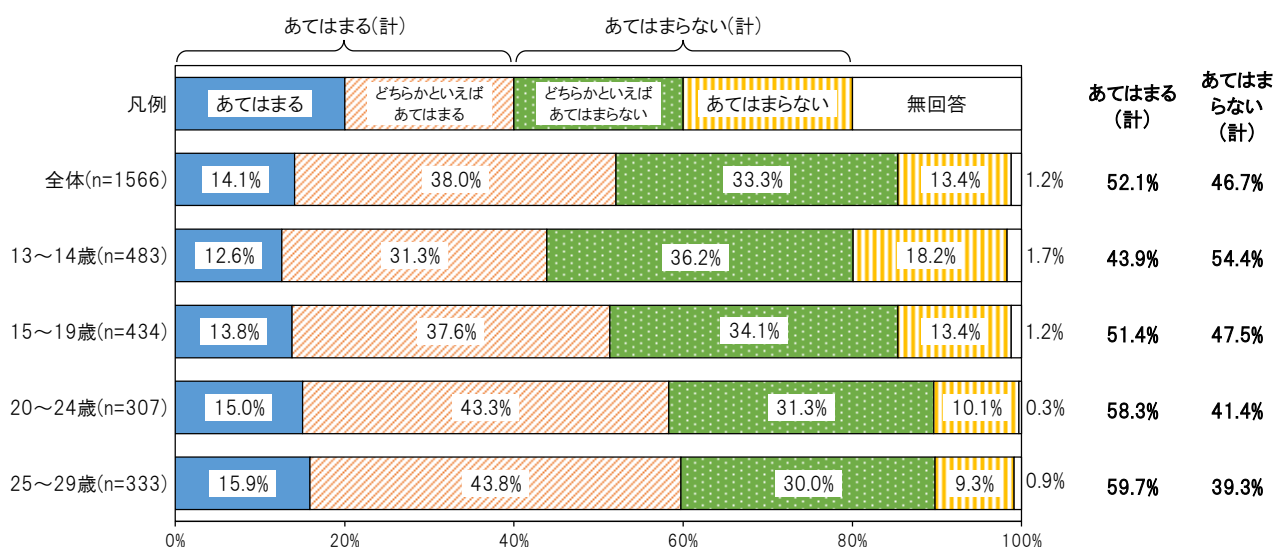
年齢別にみると、「あてはまる」は「13～14歳」(47.0%)、「15～19歳」(46.5%)が他の年齢と比べ高くなっている。一方、「あてはまらない(計)」は「25～29歳」(34.2%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【自分の将来は運やチャンスによって決まる】

自己診断の【自分の将来は運やチャンスによって決まる】について、全体では、「どちらかといえばあてはまる」(38.0%)が最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」(33.3%)となっている。

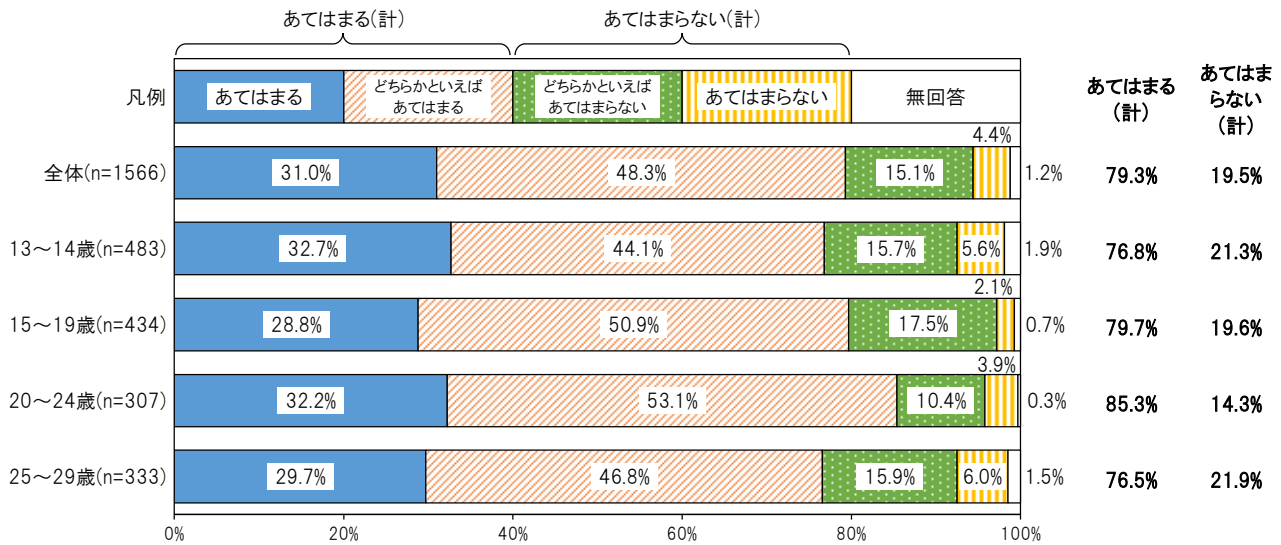
年齢別にみると、「あてはまる(計)」は「25～29歳」(59.7%)が他の年齢と比べ最も高くなっており、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。



【人生で起こることは、結局は自分に原因があると思う】

自己診断の【人生で起こることは、結局は自分に原因があると思う】について、全体では、「どちらかといえばあてはまる」(48.3%)が最も高く、次いで「あてはまる」(31.0%)となっている。

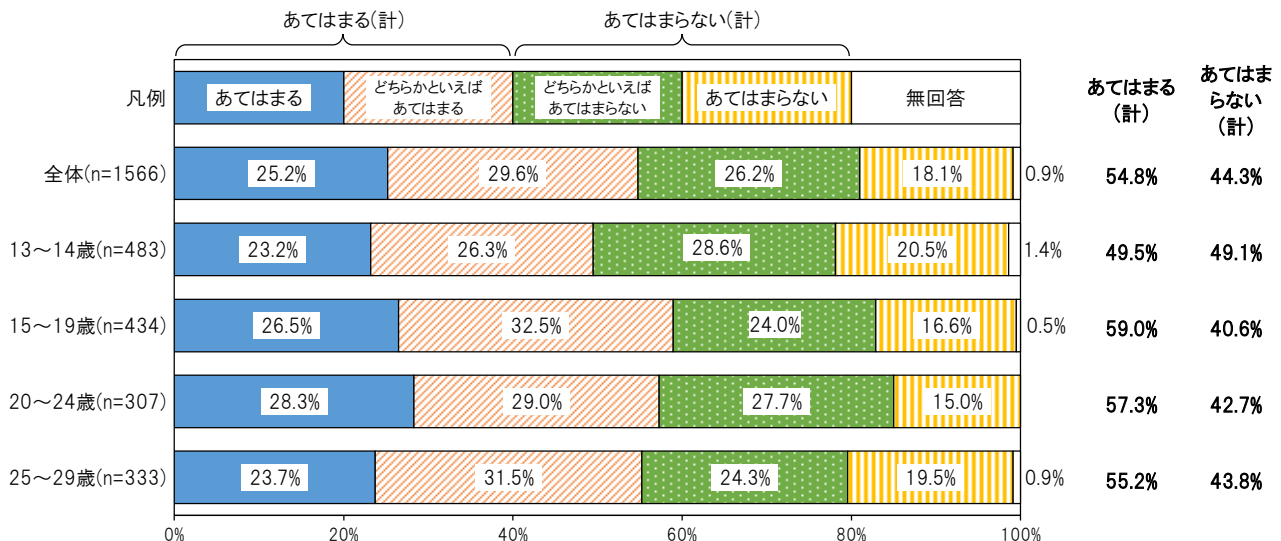
年齢別にみると、「あてはまる(計)」は「20～24歳」(85.3%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「あてはまらない(計)」は「25～29歳」(21.9%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【他人に迷惑がかからない限り、どんな考えや行動をとろうが、自分の自由だと思う】

自己診断の【他人に迷惑がかからない限り、どんな考えや行動をとろうが、自分の自由だと思う】について、全体では、「どちらかといえばあてはまる」(29.6%)が最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」(26.2%)となっている。

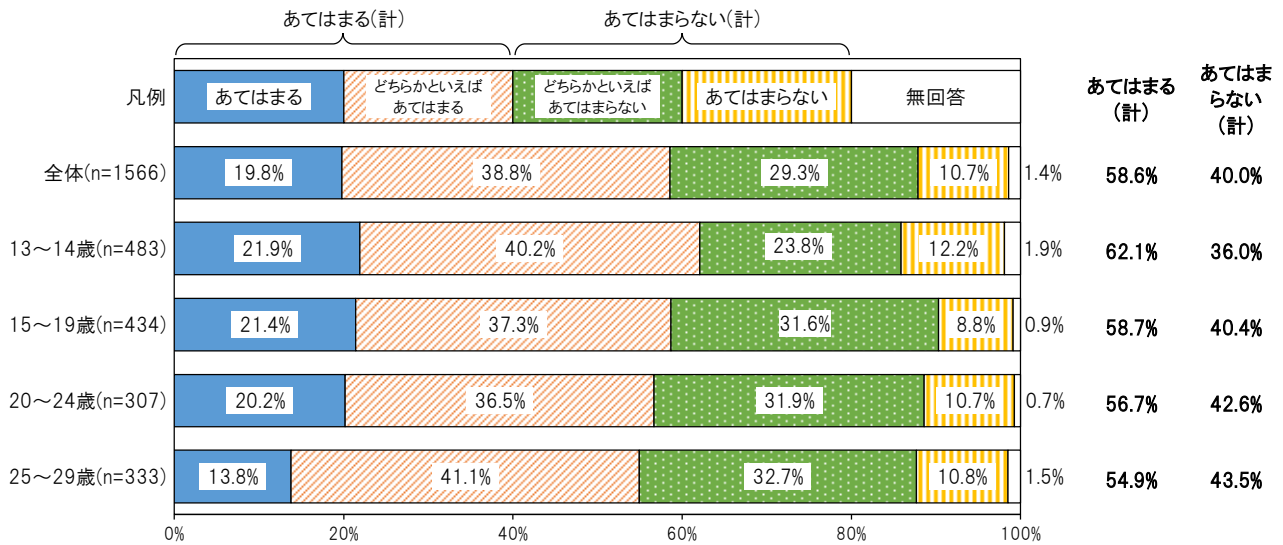
年齢別にみると、「あてはまる(計)」は「15～19歳」(59.0%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「あてはまらない(計)」は「13～14歳」(49.1%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【今の自分が好きだ】

自己診断の【今の自分が好きだ】について、全体では、「どちらかといえばあてはまる」(38.8%)が最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」(29.3%)となっている。

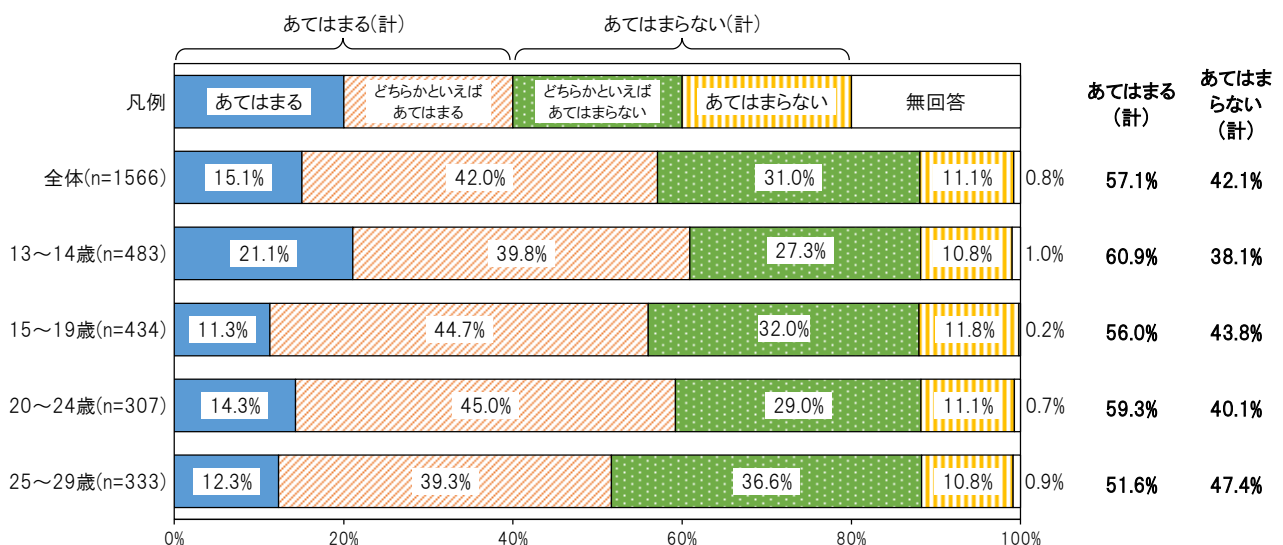
年齢別にみると、「あてはまる(計)」は「13～14歳」(62.1%)が他の年齢と比べ最も高くなっており、年齢が若いほど高くなる傾向がみられる。



【自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ】

自己診断の【自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ】について、全体では、「どちらかといえばあてはまる」(42.0%)が最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」(31.0%)となっている。

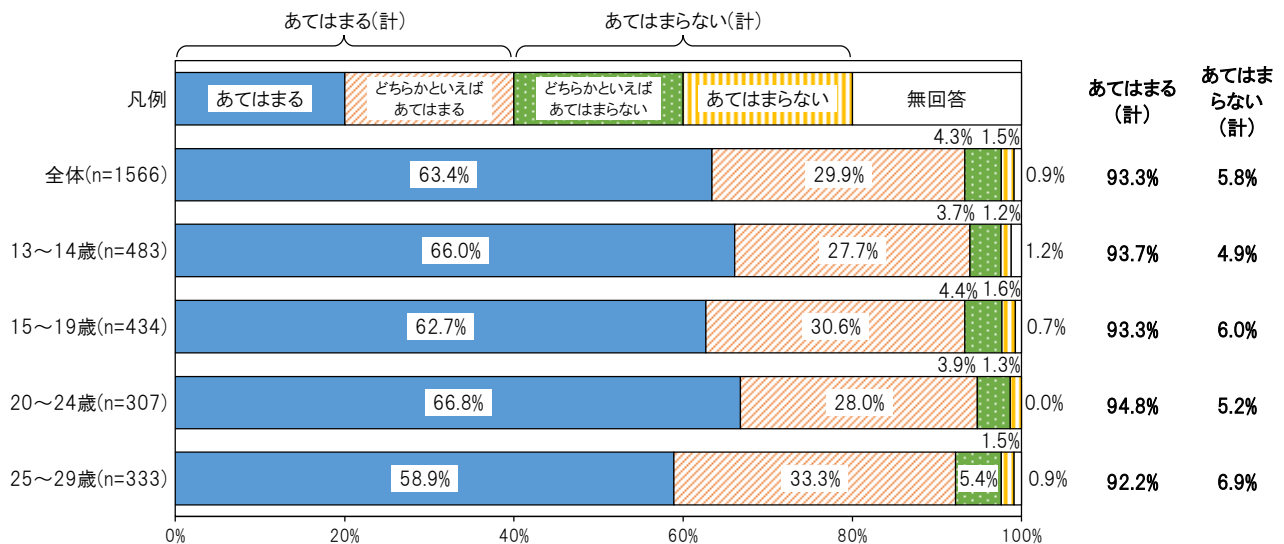
年齢別にみると、「あてはまる(計)」は「13～14歳」(60.9%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「あてはまらない(計)」は「25～29歳」(47.4%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【自分の親（保護者）から愛されていると思う】

自己診断の【自分の親（保護者）から愛されていると思う】について、全体では、「あてはまる」(63.4%)が最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」(29.9%)となっている。

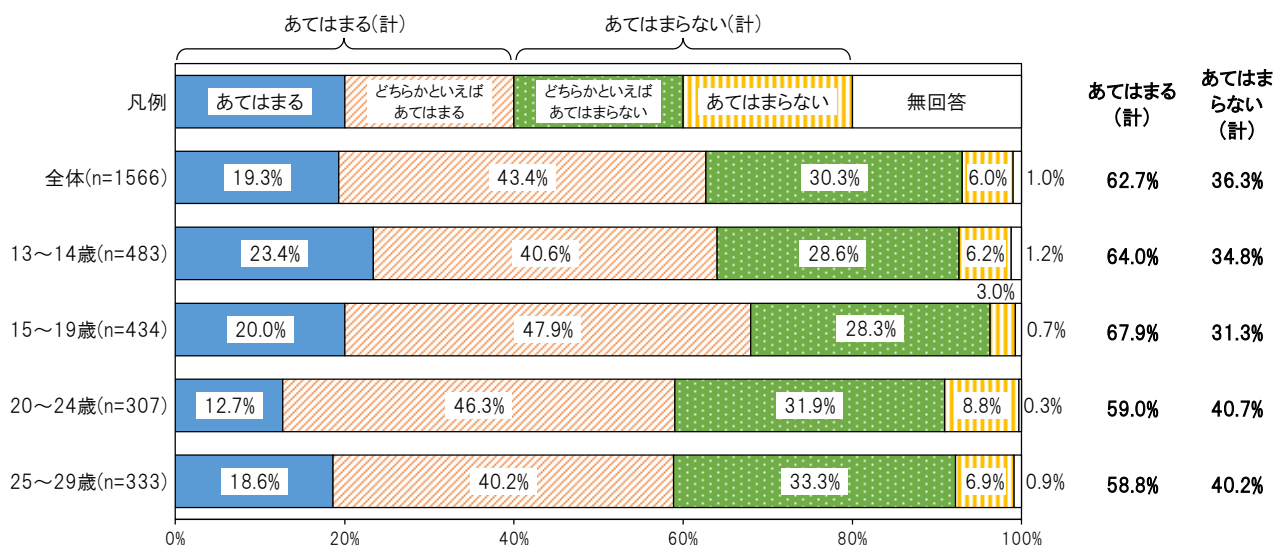
年齢別にみると、「あてはまる」は「20～24 歳」(66.8%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。また、「あてはまる(計)」はいずれの年齢も9割を超えている。



【うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む】

自己診断の【うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む】について、全体では、「どちらかといえばあてはまる」(43.4%) が最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」(30.3%) となっている。

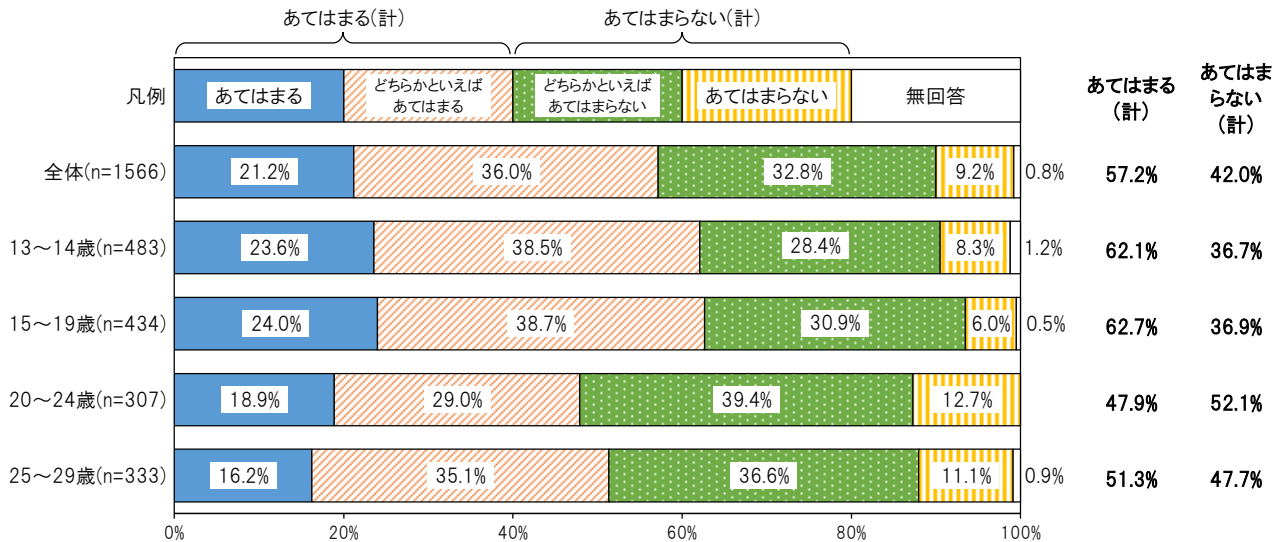
年齢別にみると、「あてはまる(計)」は「15～19 歳」(67.9%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「あてはまらない(計)」は「20～24 歳」(40.7%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【自分の考えをはっきり相手に伝えることができる】

自己診断の【自分の考えをはっきり相手に伝えることができる】について、全体では、「どちらかといえばあてはまる」(36.0%)が最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」(32.8%)となっている。

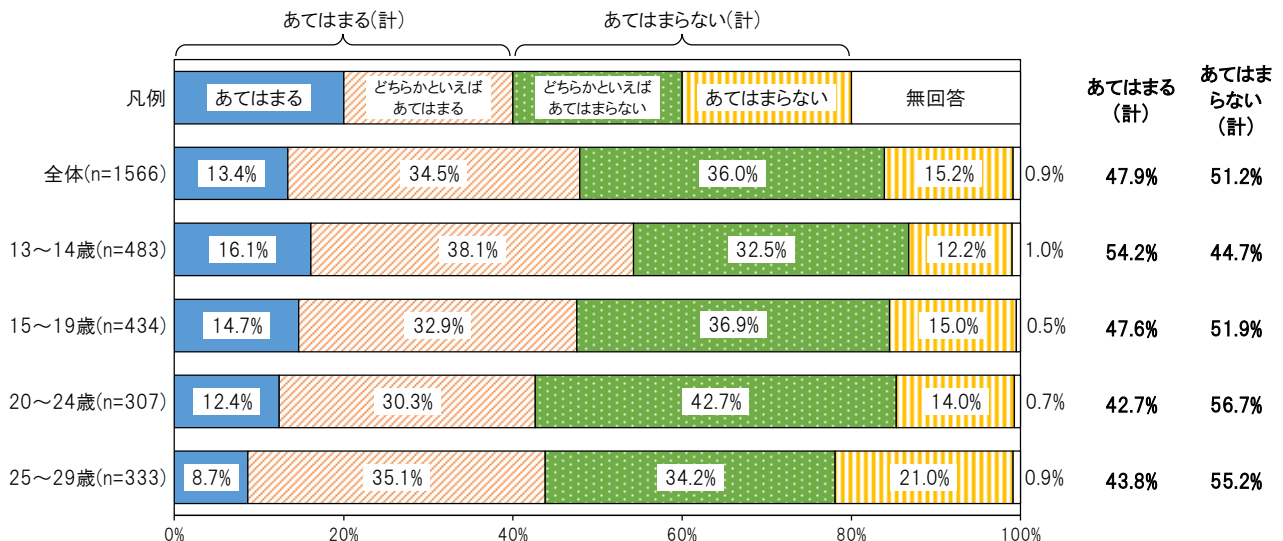
年齢別にみると、「あてはまる(計)」は「13～14歳」(62.1%)、「15～19歳」(62.7%)が他の年齢と比べ高くなっている。一方、「あてはまらない(計)」は「20～24歳」(52.1%)、「25～29歳」(47.7%)が他の年齢と比べ高くなっている。



【いまの自分自身に満足している】

自己診断の【いまの自分自身に満足している】について、全体では、「どちらかといえばあてはまらない」(36.0%)が最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」(34.5%)となっている。

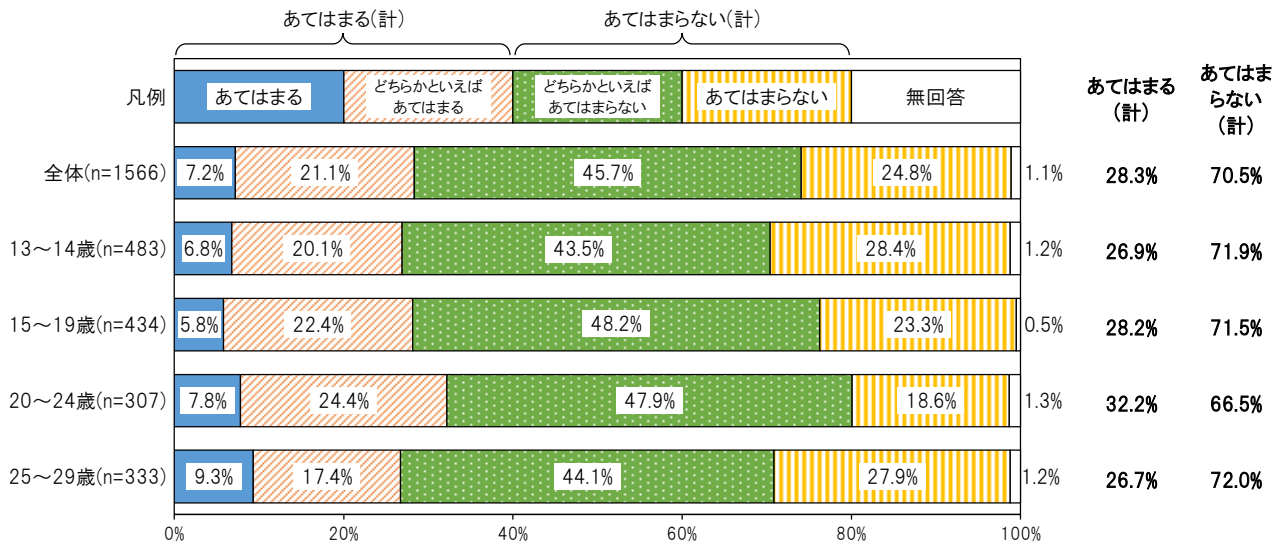
年齢別にみると、「あてはまる(計)」は「13～14歳」(54.2%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「あてはまらない(計)」は「20～24歳」(56.7%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【自分は役に立たないと強く感じる】

自己診断の【自分は役に立たないと強く感じる】について、全体では、「どちらかといえばあてはまらない」(45.7%) が最も高く、次いで「あてはまらない」(24.8%) となっている。

年齢別にみると、「あてはまる(計)」は「20～24 歳」(32.2%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「あてはまらない(計)」は「25～29 歳」(72.0%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



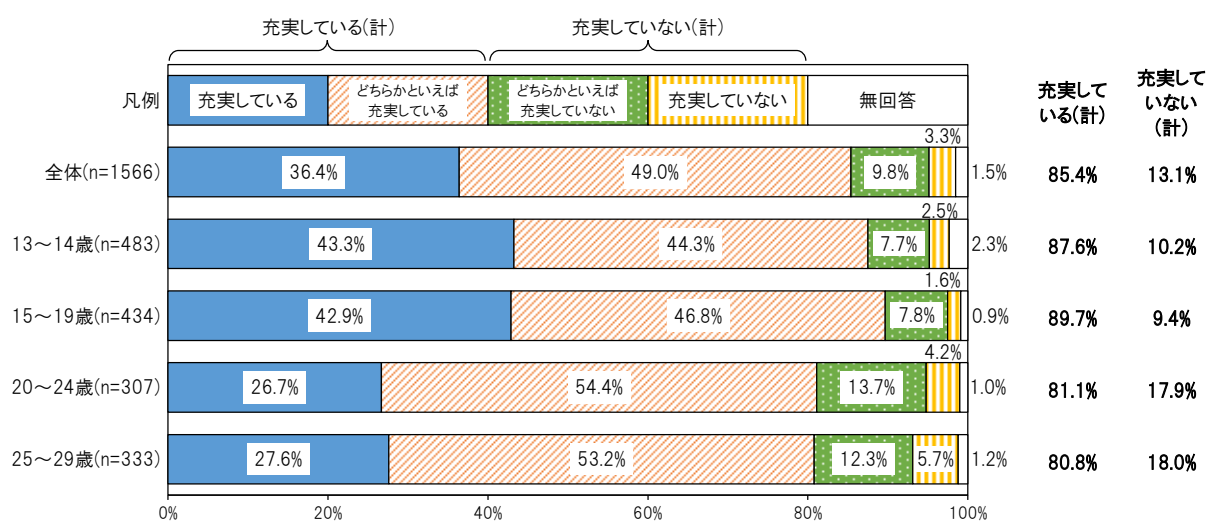
(2) 充実感

Q2 あなたは、今の生活が充実していると思いますか。あなたの実感をお答えください。【ひとつだけ】

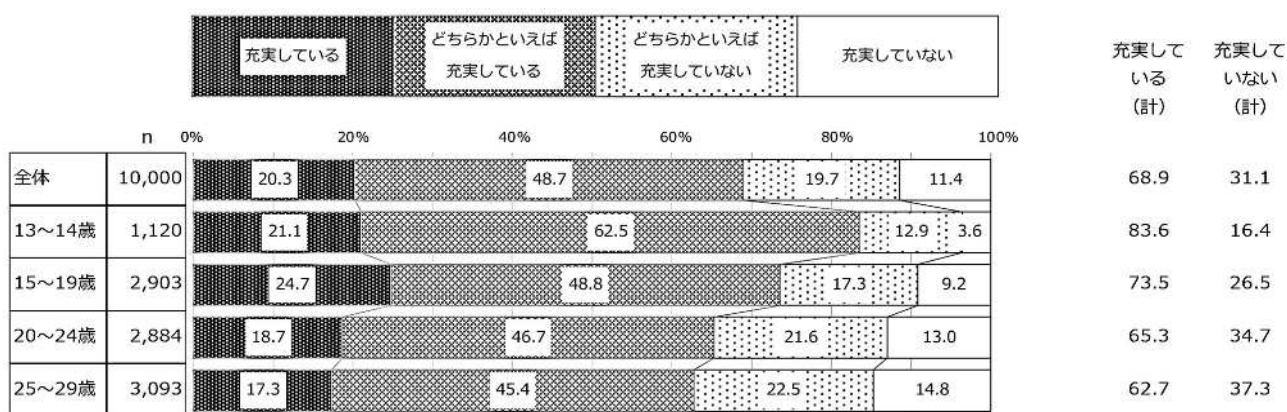
現在実感している生活の充実度について、全体では、「どちらかといえば充実している」(49.0%)が最も高く、次いで「充実している」(36.4%)となっている。

年齢別にみると、「充実している(計)」は「13～14歳」(87.6%)、「15～19歳」(89.7%)が他の年齢と比べ高くなっている。

内閣府調査と比較すると、「充実している(計)」は16.5ポイント高くなっている。



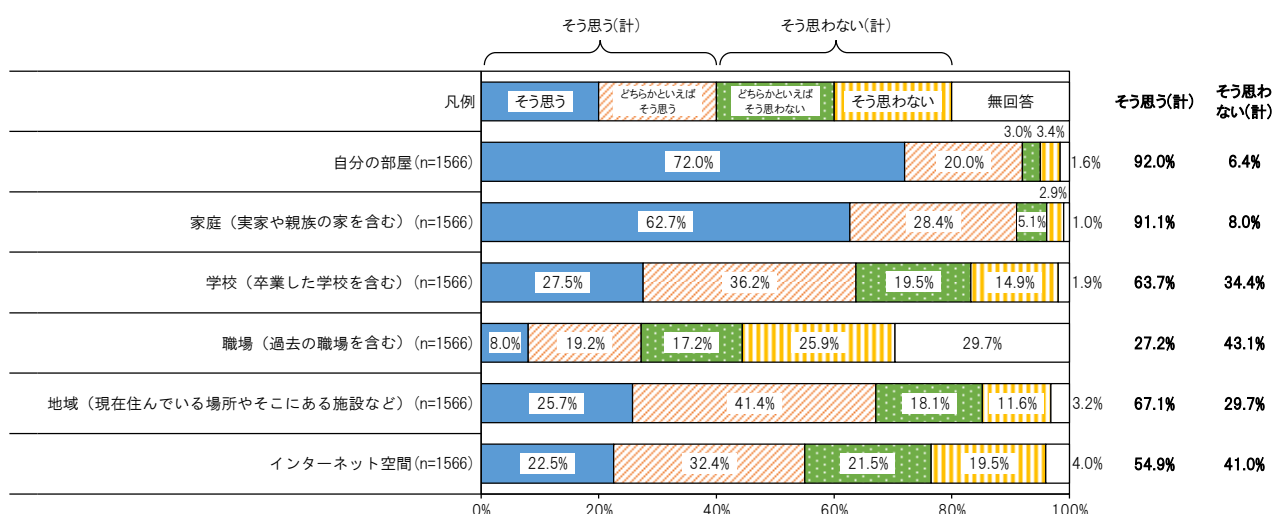
<内閣府調査(令和元年度)>



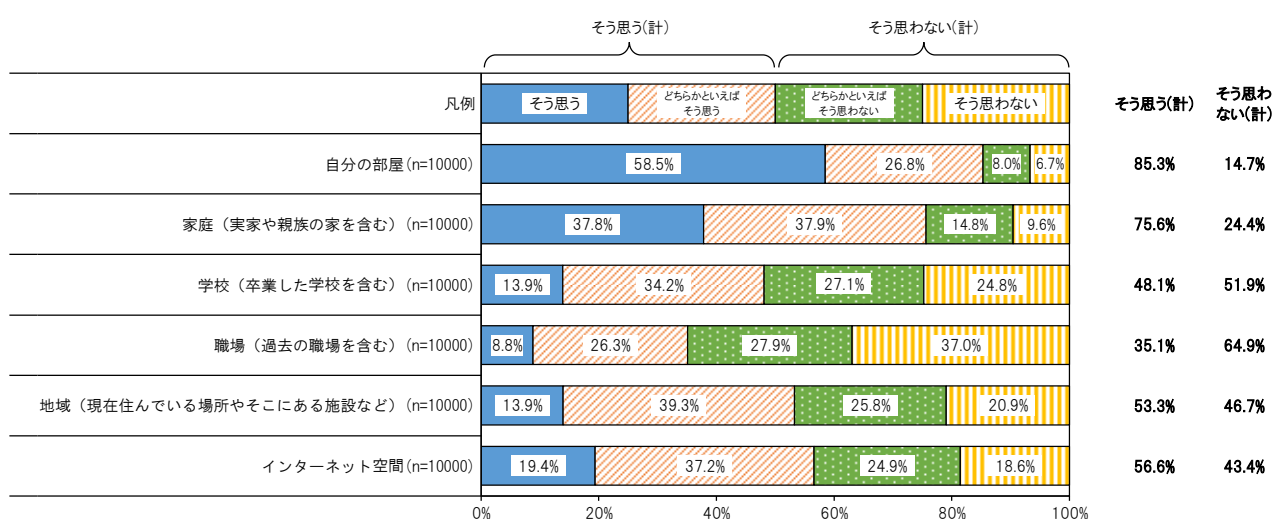
Q3 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地のよい場所など）になっていますか。【それぞれひとつだけ】

ほっとできる場所、居心地のよい場所として、「そう思う(計)」は、「自分の部屋」(92.0%)が最も高く、次いで「家庭（実家や親族の家を含む）」(91.1%)、「地域（現在住んでいる場所やそこにある施設など）」(67.1%)となっている。一方、「そう思わない(計)」は、「職場（過去の職場を含む）」(43.1%)が最も高く、次いで「インターネット空間」(41.0%)、「学校（卒業した学校を含む）」(34.4%)となっている。

内閣府調査と比較すると、「そう思う(計)」は「家庭（実家や親族の家を含む）」、「学校（卒業した学校を含む）」、「地域（現在住んでいる場所やそこにある施設など）」が10ポイント以上高くなっている。



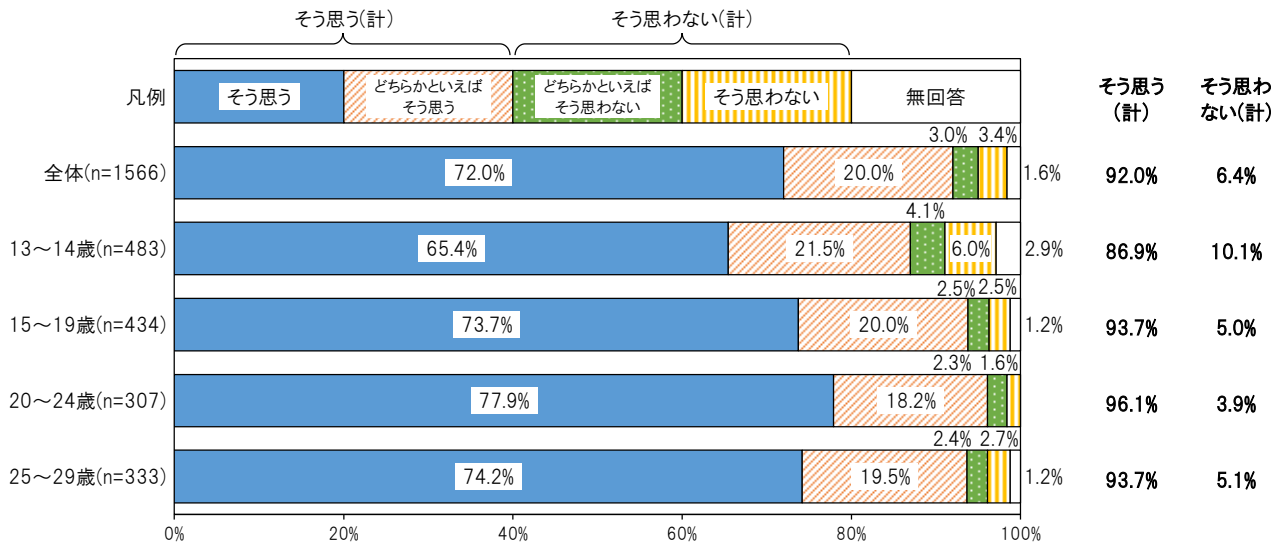
<内閣府調査(令和元年度)>



【自分の部屋】

居場所としての【自分の部屋】について、全体では、「そう思う」(72.0%)が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(20.0%)となっている。

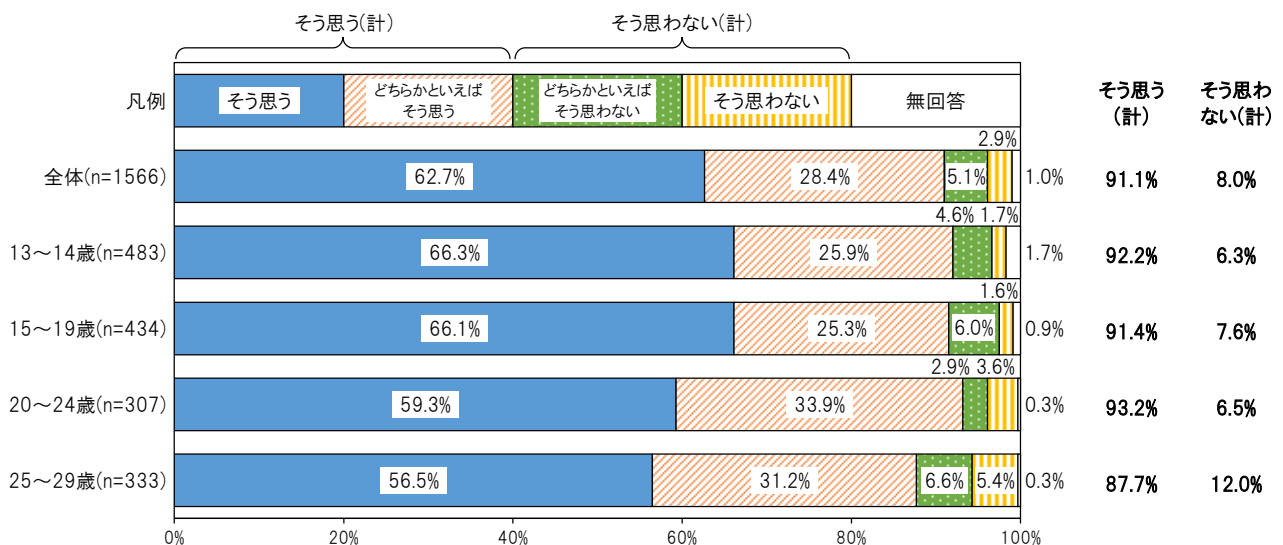
年齢別にみると、「そう思う(計)」は「20～24歳」(96.1%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「そう思わない(計)」は「13～14歳」(10.1%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【家庭（実家や親族の家を含む）】

居場所としての【家庭（実家や親族の家を含む）】について、全体では、「そう思う」(62.7%)が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(28.4%)となっている。

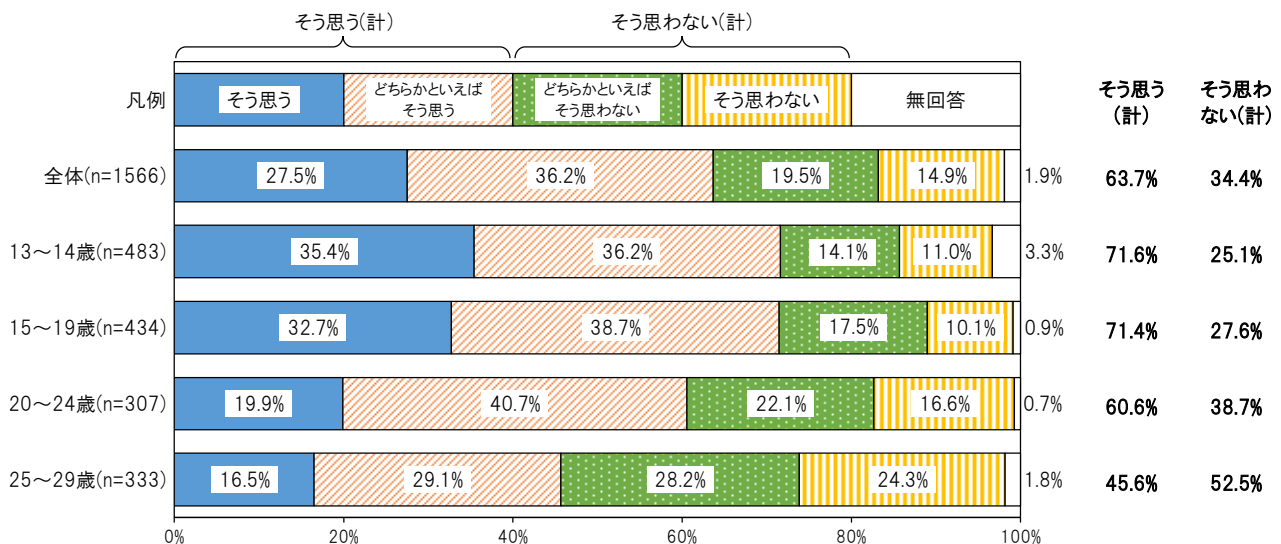
年齢別にみると、「そう思う(計)」は「20～24歳」(93.2%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「そう思わない(計)」は「25～29歳」(12.0%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【学校（卒業した学校を含む）】

居場所としての【学校（卒業した学校を含む）】について、全体では、「どちらかといえばそう思う」(36.2%) が最も高く、次いで「そう思う」(27.5%) となっている。

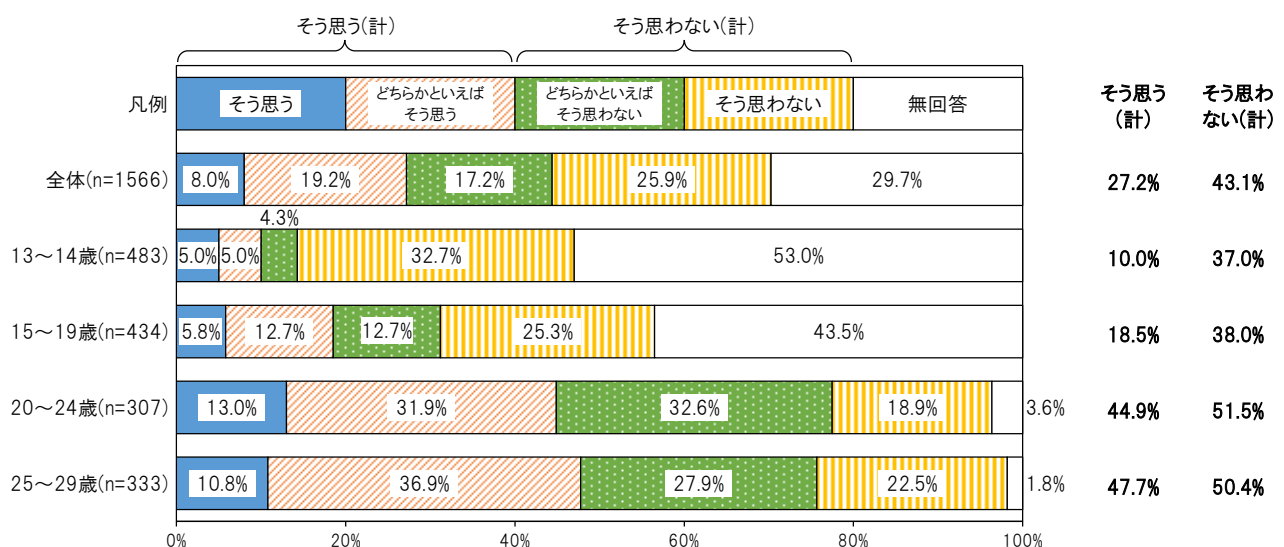
年齢別にみると、「そう思う(計)」は「13～14 歳」(71.6%)、「15～19 歳」(71.4%) が他の年齢と比べ高くなっている。一方、「そう思わない(計)」は「25～29 歳」(52.5%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【職場（過去の職場を含む）】

居場所としての【職場（過去の職場を含む）】について、全体では、「そう思わない」(25.9%) が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(19.2%) となっている。

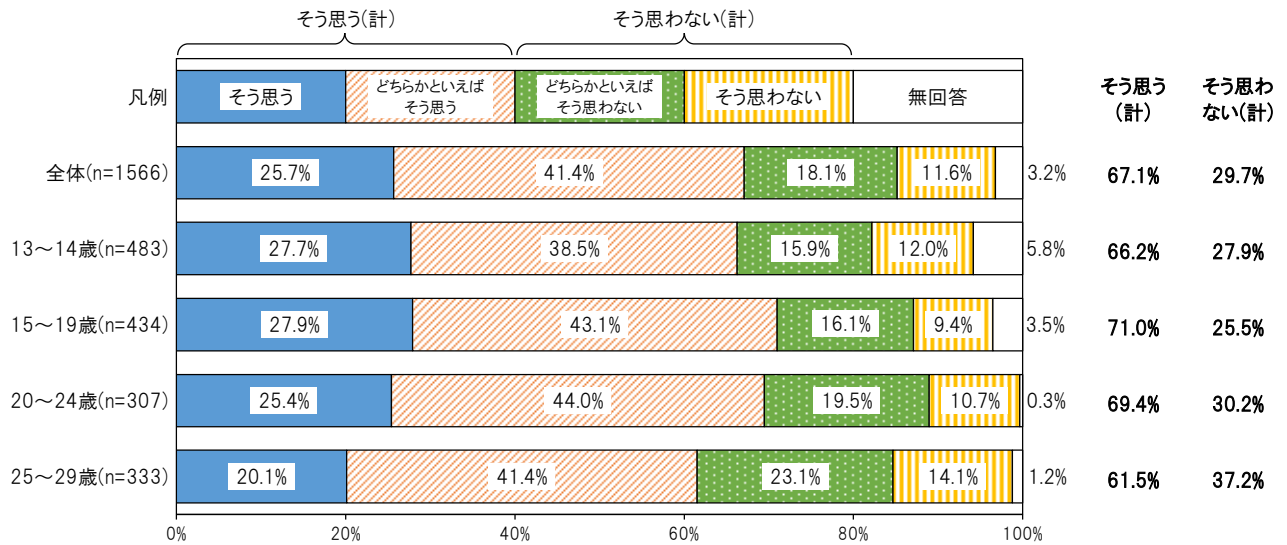
年齢別にみると、「そう思う(計)」は「20～24 歳」(44.9%)、「25～29 歳」(47.7%) が他の年齢と比べ高くなっている。



【地域（現在住んでいる場所やそこにある施設など）】

居場所としての【地域（現在住んでいる場所やそこにある施設など）】について、全体では、「どちらかといえばそう思う」（41.4%）が最も高く、次いで「そう思う」（25.7%）となっている。

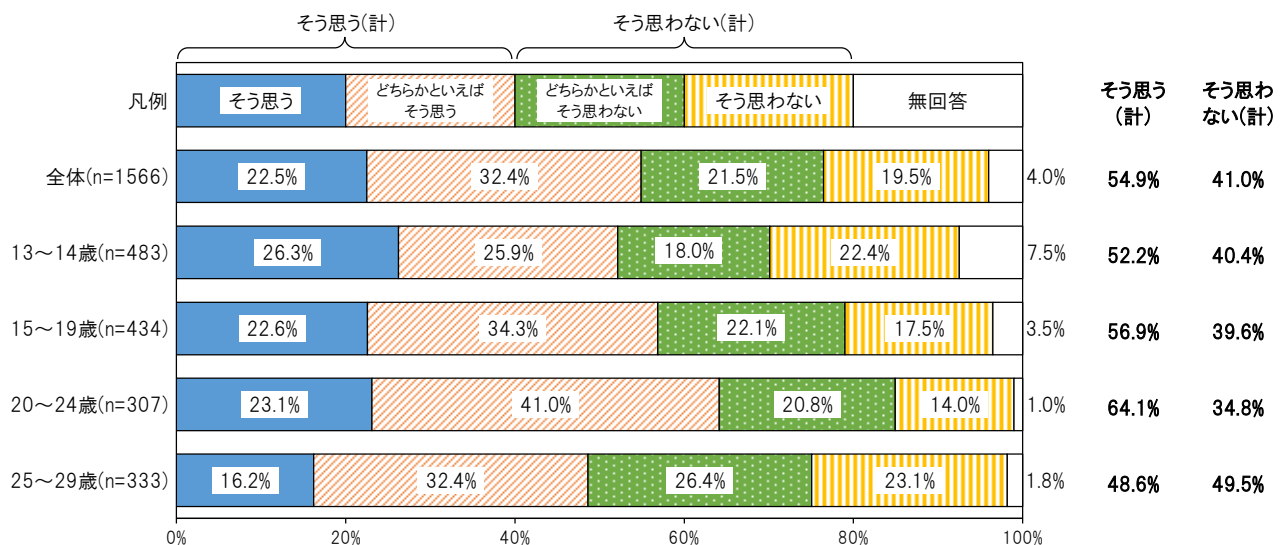
年齢別にみると、「そう思う（計）」は「15～19 歳」（71.0%）が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「そう思わない（計）」は「25～29 歳」（37.2%）が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【インターネット空間】

居場所としての【インターネット空間】について、全体では、「どちらかといえばそう思う」（32.4%）が最も高く、次いで「そう思う」（22.5%）となっている。

年齢別にみると、「そう思う（計）」は「20～24 歳」（64.1%）が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「そう思わない（計）」は「25～29 歳」（49.5%）が他の年齢と比べ最も高くなっている。



3 子供・若者が抱える困難

(1) 社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験

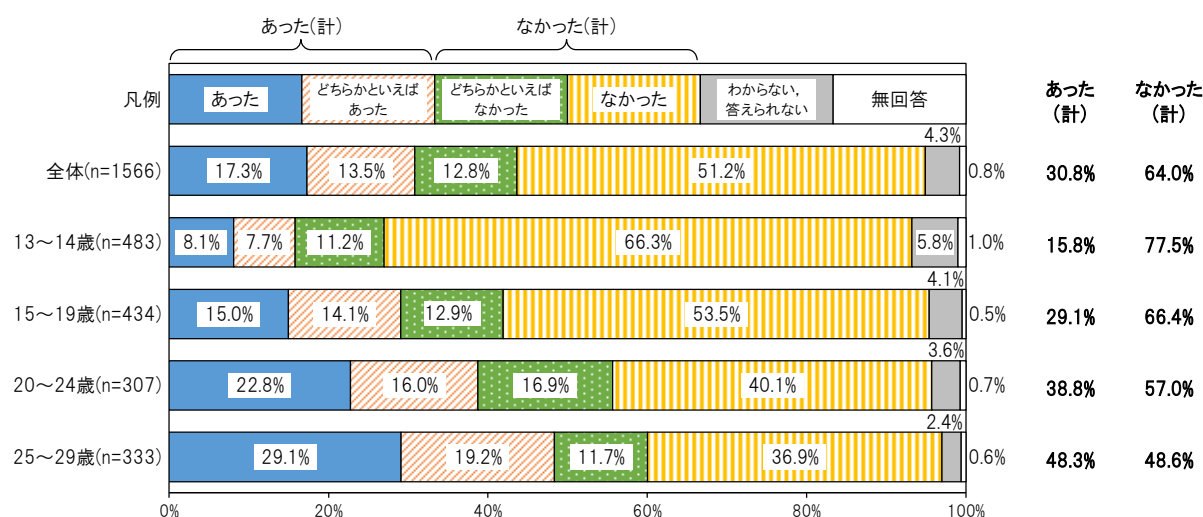
Q 4 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験（※）があったと思いますか。最もあてはまるものを選んでください。【ひとつだけ】

※ 不登校、ひきこもり、ニート、高校中退など、社会生活や日常生活のしづらさを感じた経験と考えてください。

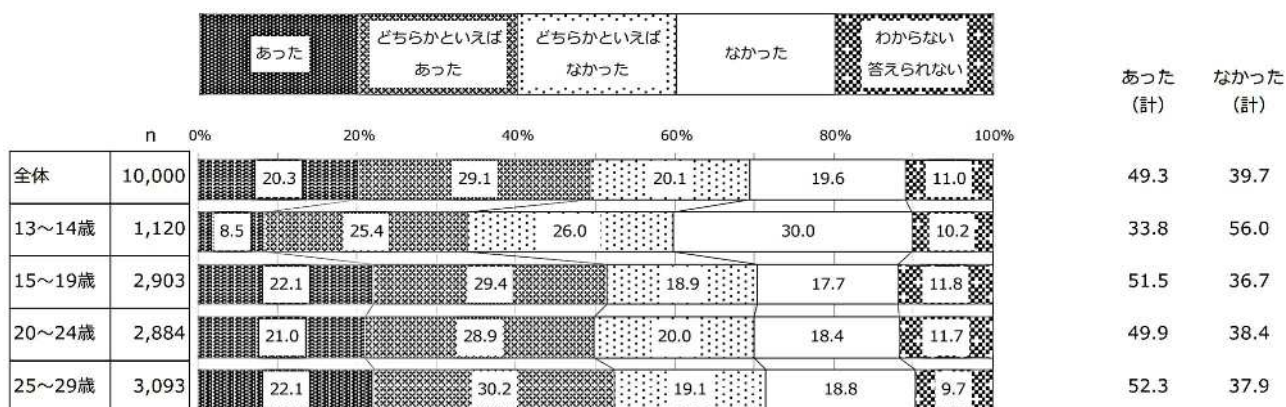
社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験の有無について、全体では、「なかった」(51.2%) が最も高く、次いで「あった」(17.3%) となっている。

年齢別にみると、「あった(計)」は「25～29 歳」(48.3%) が他の年齢と比べ最も高くなっており、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。一方、「なかった(計)」は「13～14 歳」(77.5%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。

内閣府調査と比較すると、「あった(計)」は 18.5 ポイント低くなっている。



<内閣府調査(令和元年度)>



(2) 社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験をした理由

Q5～Q10は、Q4で「1 あった」若しくは「2 どちらかといえばあった」と回答した方にお伺いします。

Q5 Q4の問題を経験した主な理由は何ですか。「自分自身」、「家族・家庭」、「学校」、「仕事」の欄ごとに、あてはまるものをすべて選んでください。【いくつでも】

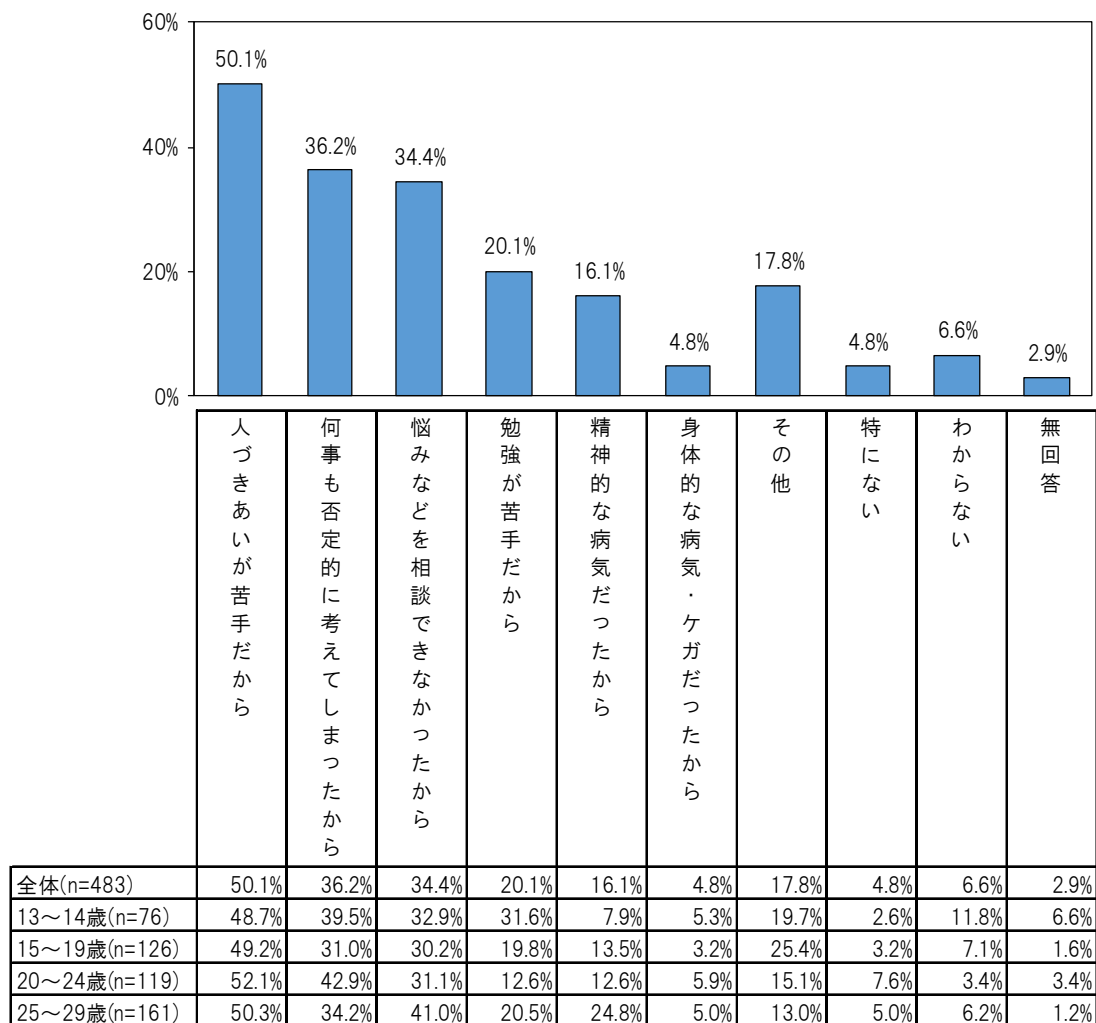
【自分自身】

問題を経験した理由として【自分自身】について、全体では、「人づきあいが苦手だから」(50.1%)が最も高く、次いで「何事も否定的に考えてしまったから」(36.2%)、「悩みなどを相談できなかったから」(34.4%)となっている。

年齢別にみると、「13～14歳」は、「勉強が苦手だから」(31.6%)が他の年齢と比べ高くなっている。

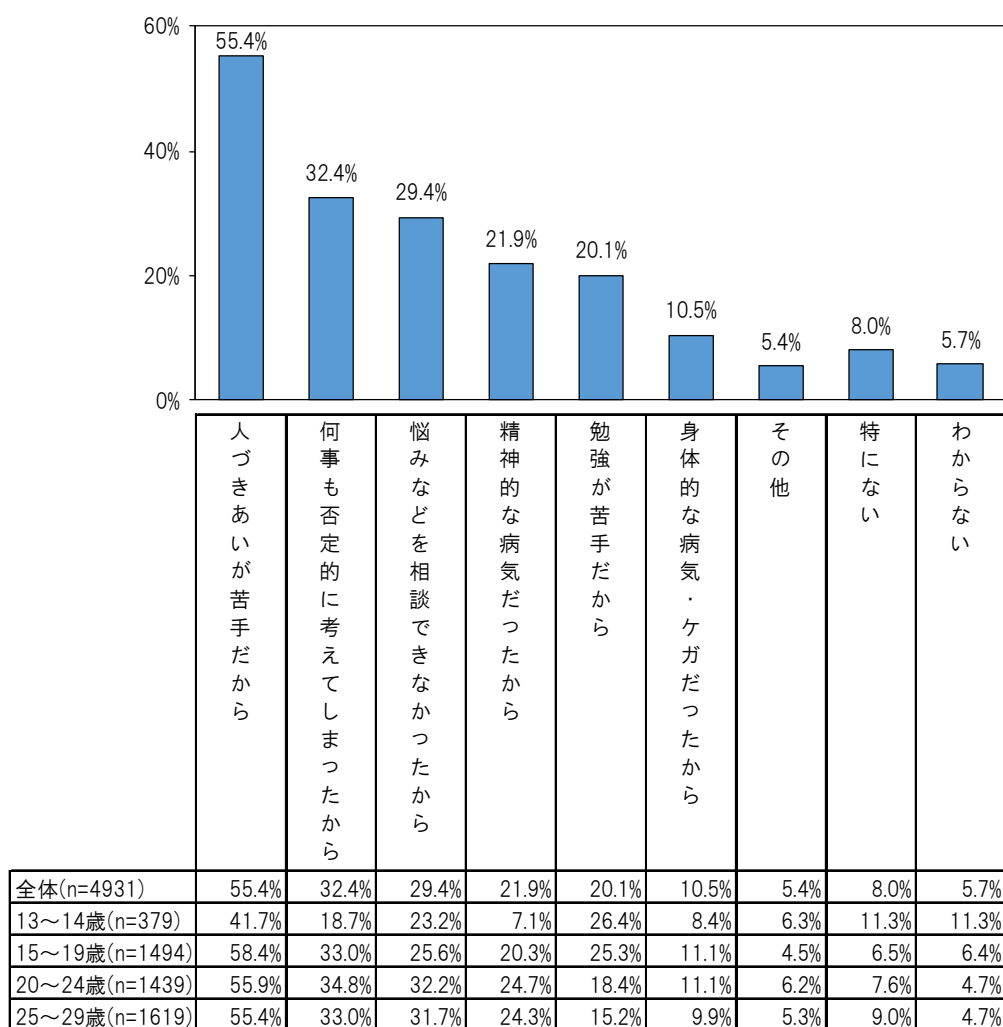
「25～29歳」は「精神的な病気だったから」(24.8%)が他の年齢と比べ高くなっている。

内閣府調査と比較すると、どちらも「人づきあいが苦手だから」が最も高くなっているが、今回調査は5.3ポイント低くなっている。



※Q4で「1 あった」若しくは「2 どちらかといえばあった」との回答者のみ回答

<内閣府調査(令和元年度)>

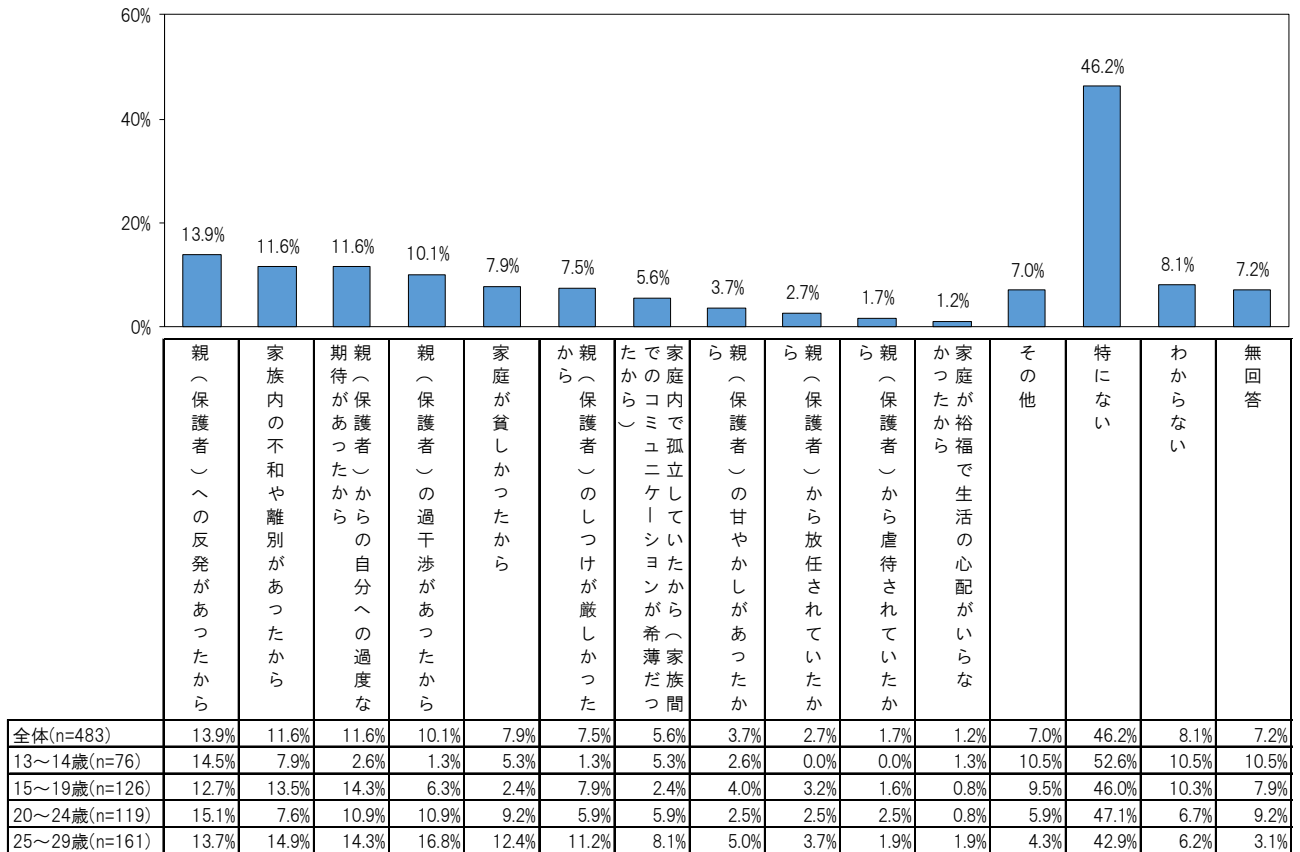


【家族・家庭】

問題を経験した理由として【家族・家庭】について、全体では、「特にない」(46.2%)が最も高く、次いで「親(保護者)への反発があったから」(13.9%)、「家族内の不和や離別があったから」(11.6%)、「親(保護者)からの自分への過度な期待があったから」(11.6%)となっている。

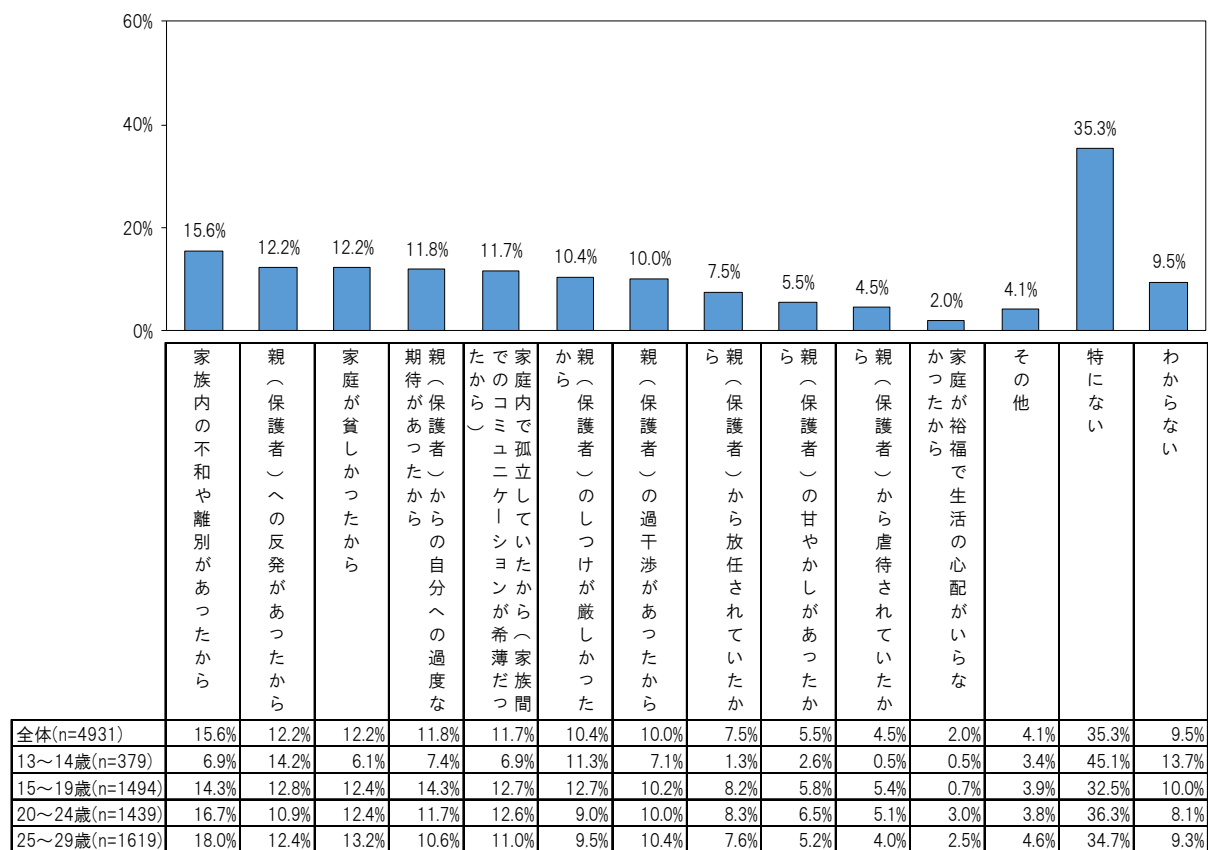
年齢別にみると、「家族内の不和や離別があったから」は「15～19歳」(13.5%)、「25～29歳」(14.9%)となっており、他の年齢と比べ高くなっている。「25～29歳」は「親(保護者)の過干渉があったから」(16.8%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。

内閣府調査と比較すると、「家族内の不和や離別があったから」は4ポイント低くなっている。



※Q4で「1 あった」若しくは「2 どちらかといえばあった」との回答者のみ回答

<内閣府調査(令和元年度)>

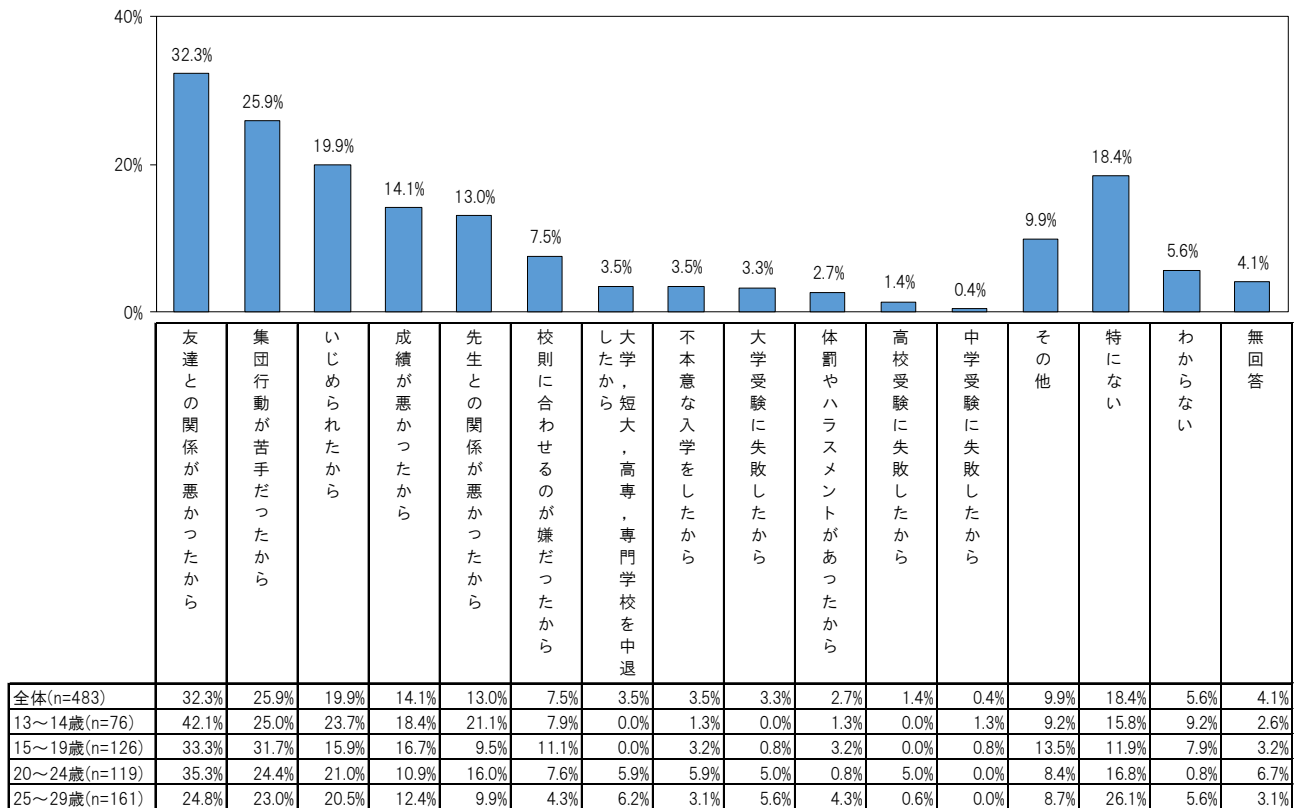


【学校】

問題を経験した理由として【学校】について、全体では、「友達との関係が悪かったから」(32.3%)が最も高く、次いで「集団行動が苦手だったから」(25.9%)、「いじめられたから」(19.9%)となっている。

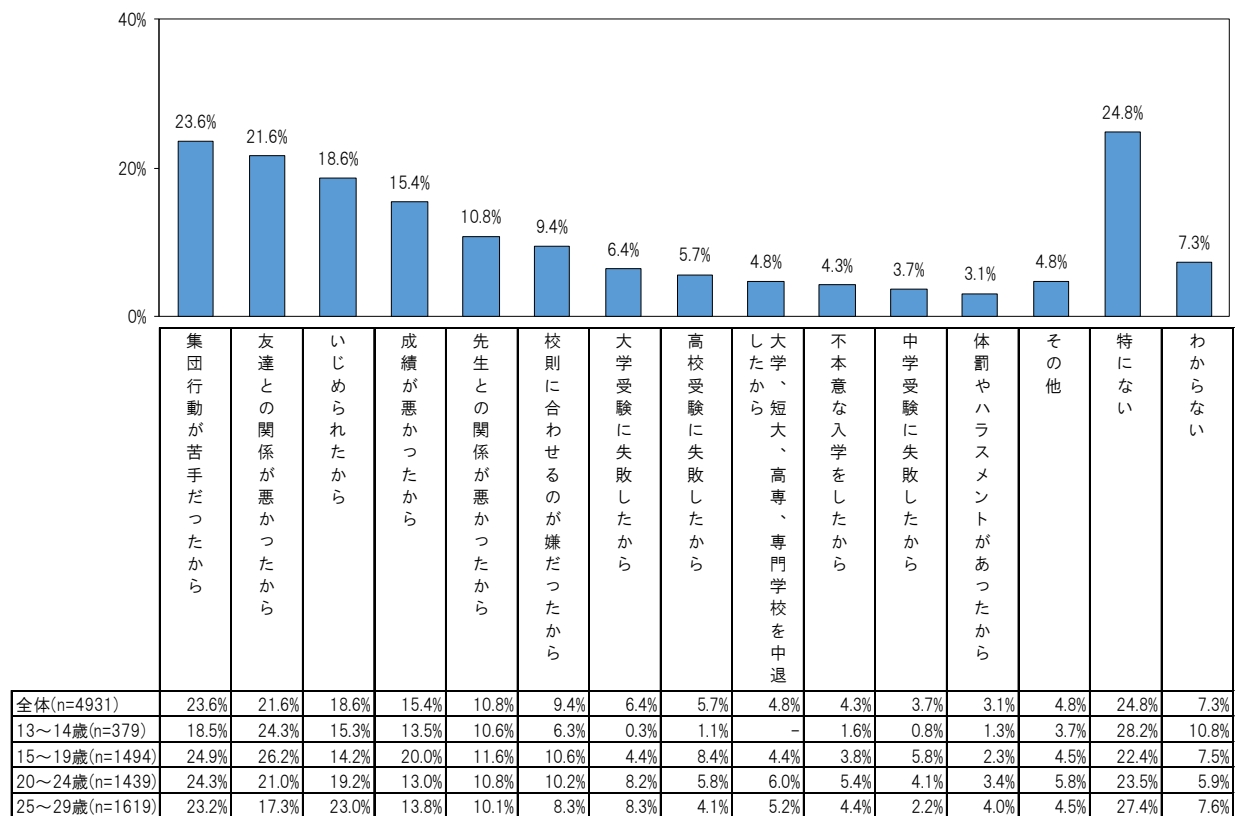
年齢別にみると、「友達との関係が悪かったから」は「13～14 歳」(42.1%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。「先生との関係が悪かったから」は「13～14 歳」(21.1%)、「20～24 歳」(16.0%)が他の年齢と比べ高くなっている。

内閣府調査と比較すると、「友達との関係が悪かったから」は 10.7 ポイント高くなっている。



※ Q 4 で「1 あった」若しくは「2 どちらかといえばあった」との回答者のみ回答

<内閣府調査(令和元年度)>

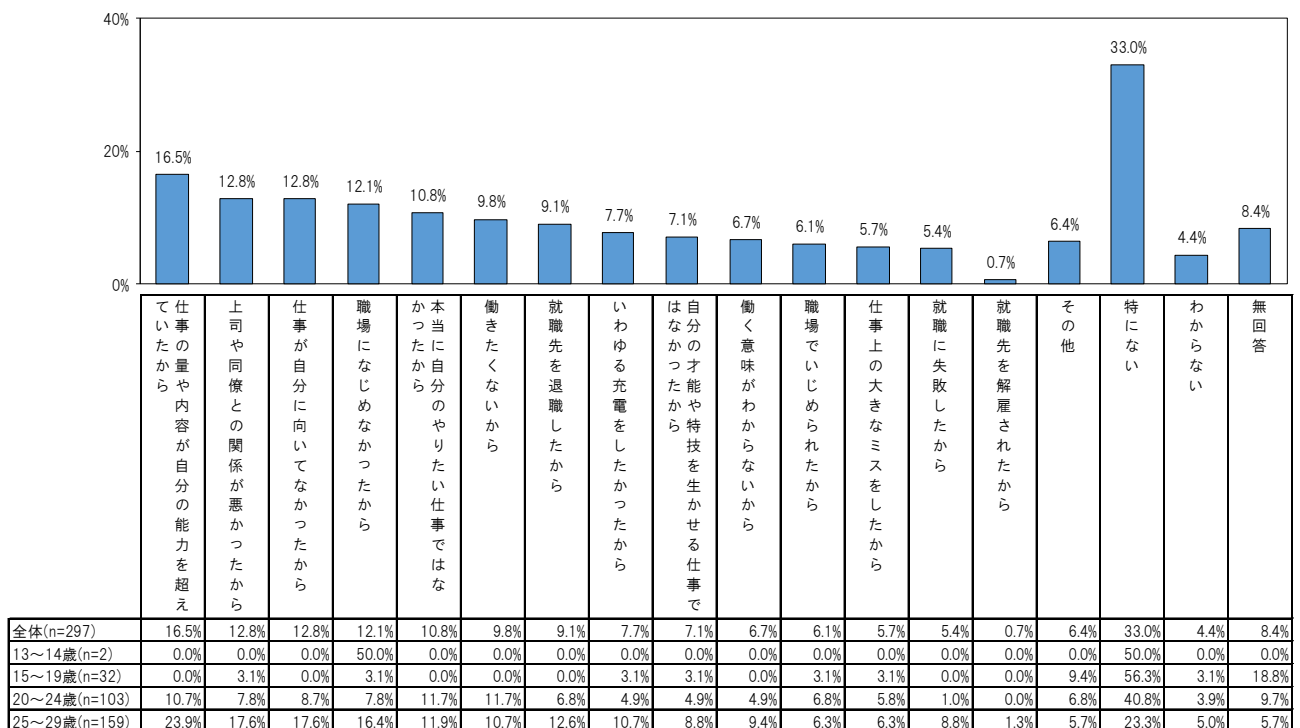


【仕事・職場】

問題を経験した理由として【仕事・職場】について、全体では、「特にない」(33.0%)が最も高く、次いで「仕事の量や内容が自分の能力を超えていたから」(16.5%)、「上司や同僚との関係が悪かったから」(12.8%)、「仕事が自分に向いてなかったから」(12.8%)となっている。

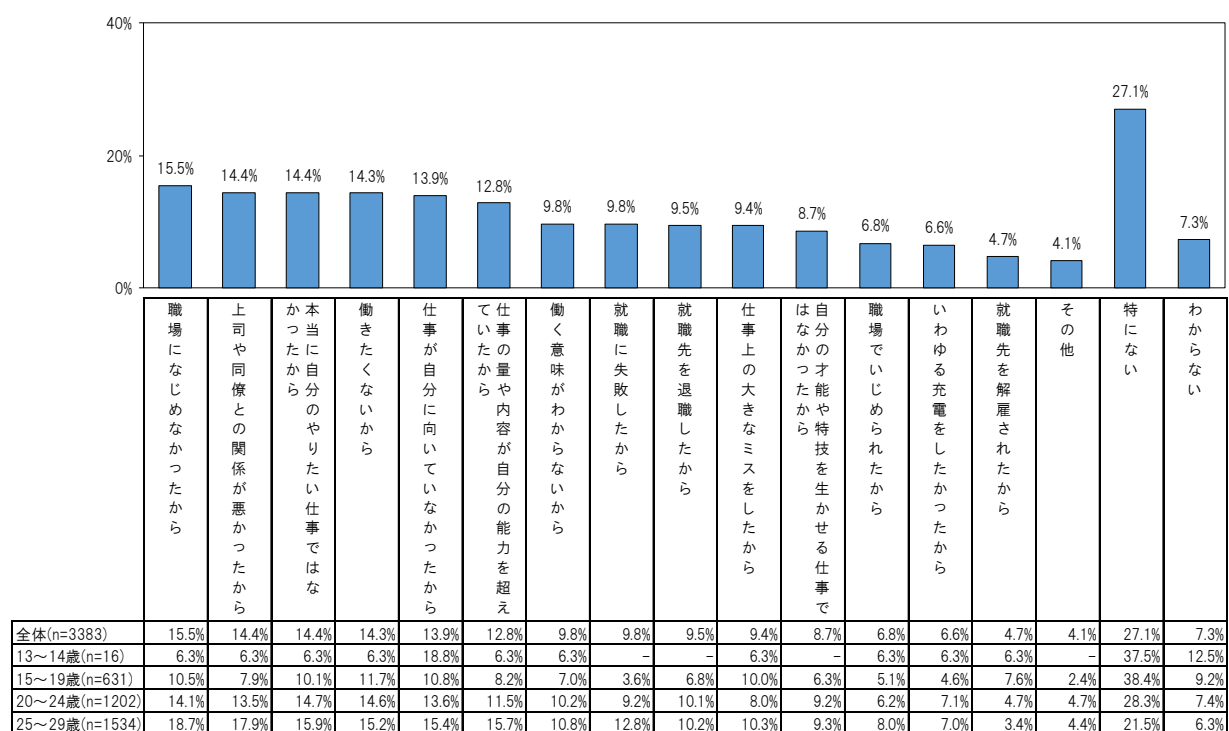
年齢別にみると、「25～29 歳」は「仕事の量や内容が自分の能力を超えていたから」(23.9%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。

内閣府調査と比較すると、ほとんどの項目において低くなっており、「働きたくないから」は4.5ポイント低くなっている。一方、「仕事の量や内容が自分の能力を超えていたから」は3.7ポイント高くなっている。



※ Q 4で「1 あった」若しくは「2 どちらかといえばあった」、かつ、F 4で「1 現在、就業している」若しくは「2 現在は就業していないが、過去に就業経験がある」との回答者のみ回答

<内閣府調査(令和元年度)>

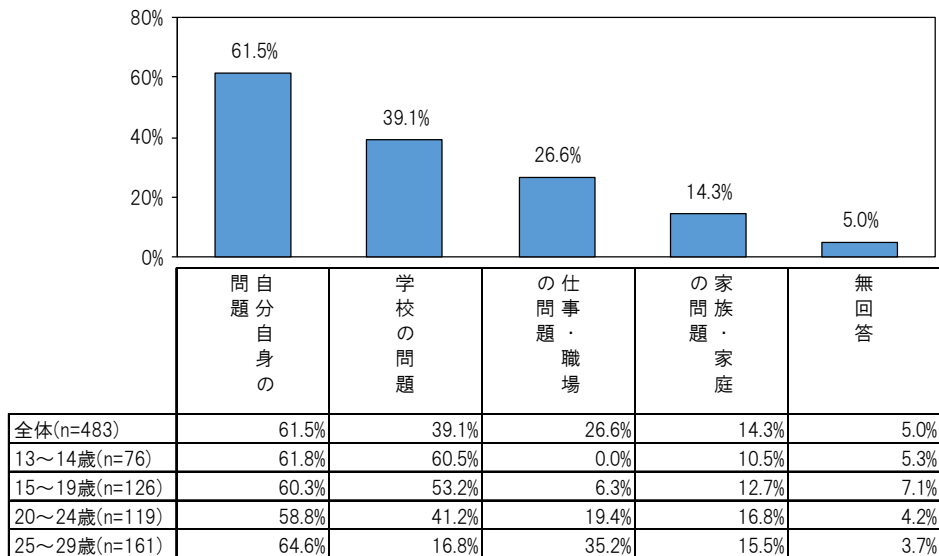


Q 6 Q 4 の問題を経験した事柄の中で、特に影響が強かったと思うことは何ですか。【2 つまで】

問題を経験した事柄の中で、特に影響が強かったと思うことについて、全体では、「自分自身の問題」(61.5%) が最も高く、次いで「学校の問題」(39.1%)、「仕事・職場の問題」(26.6%) となっている。

年齢別にみると、「学校の問題」は「13～14 歳」(60.5%) が他の年齢と比べ最も高くなっており、年齢が若いほど高くなる傾向がみられる。「仕事・職場の問題」は「25～29 歳」(35.2%) が他の年齢と比べ最も高くなっており、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

内閣府調査と比較すると、「学校の問題」は 9.5 ポイント高くなっている。一方、「家族・家庭の問題」は 12.6 ポイント低くなっている。

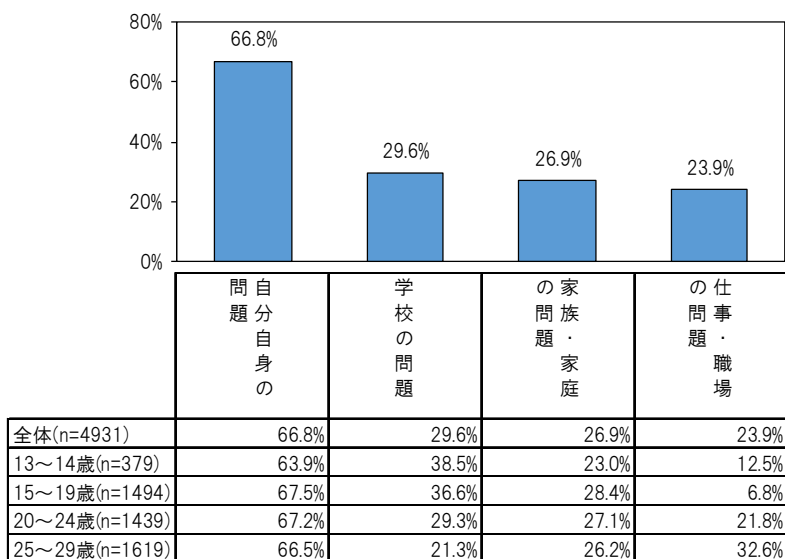


※ Q 4 で「1 あった」若しくは「2 どちらかといえばあった」との回答者のみ回答

※ 「仕事・職場の問題」のみ就労経験がある人を母数として割合を算出

(全体：n=297, 13～14 歳：n=2, 15～19 歳：n=32, 20～24 歳：n=103, 25～29 歳：n=159)

<内閣府調査(令和元年度)>



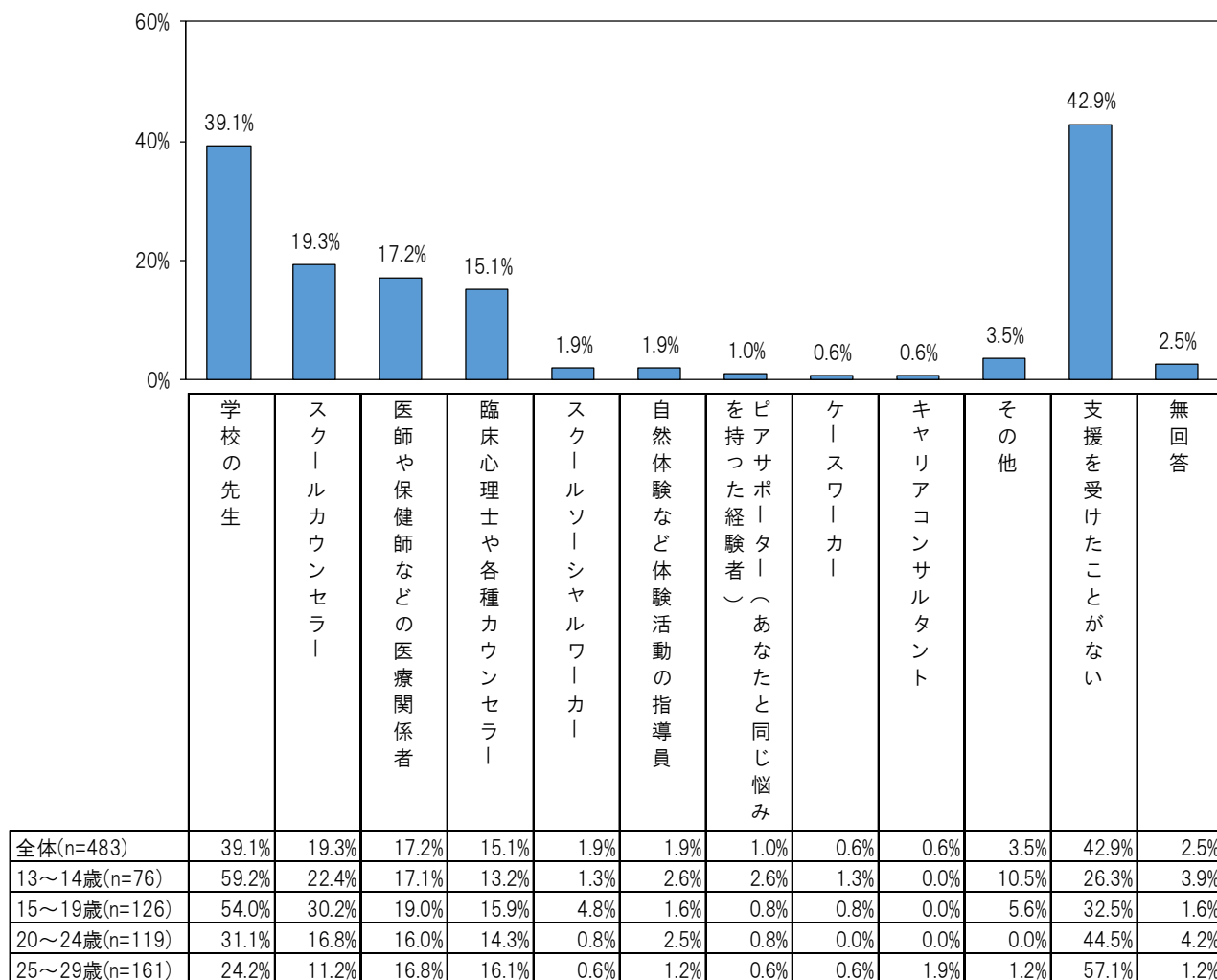
※ 「仕事・職場の問題」のみ就労経験ありの人に表示させているため、就労経験がある人を母数として割合を算出
(全体：n=3383, 13～14 歳：n=16, 15～19 歳：n=631, 20～24 歳：n=1202, 25～29 歳：n=1534)

(3) 受けたことのある支援

Q7 あなたは今まで次のような人たちから支援を受けたことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。【いくつでも】

支援を受けたことがある人について、全体では、「支援を受けたことがない」(42.9%)が最も高く、次いで「学校の先生」(39.1%)、「スクールカウンセラー」(19.3%)となっている。

年齢別にみると、「学校の先生」は「13～14歳」(59.2%)が他の年齢と比べ最も高くなっており、年齢が若いほど高くなる傾向がみられる。



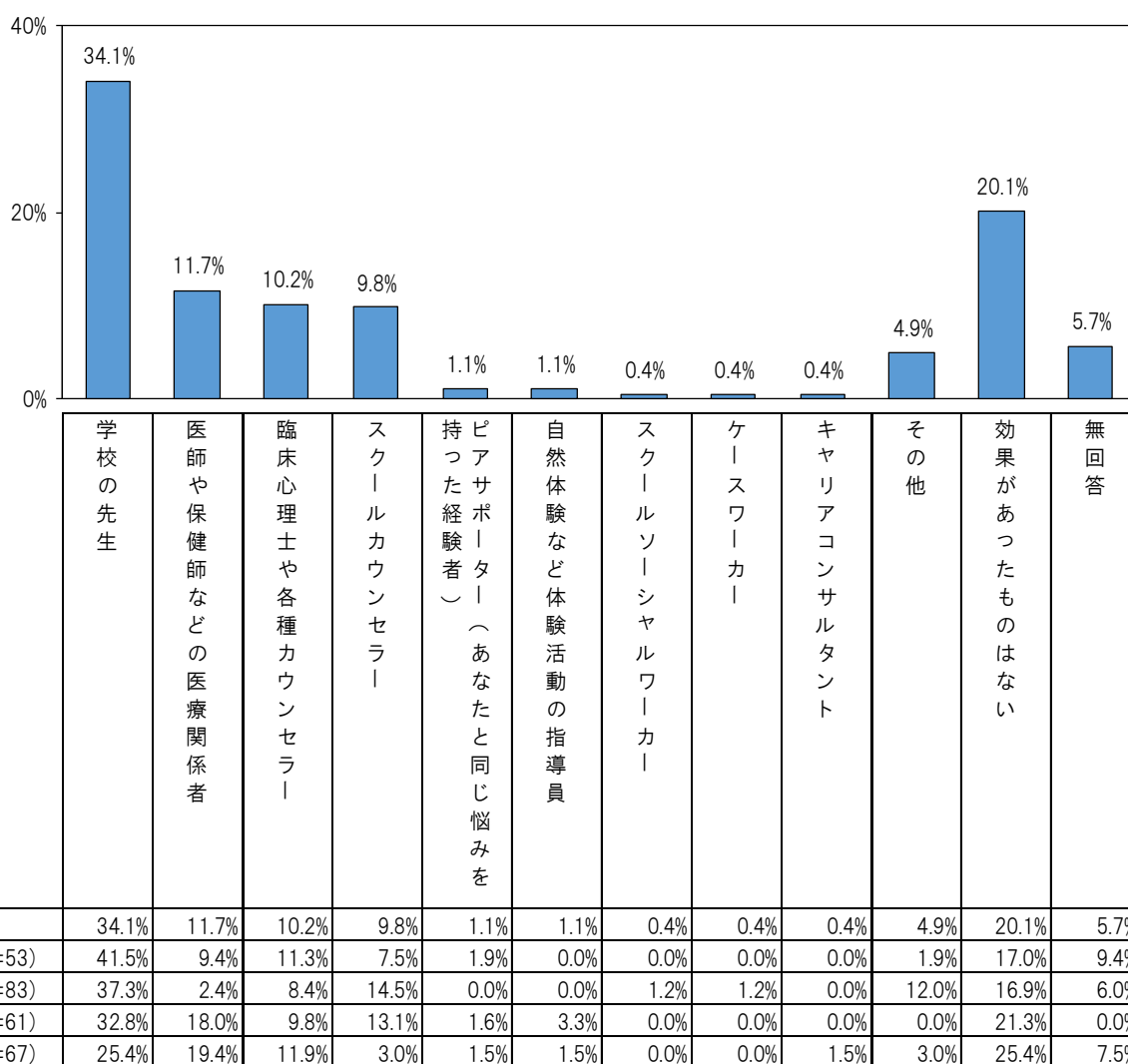
※Q4で「1 あった」若しくは「2 どちらかといえばあった」との回答者のみ回答

Q8 Q7で「1 スクールカウンセラー」～「10 その他」のいずれかを回答した方にお伺いします。
Q7の中で最も役に立ったと思うものを1つ選んでください。【ひとつだけ】

支援を受けて役に立ったと思う人について、全体では、「学校の先生」(34.1%)が最も高く、次いで「効果があつたものはない」(20.1%)、「医師や保健師などの医療関係者」(11.7%)となっている。

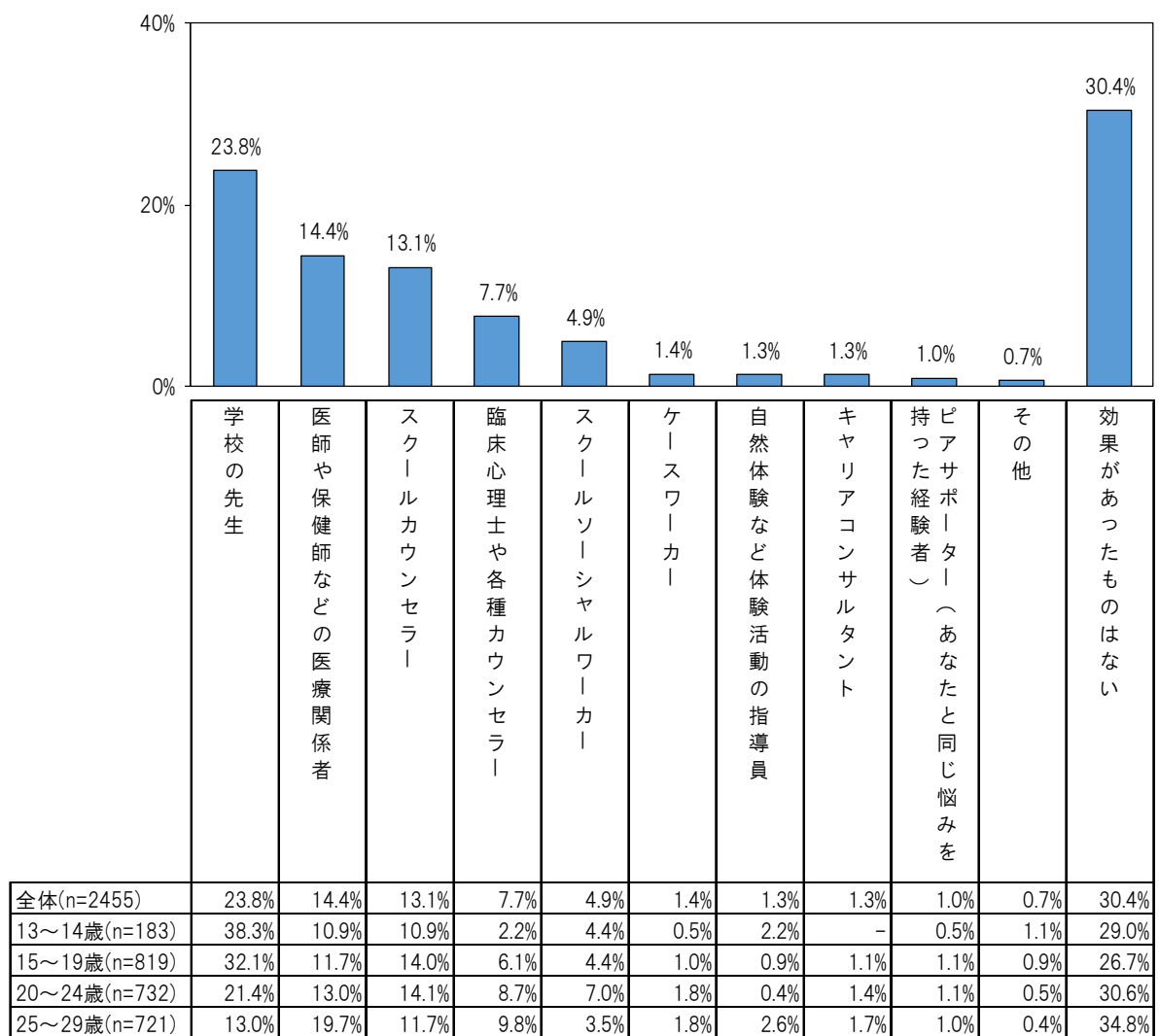
年齢別にみると、「学校の先生」は「13～14歳」(41.5%)が他の年齢と比べ最も高くなっており、年齢が若いほど高くなる傾向がみられる。「医師や保健師などの医療関係者」は「20～24歳」(18.0%)、「25～29歳」(19.4%)が他の年齢と比べ高くなっている。

内閣府調査と比較すると、「効果があつたものはない」は10.3ポイント低くなっており、「学校の先生」は10.3ポイント高くなっている。



※Q4で「1 あつた」若しくは「2 どちらかといえばあつた」、かつ、
Q7で「1 スクールカウンセラー」～「10 その他」との回答者のみ回答

<内閣府調査(令和元年度)>



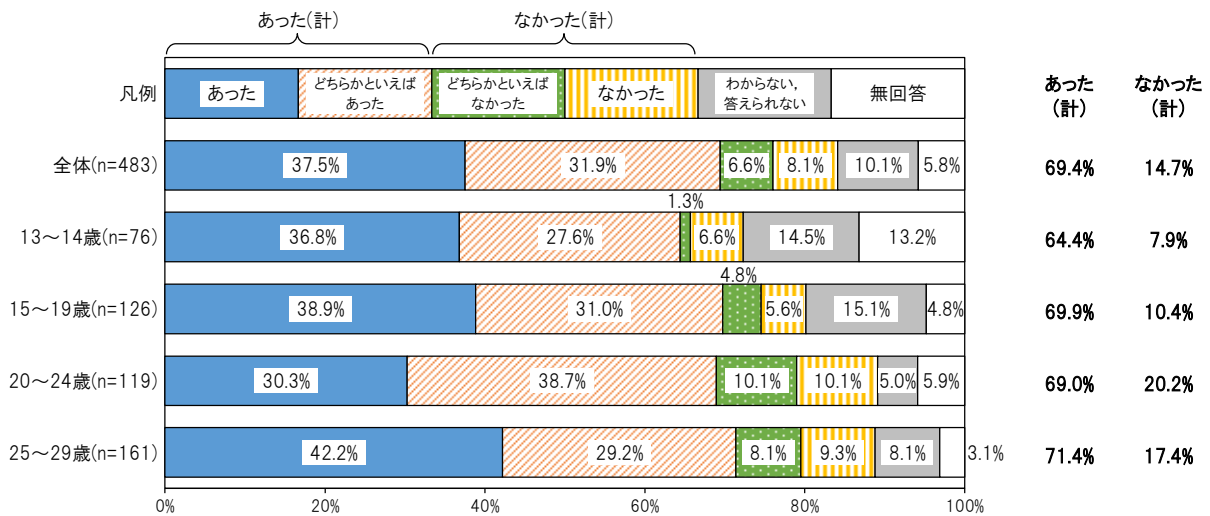
(4) 円滑に送ることができていなかった状態が改善した経験

Q9 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった状態が改善した経験があったと思いますか。最もあてはまるものを選んでください。【ひとつだけ】

社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった状態が改善した経験について、全体では、「あった」(37.5%)が最も高く、次いで「どちらかといえばあった」(31.9%)となっている。

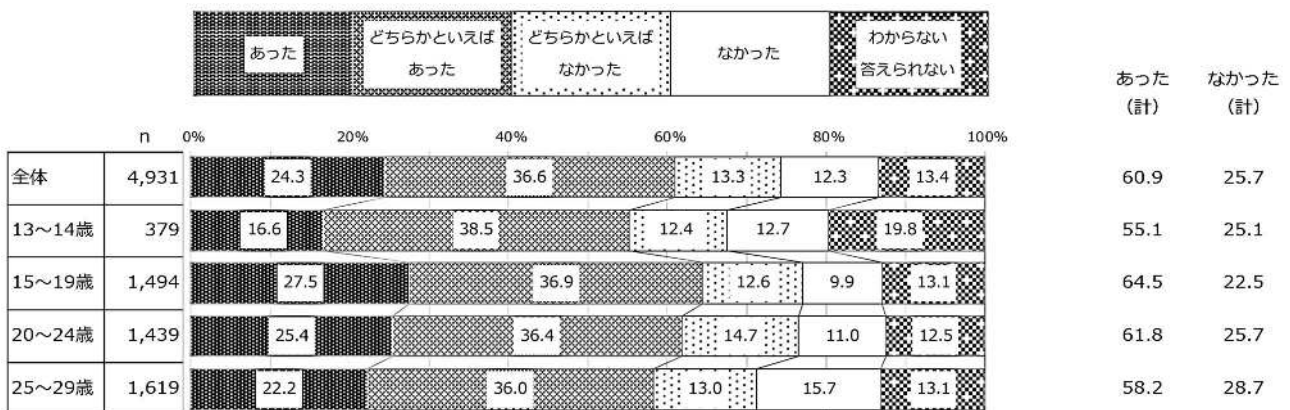
年齢別にみると、「あった(計)」は「25～29歳」(71.4%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「なかった(計)」は「20～24歳」(20.2%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。

内閣府調査と比較すると、「あった(計)」は8.5ポイント高くなっている。



※Q4で「1 あった」若しくは「2 どちらかといえばあった」との回答者のみ回答

<内閣府調査(令和元年度)>

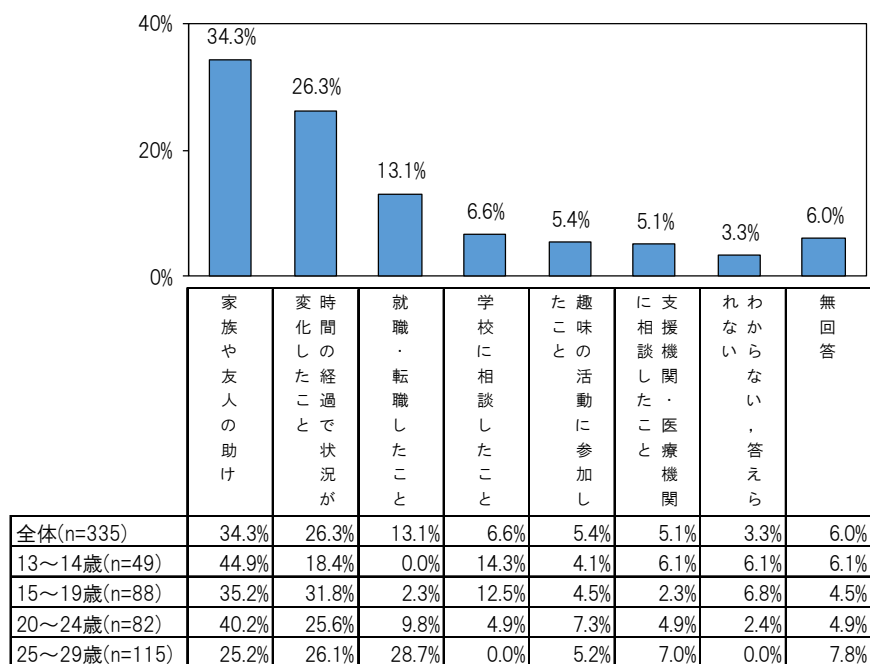


Q10 Q9で「1 あった」若しくは「2 どちらかといえばあった」と回答した方にお伺いします。
Q9のような改善した経験はどのようなことがきっかけだったと思いますか。最もあてはまるものを選んでください。【ひとつだけ】

改善したきっかけについて、全体では、「家族や友人の助け」(34.3%)が最も高く、次いで「時間の経過で状況が変化したこと」(26.3%)、「就職・転職したこと」(13.1%)となっている。

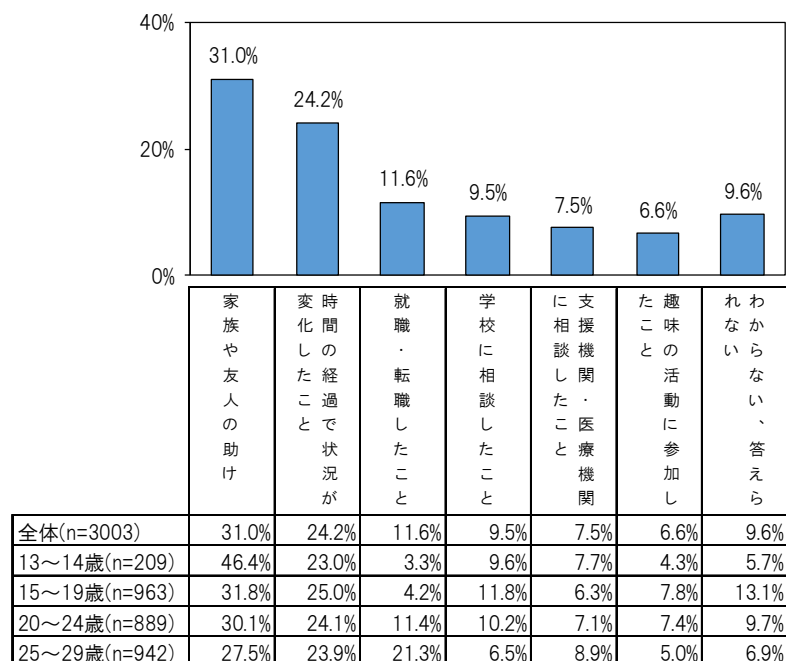
年齢別にみると、「家族や友人の助け」は「13～14歳」(44.9%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。「就職・転職したこと」は「25～29歳」(28.7%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。

内閣府調査と比較すると、どちらも「家族や友人の助け」が最も高くなっているが、今回調査は3.3ポイント高くなっている。



※Q4で「1 あった」若しくは「2 どちらかといえばあった」、かつ、
Q9で「1 あった」若しくは「2 どちらかといえばあった」との回答者のみ回答

<内閣府調査(令和元年度)>

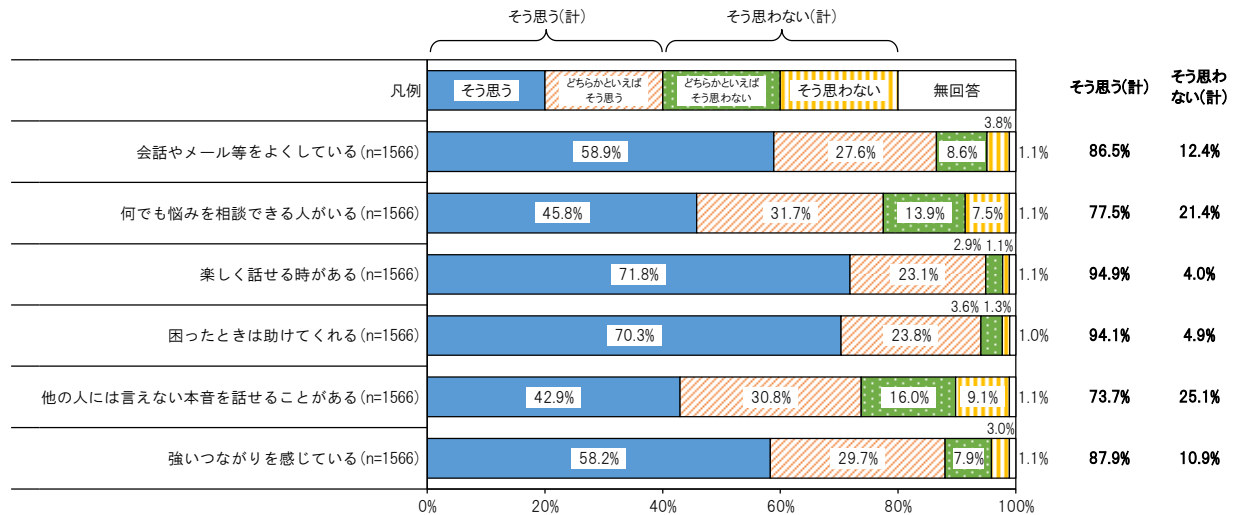


4 他者との関わり方

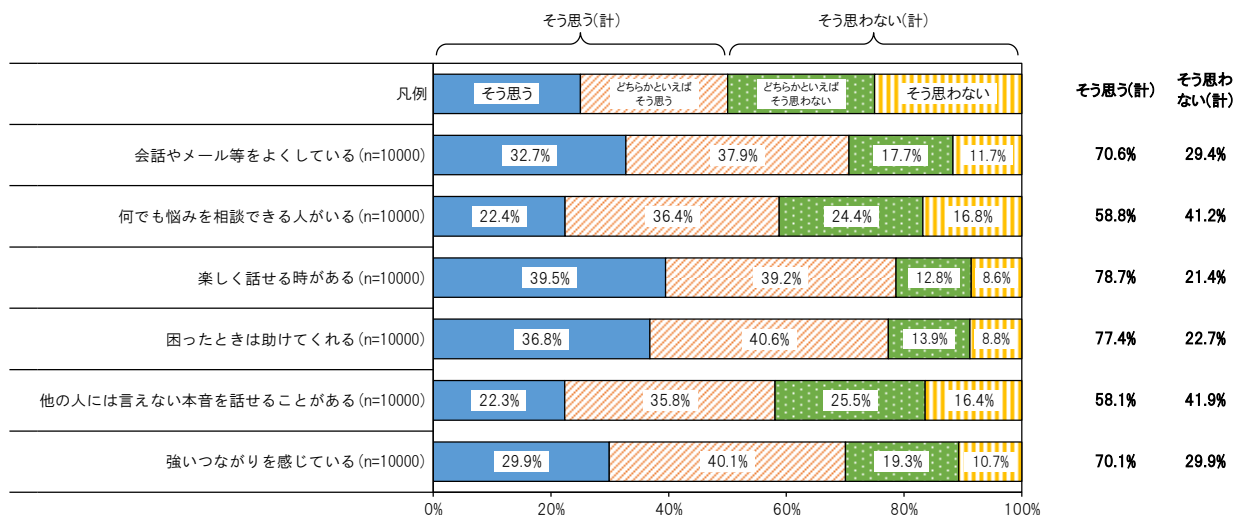
(1) 家族・親族との関わり方

Q11 家族・親族とあなたのかかわりはどのようなものですか。【それぞれひとつだけ】

家族・親族との関わり方として、「そう思う(計)」は、「楽しく話せる時がある」(94.9%)が最も高く、次いで「困ったときは助けてくれる」(94.1%)、「強いつながりを感じている」(87.9%)となっている。内閣府調査と比較すると、「そう思う」はすべての項目において20ポイント以上高くなっており、「困ったときは助けてくれる」は33.5ポイント高くなっている。



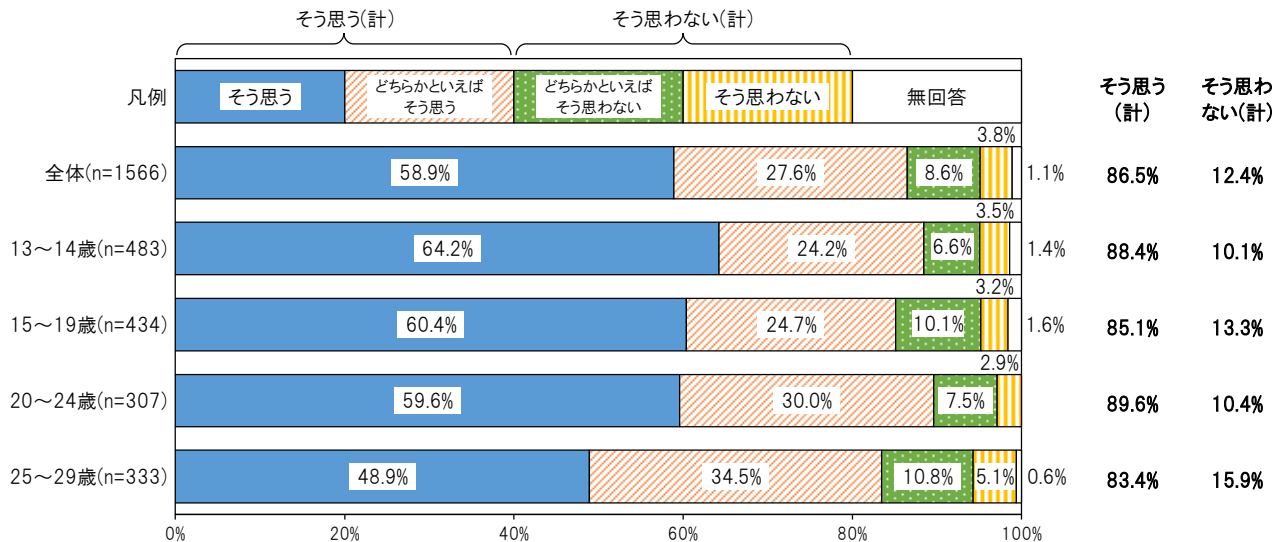
<内閣府調査(令和元年度)>



【会話やメール等をよくしている】

家族・親族との関わり方の【会話やメール等をよくしている】について、全体では、「そう思う」(58.9%)が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(27.6%)となっている。

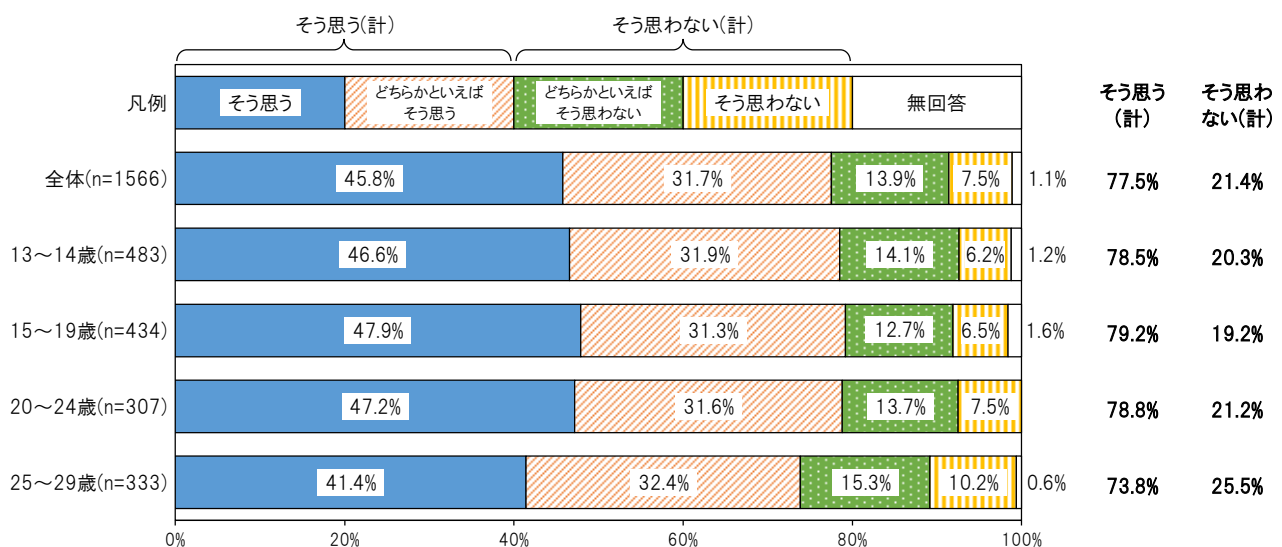
年齢別にみると、「そう思う」は年齢が若いほど高くなる傾向がみられる。「そう思う(計)」はいずれの年齢も8割を超えており、「20～24歳」(89.6%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【何でも悩みを相談できる人がいる】

家族・親族との関わり方の【何でも悩みを相談できる人がいる】について、全体では、「そう思う」(45.8%)が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(31.7%)となっている。

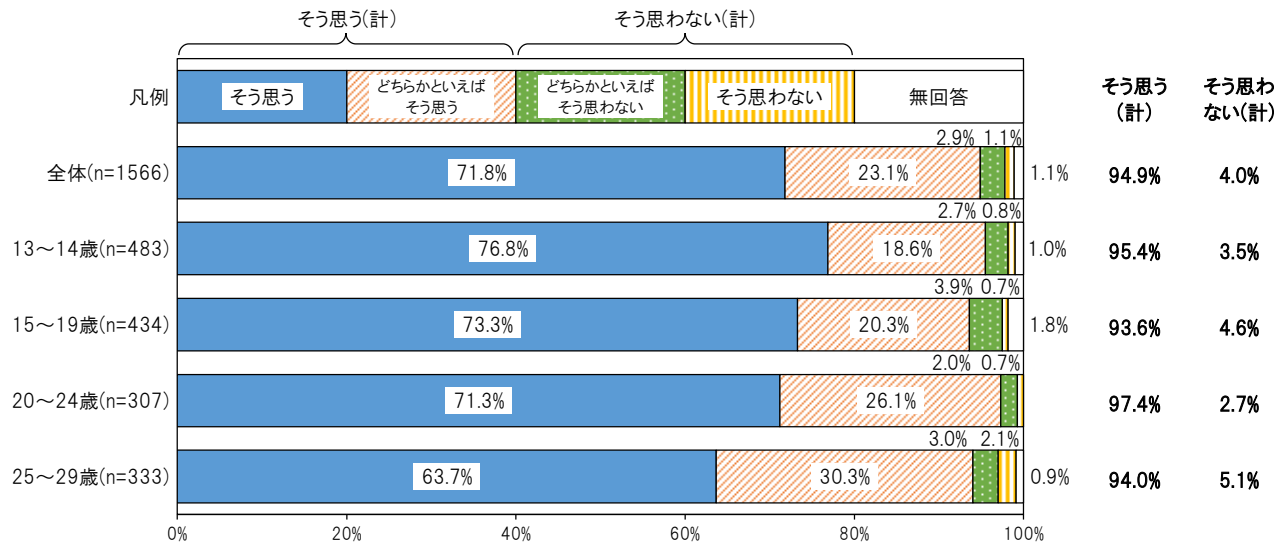
年齢別にみると、「そう思う(計)」は「15～19歳」(79.2%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「そう思わない(計)」は25.5%が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【楽しく話せる時がある】

家族・親族との関わり方の【楽しく話せる時がある】について、全体では、「そう思う」(71.8%)が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(23.1%)となっている。

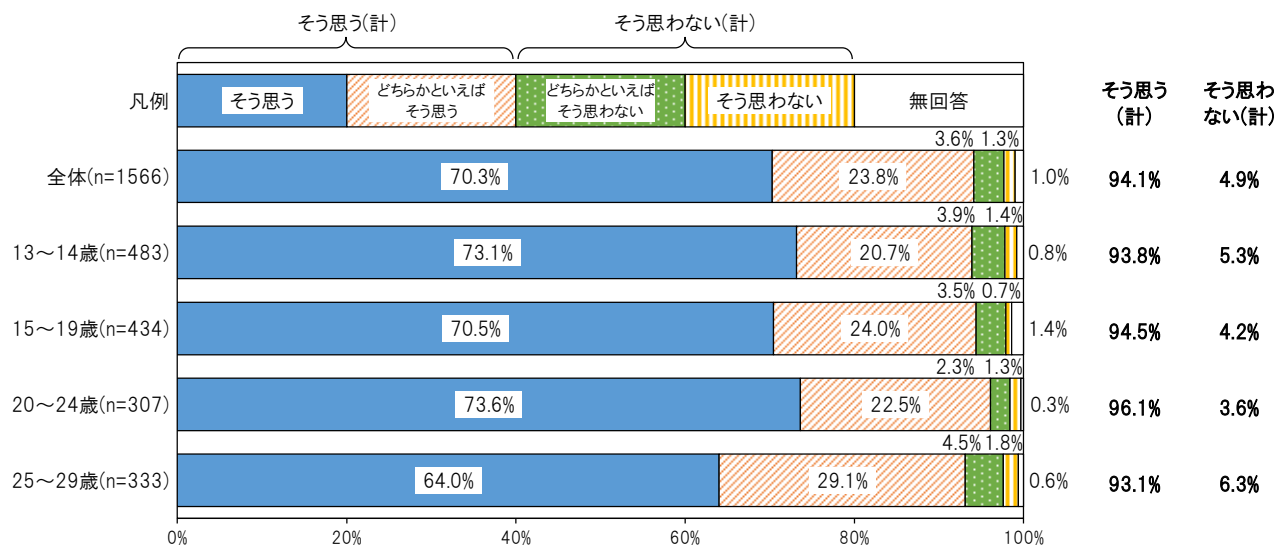
年齢別にみると、「そう思う」は年齢が若いほど高くなる傾向がみられる。「そう思う(計)」はいずれの年齢も9割を超えており、「20～24歳」(97.4%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【困ったときは助けてくれる】

家族・親族との関わり方の【困ったときは助けてくれる】について、全体では、「そう思う」(70.3%)が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(23.8%)となっている。

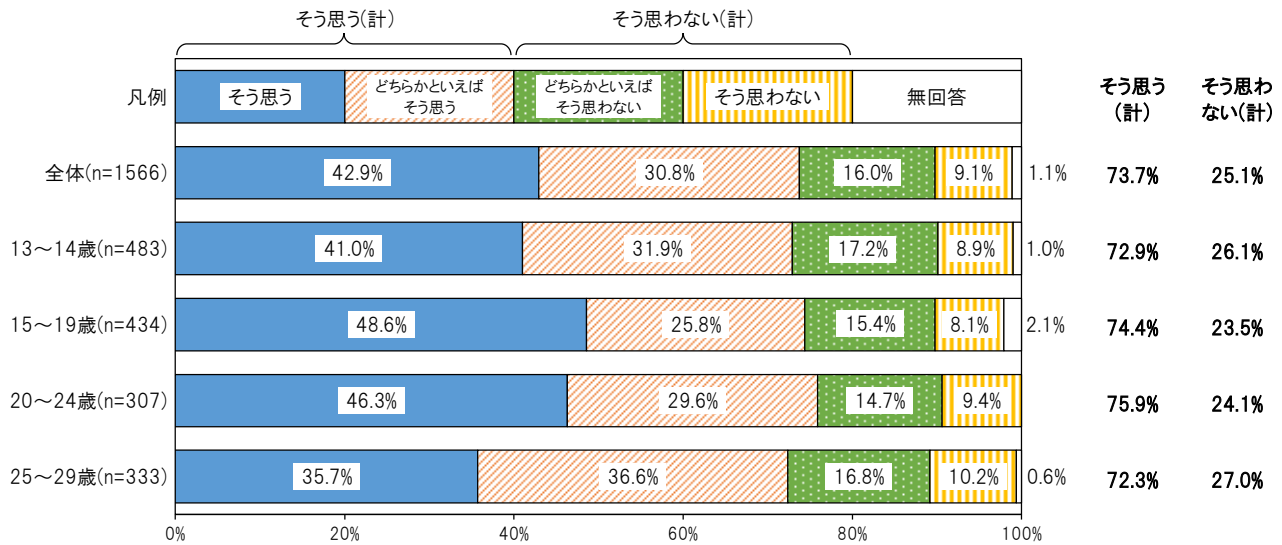
年齢別にみると、「そう思う(計)」はいずれの年齢も9割を超えており、「20～24歳」(96.1%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【他の人には言えない本音を話せることがある】

家族・親族との関わり方の【他の人には言えない本音を話せることがある】について、全体では、「そう思う」(42.9%)が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(30.8%)となっている。

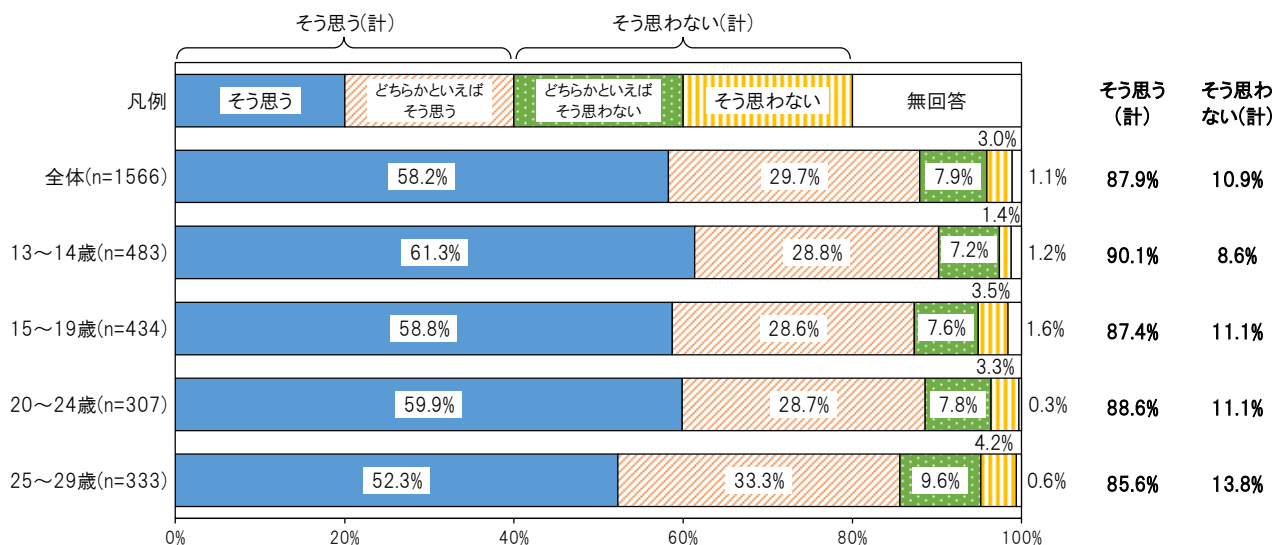
年齢別にみると、「そう思う(計)」は「20～24 歳」(75.9%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「そう思わない(計)」は「25～29 歳」(27.0%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【強いつながりを感じている】

家族・親族との関わり方の【強いつながりを感じている】について、全体では、「そう思う」(58.2%)が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(29.7%)となっている。

年齢別にみると、「そう思う(計)」は「13～14 歳」(90.1%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「そう思わない(計)」は「25～29 歳」(13.8%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



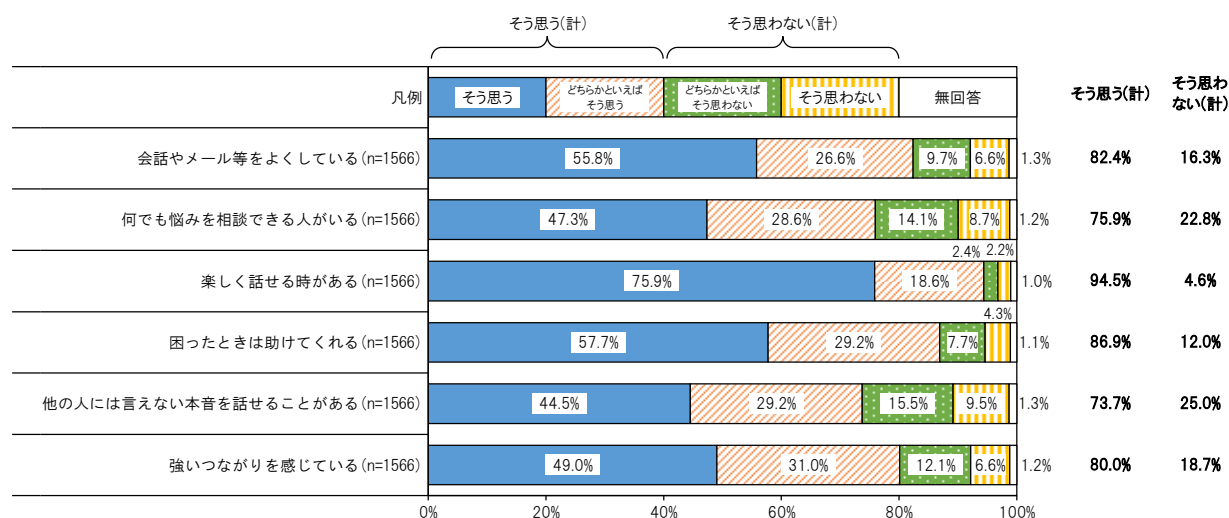
(2) 学校で出会った友人との関わり方

Q12 学校で出会った友人(※)とあなたのかかわりはどのようなものですか。【それぞれひとつだけ】

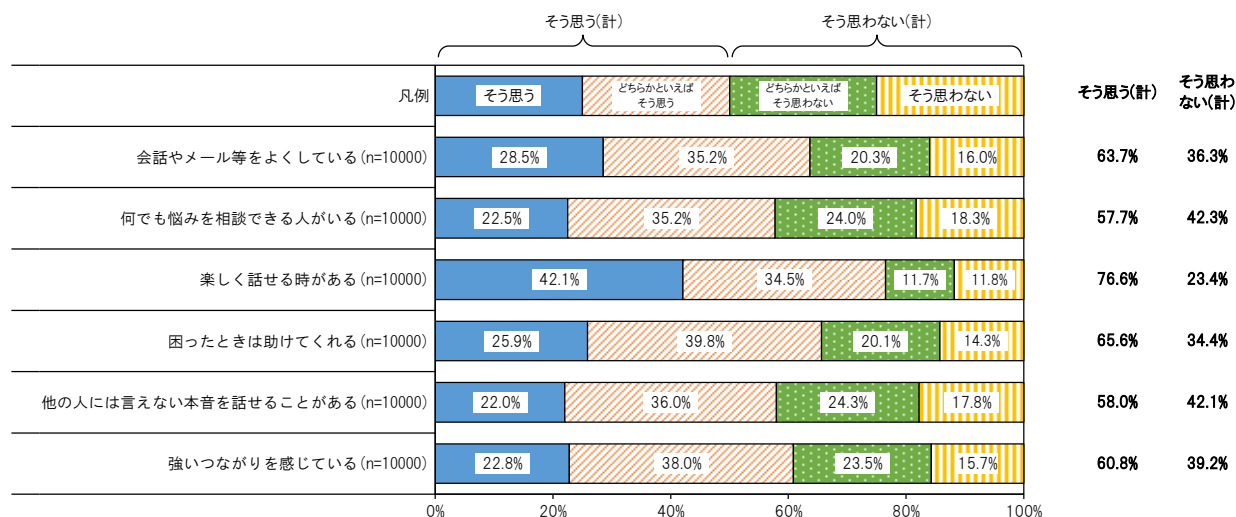
※ 現在通っている学校の友人、かつての同窓生など

学校で出会った友人との関わり方として、「そう思う(計)」は、「楽しく話せる時がある」(94.5%)が最も高く、次いで「困ったときは助けてくれる」(86.9%)、「会話やメール等をよくしている」(82.4%)となっている。

内閣府調査と比較すると、「そう思う」はすべての項目において20ポイント以上高くなっており、「楽しく話せる時がある」は33.8ポイント高くなっている。



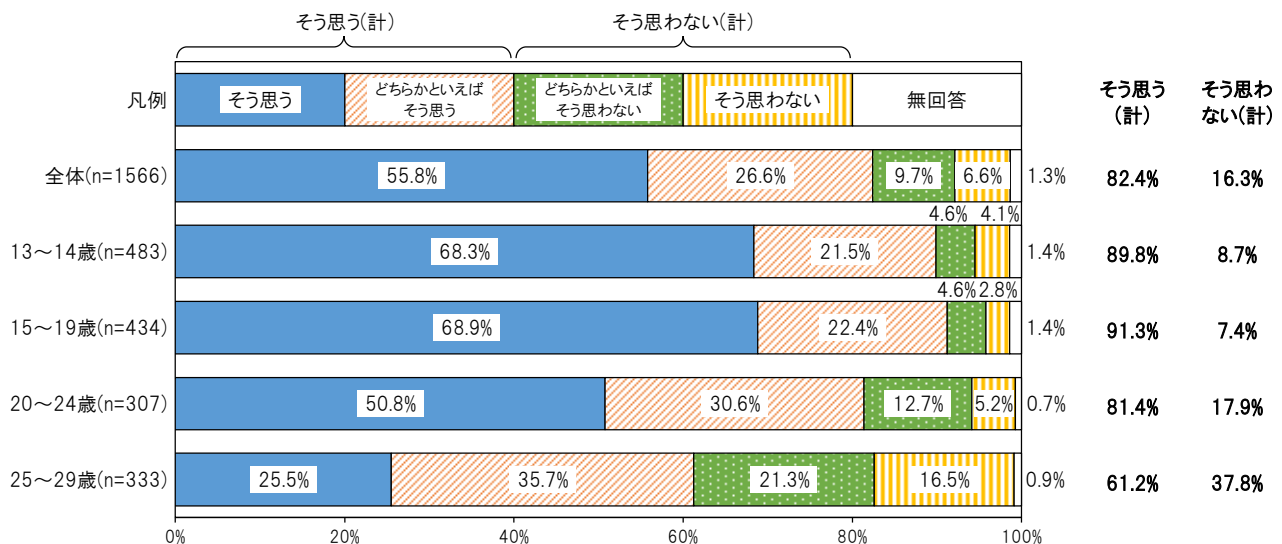
<内閣府調査(令和元年度)>



【会話やメール等をよくしている】

学校で出会った友人との関わり方の【会話やメール等をよくしている】について、全体では、「そう思う」(55.8%)が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(26.6%)となっている。

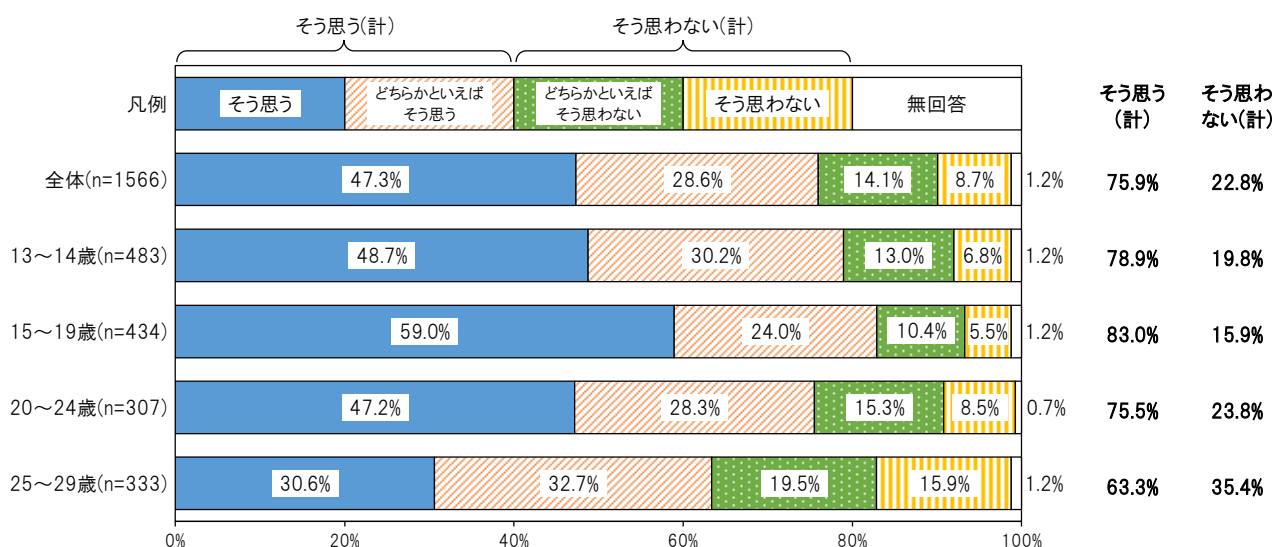
年齢別にみると、「そう思う(計)」は「13～14歳」(89.8%)、「15～19歳」(91.3%)が他の年齢と比べ高くなっている。一方、「そう思わない(計)」は「25～29歳」(37.8%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【何でも悩みを相談できる人がある】

学校で出会った友人との関わり方の【何でも悩みを相談できる人がある】について、全体では、「そう思う」(47.3%)が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(28.6%)となっている。

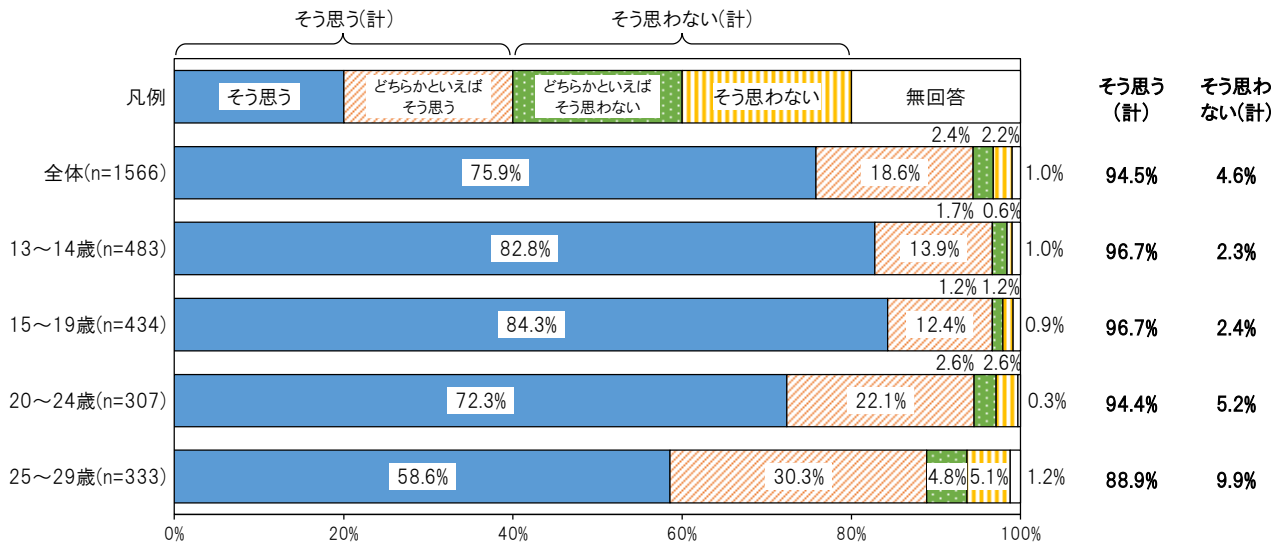
年齢別にみると、「そう思う」は「15～19歳」(59.0%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「そう思わない(計)」は「25～29歳」(35.4%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【楽しく話せる時がある】

学校で出会った友人との関わり方の【楽しく話せる時がある】について、全体では、「そう思う」(75.9%)が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(18.6%)となっている。

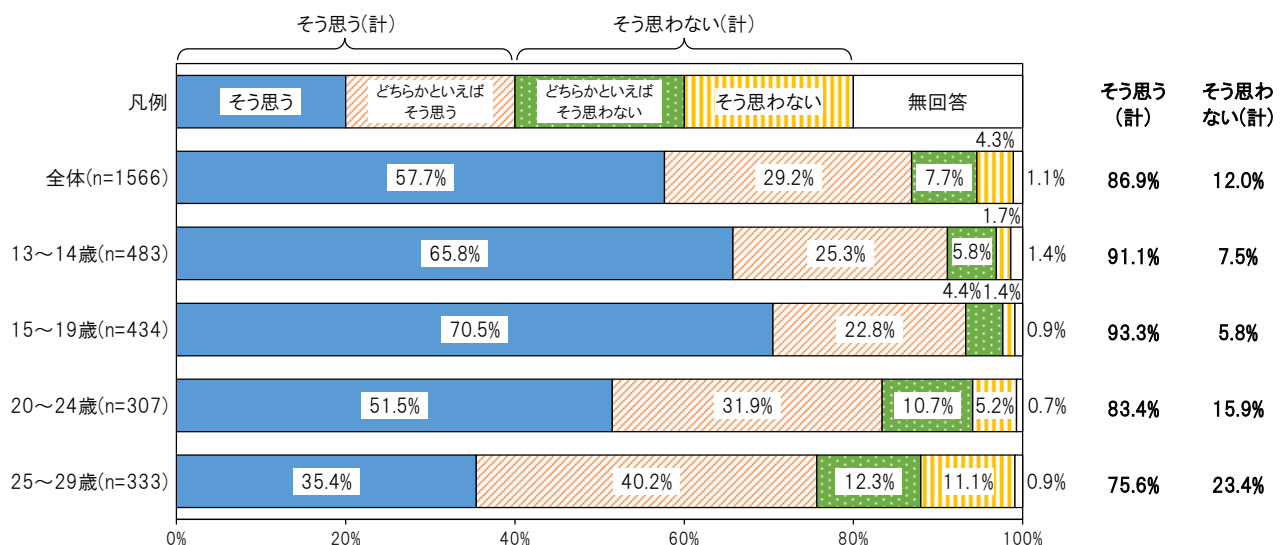
年齢別にみると、「そう思う」は「13～14歳」(82.8%),「15～19歳」(84.3%)が他の年齢と比べ高くなっている。



【困ったときは助けてくれる】

学校で出会った友人との関わり方の【困ったときは助けてくれる】について、全体では、「そう思う」(57.7%)が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(29.2%)となっている。

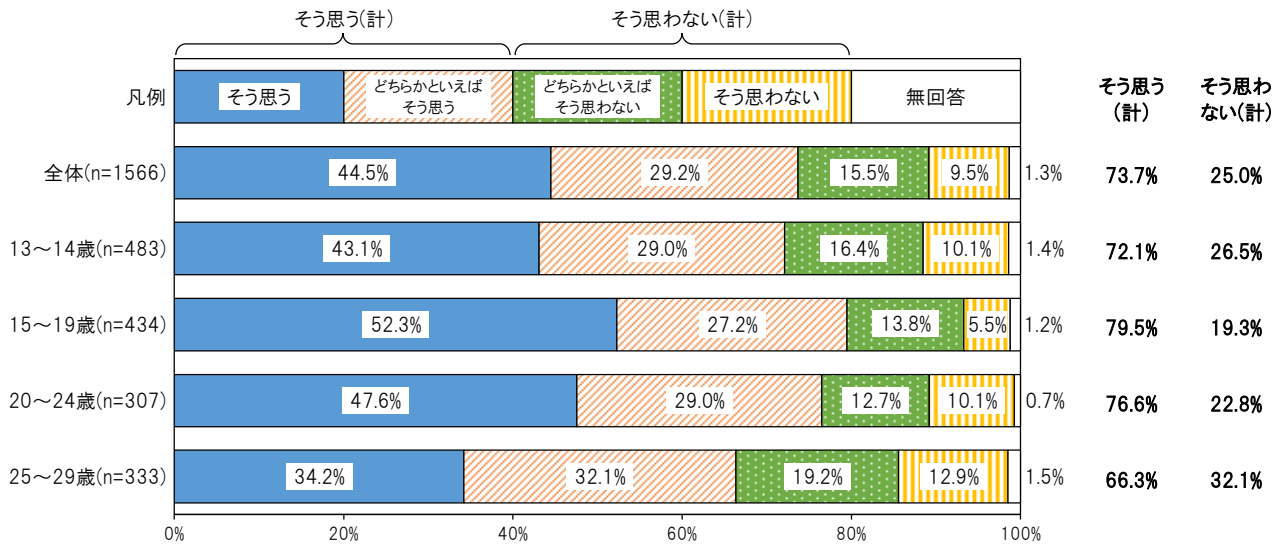
年齢別にみると、「そう思う」は「13～14歳」(65.8%),「15～19歳」(70.5%)が他の年齢と比べ高くなっている。一方、「そう思わない(計)」は「25～29歳」(23.4%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【他の人には言えない本音を話せることがある】

学校で出会った友人との関わり方の【他の人には言えない本音を話せることがある】について、全体では、「そう思う」(44.5%)が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(29.2%)となっている。

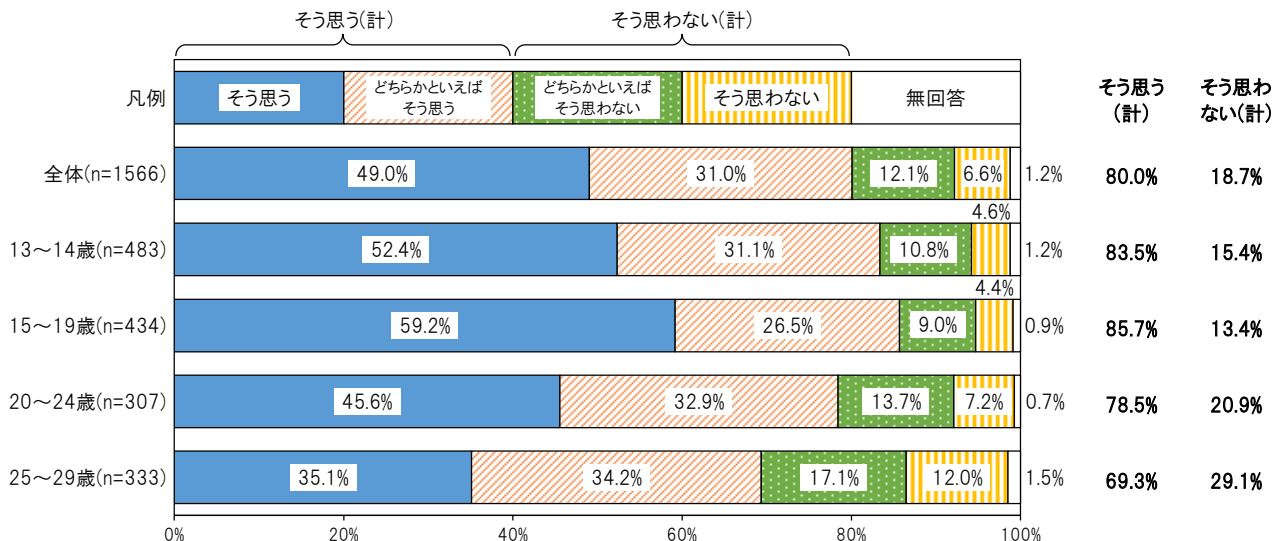
年齢別にみると、「そう思う(計)」は「15～19歳」(79.5%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「そう思わない(計)」は「25～29歳」(32.1%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【強いつながりを感じている】

学校で出会った友人との関わり方の【強いつながりを感じている】について、全体では、「そう思う」(49.0%)が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(31.0%)となっている。

年齢別にみると、「そう思う(計)」は「13～14歳」(83.5%)、「15～19歳」(85.7%)が他の年齢と比べ高くなっている。一方、「そう思わない(計)」は「25～29歳」(29.1%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。

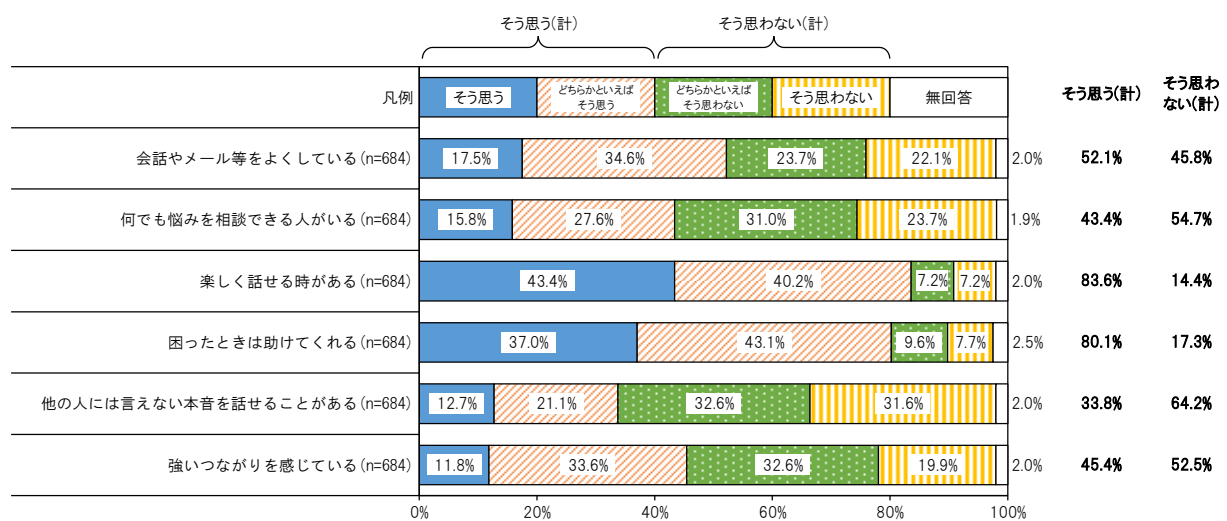


(3) 職場・アルバイト関係の人との関わり方

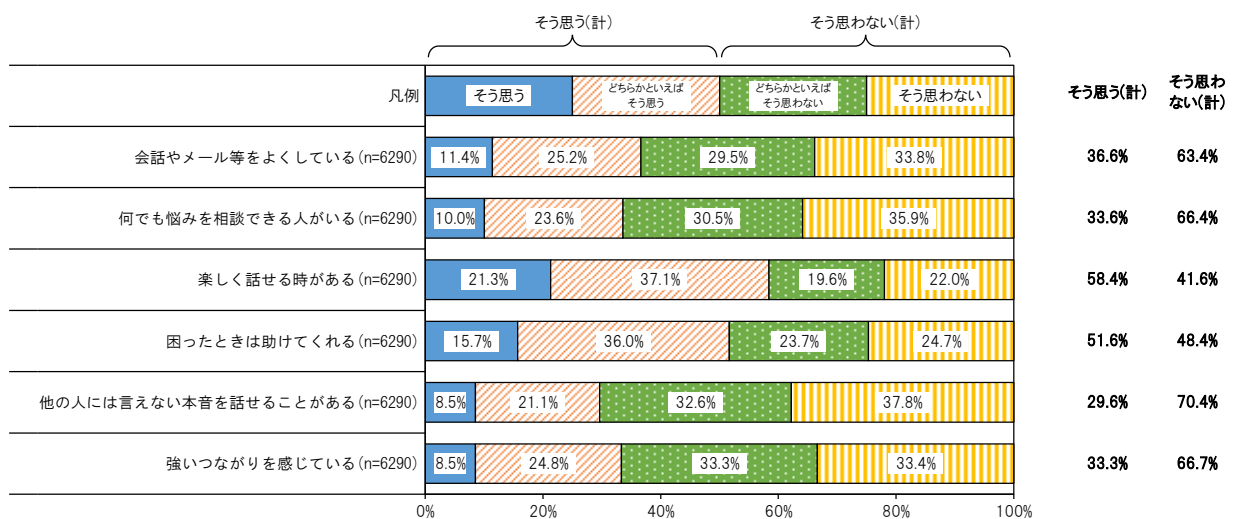
- Q13 職場・アルバイト関係の人(※)とあなたのかかわりはどのようなものですか。【それぞれひとつだけ】
 ※ 現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など
 ◆ F4で「1 現在、就業している」若しくは「2 現在は就業していないが、過去に就業経験がある」と答えた方のみお答えください。

職場・アルバイト関係の人との関わり方として、「そう思う(計)」は、「楽しく話せる時がある」(83.6%)が最も高く、次いで「困ったときは助けてくれる」(80.1%)、「会話やメール等をよくしている」(52.1%)となっている。

内閣府調査と比較すると、「そう思う」はすべての項目において高くなっており、「楽しく話せる時がある」は22.1ポイント、「困ったときは助けてくれる」は21.3ポイント高くなっている。



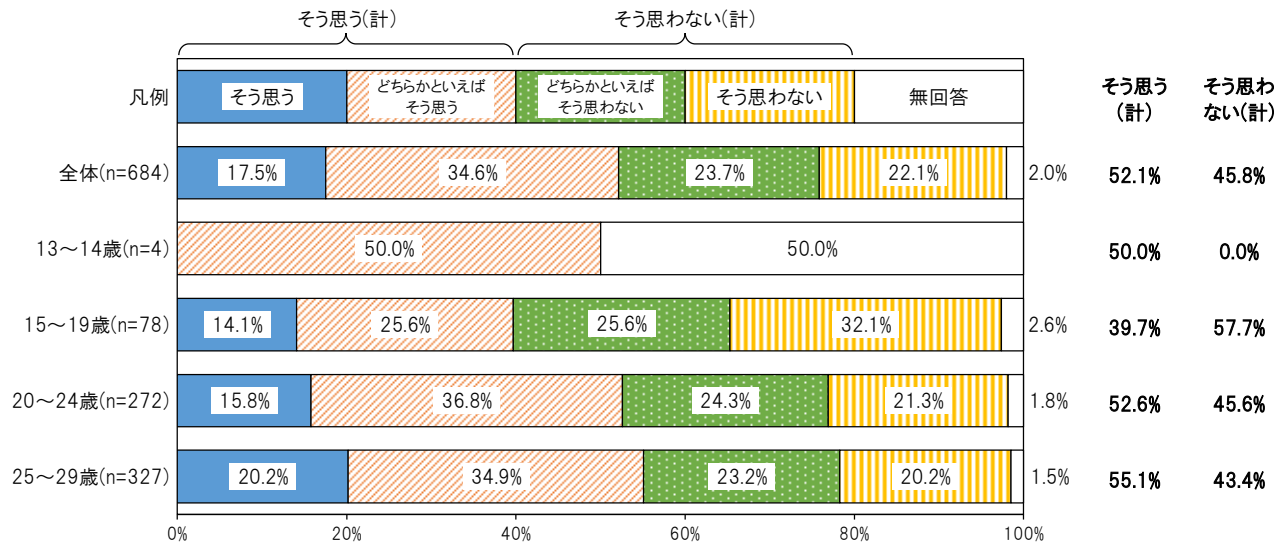
<内閣府調査(令和元年度)>



【会話やメール等をよくしている】

職場・アルバイト関係の人との関わり方の【会話やメール等をよくしている】について、全体では、「どちらかといえばそう思う」(34.6%) が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」(23.7%) となっている。

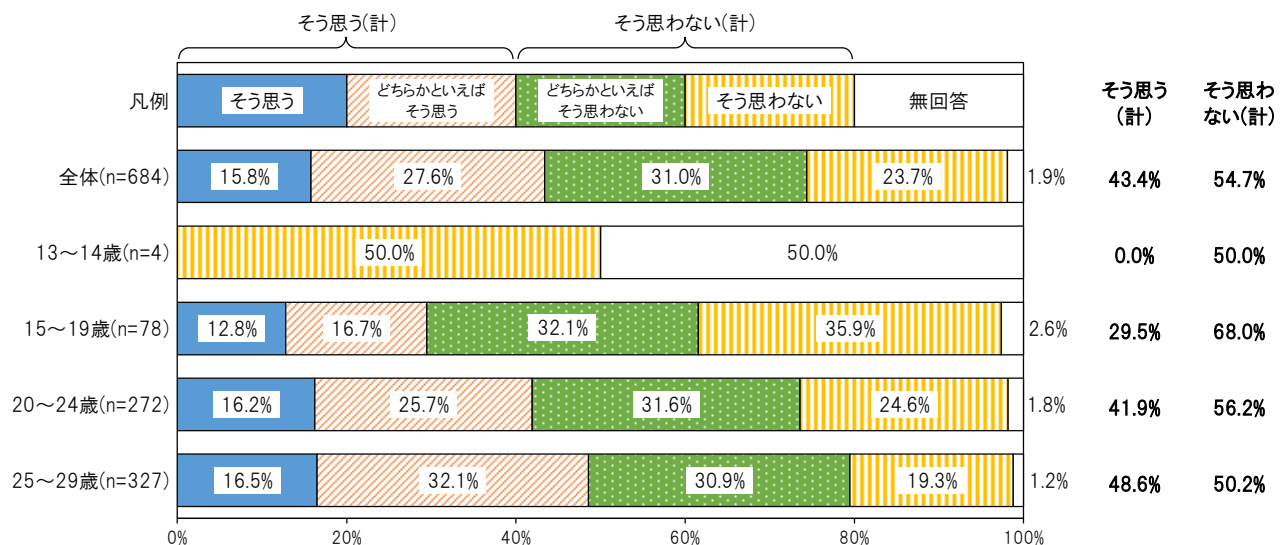
年齢別にみると、「そう思う(計)」は「25～29歳」(55.1%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【何でも悩みを相談できる人がいる】

職場・アルバイト関係の人との関わり方の【何でも悩みを相談できる人がいる】について、全体では、「どちらかといえばそう思わない」(31.0%) が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(27.6%) となっている。

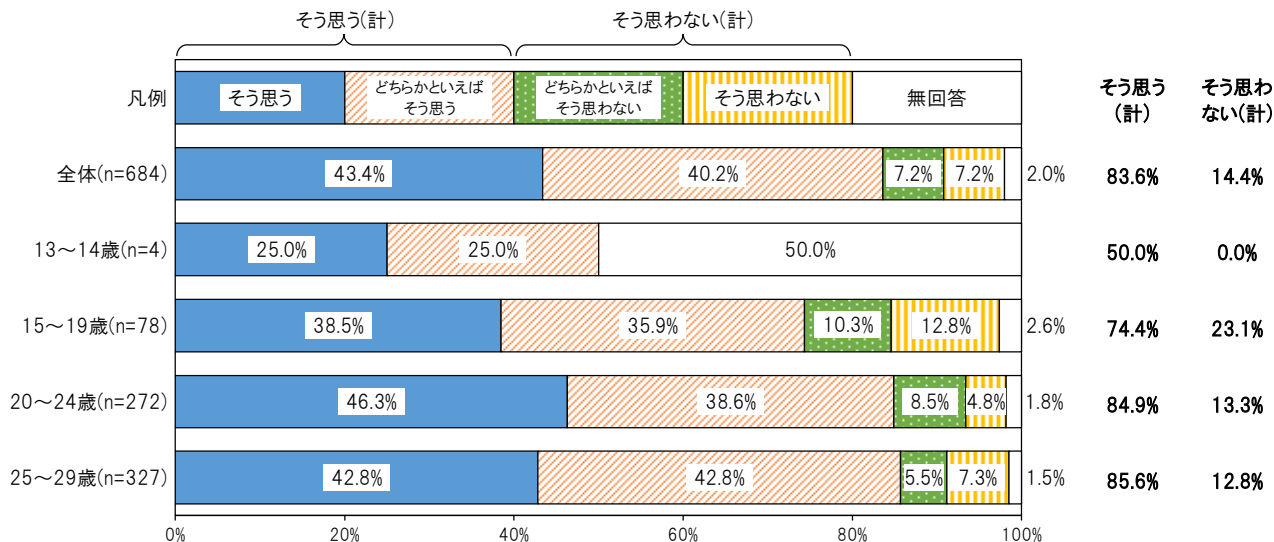
年齢別にみると、「そう思う(計)」は「25～29歳」(48.6%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【楽しく話せる時がある】

職場・アルバイト関係の人との関わり方の【楽しく話せる時がある】について、全体では、「そう思う」(43.4%) が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(40.2%) となっている。

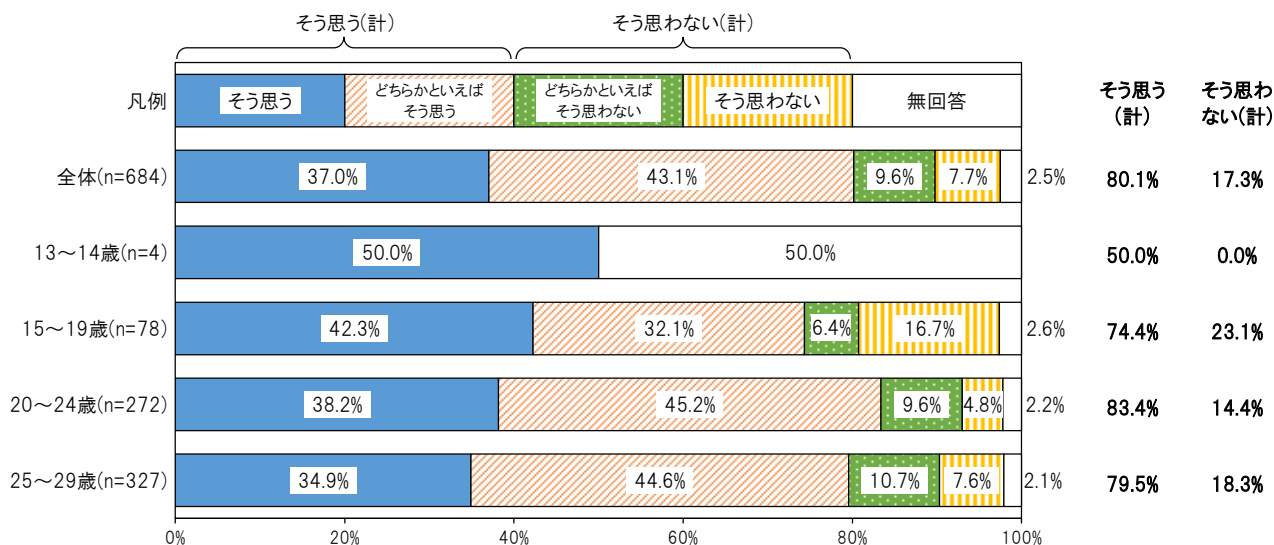
年齢別にみると、「そう思う(計)」は「25～29 歳」(85.6%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【困ったときは助けてくれる】

職場・アルバイト関係の人との関わり方の【困ったときは助けてくれる】について、全体では、「どちらかといえばそう思う」(43.1%) が最も高く、次いで「そう思う」(37.0%) となっている。

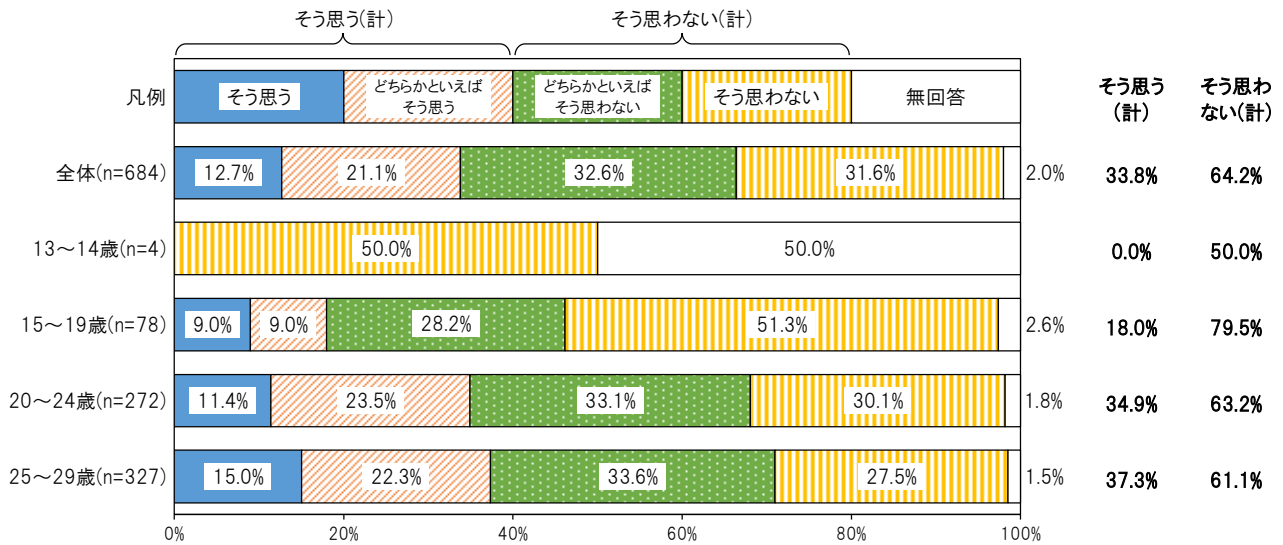
年齢別にみると、「そう思う(計)」は「20～24 歳」(83.4%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【他の人には言えない本音を話せることがある】

職場・アルバイト関係の人との関わり方の【他の人には言えない本音を話せることがある】について、全体では、「どちらかといえばそう思わない」(32.6%)が最も高く、次いで「そう思わない」(31.6%)となっている。

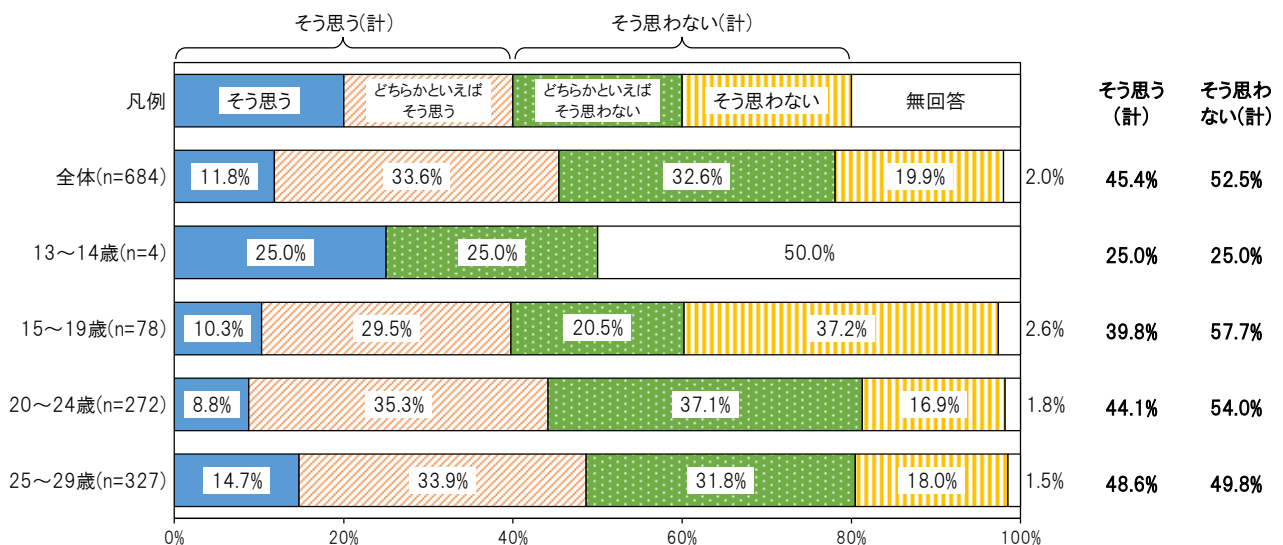
年齢別にみると、「そう思う(計)」は「25～29歳」(37.3%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【強いつながりを感じている】

職場・アルバイト関係の人との関わり方の【強いつながりを感じている】について、全体では、「どちらかといえばそう思う」(33.6%)が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」(32.6%)となっている。

年齢別にみると、「そう思う(計)」は「25～29歳」(48.6%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



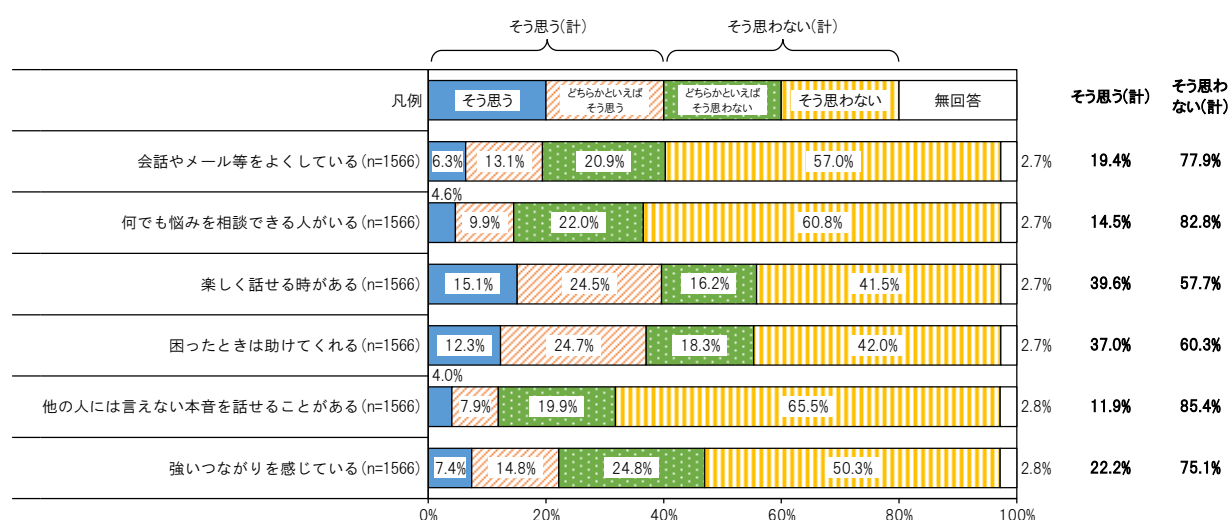
(4) 地域の人との関わり方

Q14 地域の人(※)とあなたのかかわりはどのようなものですか。【それぞれひとつだけ】

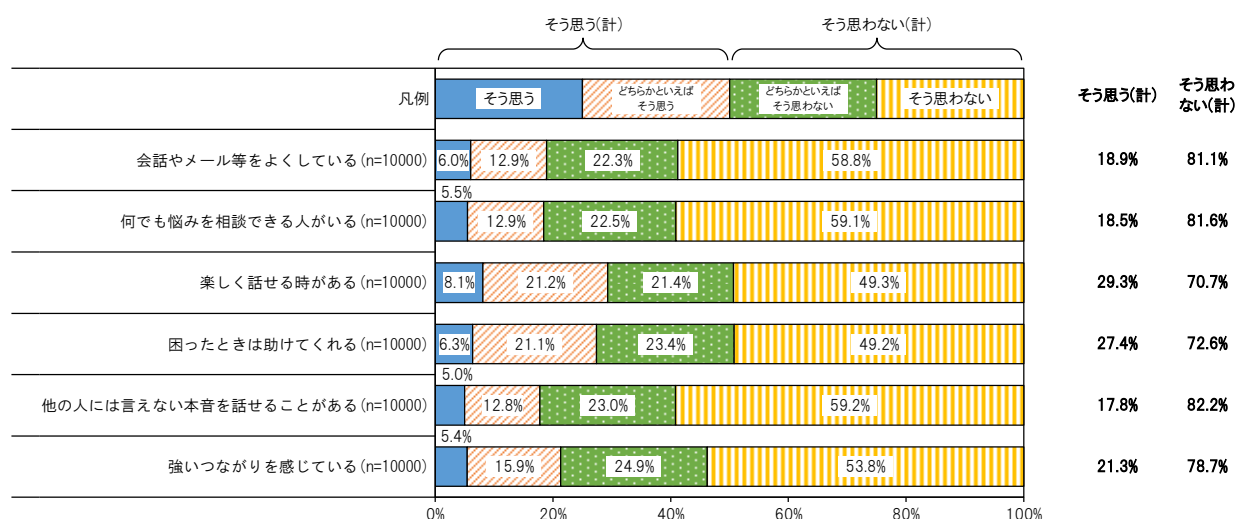
※ 近所の人、町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加しているNPO法人など

地域の人との関わり方として、「そう思う(計)」は、「楽しく話せる時がある」(39.6%)が最も高く、次いで「困ったときは助けてくれる」(37.0%)、「強いつながりを感じている」(22.2%)となっている。

内閣府調査と比較すると、「そう思う(計)」は「楽しく話せる時がある」は10.3ポイント、「困ったときは助けてくれる」は9.6ポイント高くなっている。



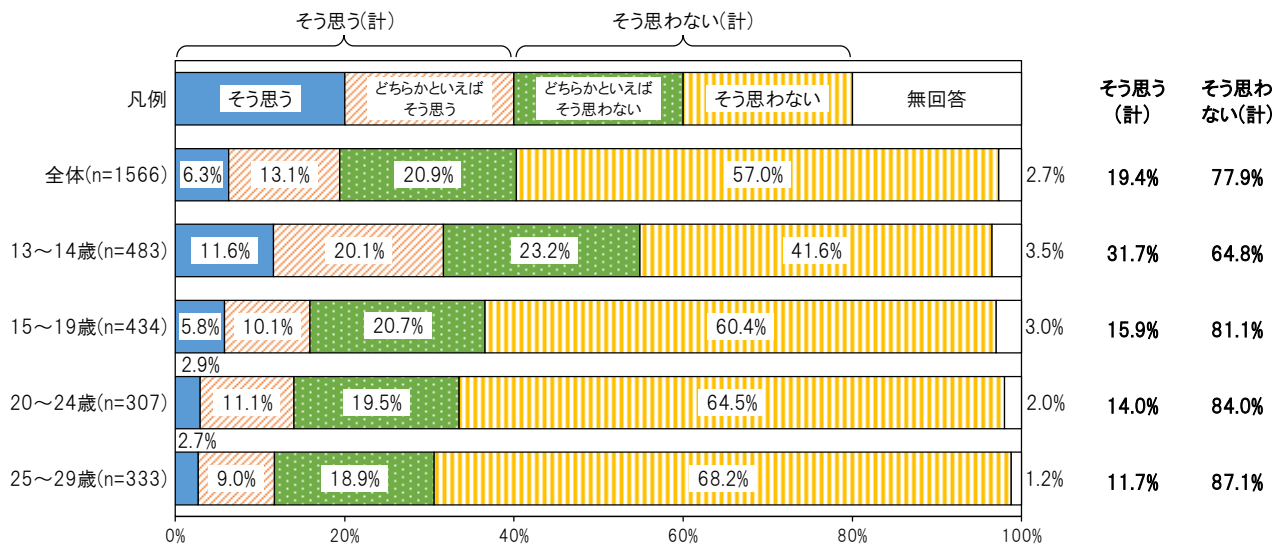
<内閣府調査(令和元年度)>



【会話やメール等をよくしている】

地域の人との関わり方の【会話やメール等をよくしている】について、全体では、「そう思わない」(57.0%) が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」(20.9%) となっている。

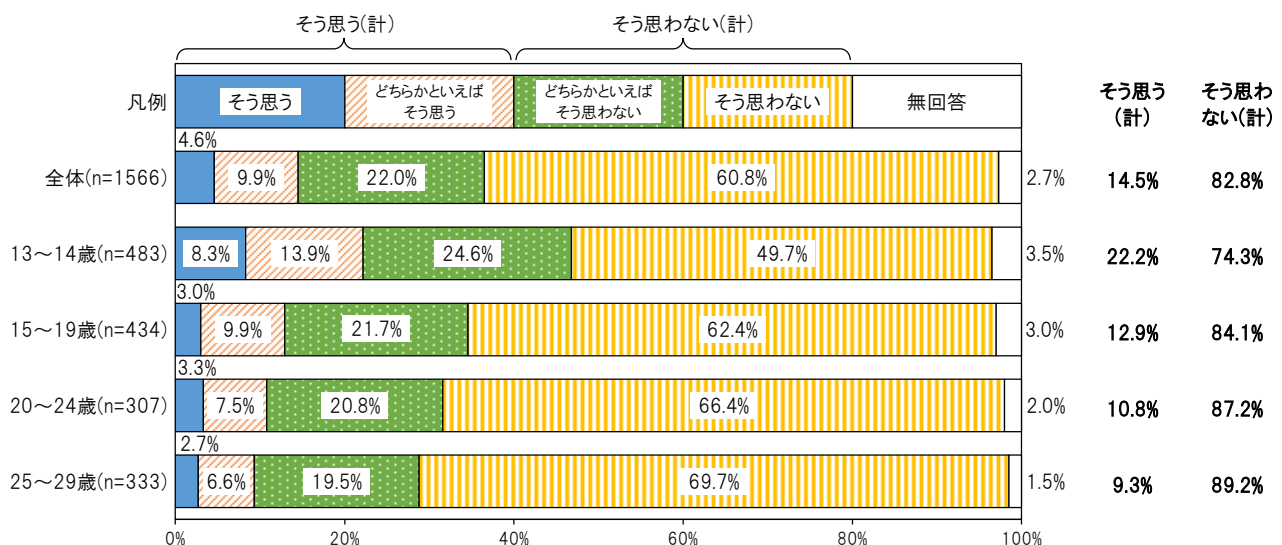
年齢別にみると、「そう思う(計)」は「13～14 歳」(31.7%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「そう思わない(計)」は「25～29 歳」(87.1%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【何でも悩みを相談できる人がある】

地域の人との関わり方の【何でも悩みを相談できる人がある】について、全体では、「そう思わない」(60.8%) が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」(22.0%) となっている。

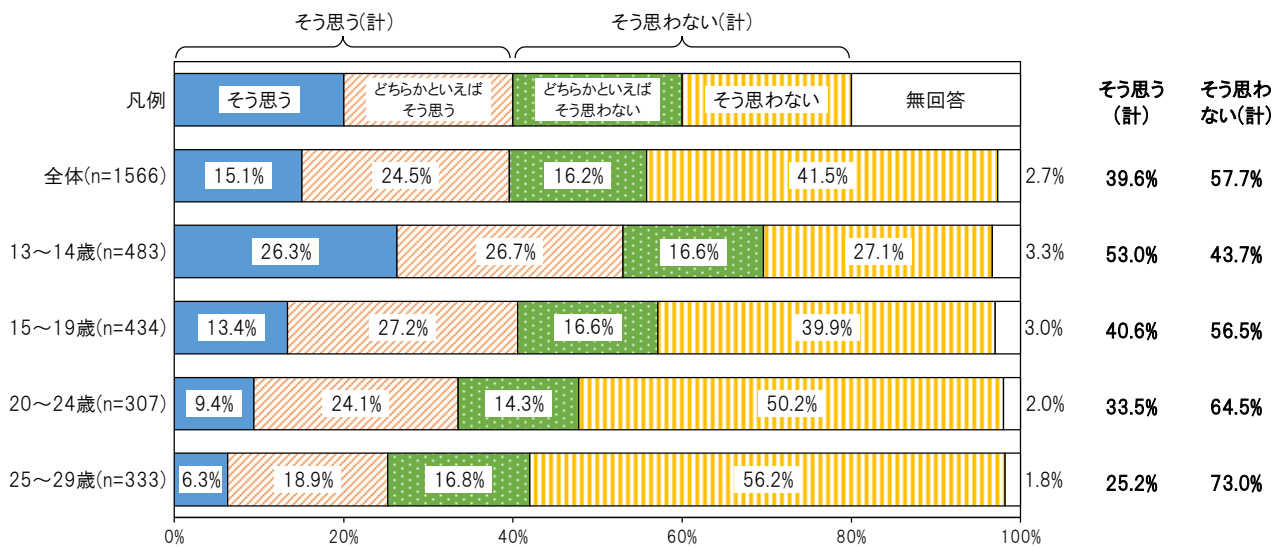
年齢別にみると、「そう思う(計)」は「13～14 歳」(22.2%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「そう思わない(計)」は「25～29 歳」(89.2%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【楽しく話せる時がある】

地域の人との関わり方の【楽しく話せる時がある】について、全体では、「そう思わない」(41.5%)が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(24.5%)となっている。

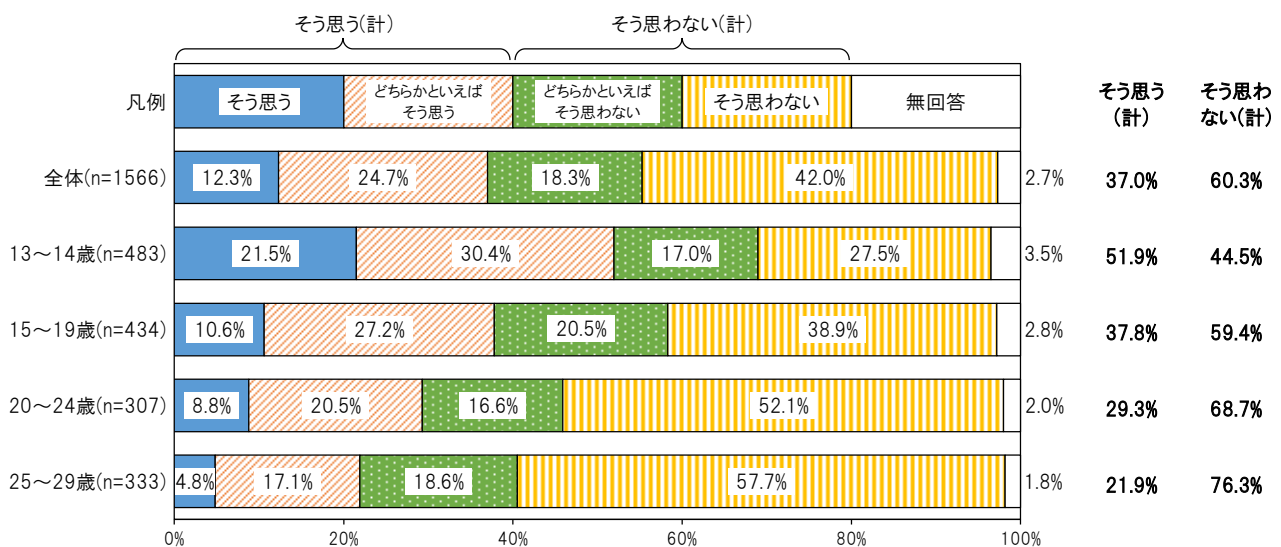
年齢別にみると、「そう思う(計)」は「13～14歳」(53.0%)が他の年齢と比べ最も高くなっており、年齢が若いほど高くなる傾向がみられる。一方、「そう思わない(計)」は「25～29歳」(73.0%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【困ったときは助けてくれる】

地域の人との関わり方の【困ったときは助けてくれる】について、全体では、「そう思わない」(42.0%)が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(24.7%)となっている。

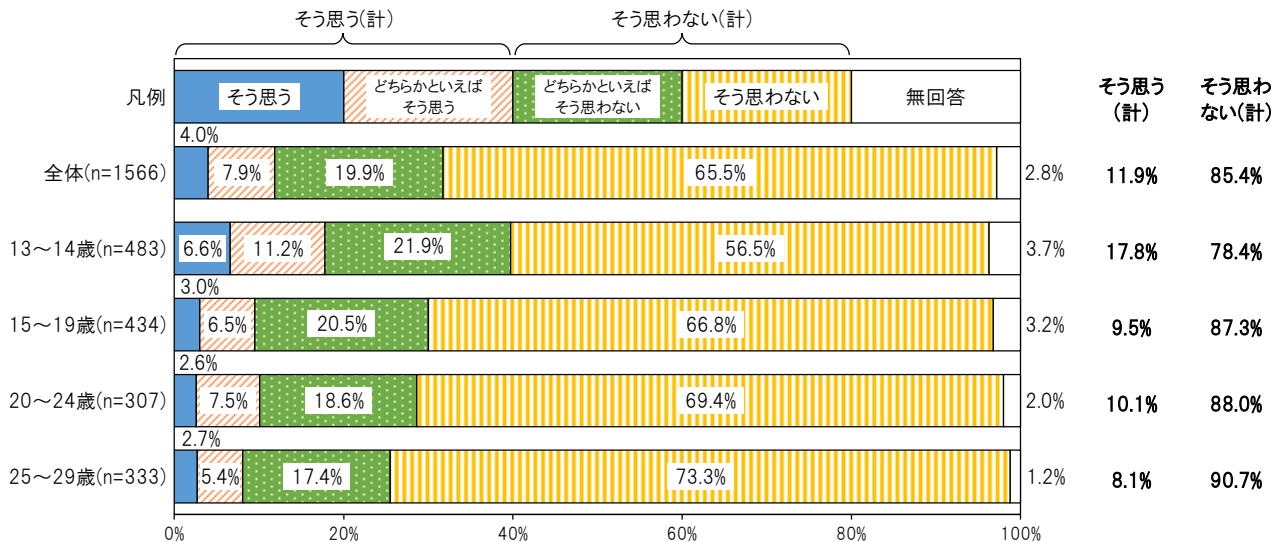
年齢別にみると、「そう思う(計)」は「13～14歳」(51.9%)が他の年齢と比べ最も高くなっており、年齢が若いほど高くなる傾向がみられる。一方、「そう思わない(計)」は「25～29歳」(76.3%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【他の人には言えない本音を話せることがある】

地域の人との関わり方の【他の人には言えない本音を話せることがある】について、全体では、「そう思わない」(65.5%)が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」(19.9%)となっている。

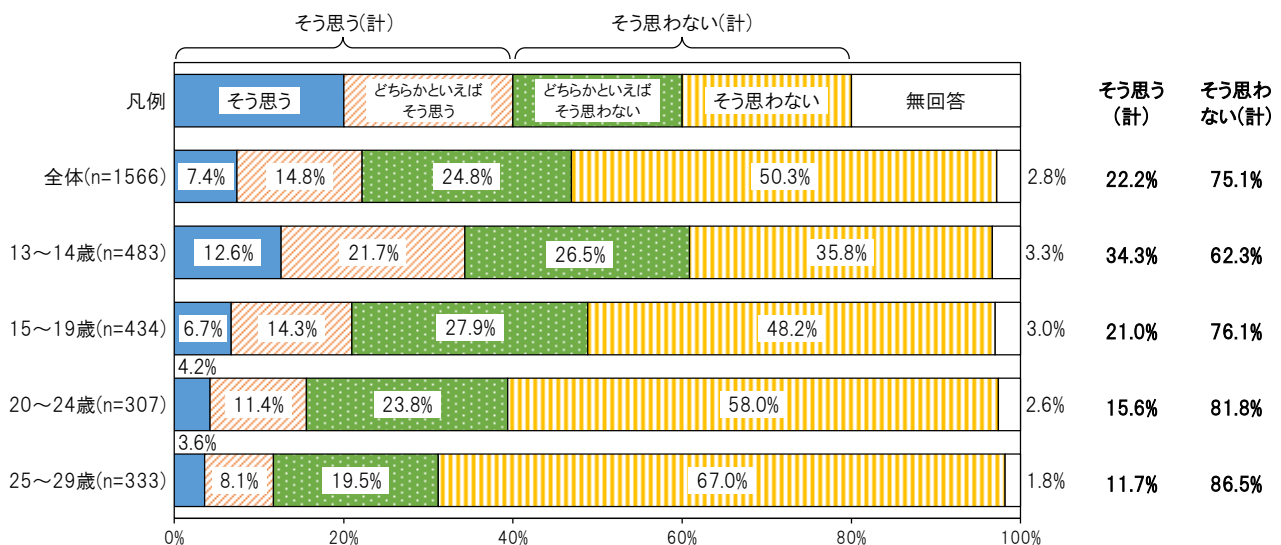
年齢別にみると、「そう思う(計)」はいずれの年齢も2割以下となっている。一方、「そう思わない(計)」は「25～29歳」(90.7%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【強いつながりを感じている】

地域の人との関わり方の【強いつながりを感じている】について、全体では、「そう思わない」(50.3%)が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」(24.8%)となっている。

年齢別にみると、「そう思う(計)」は「13～14歳」(34.3%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「そう思わない(計)」は「25～29歳」(86.5%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



(5) インターネット上での他者・コミュニティとの関わり方

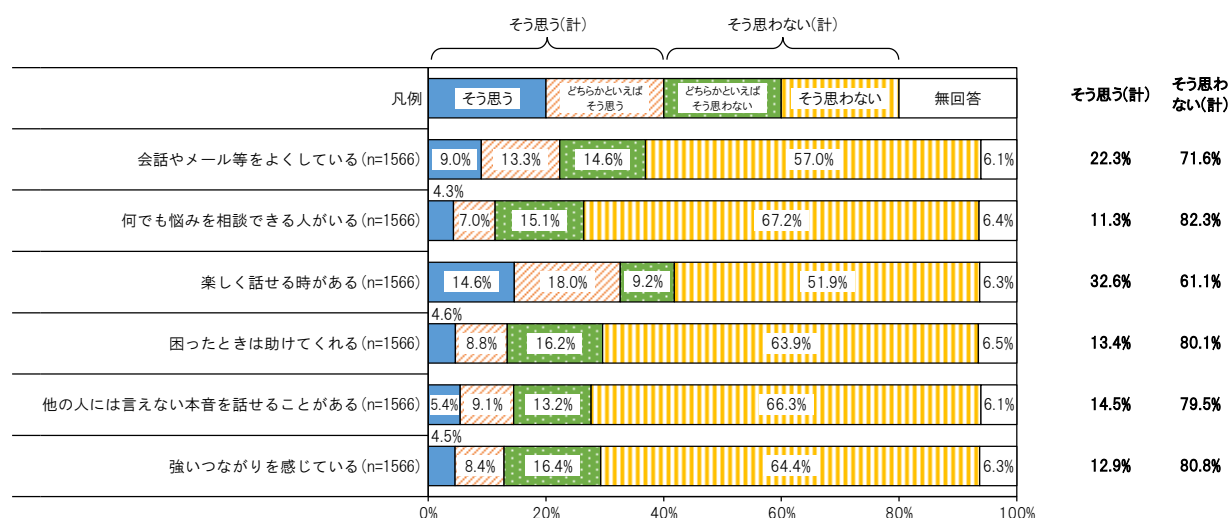
Q15 インターネット上における人(※1)やコミュニティ(※2)とあなたのかかわりはどのようなものですか。【それぞれひとつだけ】

※1 具体的には、面識がない、あるいは数回会ったことがあるが、基本的にはネット中心の付き合いの人

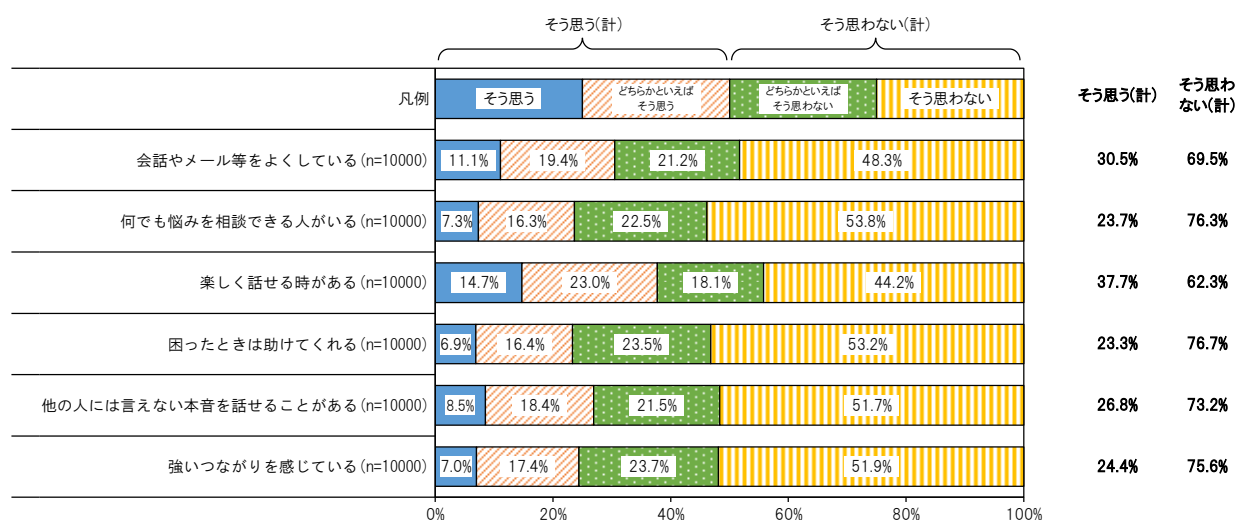
※2 インターネット上の交流の場（SNSを活用したオンラインサロン など）

インターネット上での他者・コミュニティとの関わり方として、「そう思う(計)」は、「楽しく話せる時がある」(32.6%)が最も高く、次いで「会話やメール等をよくしている」(22.3%),「他の人には言えない本音を話せることがある」(14.5%)となっている。

内閣府調査と比較すると、「そう思う(計)」はすべての項目において5ポイント以上低くなっている。



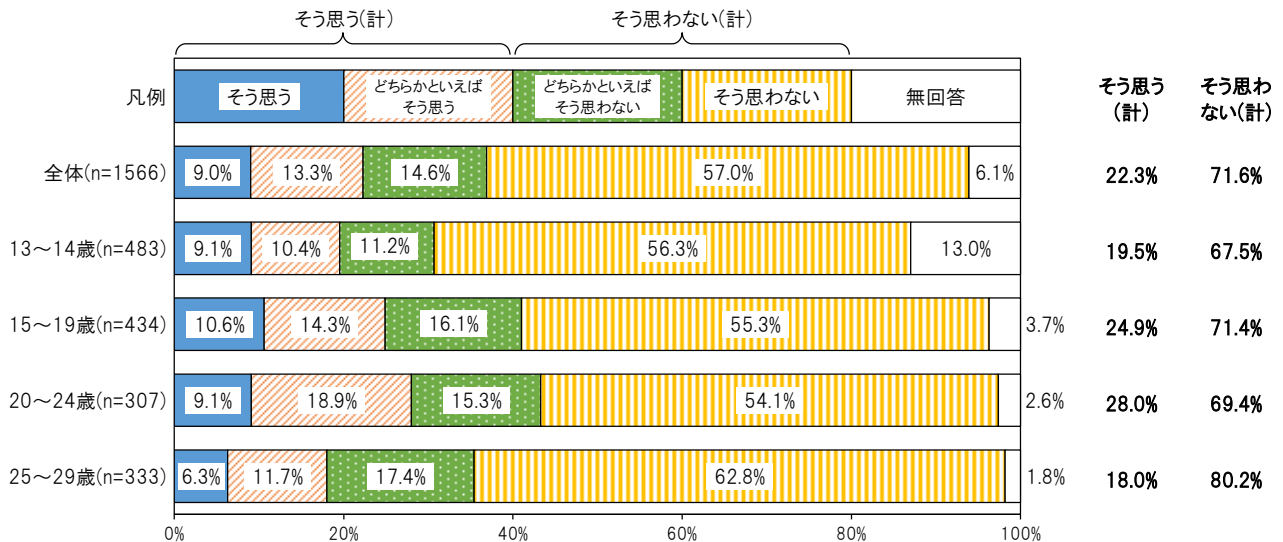
<内閣府調査(令和元年度)>



【会話やメール等をよくしている】

インターネット上での他者・コミュニティとの関わり方の【会話やメール等をよくしている】について、全体では、「そう思わない」(57.0%) が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」(14.6%) となっている。

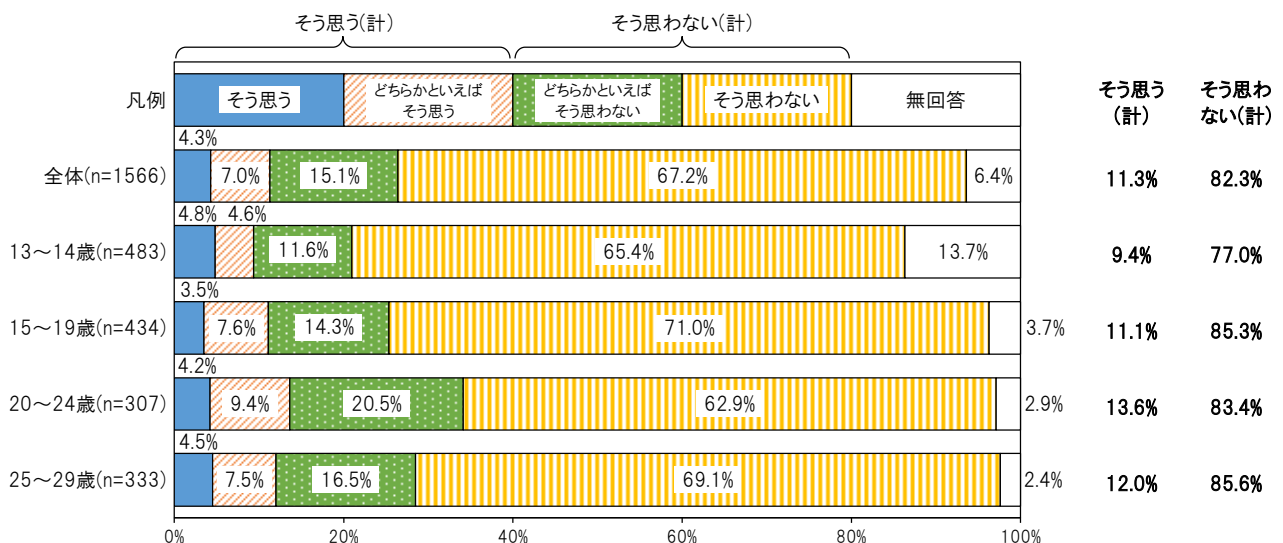
年齢別にみると、「そう思う(計)」は「20～24 歳」(28.0%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「そう思わない(計)」は「25～29 歳」(80.2%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【何でも悩みを相談できる人がある】

インターネット上での他者・コミュニティとの関わり方の【何でも悩みを相談できる人がある】について、全体では、「そう思わない」(67.2%) が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」(15.1%) となっている。

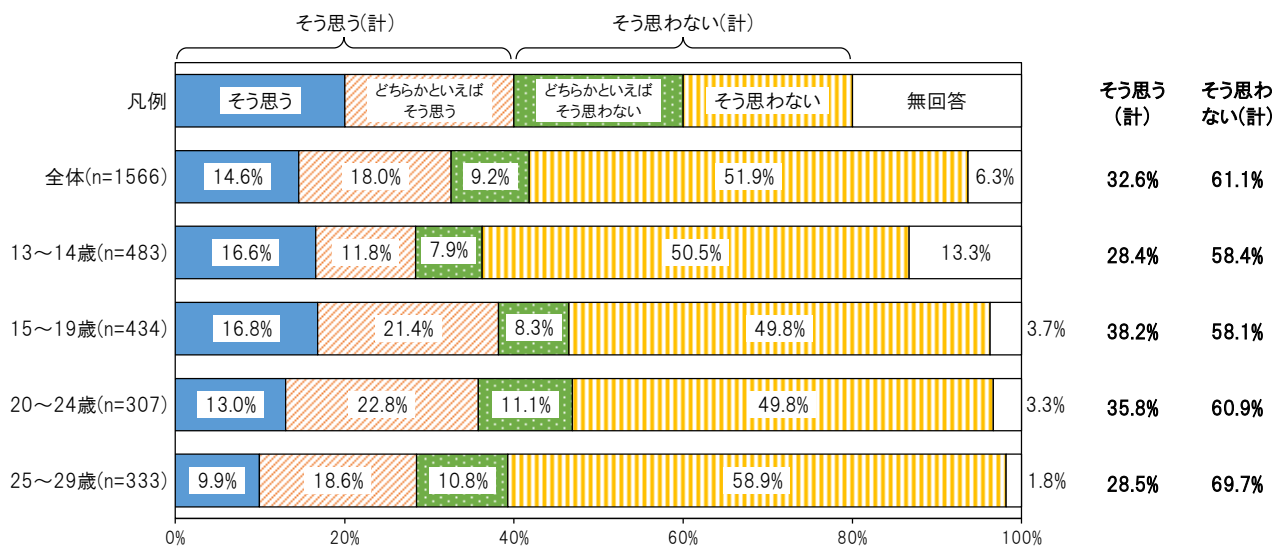
年齢別にみると、「そう思う(計)」は「20～24 歳」(13.6%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「そう思わない(計)」は「25～29 歳」(85.6%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【楽しく話せる時がある】

インターネット上での他者・コミュニティとの関わり方の【楽しく話せる時がある】について、全体では、「そう思わない」(51.9%) が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(18.0%) となっている。

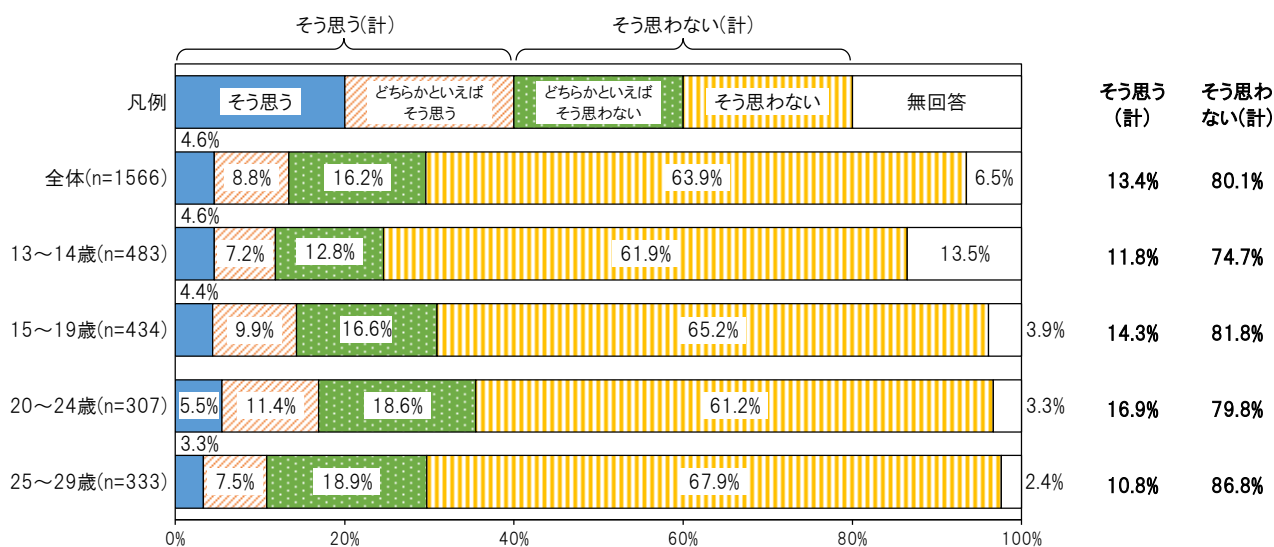
年齢別にみると、「そう思う(計)」は「15～19 歳」(38.2%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「そう思わない(計)」は「25～29 歳」(69.7%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【困ったときは助けてくれる】

インターネット上での他者・コミュニティとの関わり方の【困ったときは助けてくれる】について、全体では、「そう思わない」(63.9%) が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」(16.2%) となっている。

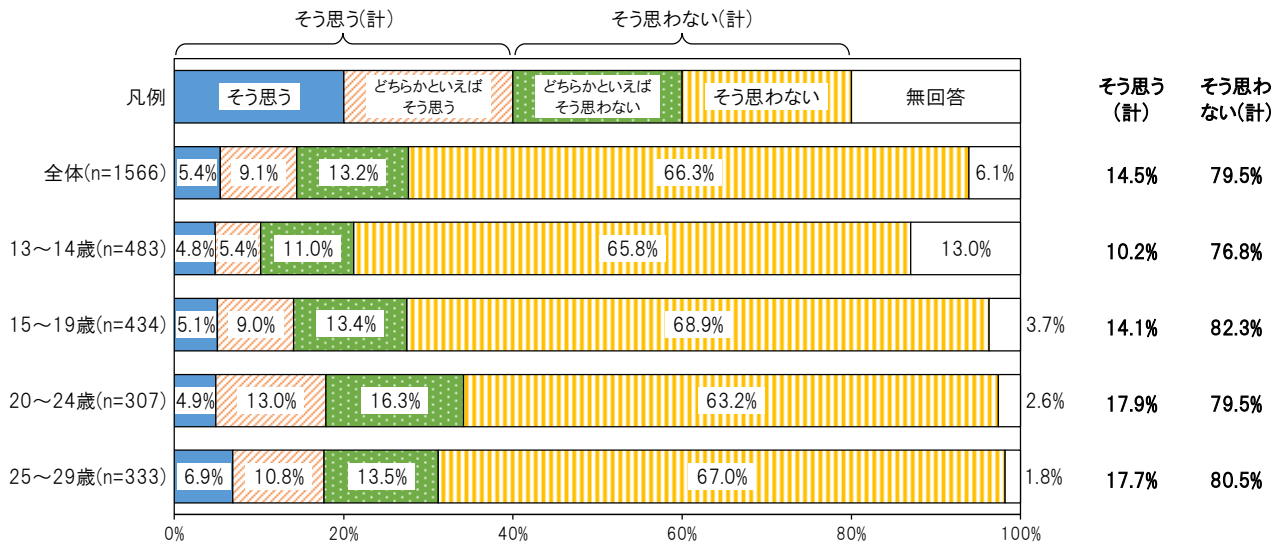
年齢別にみると、「そう思う(計)」はいずれの年齢も2割以下となっている。一方、「そう思わない(計)」は「25～29 歳」(86.8%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【他の人には言えない本音を話せることがある】

インターネット上での他者・コミュニティとの関わり方の【他の人には言えない本音を話せることがある】について、全体では、「そう思わない」(66.3%)が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」(13.2%)となっている。

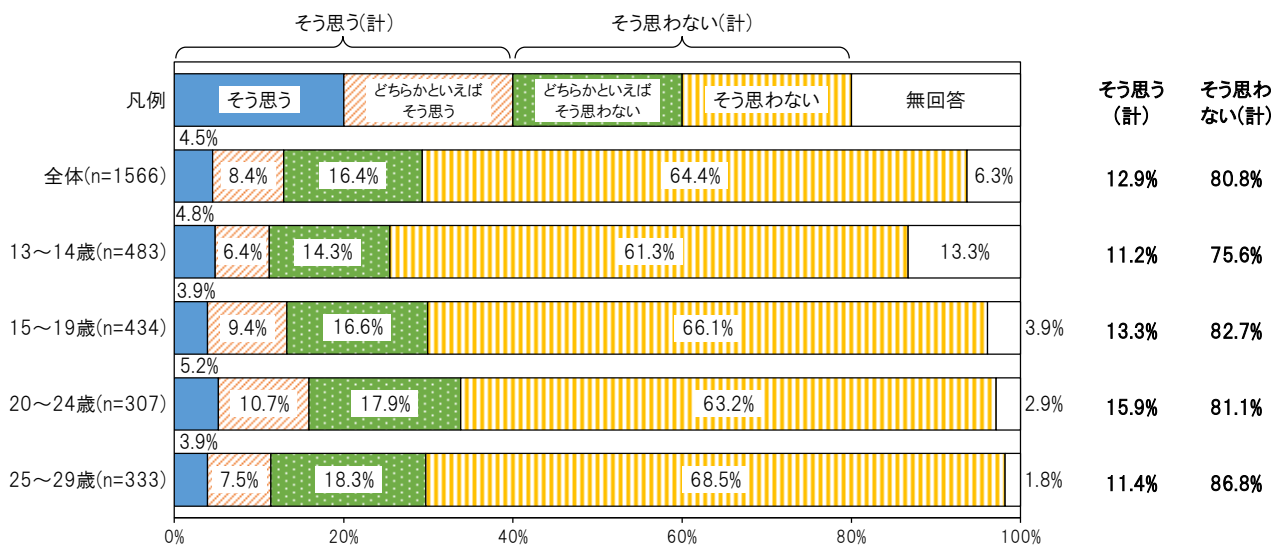
年齢別にみると、「そう思う(計)」はいずれの年齢も2割以下となっている。一方、「そう思わない(計)」は「15～19歳」(82.3%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【強いつながりを感じている】

インターネット上での他者・コミュニティとの関わり方の【強いつながりを感じている】について、全体では、「そう思わない」(64.4%)が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」(16.4%)となっている。

年齢別にみると、「そう思う(計)」はいずれの年齢も2割以下となっている。一方、「そう思わない(計)」は「25～29歳」(86.8%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



5 支援機関

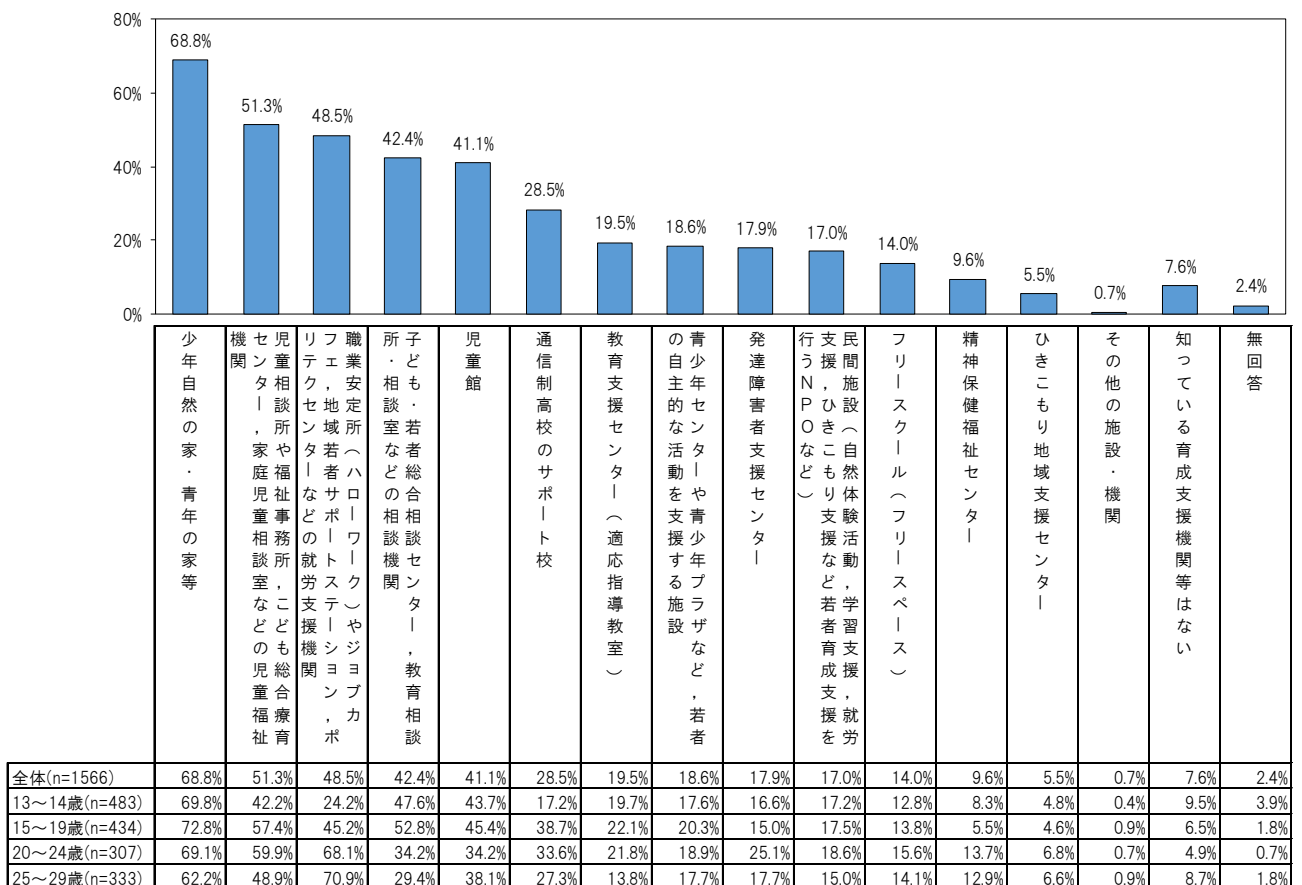
(1) 育成支援機関等の認知度

Q16 あなたは、子供・若者を対象とした育成支援機関等を知っていますか。知っている育成支援機関等をすべて選んでください。【いくつでも】

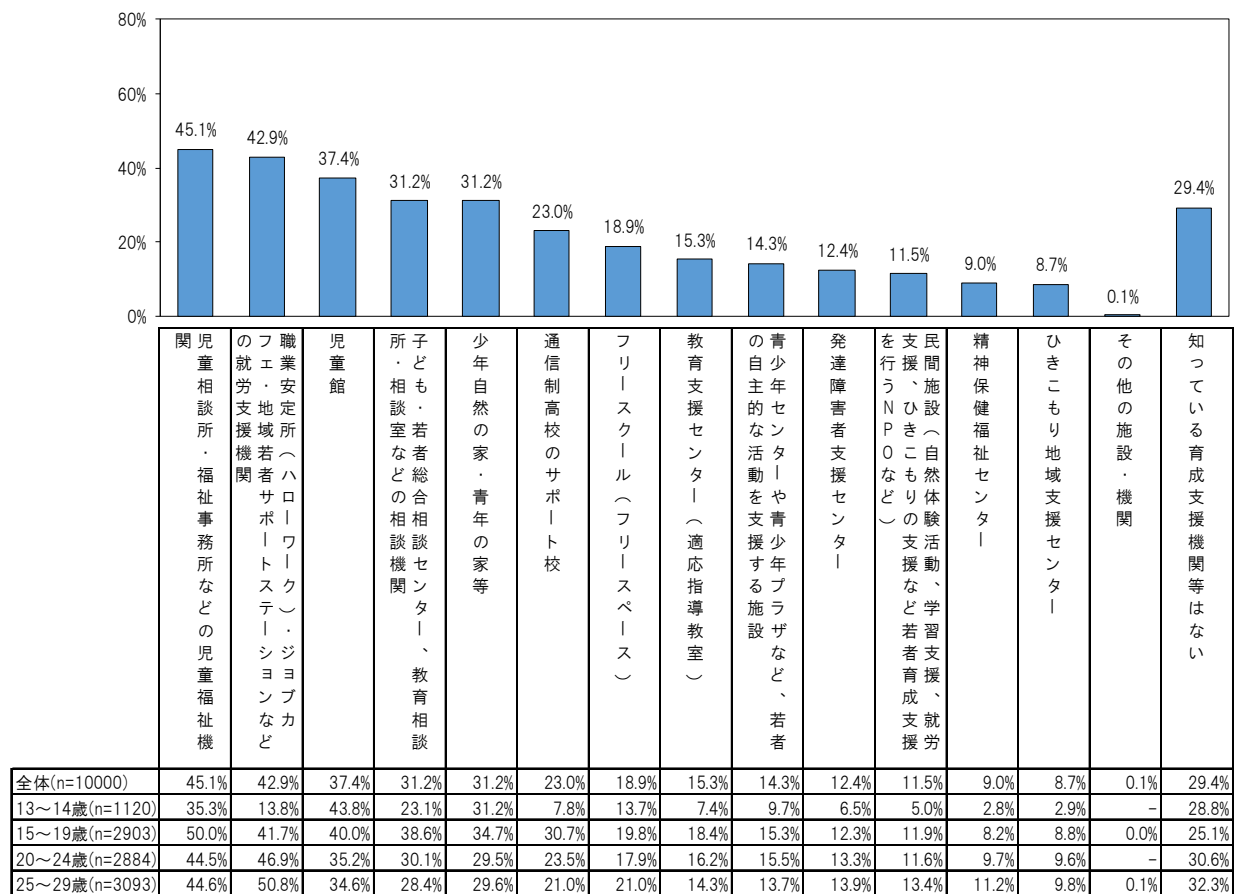
育成支援機関等の認知度について、全体では、「少年自然の家・青年の家等」(68.8%)が最も高く、次いで「児童相談所や福祉事務所、こども総合療育センター、家庭児童相談室などの児童福祉機関」(51.3%)、「職業安定所（ハローワーク）やジョブカフェ、地域若者サポートステーション、ポリテクセンターなどの就労支援機関」(48.5%)となっている。

年齢別にみると、「職業安定所（ハローワーク）やジョブカフェ、地域若者サポートステーション、ポリテクセンターなどの就労支援機関」は「25～29 歳」(70.9%)が他の年齢と比べ最も高くなっており、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。「子ども・若者総合相談センター、教育相談所・相談室などの相談機関」は「13～14 歳」(47.6%)、「15～19 歳」(52.8%)が他の年齢と比べ高くなっている。

内閣府調査と比較すると、ほとんどの項目において高くなっており、「少年自然の家・青年の家等」は 37.6 ポイント高くなっている。一方、「知っている育成支援機関等はない」は 21.8 ポイント低くなっている。



<内閣府調査(令和元年度)>



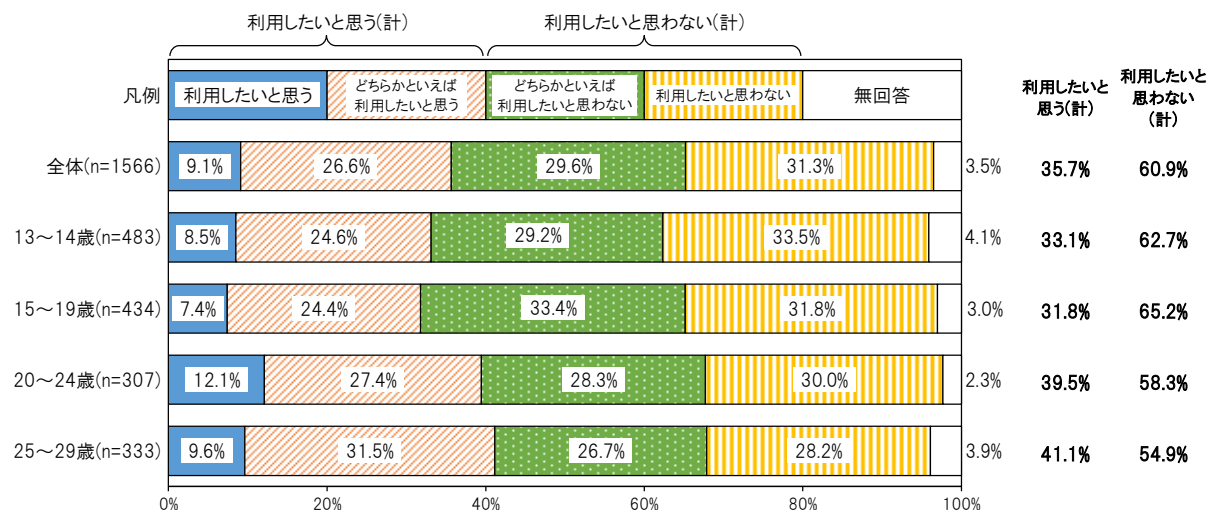
(2) 育成支援機関等の利用希望

Q17 Q16の機関について利用したいと思いますか。【ひとつだけ】

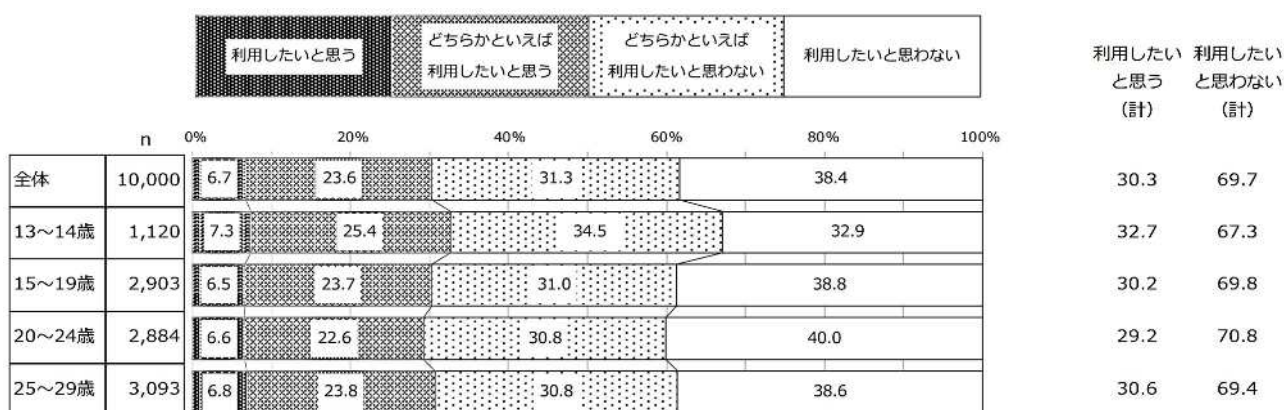
育成支援機関等の利用希望について、全体では、「利用したいと思わない」(31.3%)が最も高く、次いで「どちらかといえば利用したいと思わない」(29.6%)となっている。

年齢別にみると、「利用したいと思う」はいずれの年齢も約1割となっている。「利用したいと思わない(計)」は「15～19歳」(65.2%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。

内閣府調査と比較すると、「利用したいと思う(計)」は5.4ポイント高くなっている。



<内閣府調査(令和元年度)>



(3) 育成支援機関等の利用を希望する理由

Q18 Q17で「1 利用したいと思う」若しくは「2 どちらかといえば利用したいと思う」と回答した方にお伺いします。

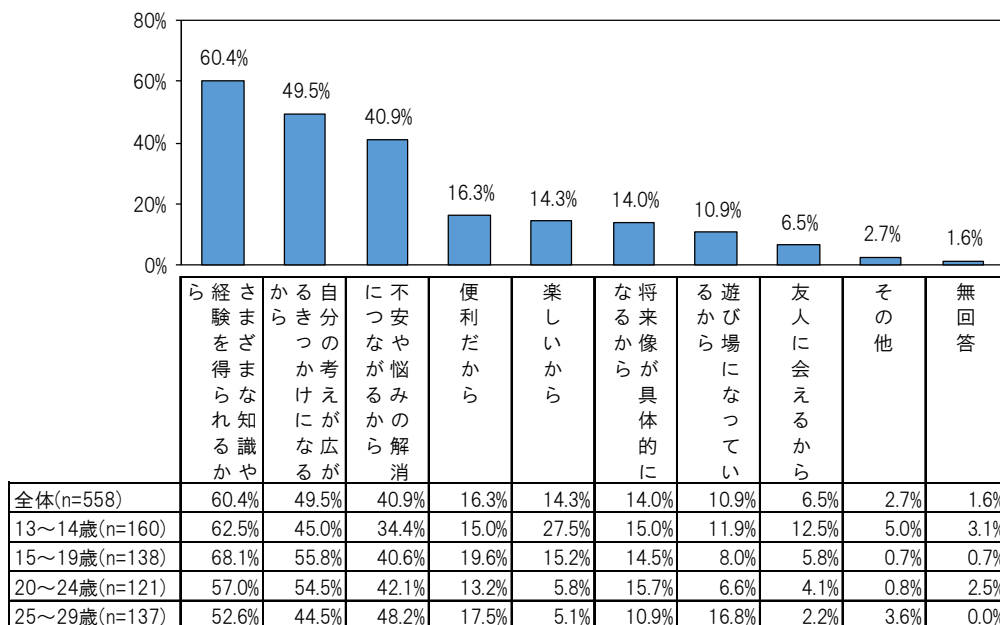
Q16の機関を利用したいと思った理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

【いくつでも】

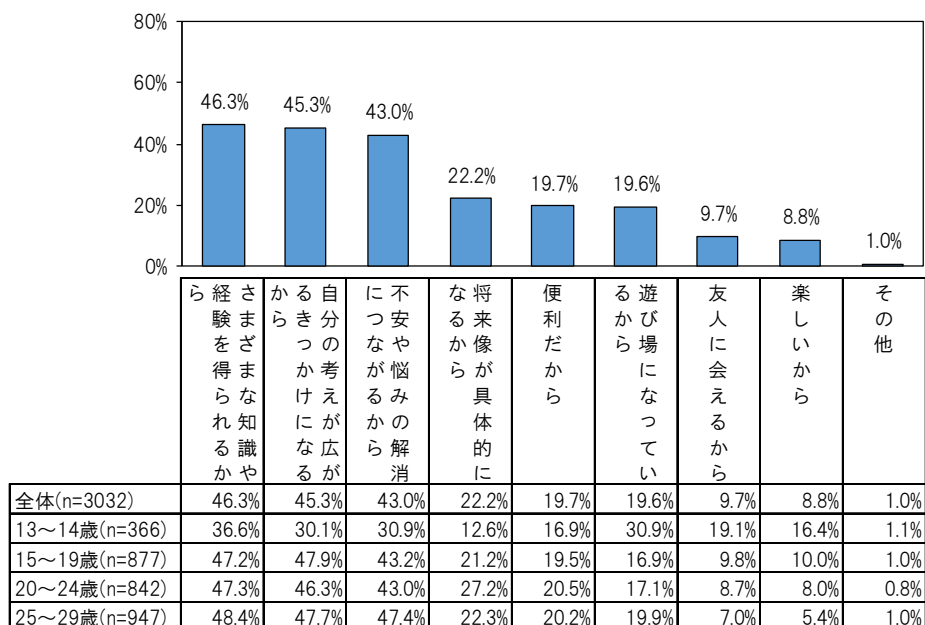
育成支援機関等の利用したい理由について、全体では、「さまざまな知識や経験を得られるから」(60.4%)が最も高く、次いで「自分の考えが広がるきっかけになるから」(49.5%)、「不安や悩みの解消につながるから」(40.9%)となっている。

年齢別にみると、「不安や悩みの解消につながるから」は「25～29歳」(48.2%)が他の年齢と比べ最も高くなっており、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

内閣府調査と比較すると、どちらも「さまざまな知識や経験を得られるから」が最も高くなっているが、今回調査は14.1ポイント高くなっている。



<内閣府調査(令和元年度)>



(4) 育成支援機関等の利用を希望しない理由

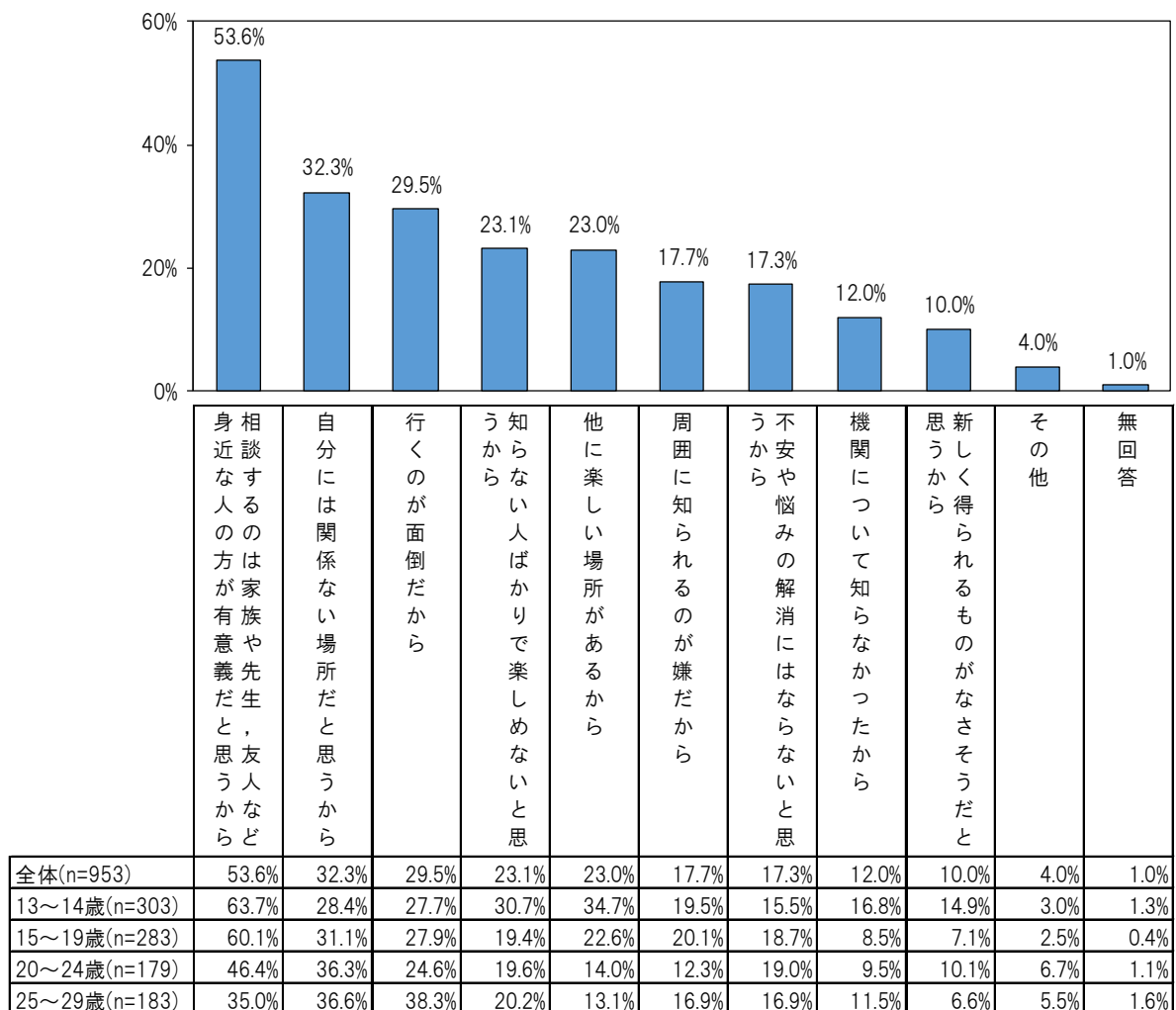
Q19 Q17で「3 どちらかといえば利用したいと思わない」若しくは「4 利用したいと思わない」と回答した方にお伺いします。

Q16の機関を利用したくないと思った理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。
【いくつでも】

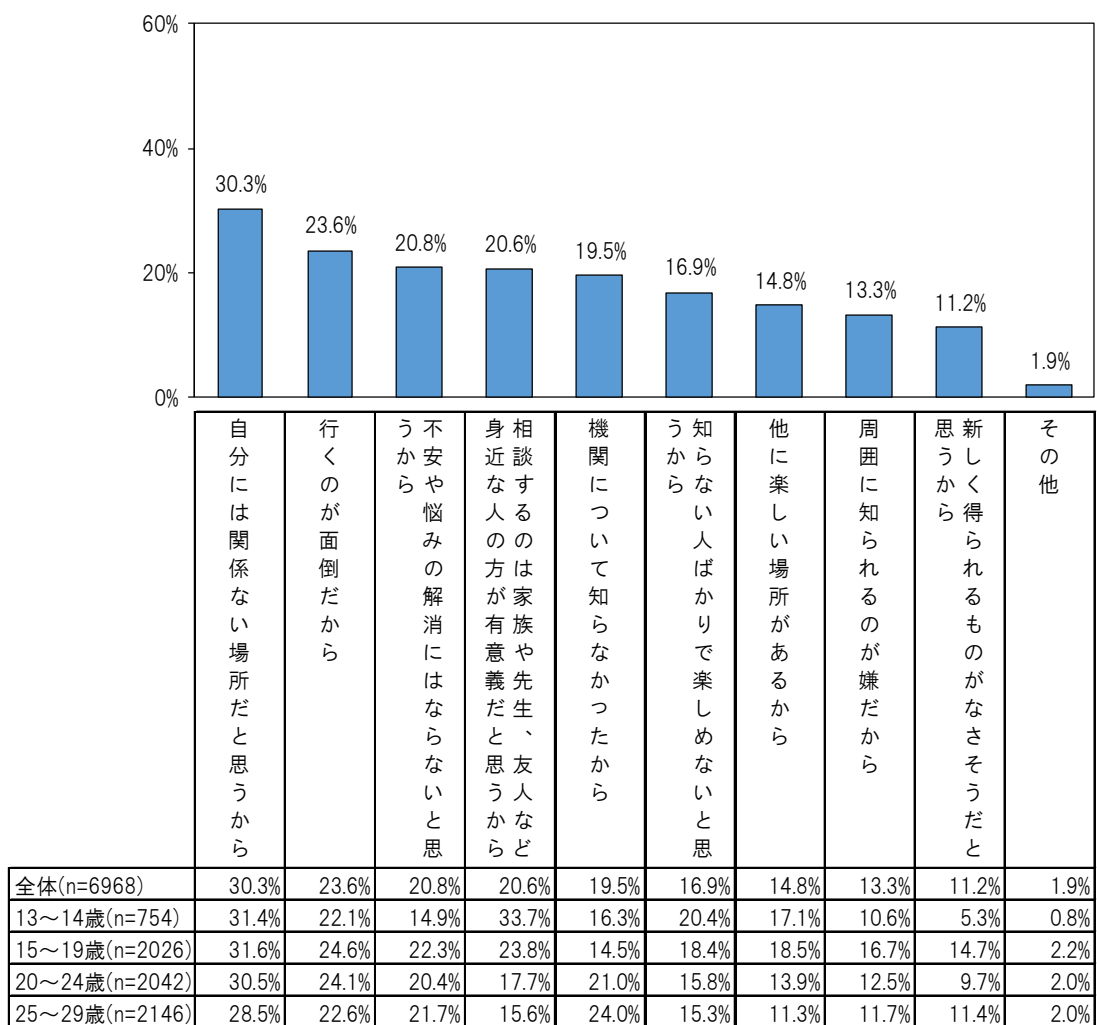
育成支援機関等の利用しない理由について、全体では、「相談するのは家族や先生、友人など身近な人の方が有意義だと思うから」(53.6%)が最も高く、次いで「自分には関係ない場所だと思うから」(32.3%)、「行くのが面倒だから」(29.5%)となっている。

年齢別にみると、「相談するのは家族や先生、友人など身近な人の方が有意義だと思うから」は「13～14歳」(63.7%)、「15～19歳」(60.1%)が他の年齢と比べ高くなっている。また、「他に楽しい場所があるから」は「13～14歳」(34.7%)が他の年齢と比べ最も高くなっており、年齢が若いほど高くなる傾向がみられる。一方、「行くのが面倒だから」は「25～29歳」(38.3%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。

内閣府調査と比較すると、「相談するのは家族や先生、友人など身近な人の方が有意義だと思うから」は33ポイント高くなっている。



<内閣府調査(令和元年度)>



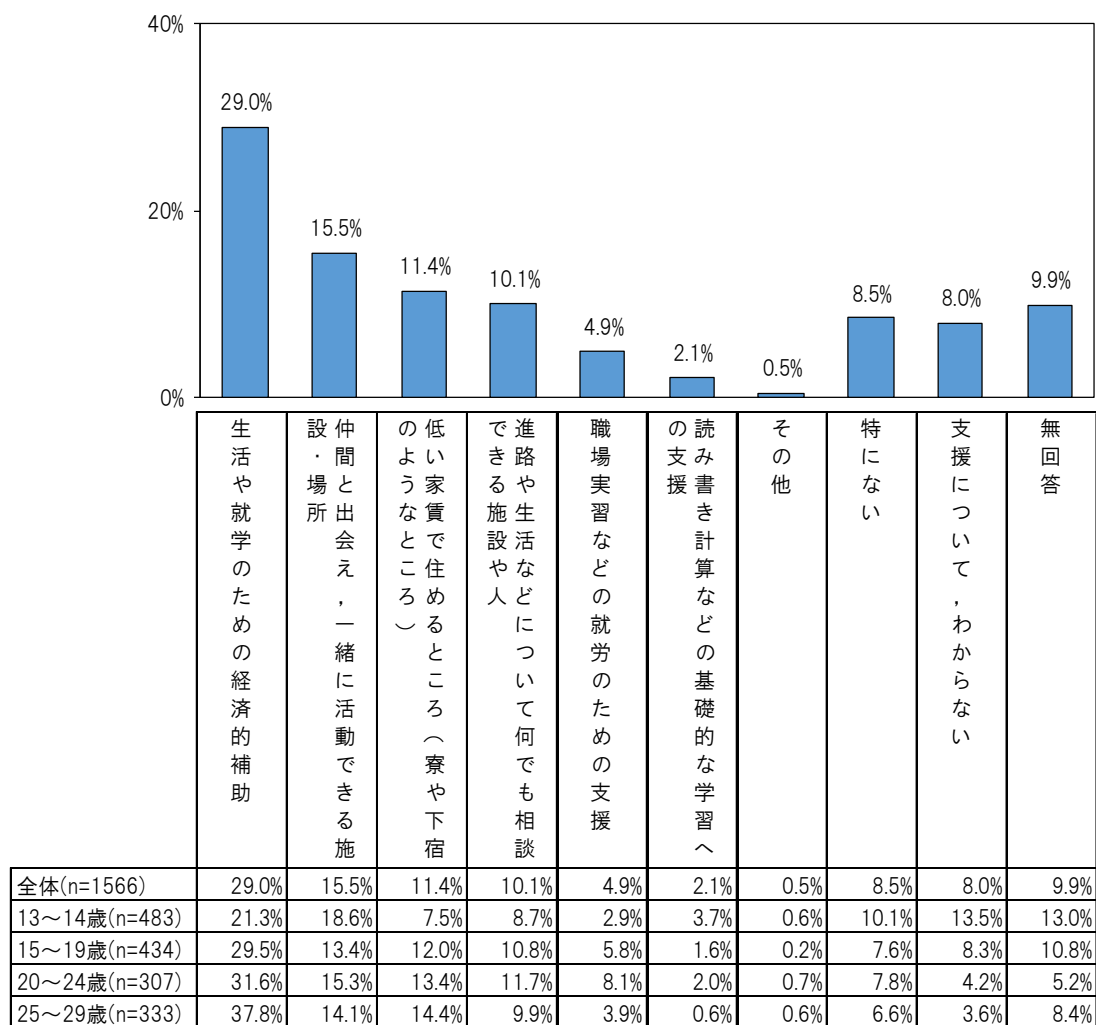
(5) 希望する支援

Q20 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができないようなときに、どのような支援があると良いと思いますか。最もよいと思うものを1つ選んでください。【ひとつだけ】

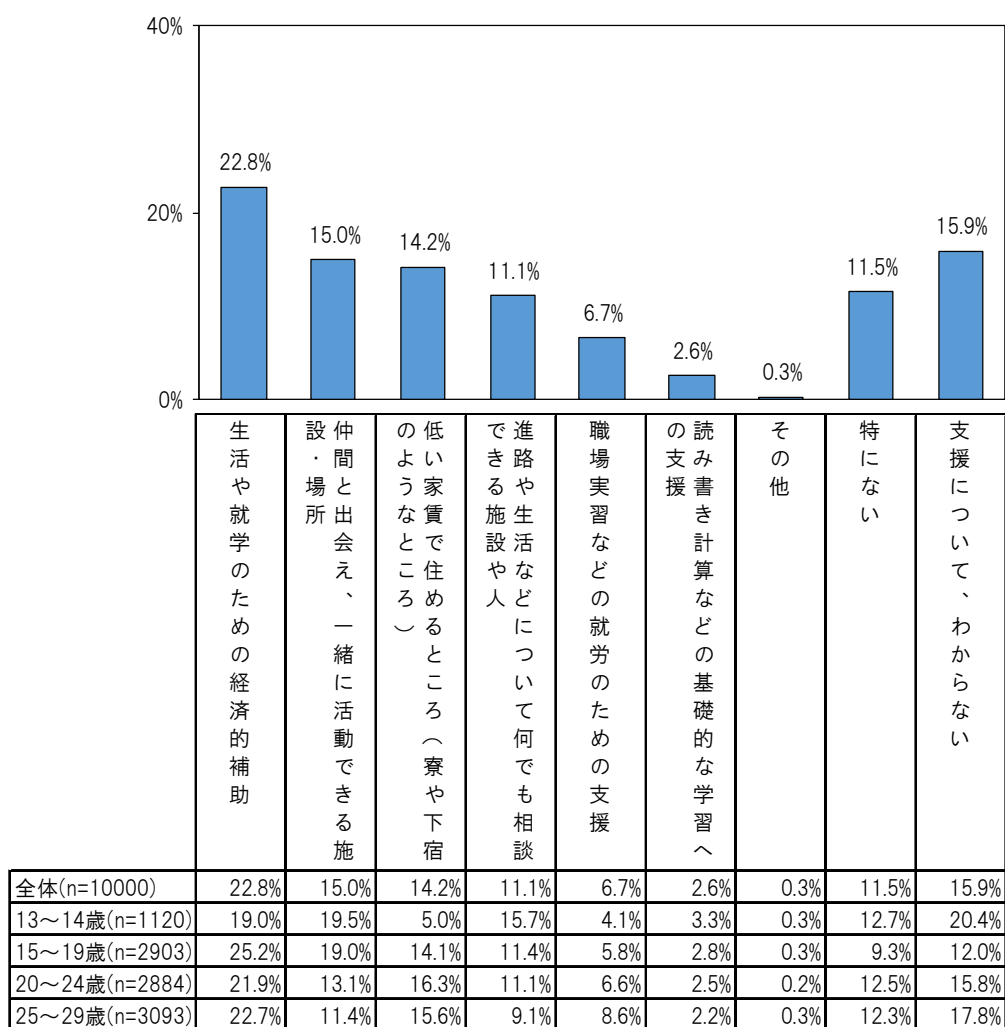
社会生活や日常生活を円滑に送ることができないようなときにあると良い支援について、全体では、「生活や就学のための経済的補助」(29.0%)が最も高く、次いで「仲間と出会え、一緒に活動できる施設・場所」(15.5%)、「低い家賃で住めるところ(寮や下宿のようなところ)」(11.4%)となっている。

年齢別にみると、「生活や就学のための経済的補助」は「25～29歳」(37.8%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。

内閣府調査と比較すると、どちらも「生活や就学のための経済的補助」が最も高くなっているが、今回調査は6.2ポイント高くなっている。



<内閣府調査(令和元年度)>



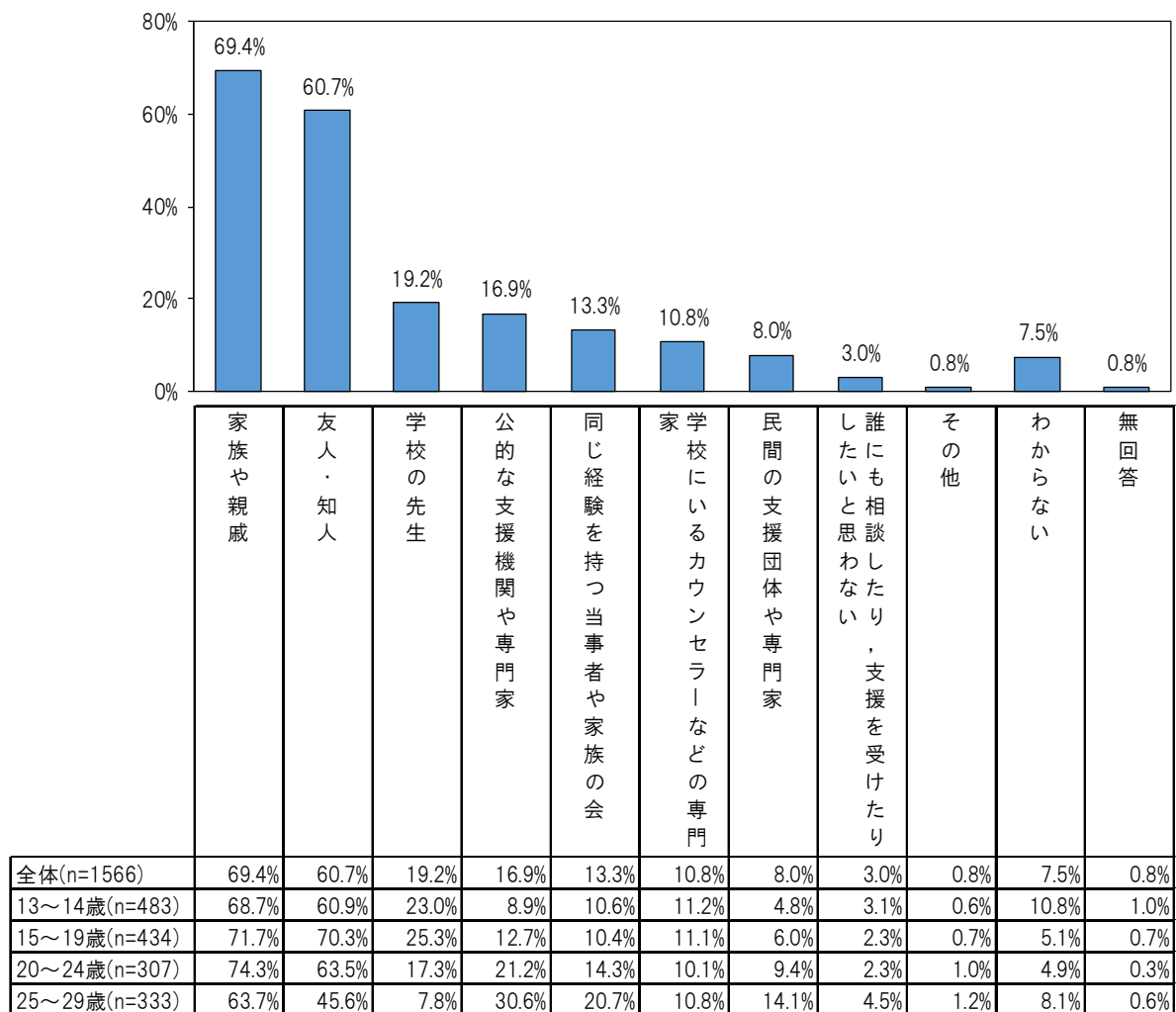
（６） 相談したり支援を受けやすい相手

Q21 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができないようなときに、どのような機関や人なら、相談したり、支援を受けたりしやすいと感じますか。あてはまるものをすべて選んでください。【いくつでも】

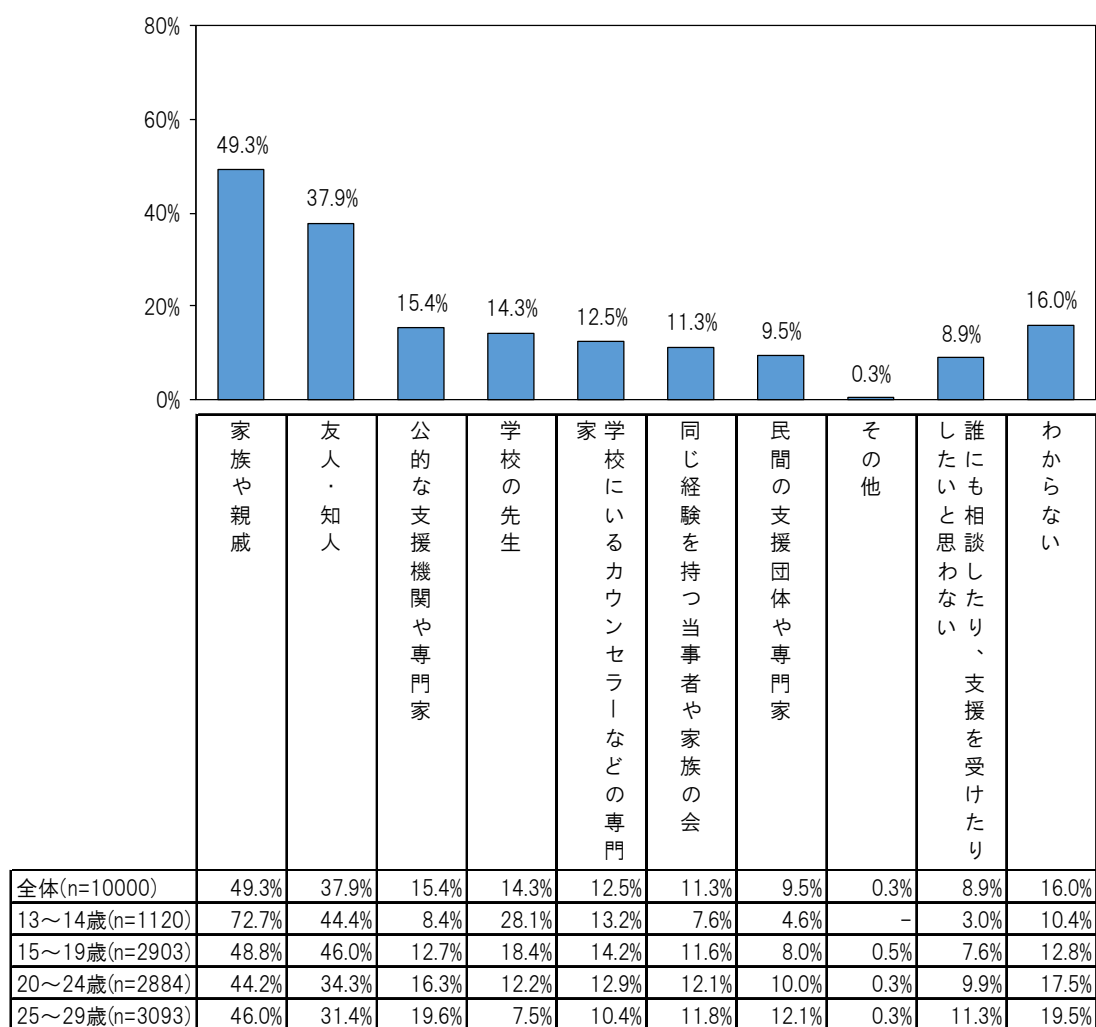
相談したり、支援を受けたりしやすい機関や人について、全体では、「家族や親戚」（69.4%）が最も高く、次いで「友人・知人」（60.7%）、「学校の先生」（19.2%）となっている。

年齢別にみると、「友人・知人」は「15～19歳」（70.3%）が他の年齢と比べ最も高くなっている。

内閣府調査と比較すると、「家族や親戚」、「友人・知人」は20ポイント以上高くなっている。一方、「誰にも相談したり、支援を受けたりしたいと思わない」は5.9ポイント低くなっている。



<内閣府調査(令和元年度)>



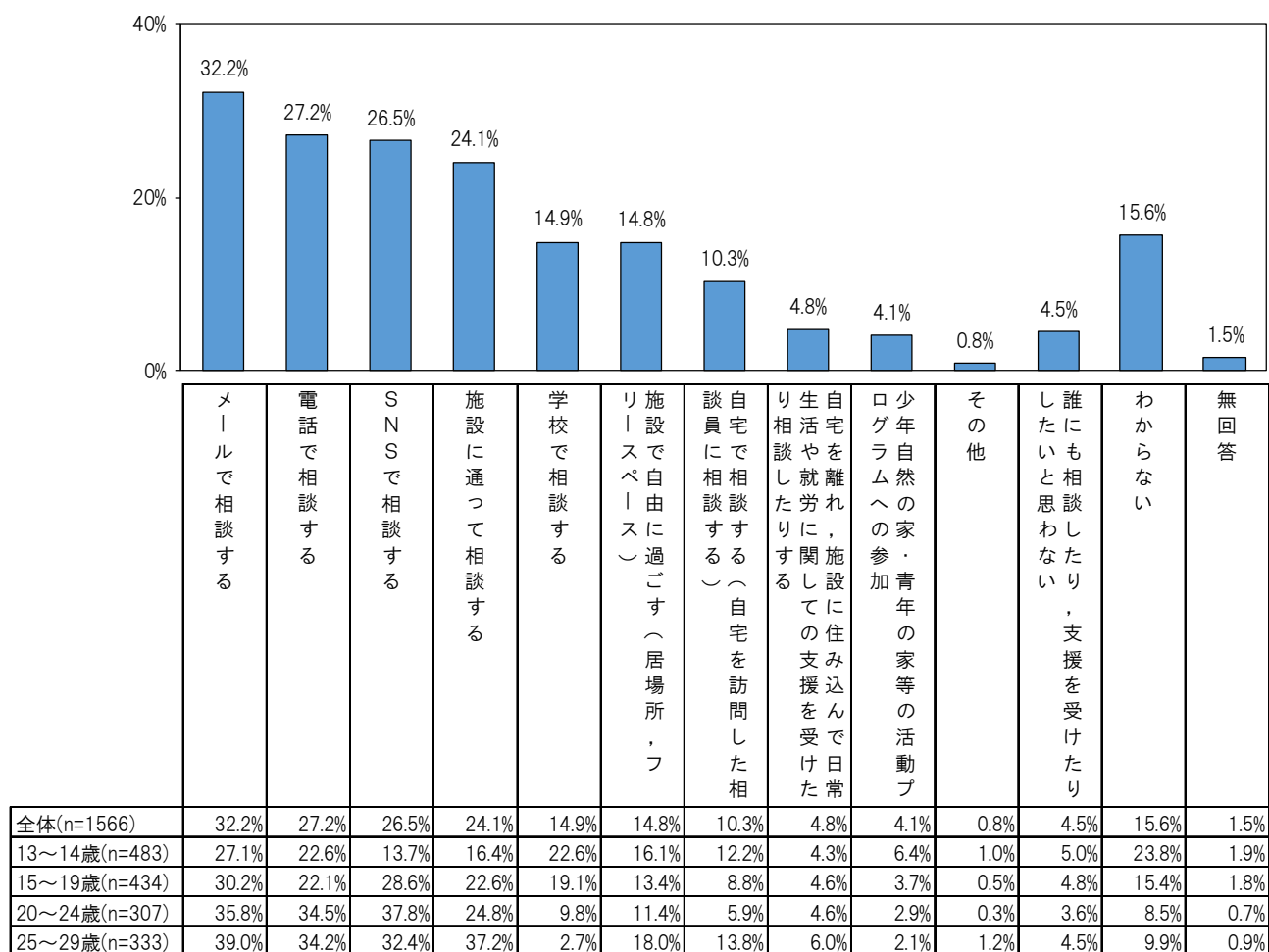
(7) 希望する支援の形

Q22 公的な支援機関や専門家から支援を受ける場合に、どのような形で支援を受けたいと思いますか。
【いくつでも】

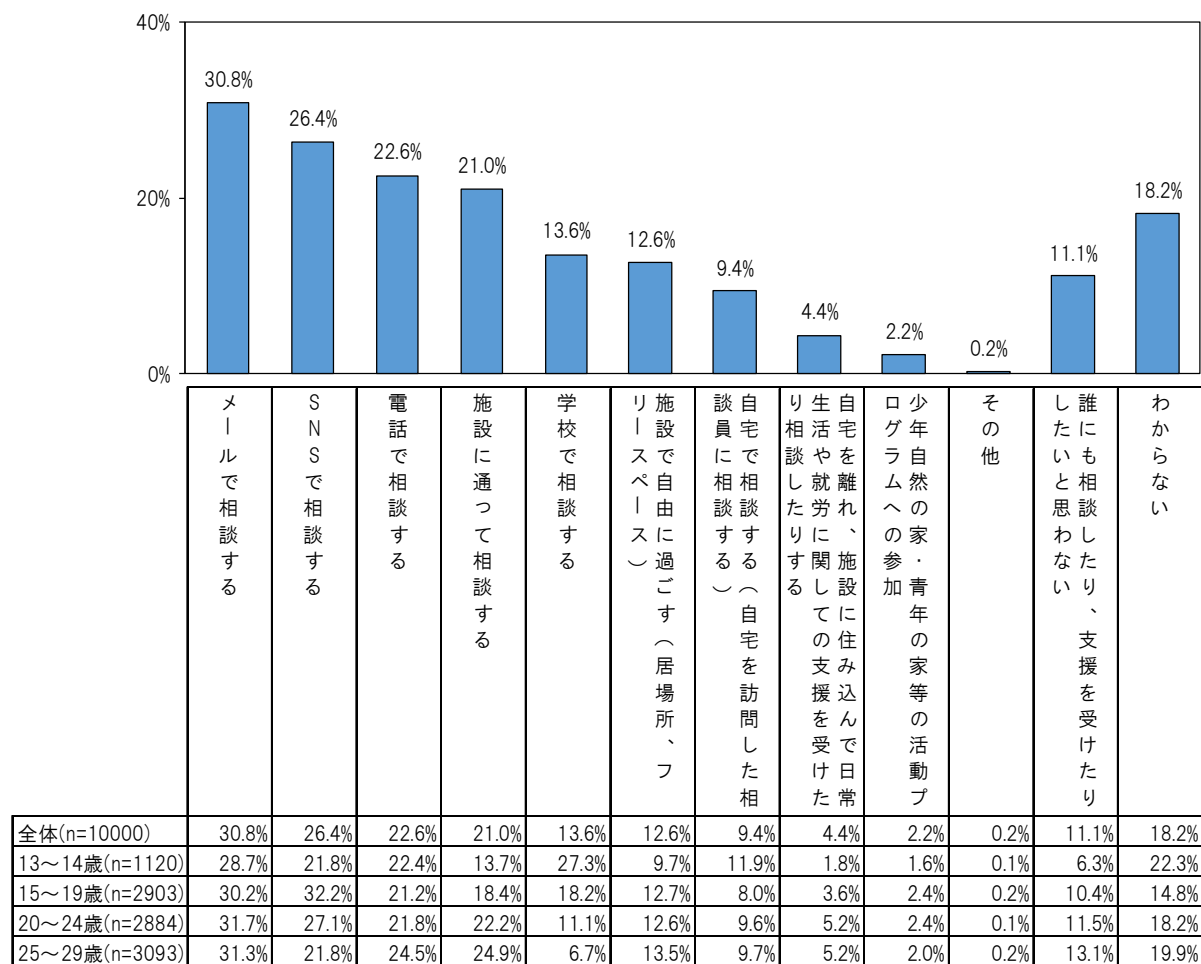
公的な支援機関や専門家から受けたい支援について、全体では、「メールで相談する」(32.2%)が最も高く、次いで「電話で相談する」(27.2%)、「SNSで相談する」(26.5%)となっている。

年齢別にみると、「メールで相談する」は「25～29歳」(39.0%)が他の年齢と比べ最も高くなっており、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。「20～24歳」は「SNSで相談する」(37.8%)が最も高くなっている。

内閣府調査と比較すると、「誰にも相談したり、支援を受けたりしたいと思わない」、「その他」以外の項目において高くなっているが大きな違いはみられない。「誰にも相談したり、支援を受けたりしたいと思わない」は6.6ポイント低くなっている。



＜内閣府調査(令和元年度)＞



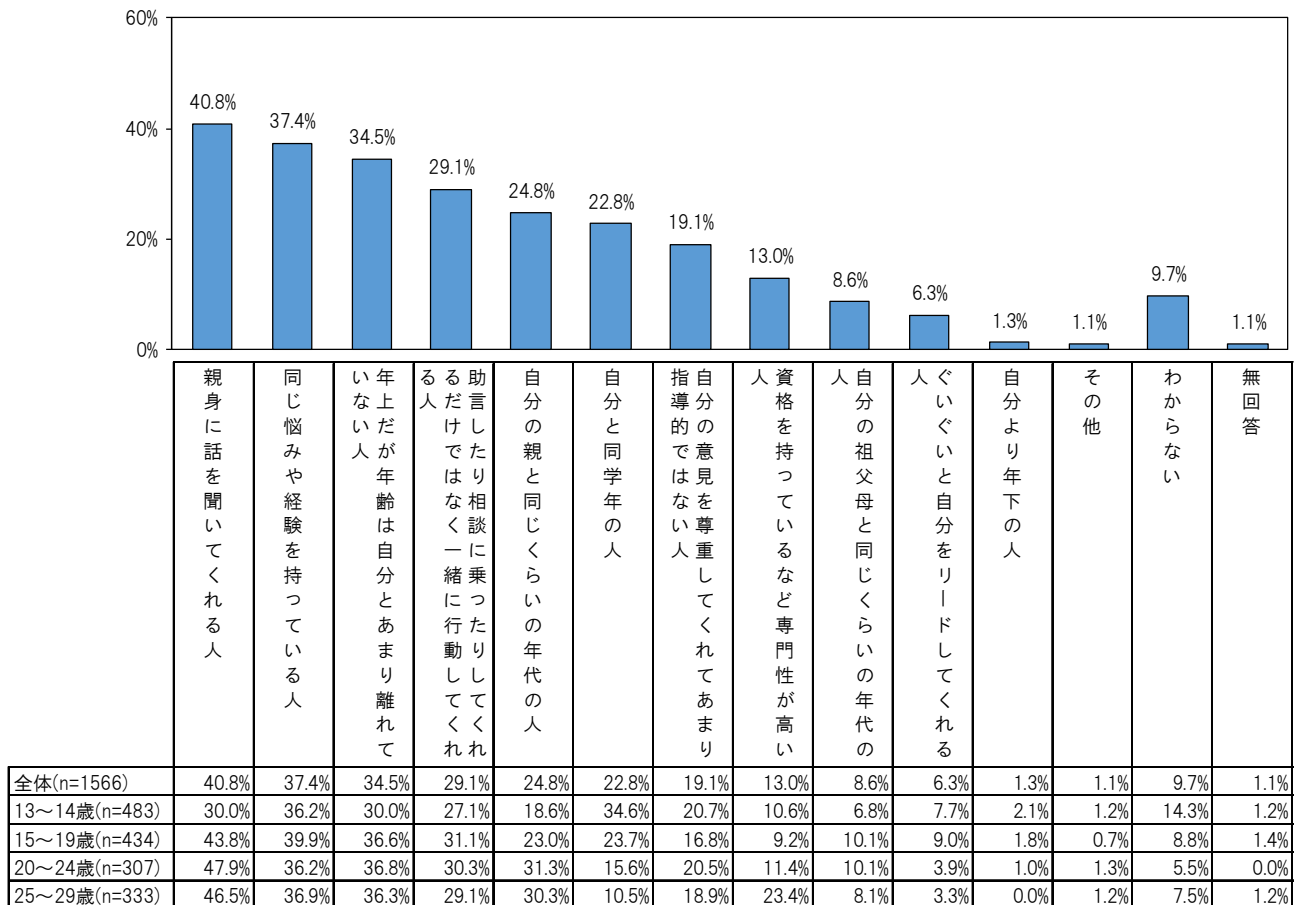
(8) 支援者のタイプ

Q23 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができないような場合に、相談したり、支援を受けたりするとき、どのようなタイプの人が良いですか。あてはまるもの3つまで選んでください。
【3つまで】

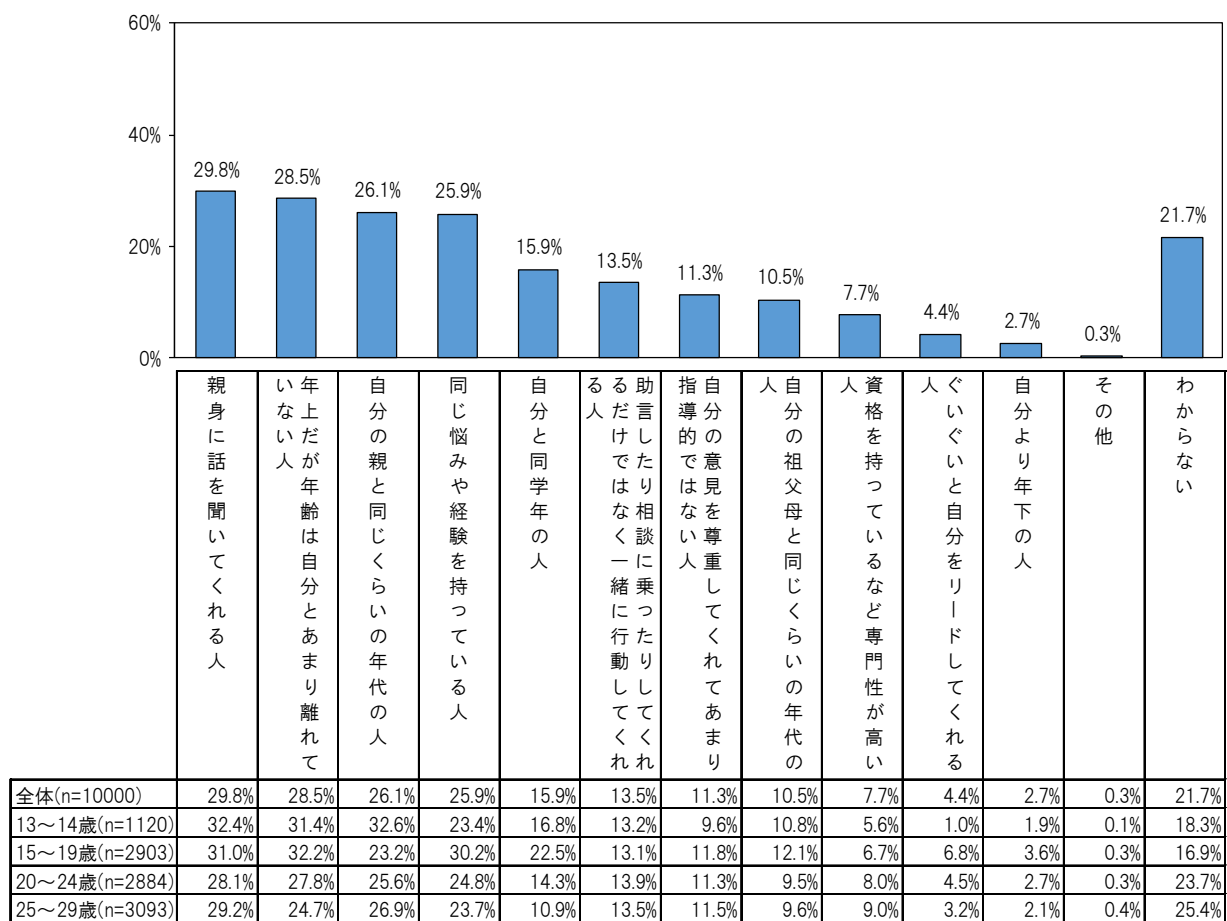
相談したり、支援を受けたりするとき、どのようなタイプの人が良いかについて、全体では、「親身に話を聞いてくれる人」(40.8%)が最も高く、次いで「同じ悩みや経験を持っている人」(37.4%)、「年上だが年齢は自分とあまり離れていない人」(34.5%)となっている。

年齢別にみると、「親身に話を聞いてくれる人」は「20～24歳」(47.9%)、「25～29歳」(46.5%)が約5割となっている。「13～14歳」は「同じ悩みや経験を持っている人」(36.2%)が最も高くなっている。

内閣府調査と比較すると、「助言したり相談に乗ったりしてくれるだけではなく一緒に行動してくれる人」は15.6ポイント高くなっている。



<内閣府調査(令和元年度)>



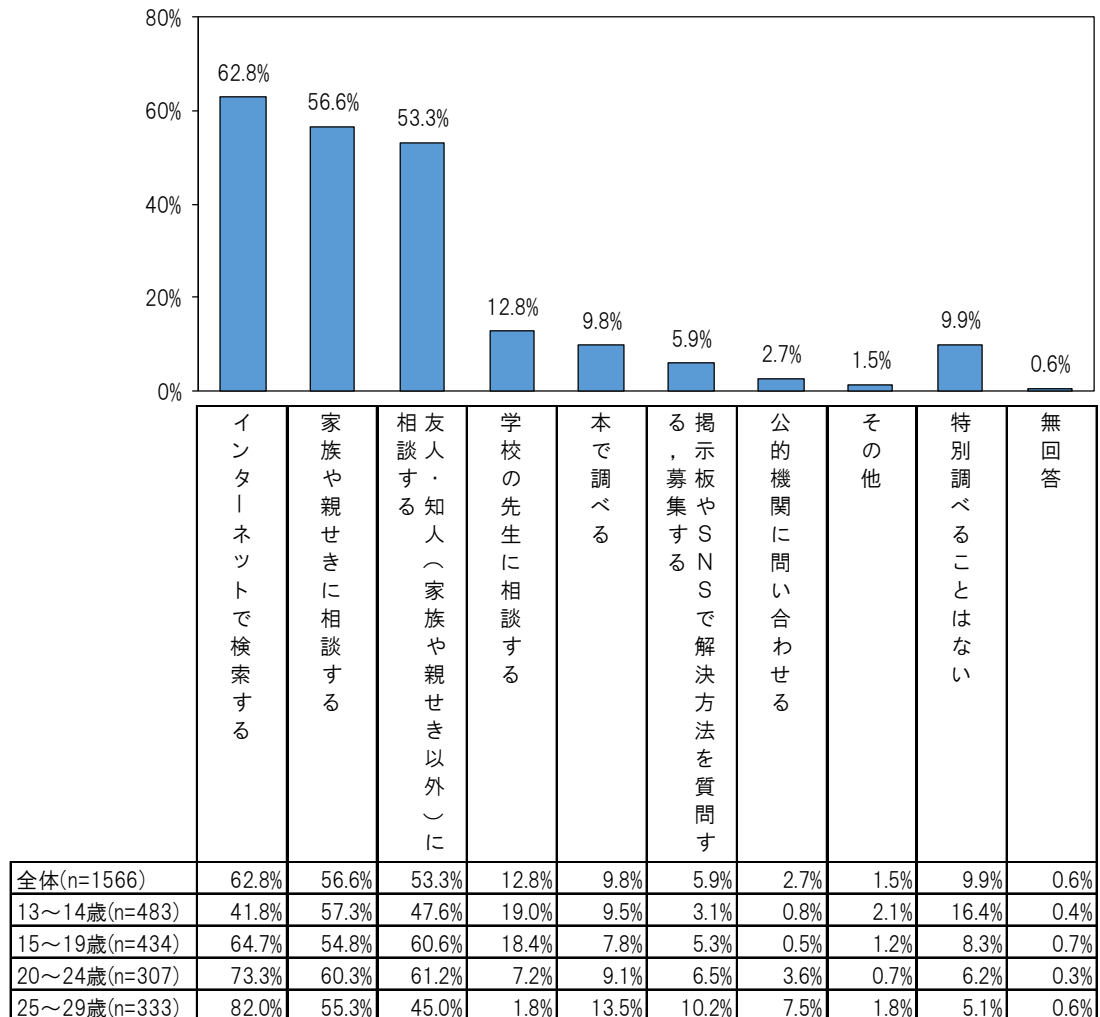
(9) 問題解決のための情報収集方法

Q24 あなたは悩み事や困ったことがあるとき、それを解決、改善する方法について、どのように調べていますか。【いくつでも】

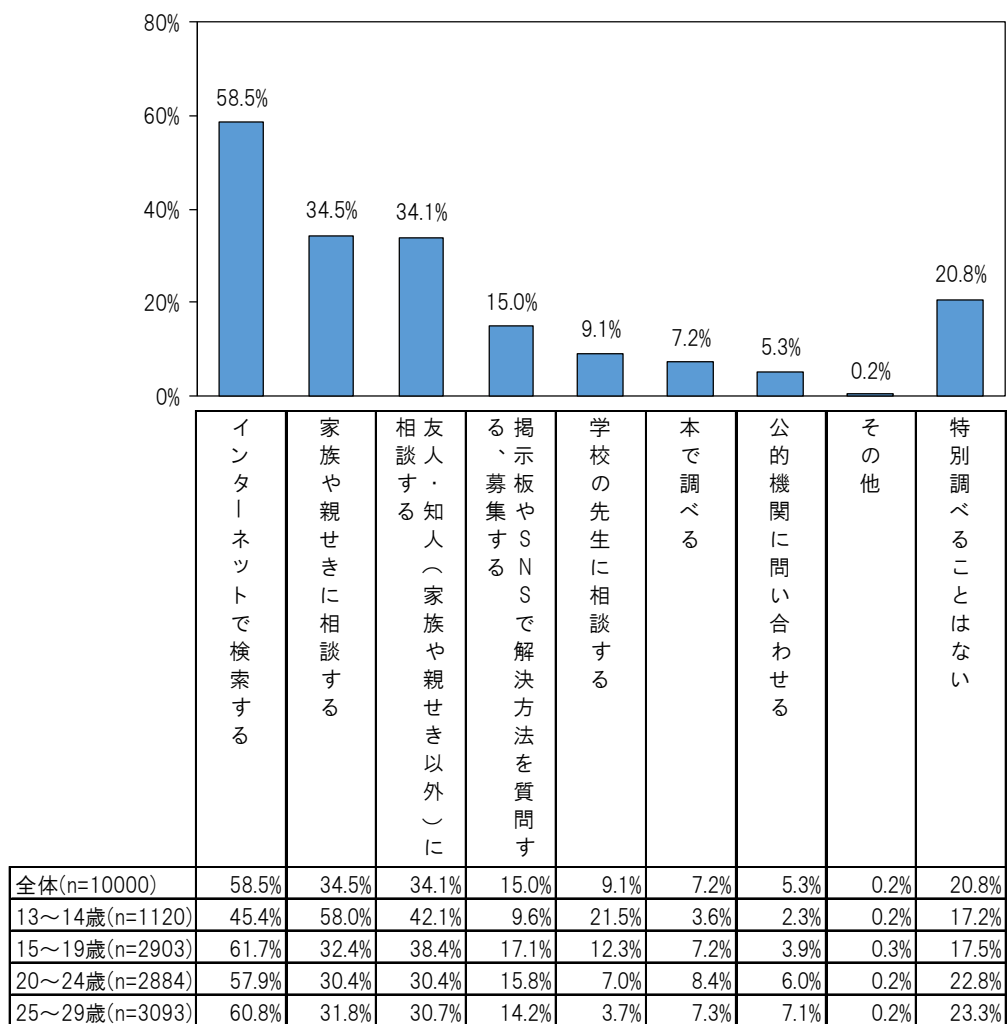
悩みや困難を解決、改善する方法の調べ方について、全体では、「インターネットで検索する」(62.8%)が最も高く、次いで「家族や親せきに相談する」(56.6%)、「友人・知人(家族や親せき以外)に相談する」(53.3%)となっている。

年齢別にみると、「インターネットで検索する」は「25～29歳」(82.0%)が他の年齢と比べ最も高くなっており、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。「13～14歳」は「家族や親せきに相談する」(57.3%)が最も高くなっている。

内閣府調査と比較すると、「家族や親せきに相談する」は22.1ポイント高くなっている。一方、「特別調べることはない」は10.9ポイント低くなっている。



<内閣府調査(令和元年度)>



6 学校や職場以外で他者で行う活動

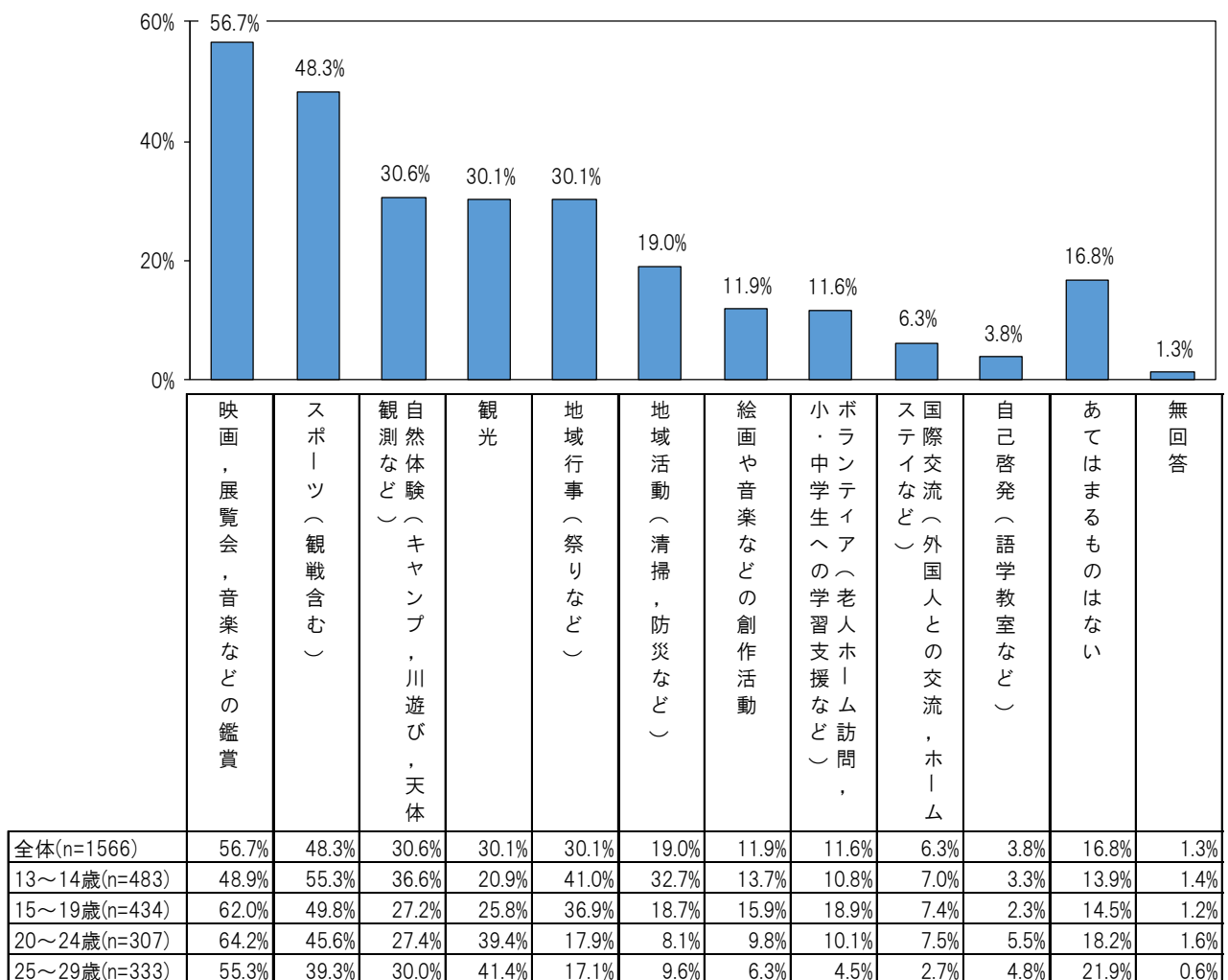
(1) 学校や職場以外で他者で行った活動内容

Q25 学校や職場以外で他の人と一緒に行う活動について、数年（2～3年）以内にしたこととしてあてはまると思うものをすべて選んでください。【いくつでも】

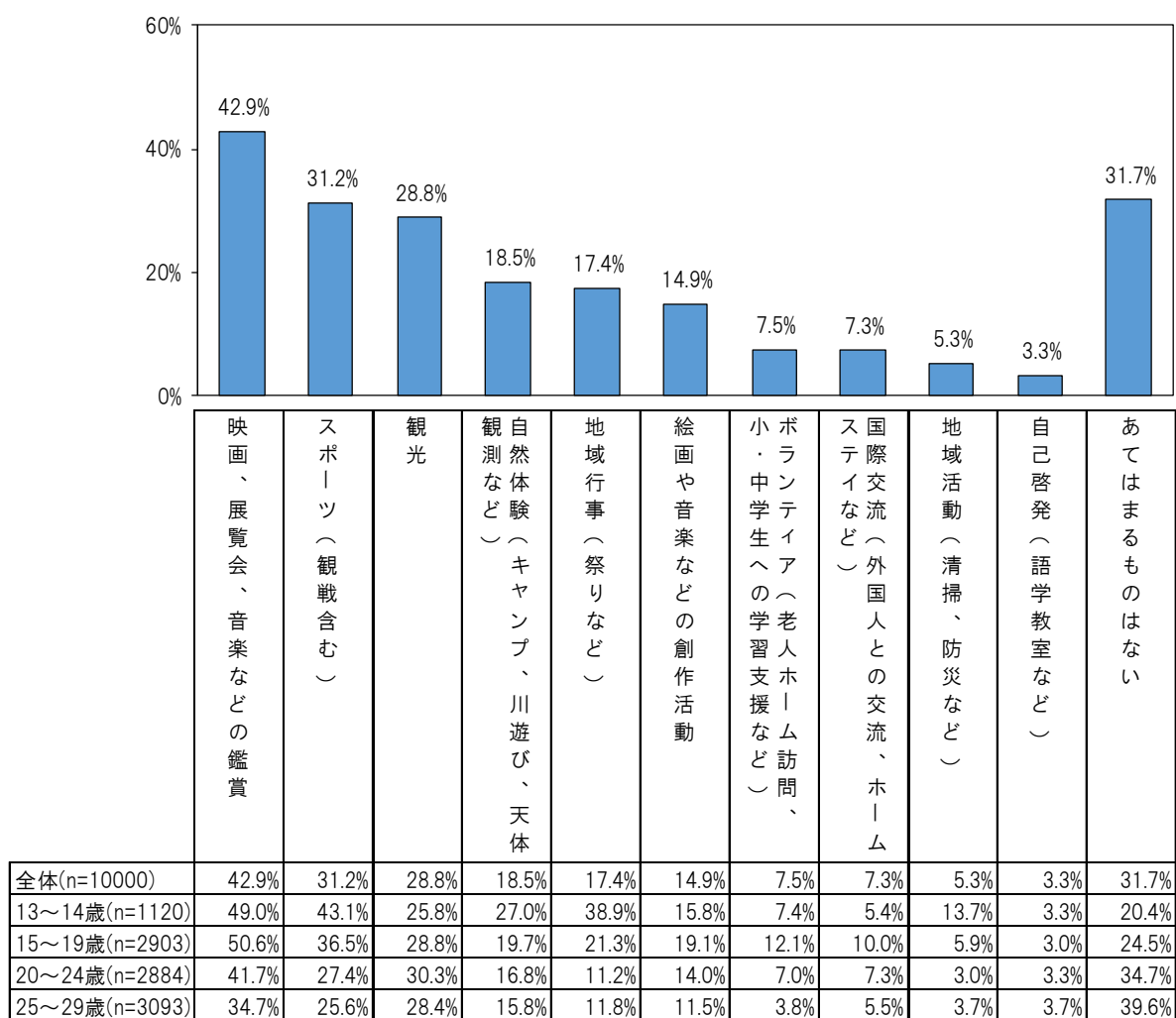
学校や職場以外で他者で行った活動内容について、全体では、「映画、展覧会、音楽などの鑑賞」(56.7%)が最も高く、次いで「スポーツ（観戦含む）」(48.3%)、「自然体験（キャンプ、川遊び、天体観測など）」(30.6%)となっている。

年齢別にみると、「映画、展覧会、音楽などの鑑賞」は「15～19歳」(62.0%)、「20～24歳」(64.2%)が6割を超えている。「13～14歳」は「スポーツ（観戦含む）」(55.3%)が最も高くなっている。

内閣府調査と比較すると、「映画、展覧会、音楽などの鑑賞」、「スポーツ（観戦含む）」、「自然体験（キャンプ、川遊び、天体観測など）」、「地域行事（祭りなど）」、「地域活動（清掃、防災など）」は10ポイント以上高くなっている。一方、「あてはまるものはない」は14.9ポイント低くなっている。



<内閣府調査(令和元年度)>

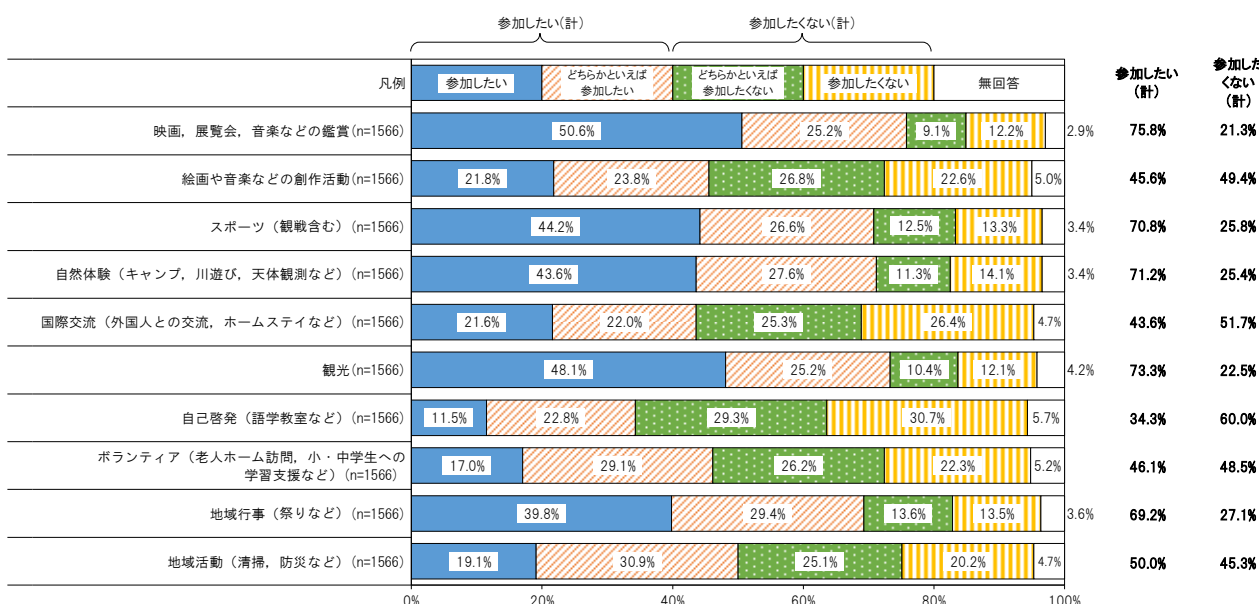


（２） 学校や職場以外で他者と行ってみたい活動内容

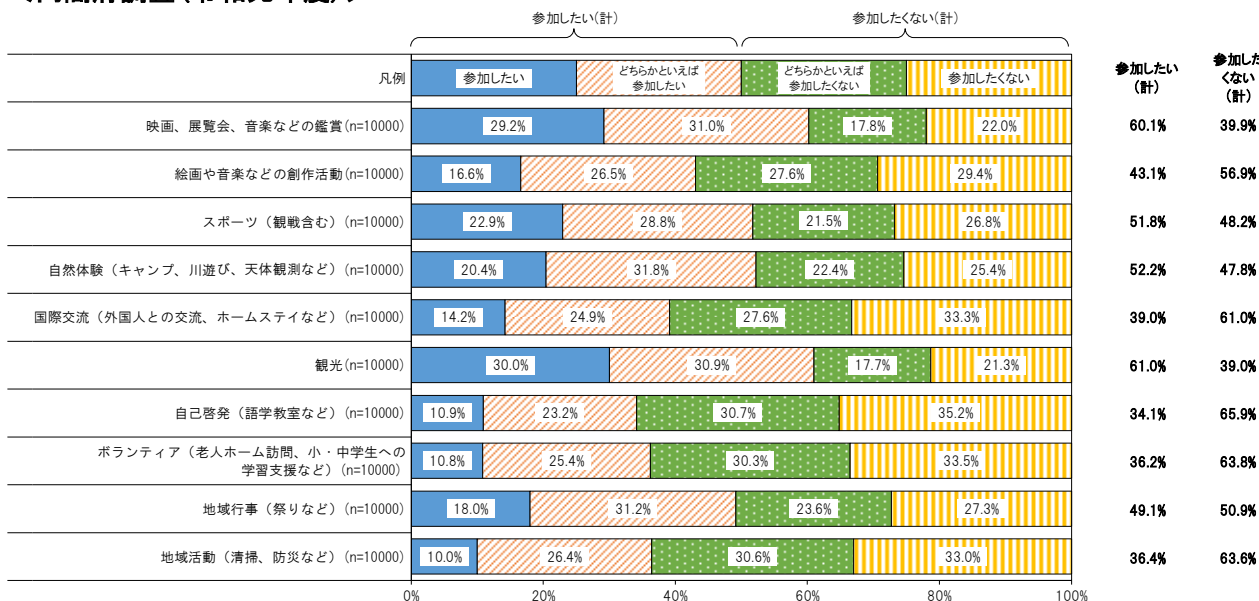
Q26 学校や職場以外で他の人と一緒に行う活動について、これからしてみたいこととしてあてはまると思うものを選んでください。【それぞれひとつだけ】

学校や職場以外で他の人と行ってみたい活動として、「参加したい(計)」は、「映画、展覧会、音楽などの鑑賞」(75.8%)が最も高く、次いで「観光」(73.3%)、「自然体験(キャンプ、川遊び、天体観測など)」(71.2%)となっている。一方、「参加したくない(計)」は、「自己啓発(語学教室など)」(60.0%)が最も高く、次いで「国際交流(外国人との交流、ホームステイなど)」(51.7%)、「絵画や音楽などの創作活動」(49.4%)となっている。

内閣府調査と比較すると、「参加したい」はすべての項目において高くなっており、「映画、展覧会、音楽などの鑑賞」、「スポーツ(観戦含む)」、「自然体験(キャンプ、川遊び、天体観測など)」、「地域行事(祭りなど)」は20ポイント以上高くなっている。



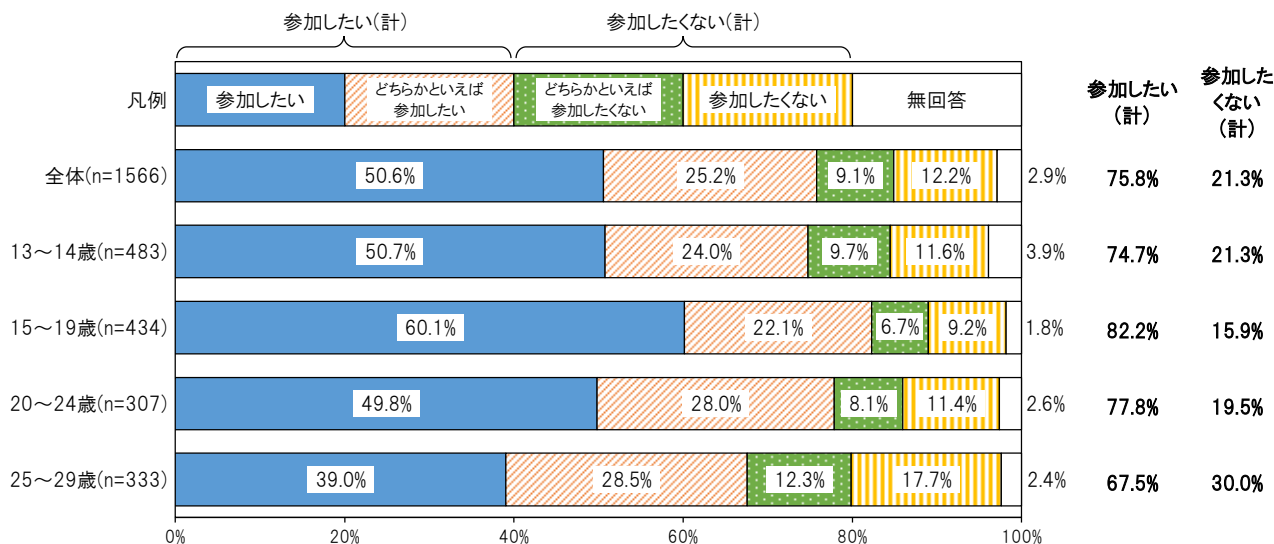
<内閣府調査(令和元年度)>



【映画、展覧会、音楽などの鑑賞】

学校や職場以外で他の人と行ってみたい活動の【映画、展覧会、音楽などの鑑賞】について、全体では、「参加したい」(50.6%) が最も高く、次いで「どちらかといえば参加したい」(25.2%) となっている。

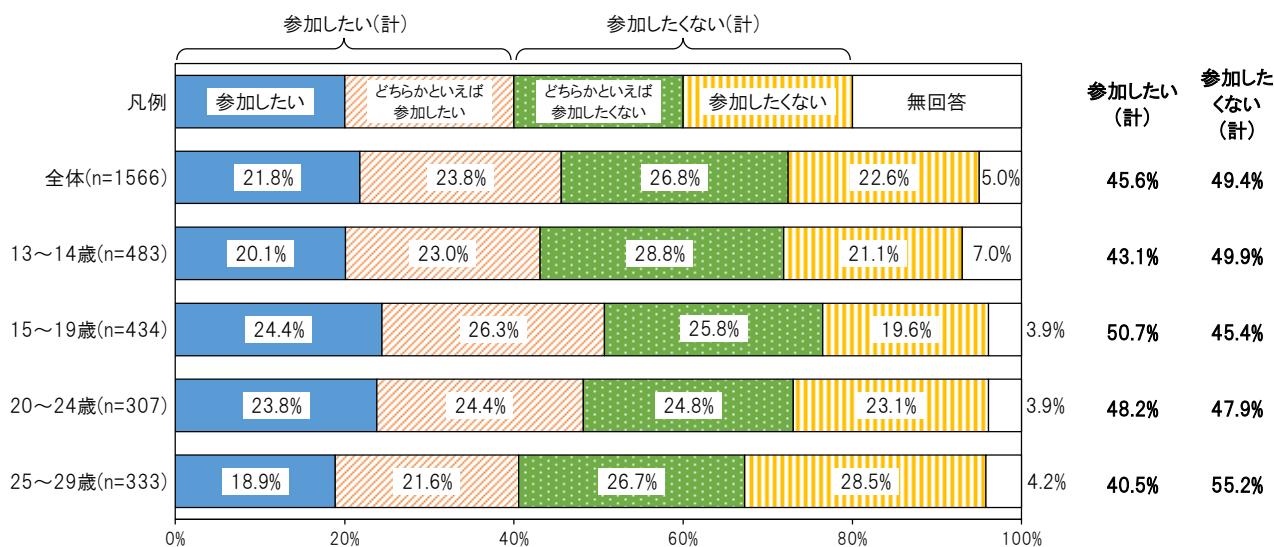
年齢別にみると、「参加したい(計)」は「15～19 歳」(82.2%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【絵画や音楽などの創作活動】

学校や職場以外で他の人と行ってみたい活動の【絵画や音楽などの創作活動】について、全体では、「どちらかといえば参加したくない」(26.8%) が最も高く、次いで「どちらかといえば参加したい」(23.8%) となっている。

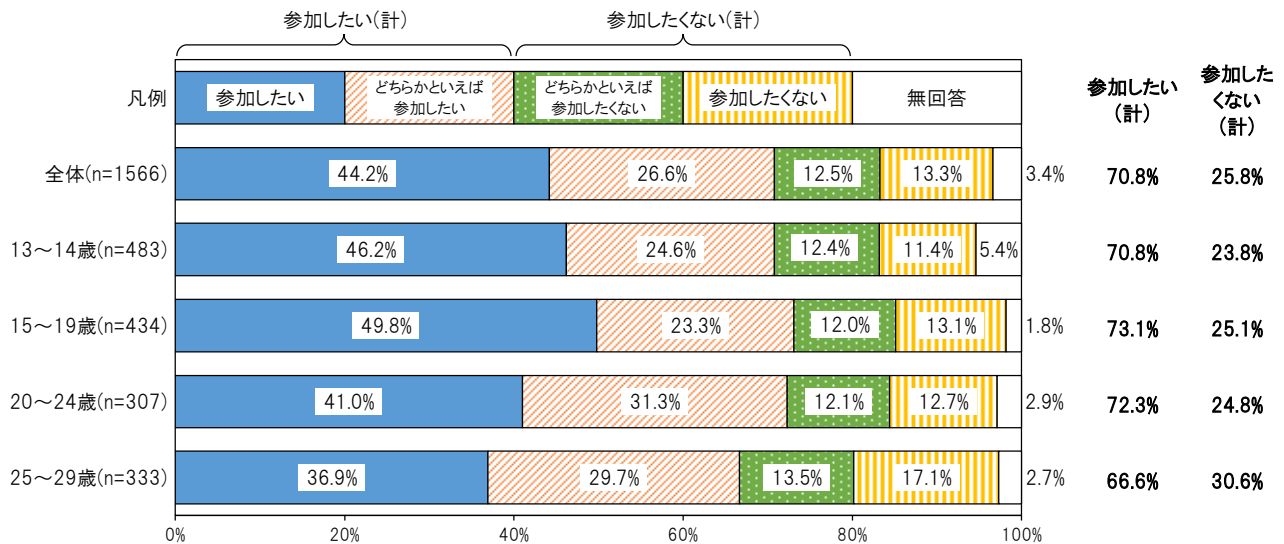
年齢別にみると、「参加したい(計)」は「15～19 歳」(50.7%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【スポーツ（観戦含む）】

学校や職場以外で他の人と行ってみたい活動の【スポーツ（観戦含む）】について、全体では、「参加したい」（44.2%）が最も高く、次いで「どちらかといえば参加したい」（26.6%）となっている。

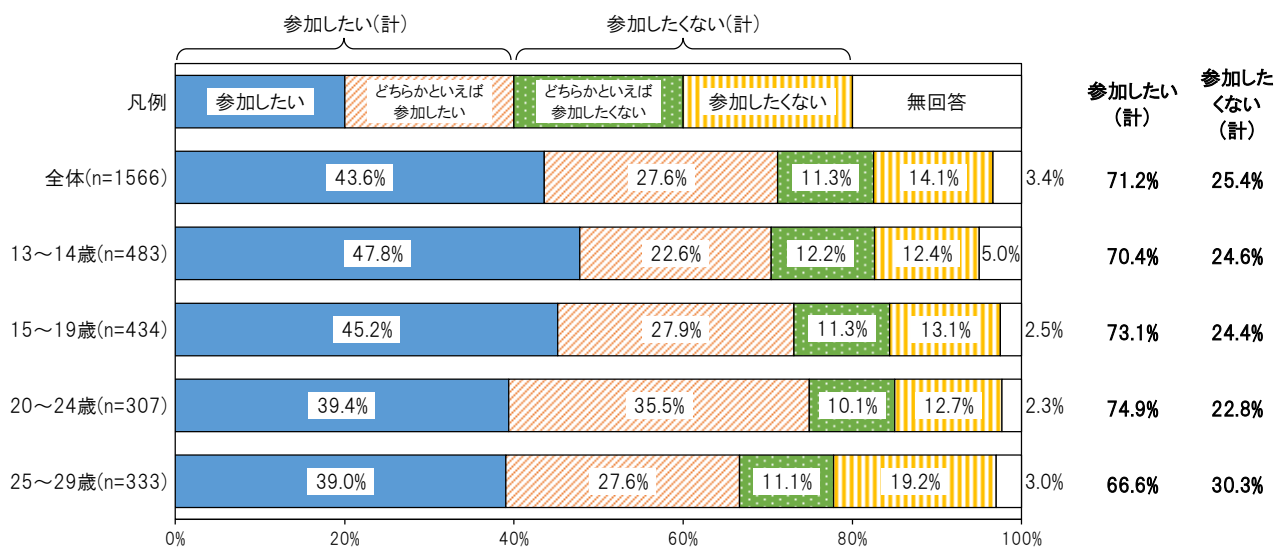
年齢別にみると、「参加したい(計)」は「15～19 歳」（73.1%）が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【自然体験（キャンプ、川遊び、天体観測など）】

学校や職場以外で他の人と行ってみたい活動の【自然体験（キャンプ、川遊び、天体観測など）】について、全体では、「参加したい」（43.6%）が最も高く、次いで「どちらかといえば参加したい」（27.6%）となっている。

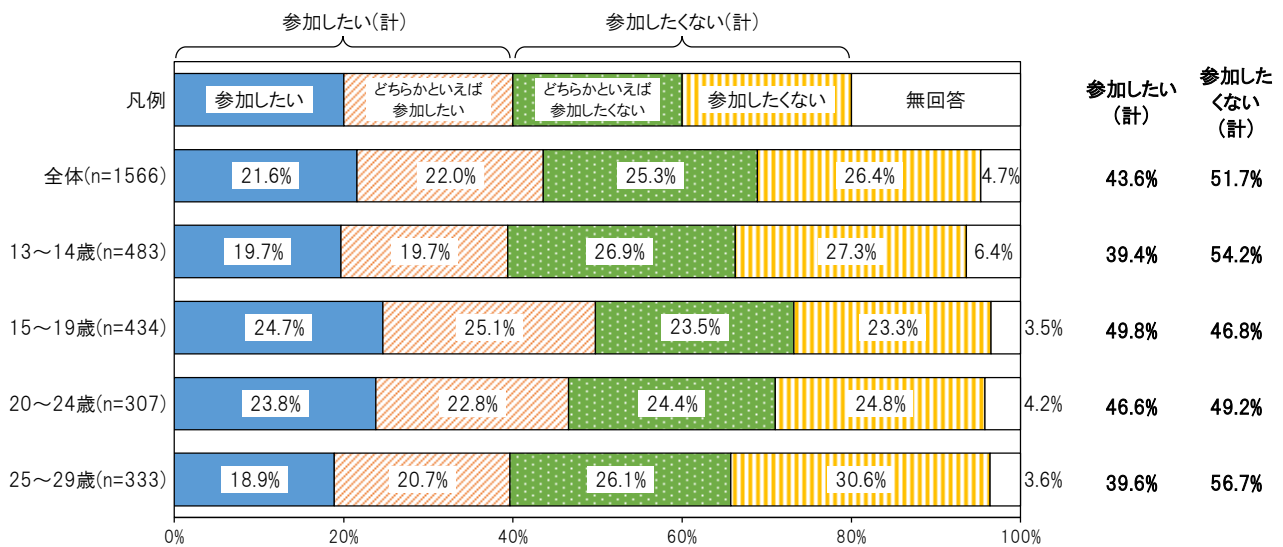
年齢別にみると、「参加したい(計)」は「20～24 歳」（74.9%）が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【国際交流（外国人との交流，ホームステイなど）】

学校や職場以外で他の人と行ってみたい活動の【国際交流（外国人との交流，ホームステイなど）】について、全体では、「参加したくない」（26.4%）が最も高く、次いで「どちらかといえば参加したくない」（25.3%）となっている。

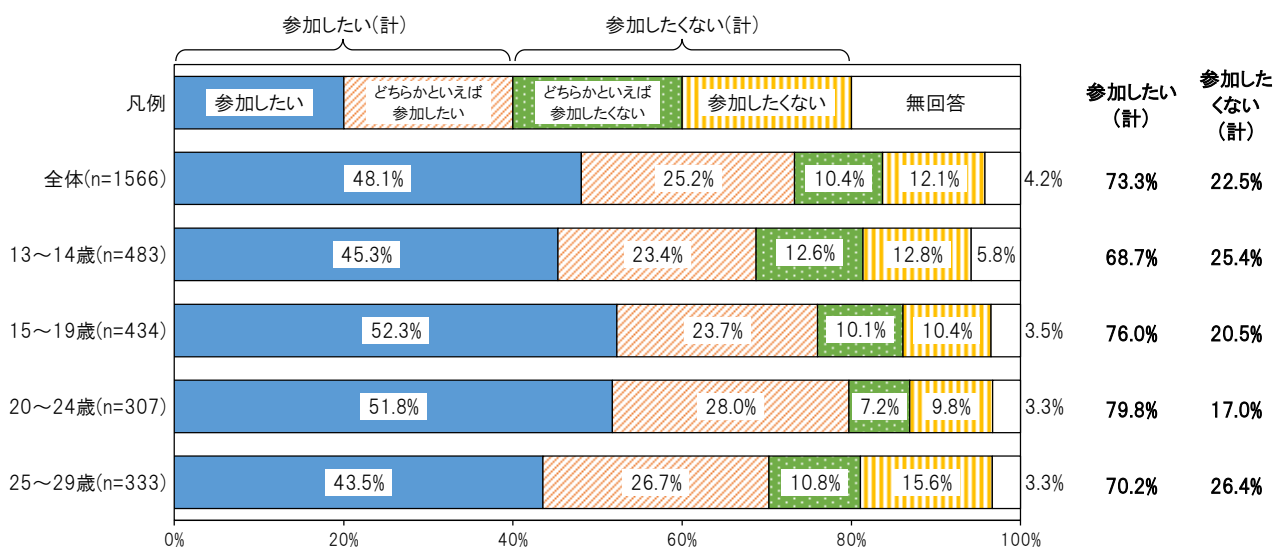
年齢別にみると、「参加したい(計)」は「15～19 歳」（49.8%）が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「参加したくない(計)」はいずれの年齢も「参加したい(計)」と比べ高くなっている。



【観光】

学校や職場以外で他の人と行ってみたい活動の【観光】について、全体では、「参加したい」（48.1%）が最も高く、次いで「どちらかといえば参加したい」（25.2%）となっている。

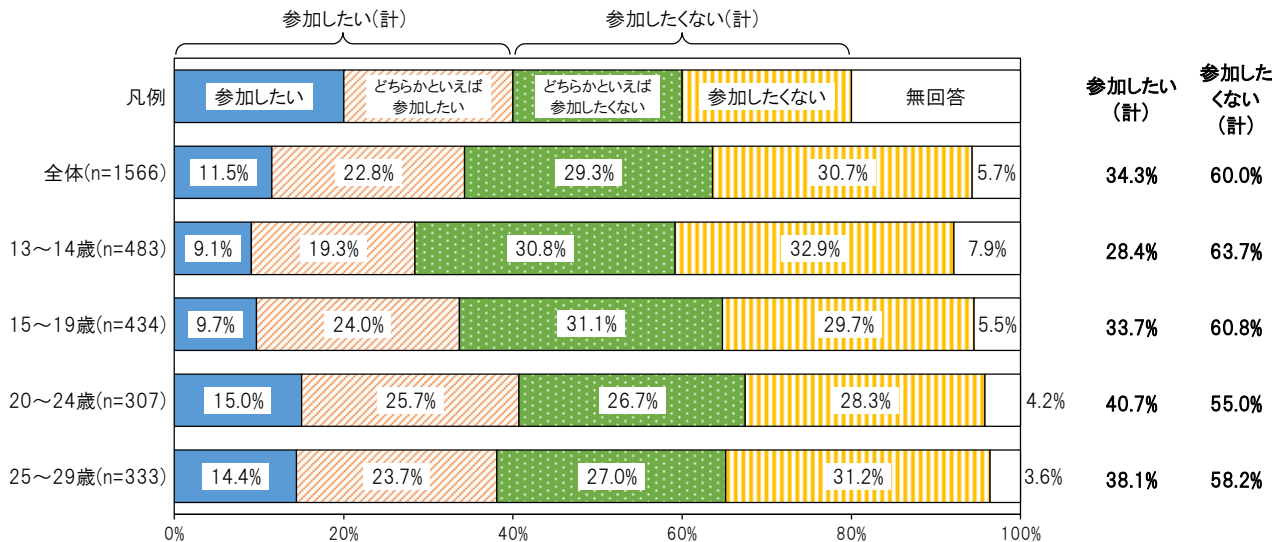
年齢別にみると、「参加したい(計)」は「20～24 歳」（79.8%）が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【自己啓発（語学教室など）】

学校や職場以外で他の人と行ってみたい活動の【自己啓発（語学教室など）】について、全体では、「参加したくない」（30.7%）が最も高く、次いで「どちらかといえば参加したくない」（29.3%）となっている。

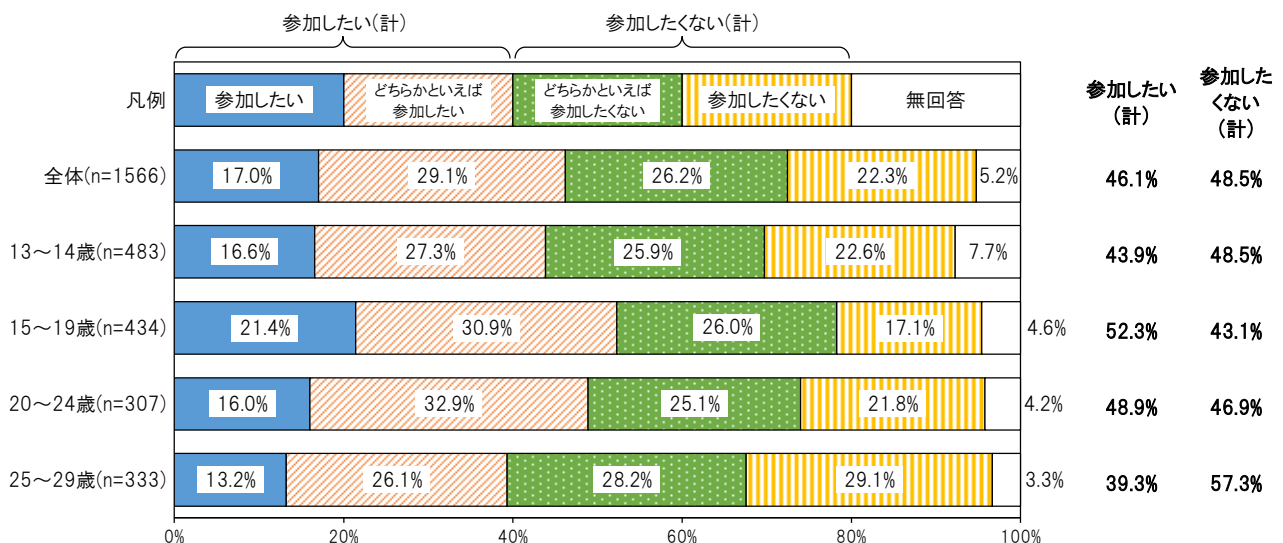
年齢別にみると、「参加したい(計)」は「20～24 歳」（40.7%）が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「参加したくない(計)」はいずれの年齢も「参加したい(計)」と比べ高くなっている。



【ボランティア（老人ホーム訪問，小・中学生への学習支援など）】

学校や職場以外で他の人と行ってみたい活動の【ボランティア（老人ホーム訪問，小・中学生への学習支援など）】について、全体では、「どちらかといえば参加したい」（29.1%）が最も高く、次いで「どちらかといえば参加したくない」（26.2%）となっている。

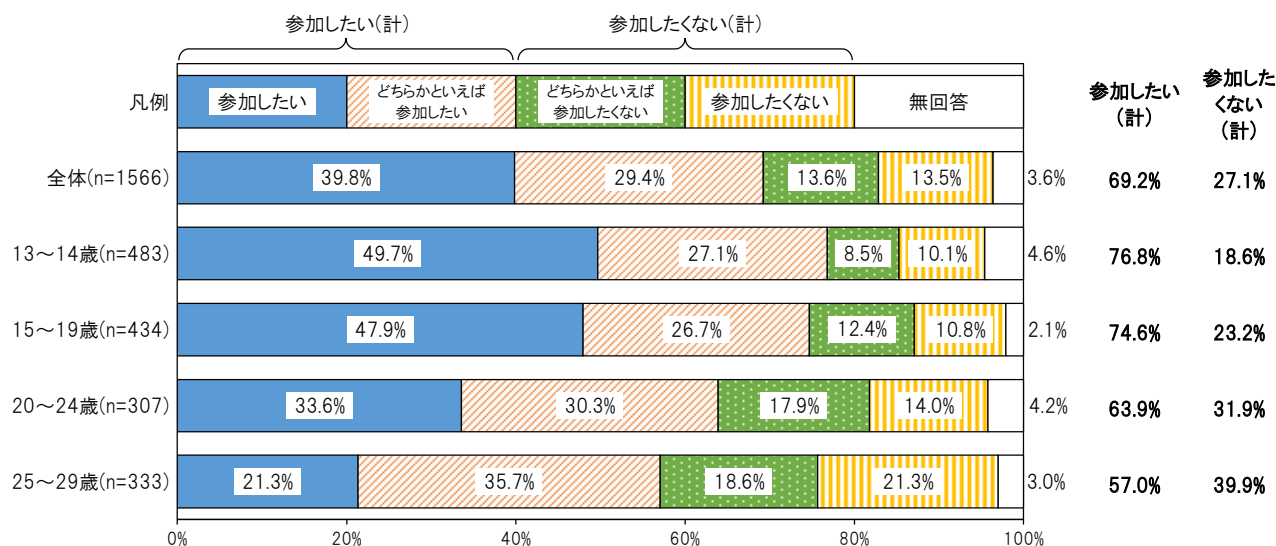
年齢別にみると、「参加したい(計)」は「15～19 歳」（52.3%）が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「参加したくない(計)」は「25～29 歳」（57.3%）が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【地域行事（祭りなど）】

学校や職場以外で他の人と行ってみたい活動の【地域行事（祭りなど）】について、全体では、「参加したい」（39.8%）が最も高く、次いで「どちらかといえば参加したい」（29.4%）となっている。

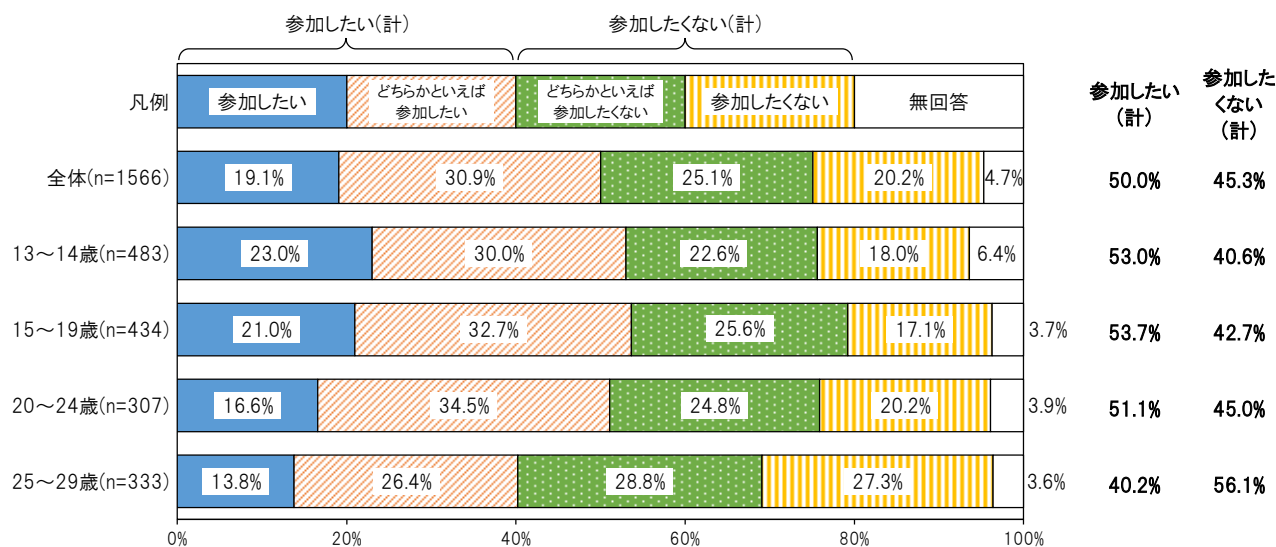
年齢別にみると、「参加したい(計)」は「13～14 歳」（76.8%）が他の年齢と比べ最も高くなっており、年齢が若いほど高くなる傾向がみられる。一方、「参加したくない(計)」は「25～29 歳」（39.9%）が他の年齢と比べ最も高くなってきている。



【地域活動（清掃，防災など）】

学校や職場以外で他の人と行ってみたい活動の【地域活動（清掃，防災など）】について、全体では、「どちらかといえば参加したい」（30.9%）が最も高く、次いで「どちらかといえば参加したくない」（25.1%）となっている。

年齢別にみると、「参加したい(計)」は「15～19 歳」（53.7%）が他の年齢と比べ最も高くなってきている。一方、「参加したくない(計)」は「25～29 歳」（56.1%）が他の年齢と比べ最も高くなってきている。



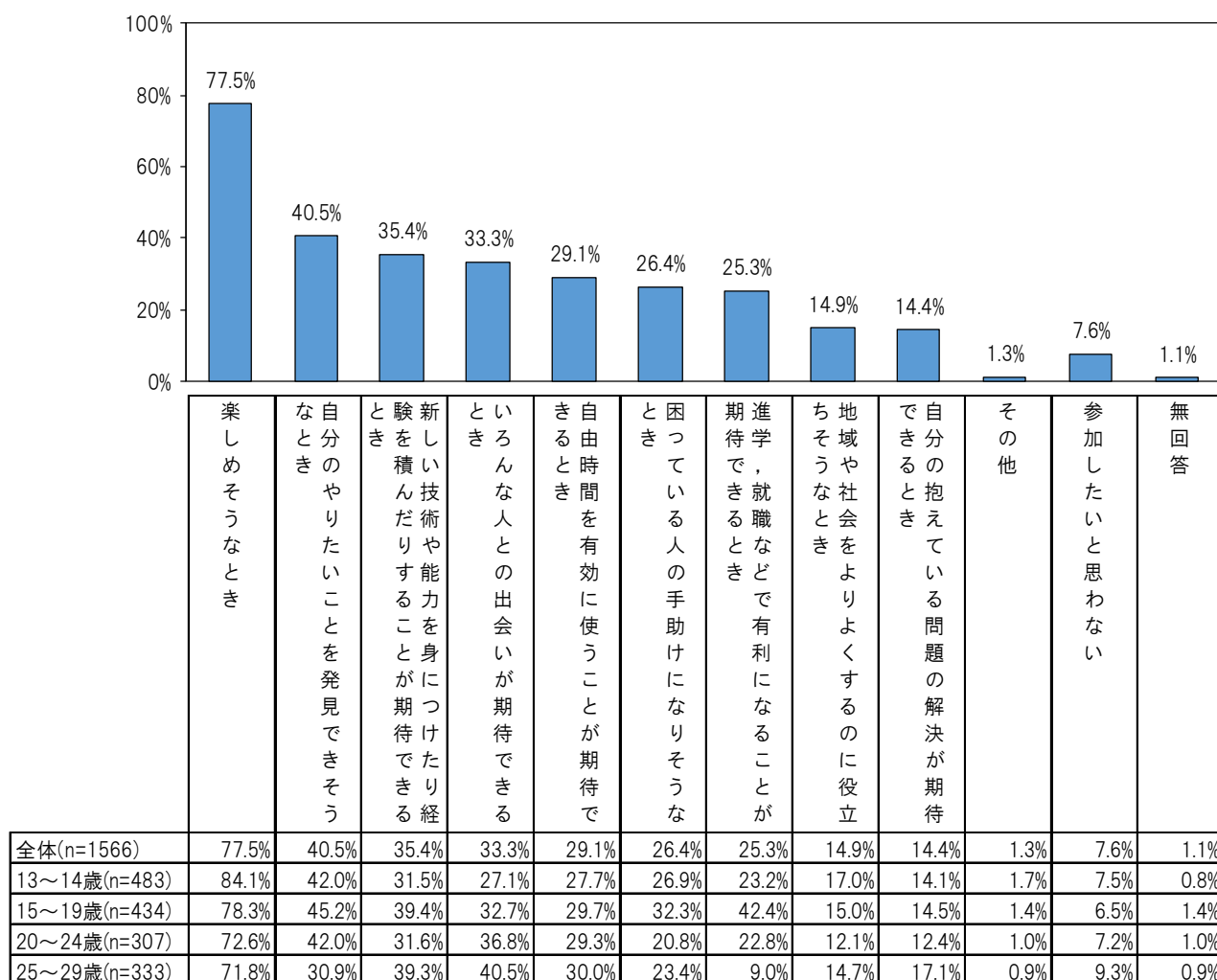
(3) 学校や職場以外で他者と活動を行いたい場面

Q27 あなたは、どのような場合に、学校や職場以外で他の人と一緒に行う活動（趣味の活動やボランティア、イベントなど）に参加しようと思いますか。【いくつでも】

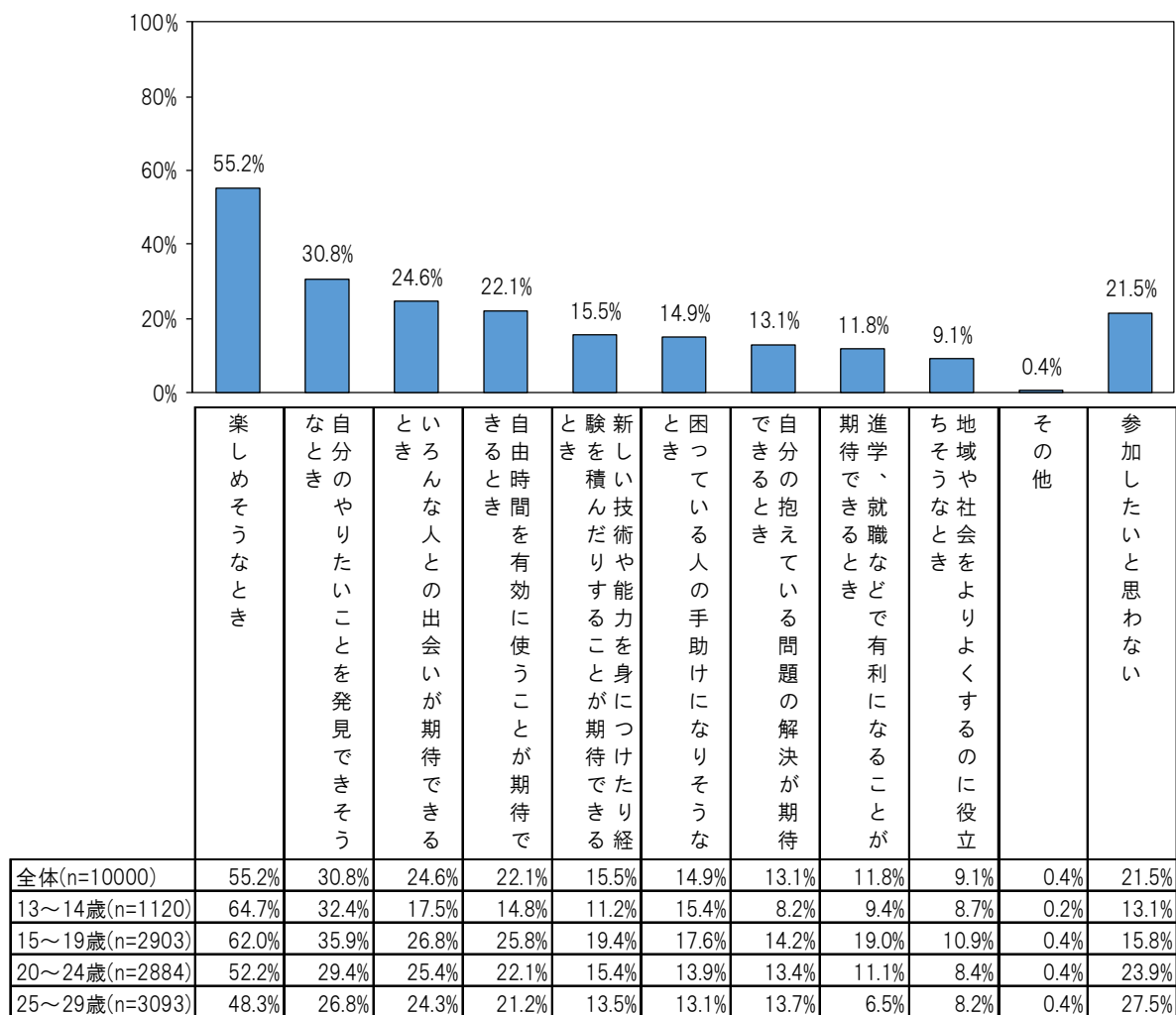
学校や職場以外で他の人と行いたい活動の場面について、全体では、「楽しめそうなき」(77.5%)が最も高く、次いで「自分のやりたいことを発見できそうなき」(40.5%)、「新しい技術や能力を身につけたり経験を積んだりすることが期待できるとき」(35.4%)となっている。

年齢別にみると、「楽しめそうなき」は「13～14歳」(84.1%)が他の年齢と比べ最も高くなっており、年齢が若いほど高くなる傾向がみられる。「いろんな人との出会いが期待できるとき」は「25～29歳」(40.5%)が他の年齢と比べ最も高くなっており、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。「参加したいと思わない」はいずれの年齢も1割未満となっている。

内閣府調査と比較すると、「参加したいと思わない」以外のすべての項目において高くなっており、「楽しめそうなき」は22.3ポイント高くなっている。一方、「参加したいと思わない」は13.9ポイント低くなっている。



<内閣府調査(令和元年度)>



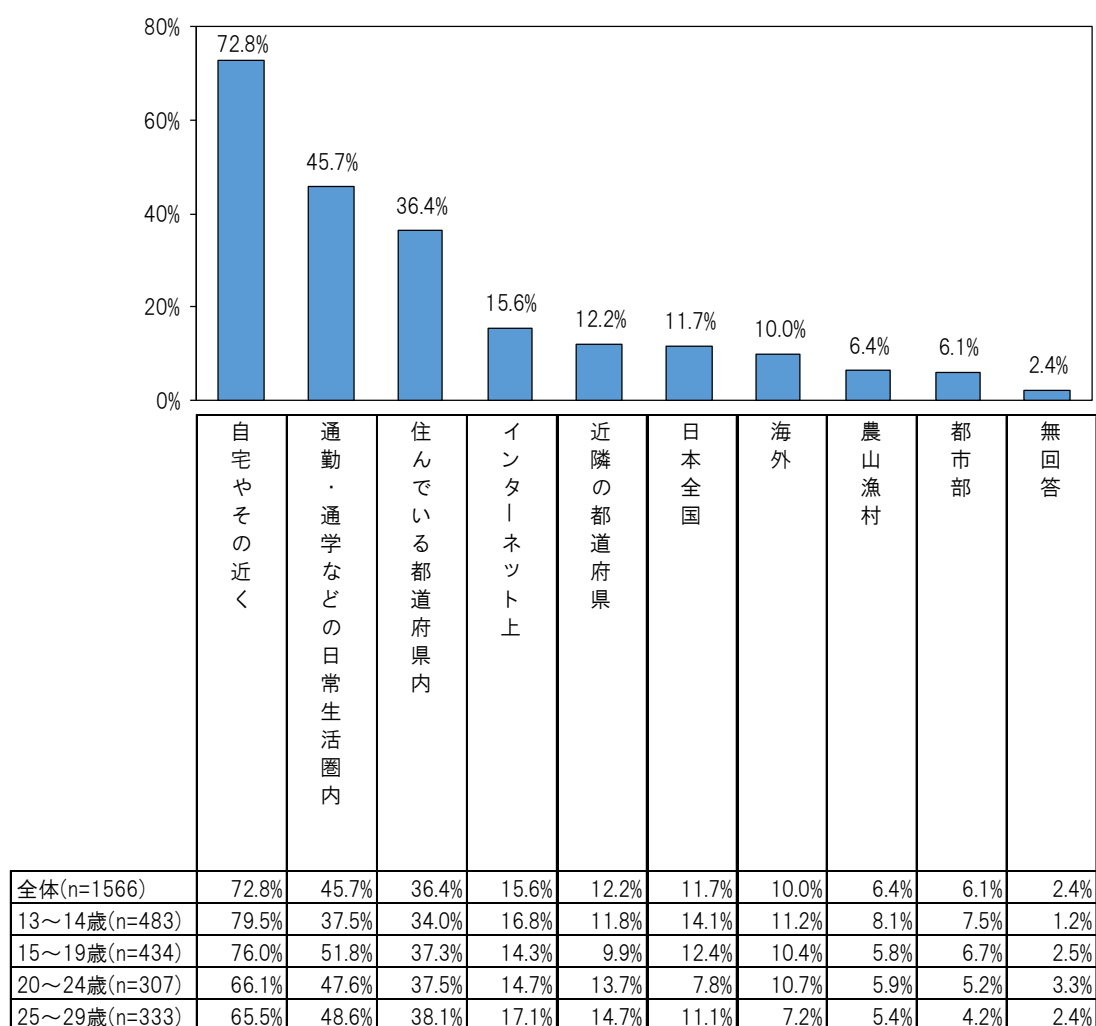
（４） 他者との活動に参加したいと思える場所

Q28 あなたは他の人と一緒に行う活動に参加するとき、どのような場所であれば参加したいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。【いくつでも】

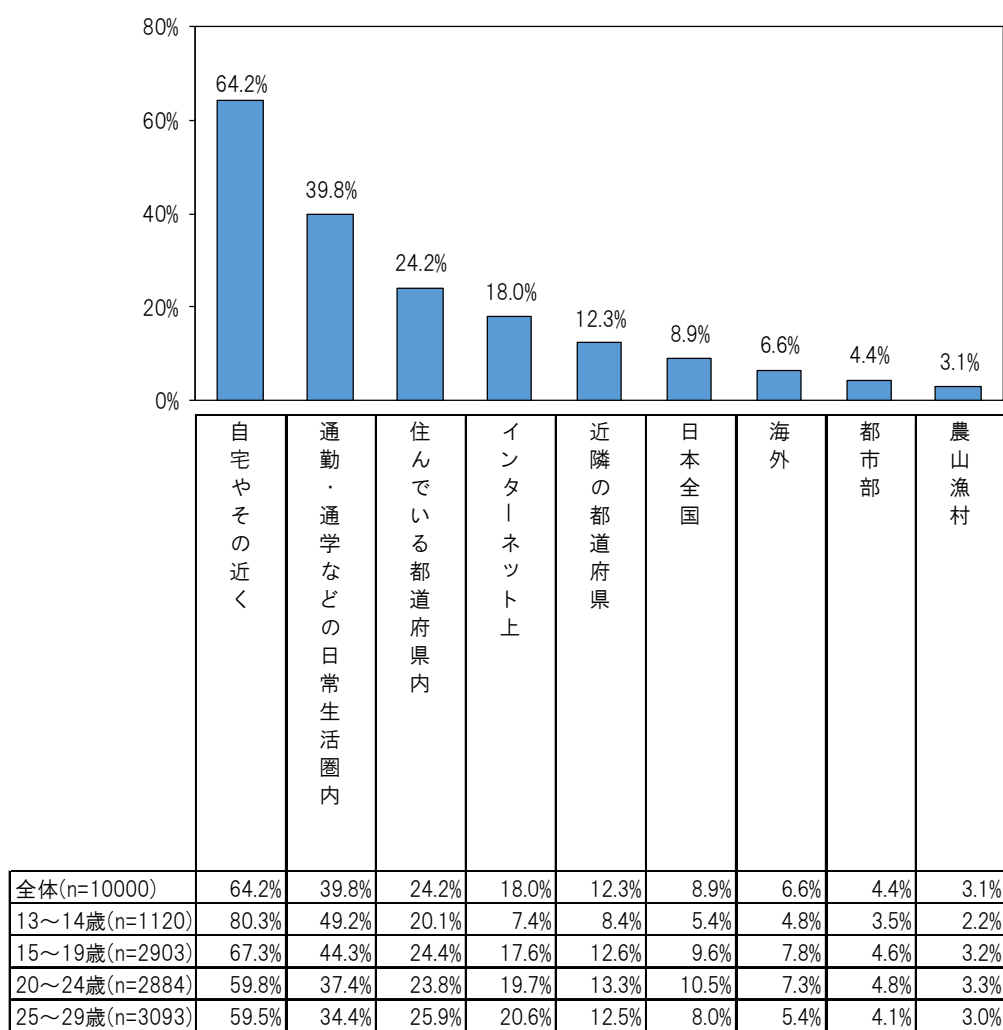
他の人と一緒に活動に参加したい場所について、全体では、「自宅やその近く」(72.8%)が最も高く、次いで「通勤・通学などの日常生活圏内」(45.7%)、「住んでいる都道府県内」(36.4%)となっている。

年齢別にみると、「自宅やその近く」は「13～14歳」(79.5%)が他の年齢と比べ最も高くなっており、年齢が若いほど高くなる傾向がみられる。

内閣府調査と比較すると、「住んでいる都道府県内」は12.2ポイント高くなっている。



<内閣府調査(令和元年度)>



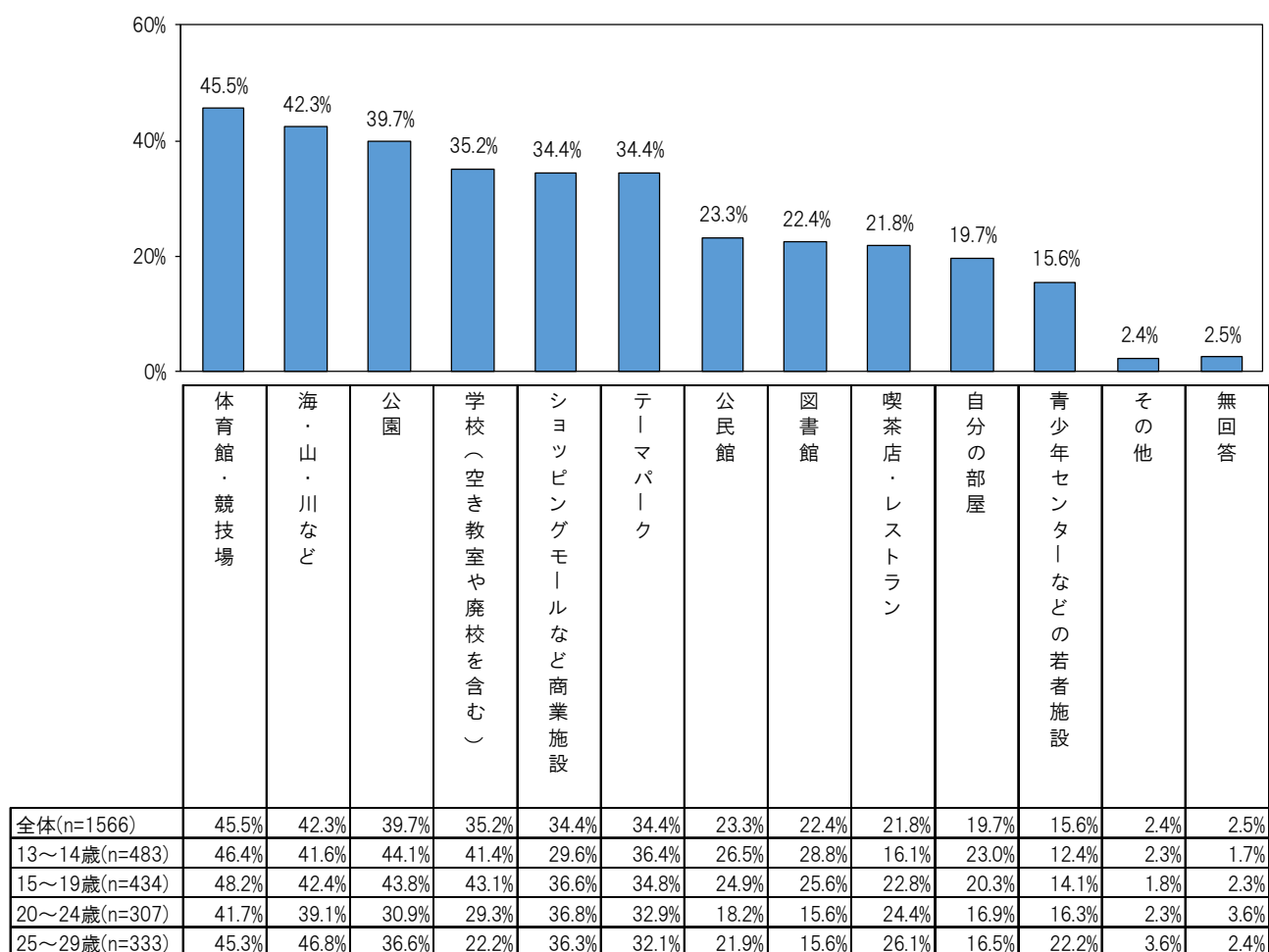
(5) 他者との活動を行えると良いと思う場所

Q29 他の人と一緒に行う活動はどのような場所で行えるのが良いと思いますか。【いくつでも】

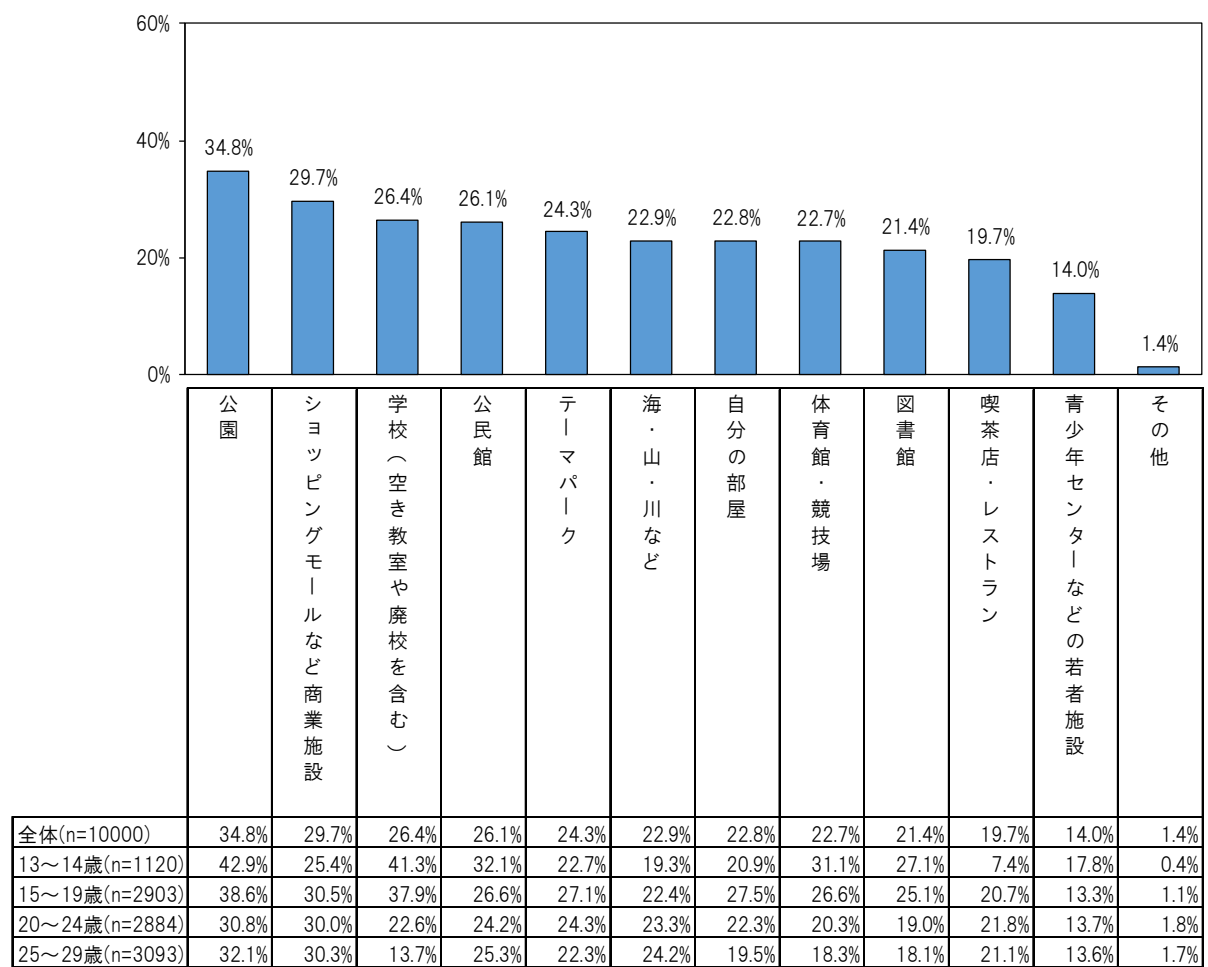
他の人と一緒に活動を行いたい場所について、全体では、「体育館・競技場」(45.5%)が最も高く、次いで「海・山・川など」(42.3%)、「公園」(39.7%)となっている。

年齢別にみると、「学校（空き教室や廃校を含む）」は「13～14歳」(41.4%)、15～19歳」(43.1%)が他の年齢と比べ高くなっている。また、「図書館」も「13～14歳」(28.8%)、「15～19歳」(25.6%)が他の年齢と比べ高くなっている。「25～29歳」は「海・山・川など」(46.8%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。

内閣府調査と比較すると、「体育館・競技場」は22.8ポイント、「海・山・川など」は19.4ポイント高くなっている。



<内閣府調査(令和元年度)>



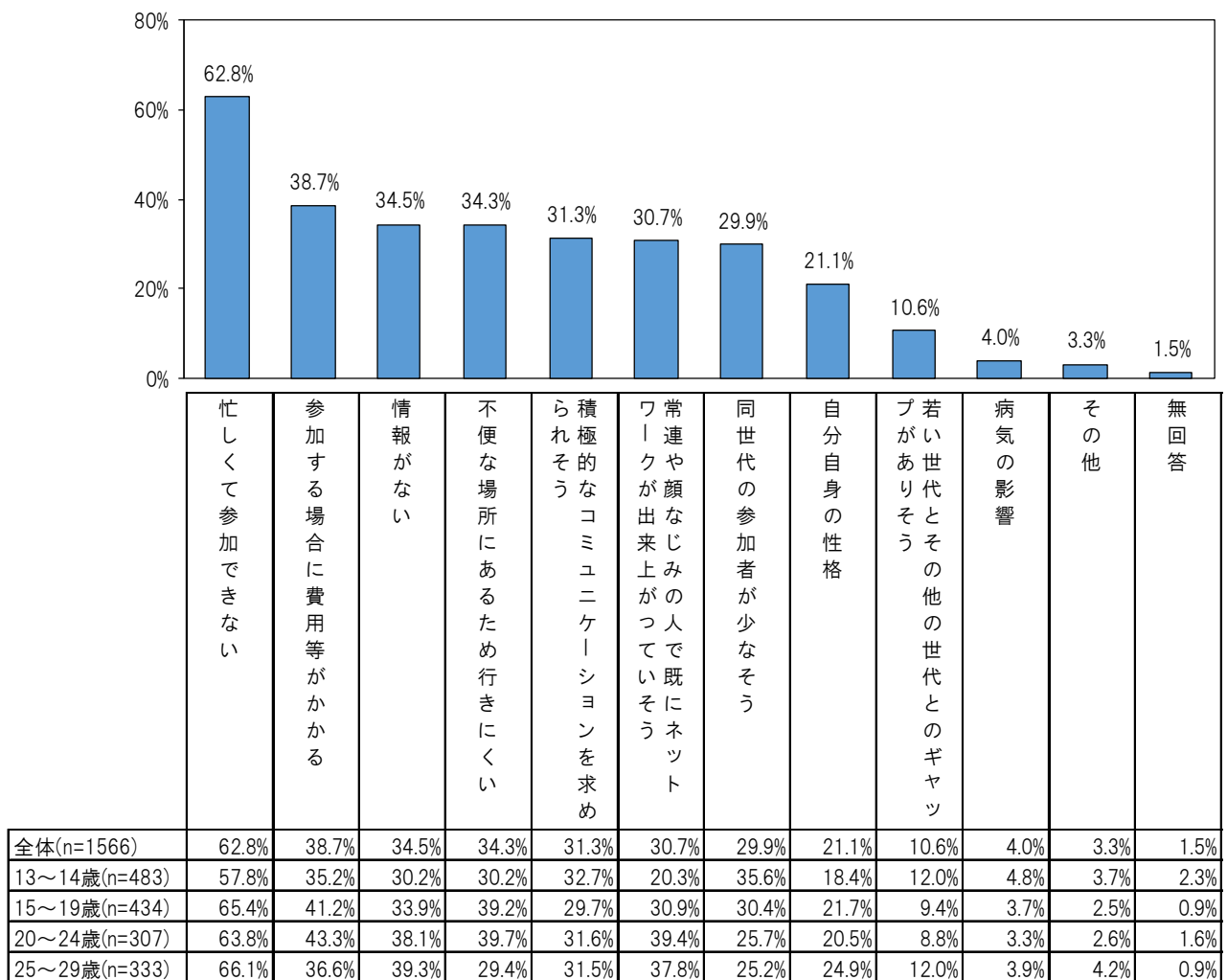
(6) 他者との活動への参加で支障となること

Q30 あなたが、他の人と一緒に行う活動に参加したくてもできない場合、その支障となる理由としてあてはまるものは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。【いくつでも】

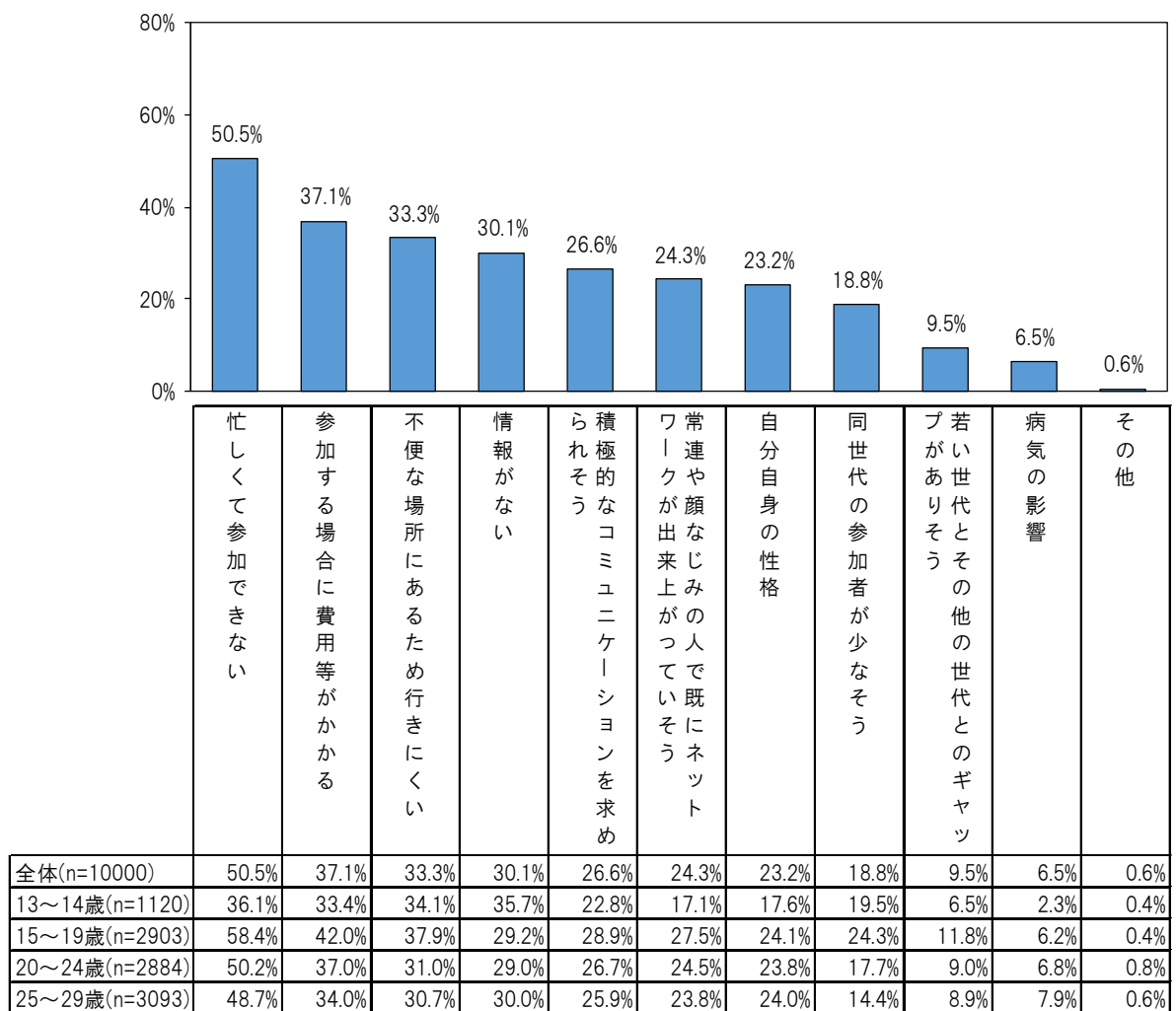
他の人との活動への参加で支障となることについて、全体では、「忙しくて参加できない」(62.8%)が最も高く、次いで「参加する場合に費用等がかかる」(38.7%)、「情報がない」(34.5%)となっている。

年齢別にみると、「忙しくて参加できない」は「15～19歳」(65.4%)、「25～29歳」(66.1%)が約7割となっている。

内閣府調査と比較すると、どちらも「忙しくて参加できない」が最も高くなっているが、今回調査は12.3ポイント高くなっている。



<内閣府調査(令和元年度)>



7 社会参加

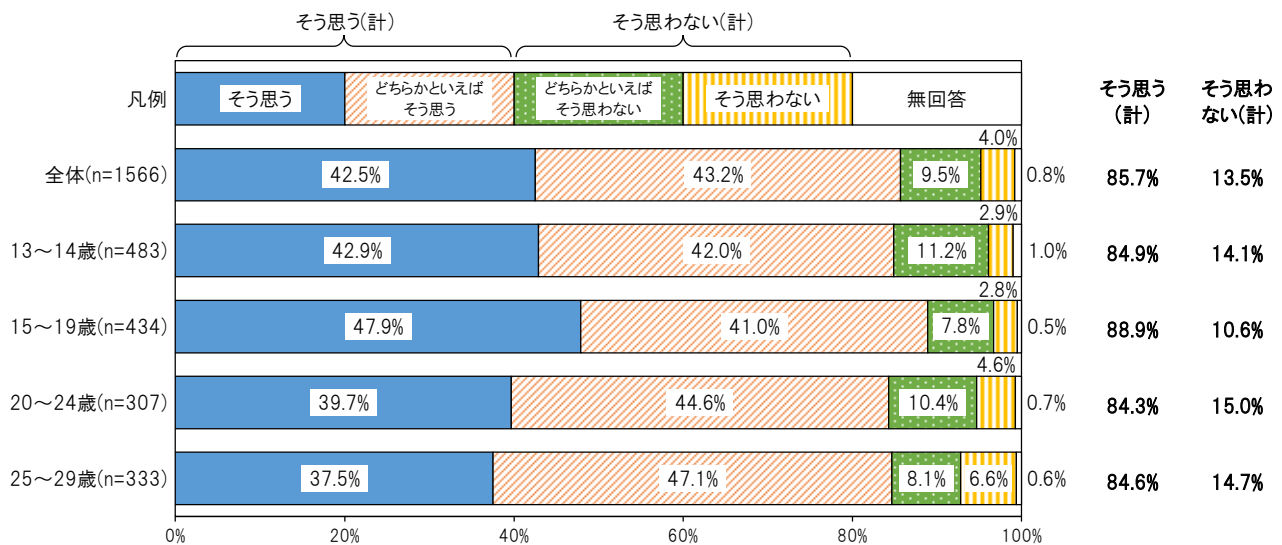
(1) 社会のために役立ちたいか

Q31 「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。【ひとつだけ】

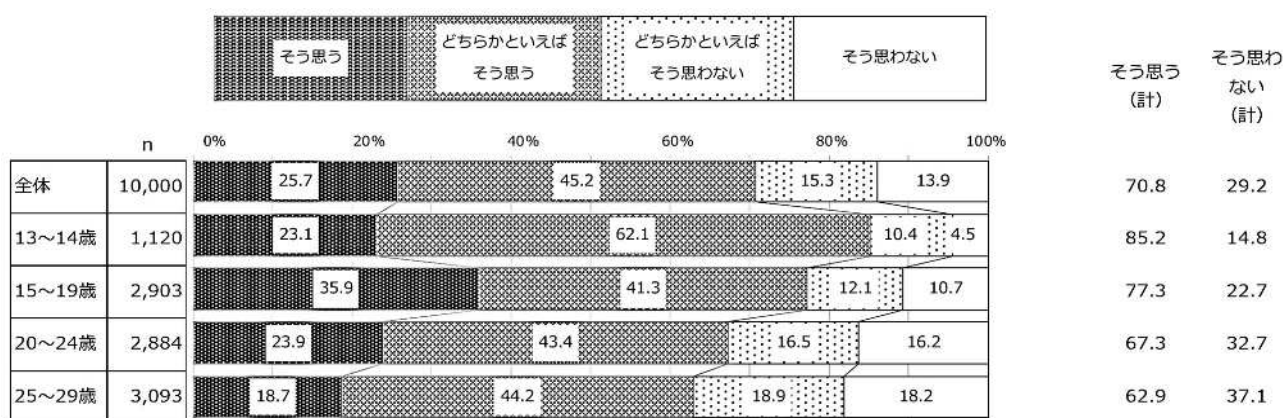
社会のために役立つことをしたいかどうかについて、全体では、「どちらかといえばそう思う」(43.2%)が最も高く、次いで「そう思う」(42.5%)となっている。

年齢別にみると、「そう思う」は「15～19歳」(47.9%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。また、「そう思う(計)」はいずれの年齢も8割を超えている。

内閣府調査と比較すると、「そう思う」は16.8ポイント高くなっている。



<内閣府調査(令和元年度)>



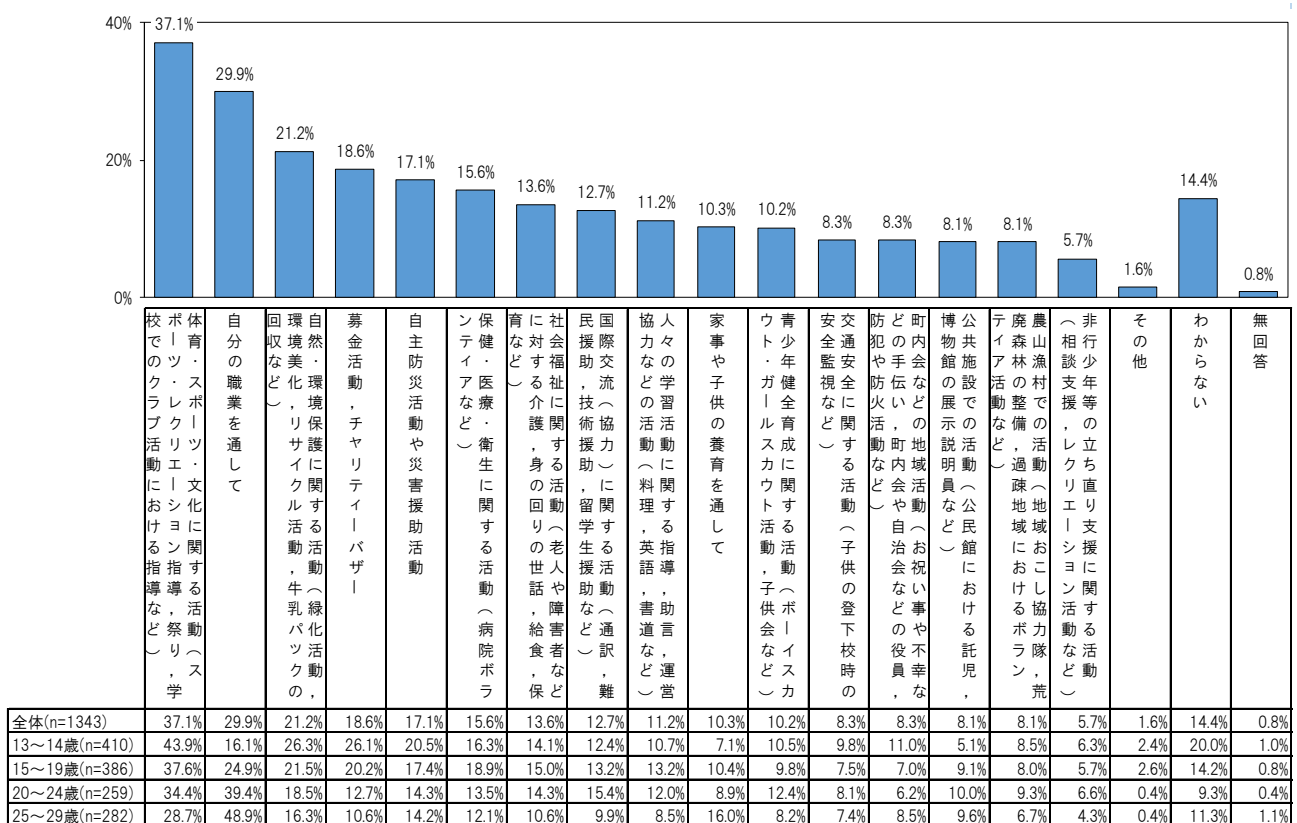
(2) 社会貢献の手段

Q32 Q31で「1 そう思う」若しくは「2 どちらかといえばそう思う」と回答した方にお伺いします。
具体的に何を通して社会のために役立ちたいと考えていますか。あてはまるものをすべて選んでください。【いくつでも】

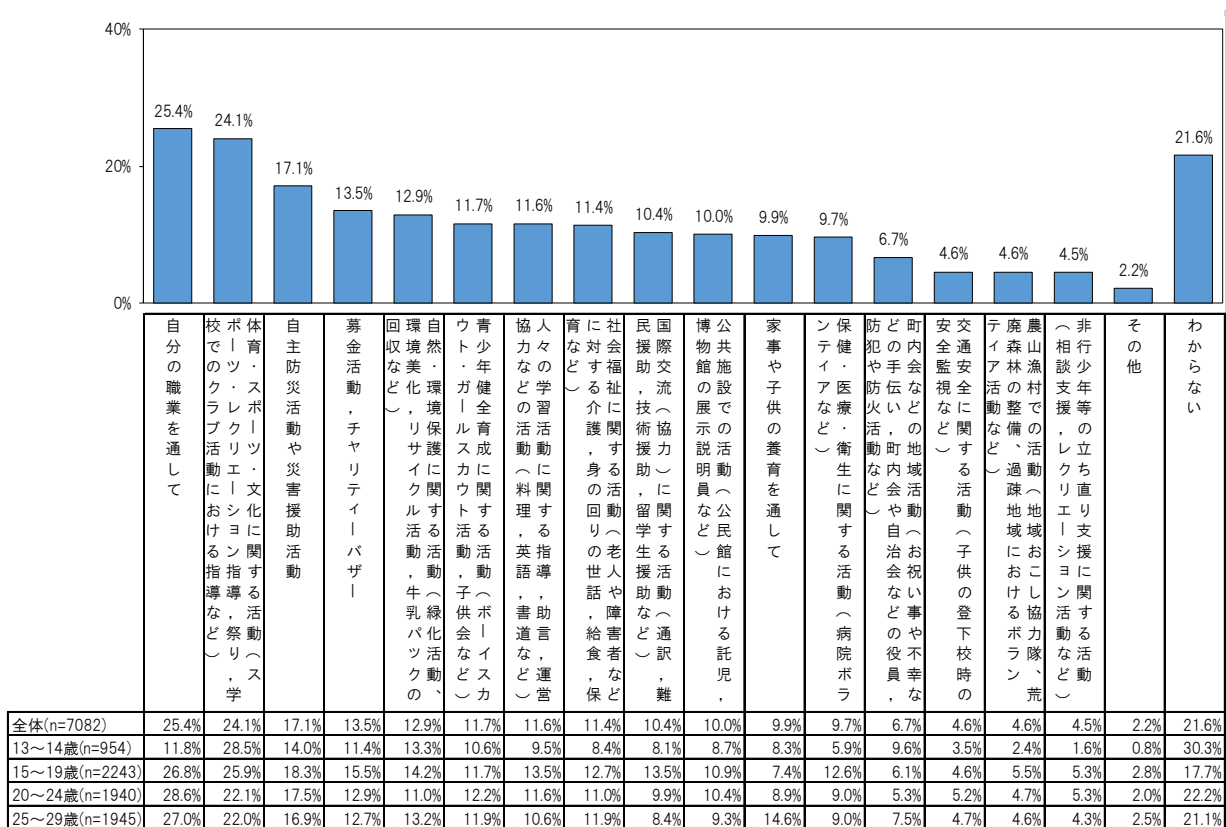
社会に役立つための具体的な手段として、全体では、「体育・スポーツ・文化に関する活動（スポーツ・レクリエーション指導、祭り、学校でのクラブ活動における指導など）」(37.1%) が最も高く、次いで「自分の職業を通して」(29.9%)、「自然・環境保護に関する活動（緑化活動、環境美化、リサイクル活動、牛乳パックの回収など）」(21.2%) となっている。

年齢別にみると、「体育・スポーツ・文化に関する活動（スポーツ・レクリエーション指導、祭り、学校でのクラブ活動における指導など）」は「13～14歳」(43.9%) が他の年齢と比べ最も高くなっており、年齢が若いほど高くなる傾向がみられる。「自分の職業を通して」は「25～29歳」(48.9%) が他の年齢と比べ最も高くなっており、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

内閣府調査と比較すると、「体育・スポーツ・文化に関する活動（スポーツ・レクリエーション指導、祭り、学校でのクラブ活動における指導など）」は13ポイント高くなっている。



＜内閣府調査(令和元年度)＞



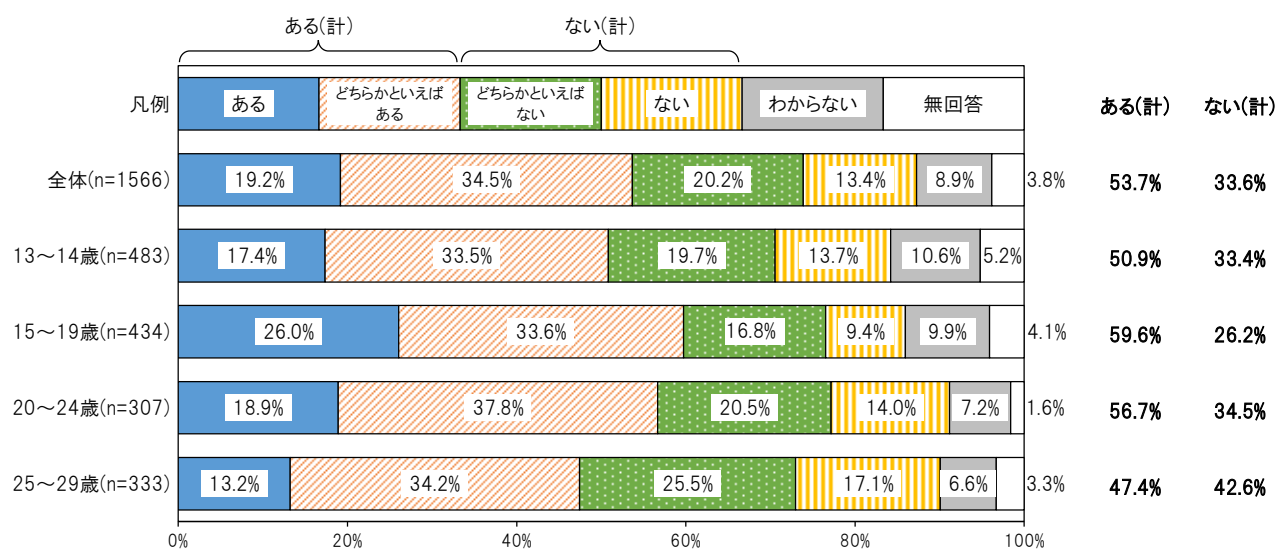
(3) ボランティア活動に対する興味

Q33 あなたはボランティア活動に興味がありますか。【ひとつだけ】

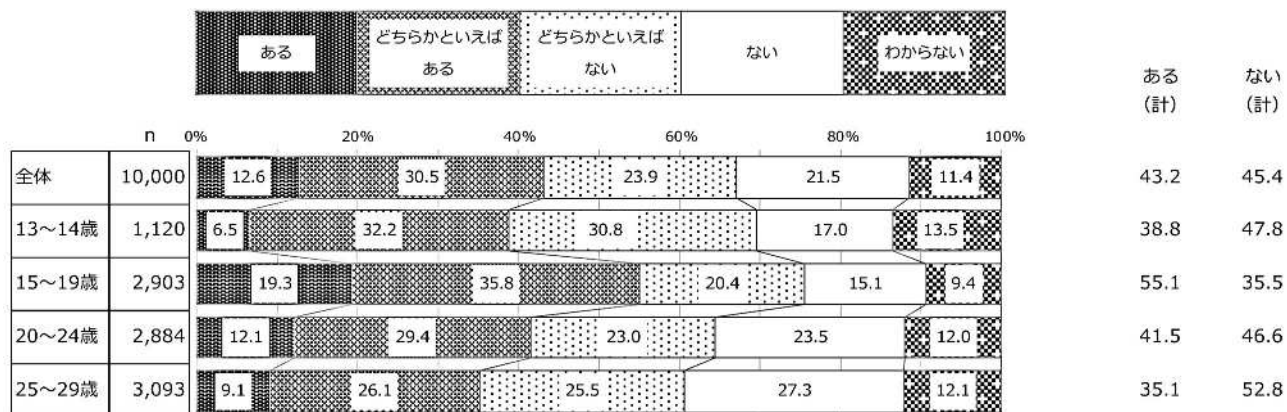
ボランティア活動への興味について、全体では、「どちらかといえばある」(34.5%)が最も高く、次いで「どちらかといえはない」(20.2%)となっている。

年齢別にみると、「ある(計)」は「15～19歳」(59.6%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。

内閣府調査と比較すると、「ある(計)」は10.5ポイント高くなっている。



<内閣府調査(令和元年度)>



(4) ボランティア活動に興味がある理由

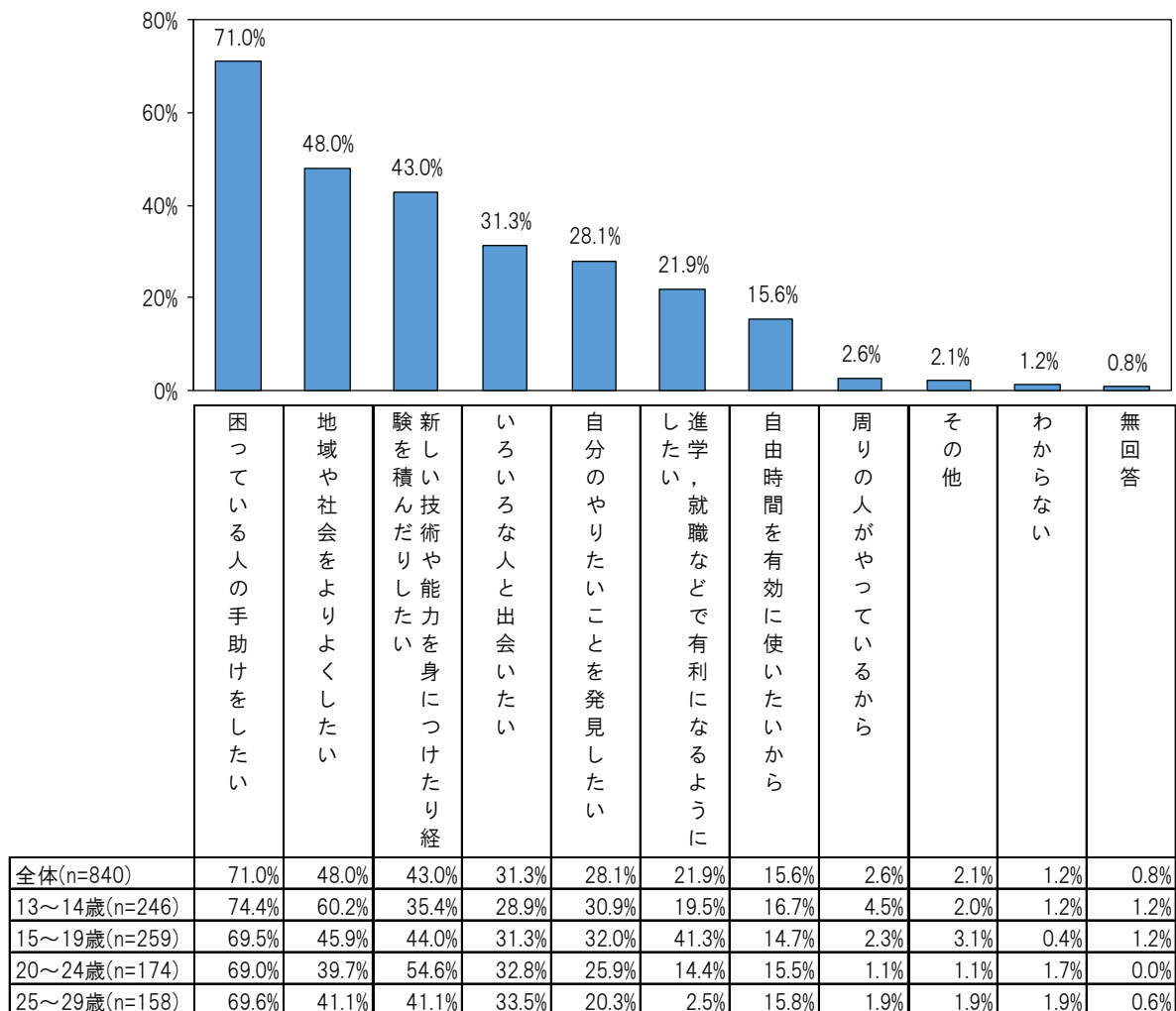
Q34 Q33で「1 ある」若しくは「2 どちらかといえばある」と回答した方にお伺いします。

あなたがボランティア活動に興味があるのは、どのような気持ちからですか。【いくつでも】

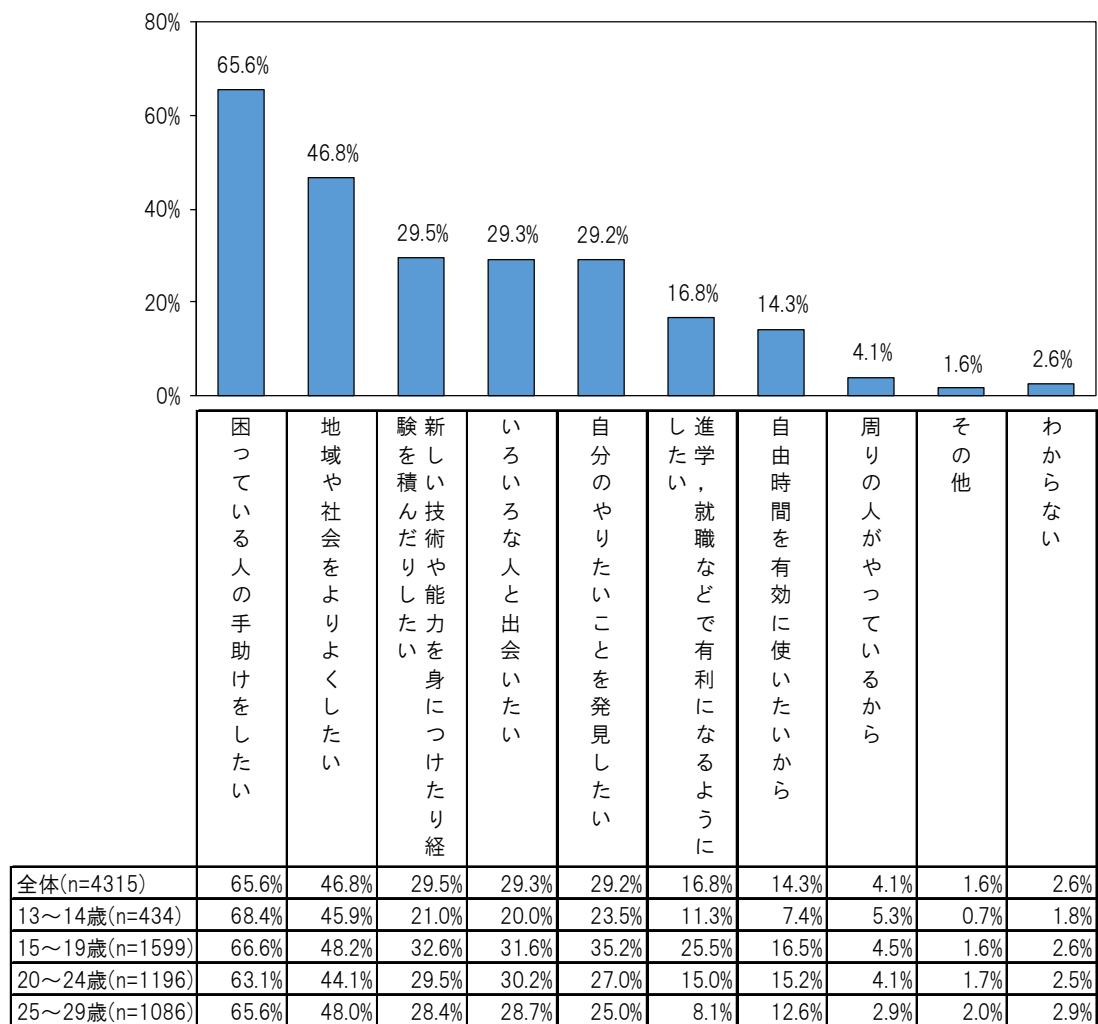
ボランティア活動に興味がある気持ちとして、全体では、「困っている人の手助けをしたい」(71.0%)が最も高く、次いで「地域や社会をよりよくしたい」(48.0%)、「新しい技術や能力を身につけたり経験を積んだりしたい」(43.0%)となっている。

年齢別にみると、「地域や社会をよりよくしたい」は「13～14 歳」(60.2%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。「進学、就職などで有利になるようにしたい」は「15～19 歳」(41.3%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。

内閣府調査と比較すると、「新しい技術や能力を身につけたり経験を積んだりしたい」は13.5ポイント高くなっている。



<内閣府調査(令和元年度)>



8 将来像

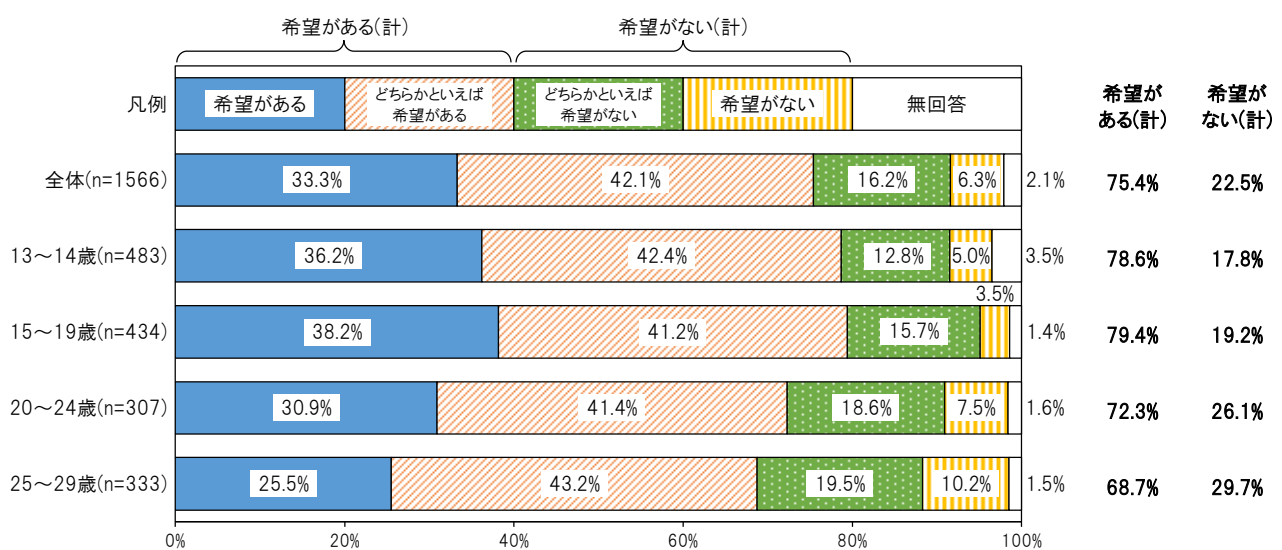
(1) 将来への希望

Q35 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。【ひとつだけ】

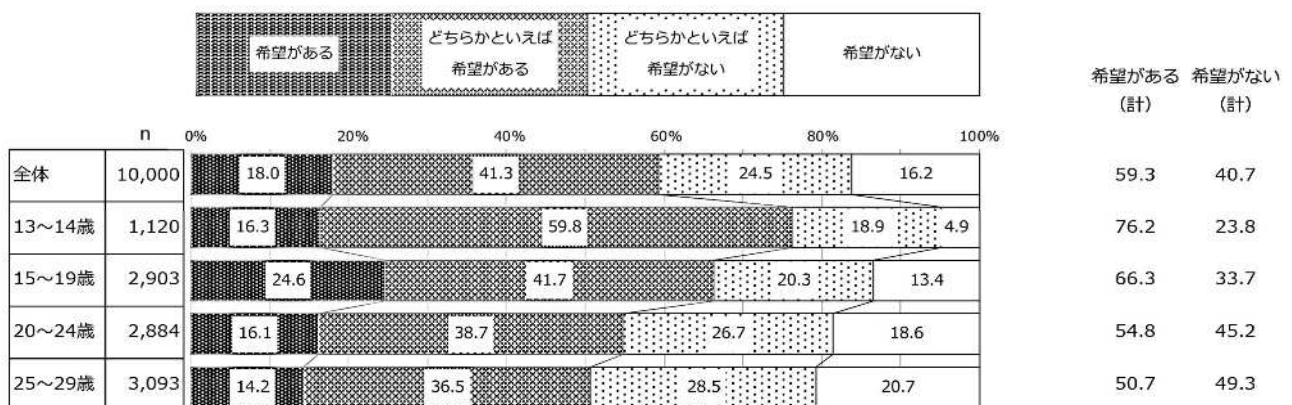
自分の将来に明るい希望を持っているかどうかについて、全体では、「どちらかといえば希望がある」(42.1%)が最も高く、次いで「希望がある」(33.3%)となっている。

年齢別にみると、「希望がある(計)」は「15～19歳」(79.4%)が他の年齢に比べ最も高くなっている。一方、「希望がない(計)」は「25～29歳」(29.7%)が他の年齢と比べ最も高くなっており、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

内閣府調査と比較すると、「希望がある」は15.3ポイント高くなっている。



<内閣府調査(令和元年度)>

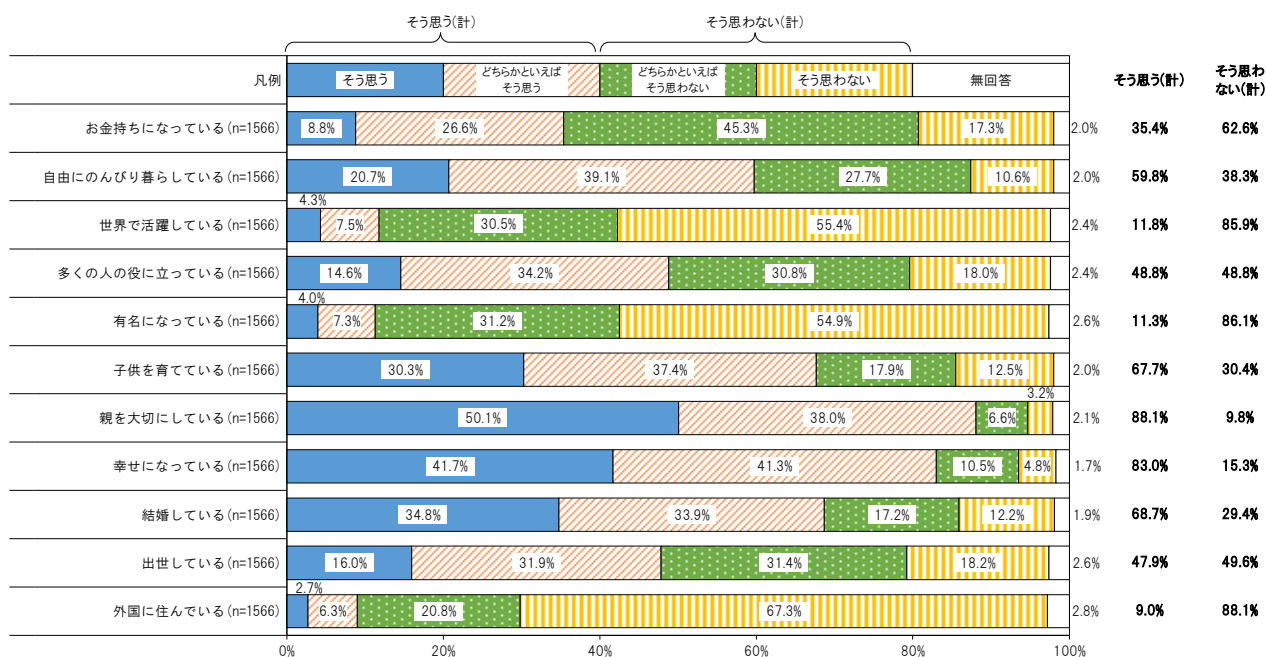


(2) 将来のイメージ

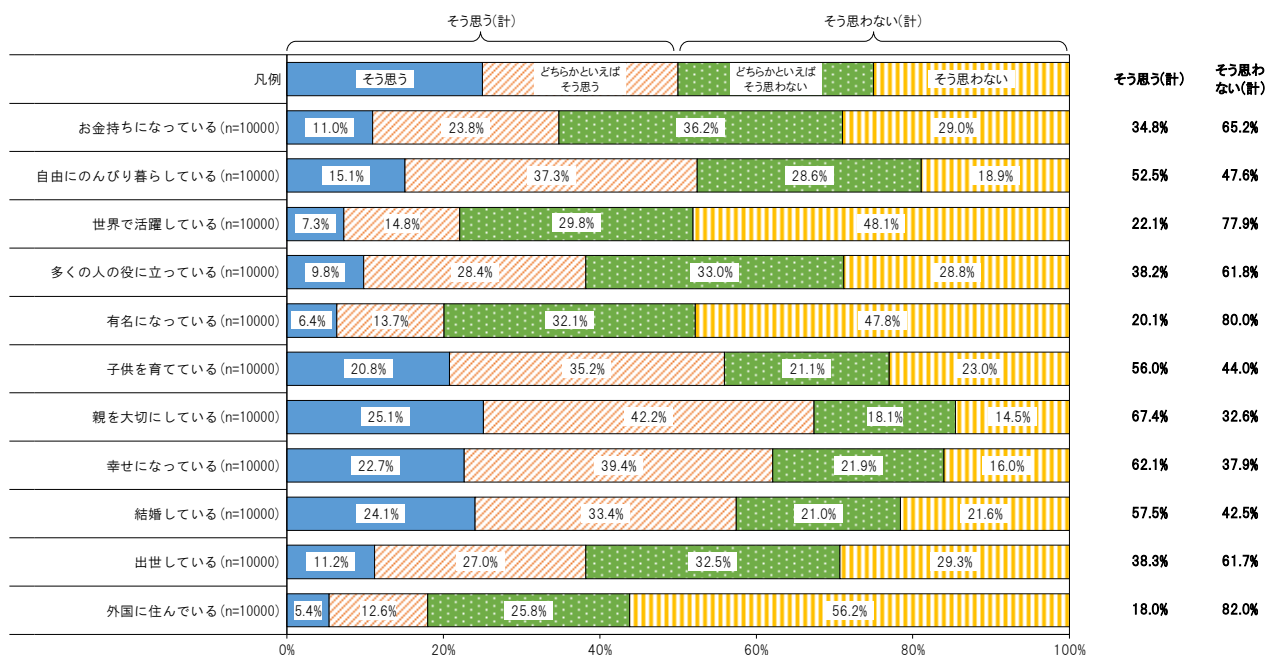
Q36 あなたが 40 歳くらいになったとき、どのようになっていると思いますか。それぞれについて、あてはまるものを1つ選んでください。【それぞれひとつだけ】

40 歳くらいになった時の姿として、「そう思う(計)」は、「親を大切にしている」(88.1%) が最も高く、次いで「幸せになっている」(83.0%)、「結婚している」(68.7%) となっている。一方、「そう思わない(計)」は、「外国に住んでいる」(88.1%) が最も高く、次いで「有名になっている」(86.1%)、「世界で活躍している」(85.9%) となっている。

内閣府調査と比較すると、「そう思う」は「親を大切にしている」が 25 ポイント高くなっている。



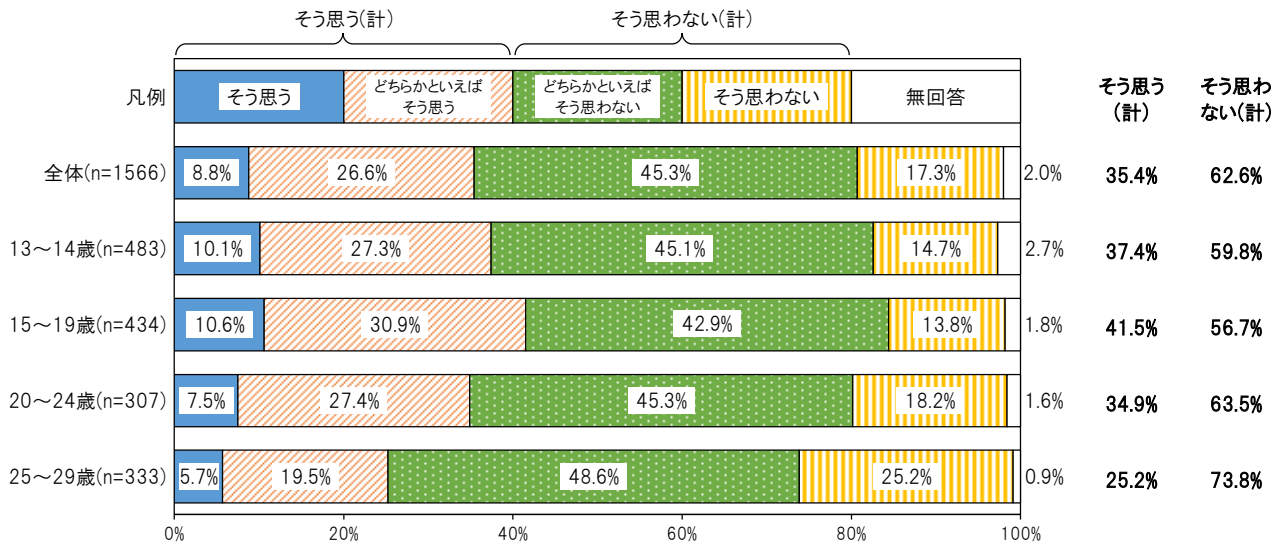
<内閣府調査(令和元年度)>



【お金持ちになっている】

40 歳くらいになった時の姿の【お金持ちになっている】について、全体では、「どちらかといえばそう思う」(45.3%) が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(26.6%) となっている。

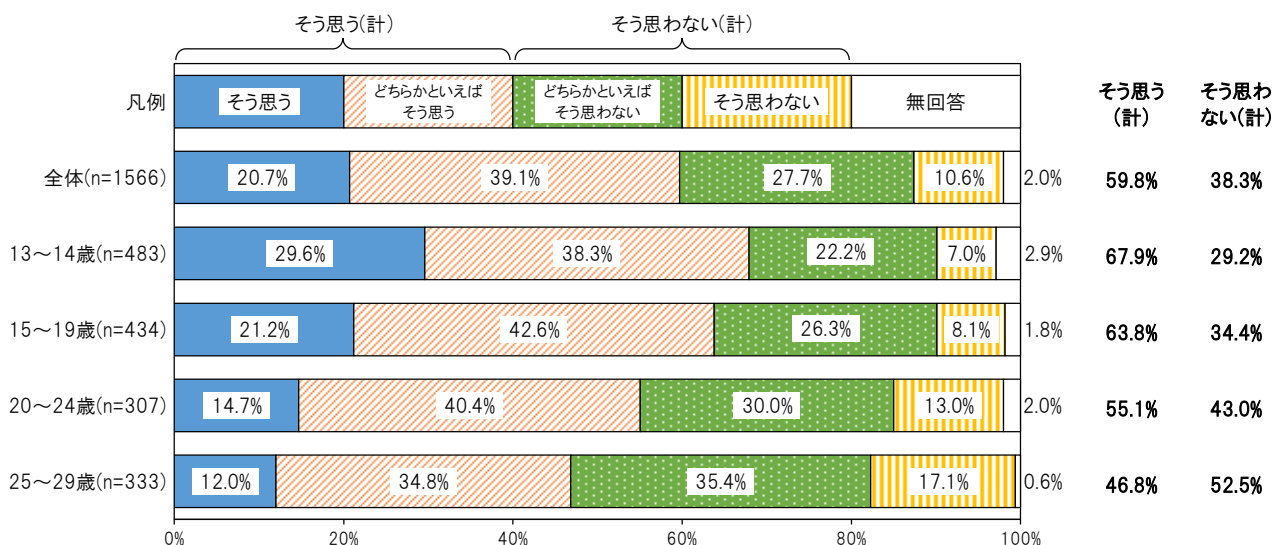
年齢別にみると、「そう思う(計)」は「15～19 歳」(41.5%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「そう思わない(計)」は「25～29 歳」(73.8%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【自由にのんびり暮らしている】

40 歳くらいになった時の姿の【自由にのんびり暮らしている】について、全体では、「どちらかといえばそう思う」(39.1%) が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」(27.7%) となっている。

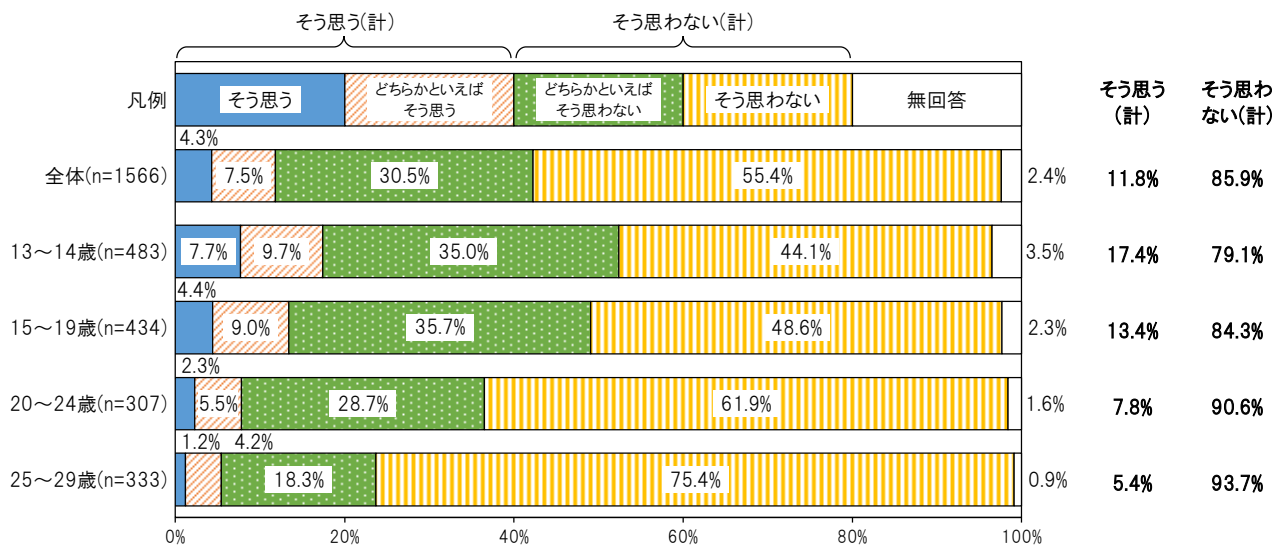
年齢別にみると、「そう思う(計)」は「13～14 歳」(67.9%) が他の年齢と比べ最も高くなっており、年齢が若いほど高くなる傾向がみられる。一方、「そう思わない(計)」は「25～29 歳」(52.5%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【世界で活躍している】

40 歳くらいになった時の姿の【世界で活躍している】について、全体では、「そう思わない」(55.4%) が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」(30.5%) となっている。

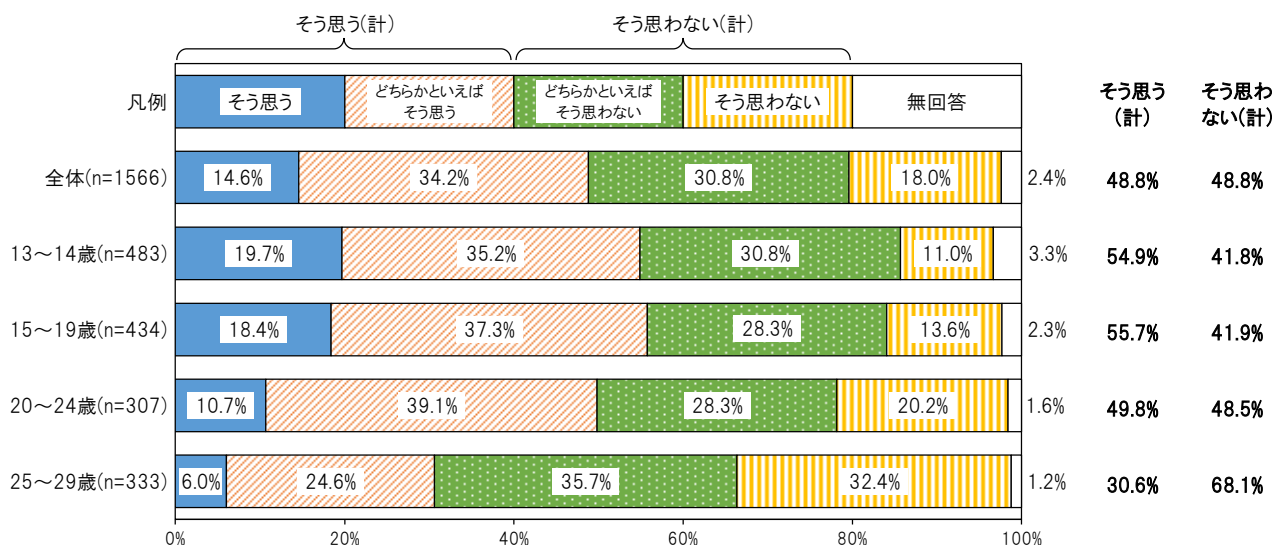
年齢別にみると、「そう思う(計)」は「13～14 歳」(17.4%) が他の年齢と比べ最も高くなっており、年齢が若いほど高くなる傾向がみられる。一方、「そう思わない(計)」は「25～29 歳」(93.7%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【多くの人の役に立っている】

40 歳くらいになった時の姿の【多くの人の役に立っている】について、全体では、「どちらかといえ
ばそう思う」(34.2%) が最も高く、次いで「どちらかといえ
ばそう思わない」(30.8%) となっている。

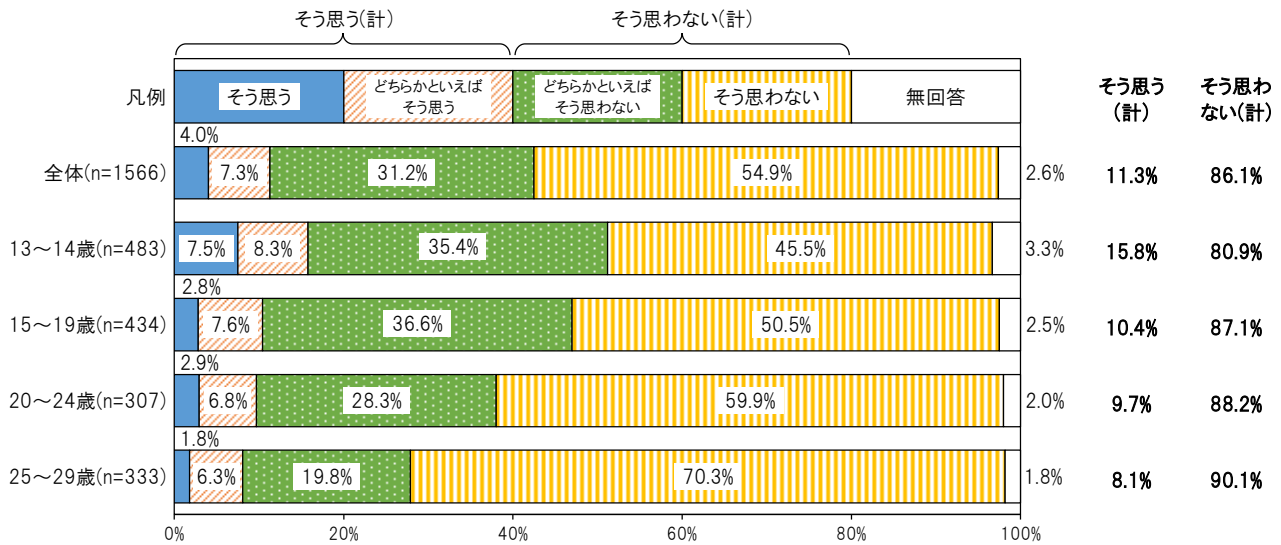
年齢別にみると、「そう思う(計)」は「15～19 歳」(55.7%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。
一方、「そう思わない(計)」は「25～29 歳」(68.1%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【有名になっている】

40 歳くらいになった時の姿の【有名になっている】について、全体では、「そう思わない」(54.9%) が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」(31.2%) となっている。

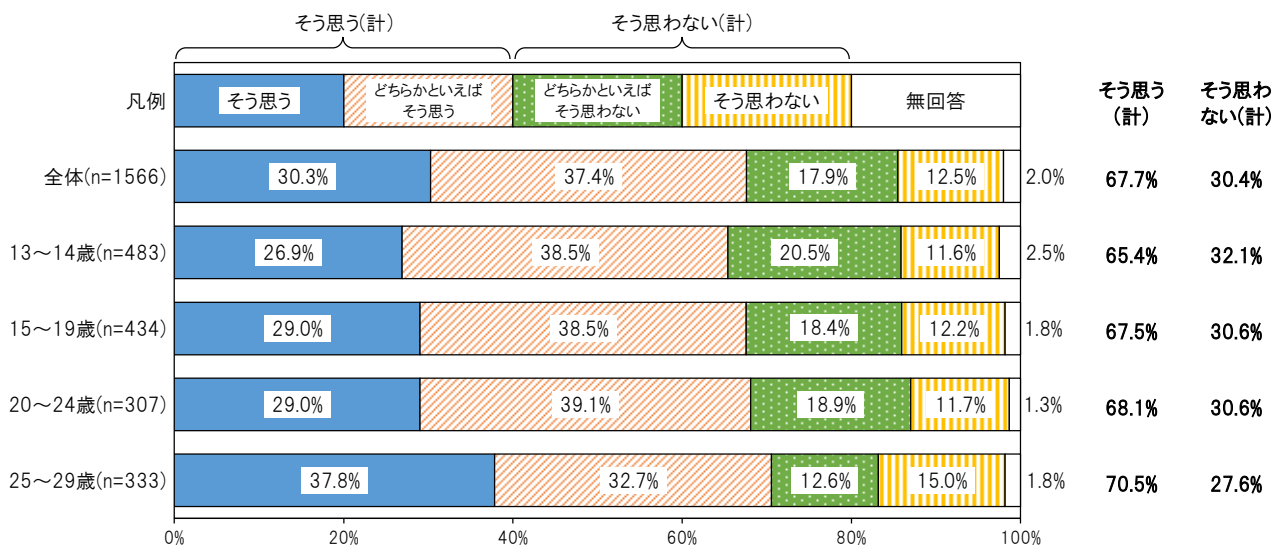
年齢別にみると、「そう思う(計)」はいずれの年齢も 2 割以下となっている。一方、「そう思わない(計)」は「25～29 歳」(90.1%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【子供を育てている】

40 歳くらいになった時の姿の【子供を育てている】について、全体では、「どちらかといえばそう思う」(37.4%) が最も高く、次いで「そう思う」(30.3%) となっている。

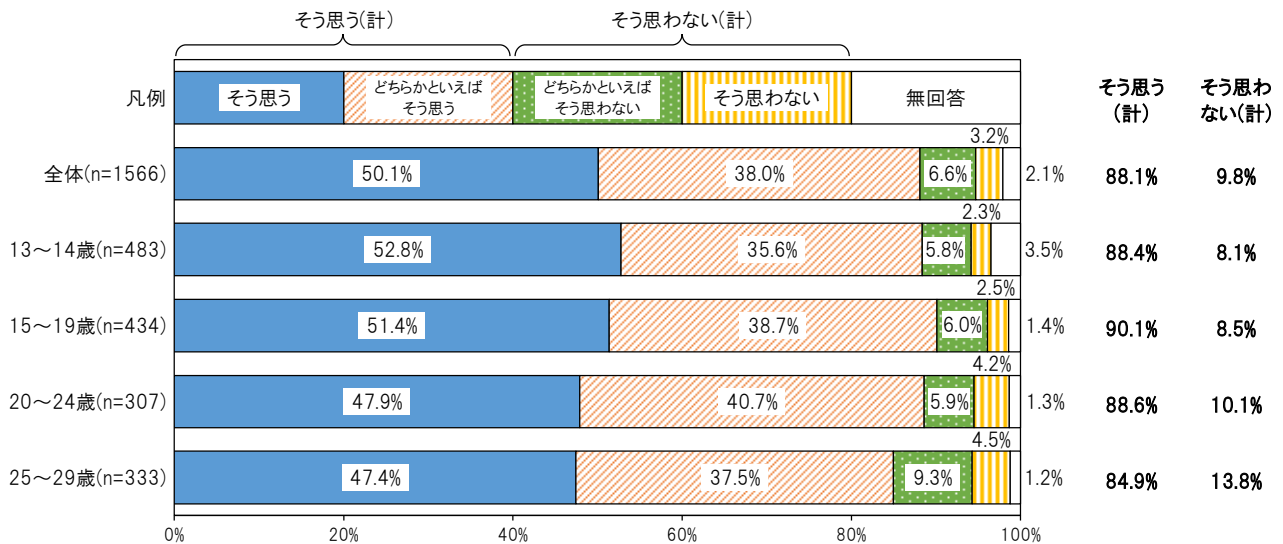
年齢別にみると、「そう思う」は「25～29 歳」(37.8%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「そう思わない(計)」は「13～14 歳」(32.1%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【親を大切にしている】

40 歳くらいになった時の姿の【親を大切にしている】について、全体では、「そう思う」(50.1%) が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(38.0%) となっている。

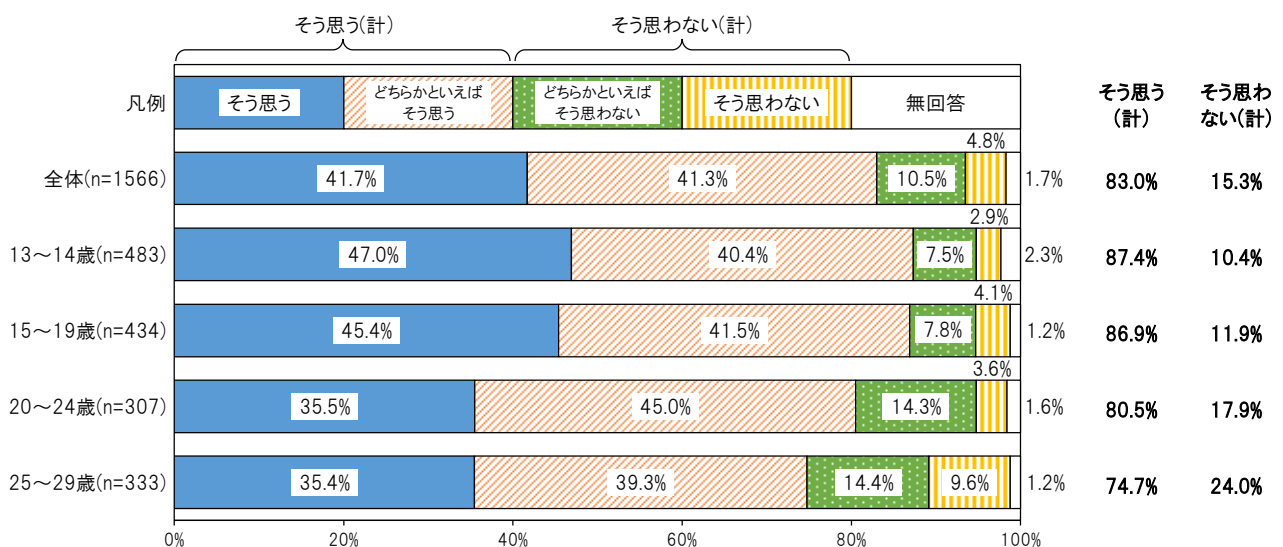
年齢別にみると、「そう思う(計)」は「15～19 歳」(90.1%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【幸せになっている】

40 歳くらいになった時の姿の【幸せになっている】について、全体では、「そう思う」(41.7%) が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(41.3%) となっている。

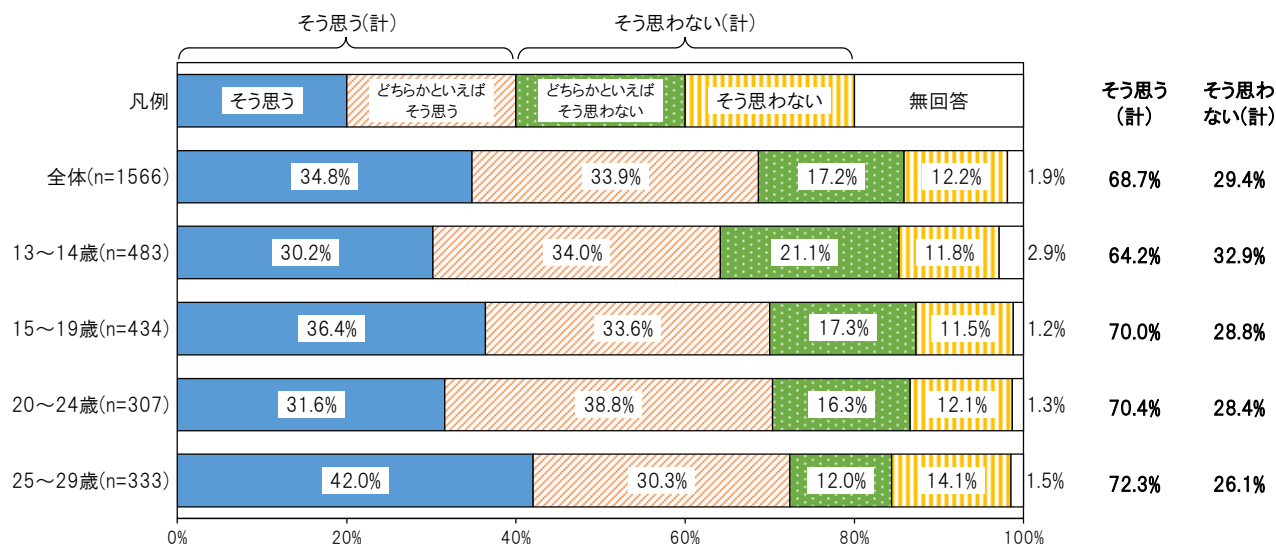
年齢別にみると、「そう思う」は「13～14 歳」(47.0%), 「15～19 歳」(45.4%) が他の年齢と比べ高くなっている。一方、「そう思わない(計)」は「25～29 歳」(24.0%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【結婚している】

40 歳くらいになった時の姿の【結婚している】について、全体では、「そう思う」(34.8%) が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(33.9%) となっている。

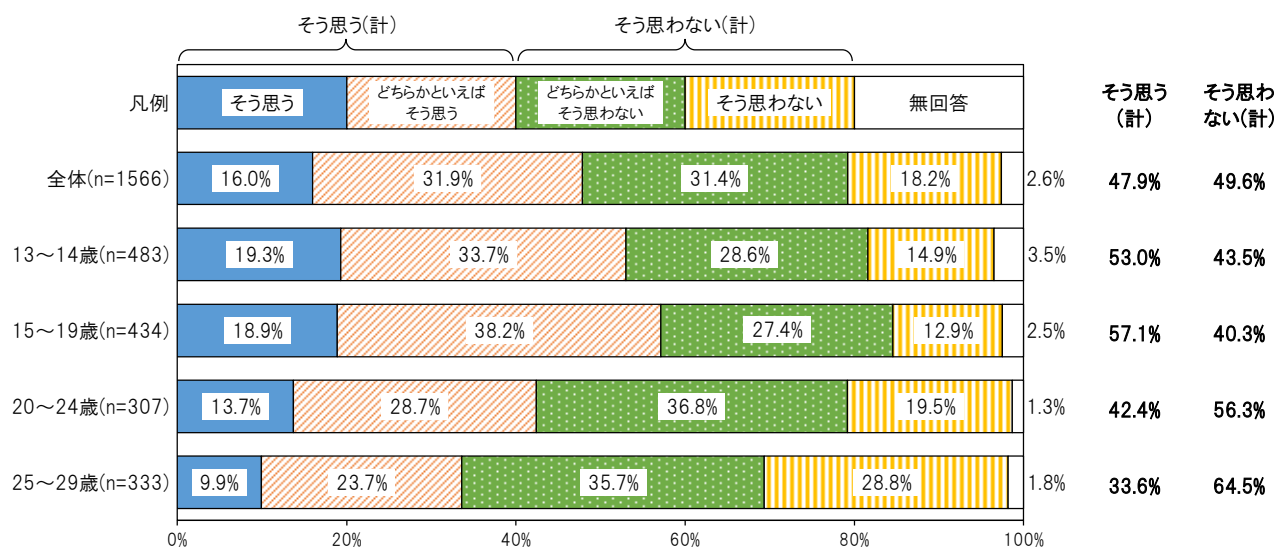
年齢別にみると、「そう思う」は「25～29 歳」(42.0%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「そう思わない(計)」は「13～14 歳」(32.9%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【出世している】

40 歳くらいになった時の姿の【出世している】について、全体では、「どちらかといえばそう思う」(31.9%) が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」(31.4%) となっている。

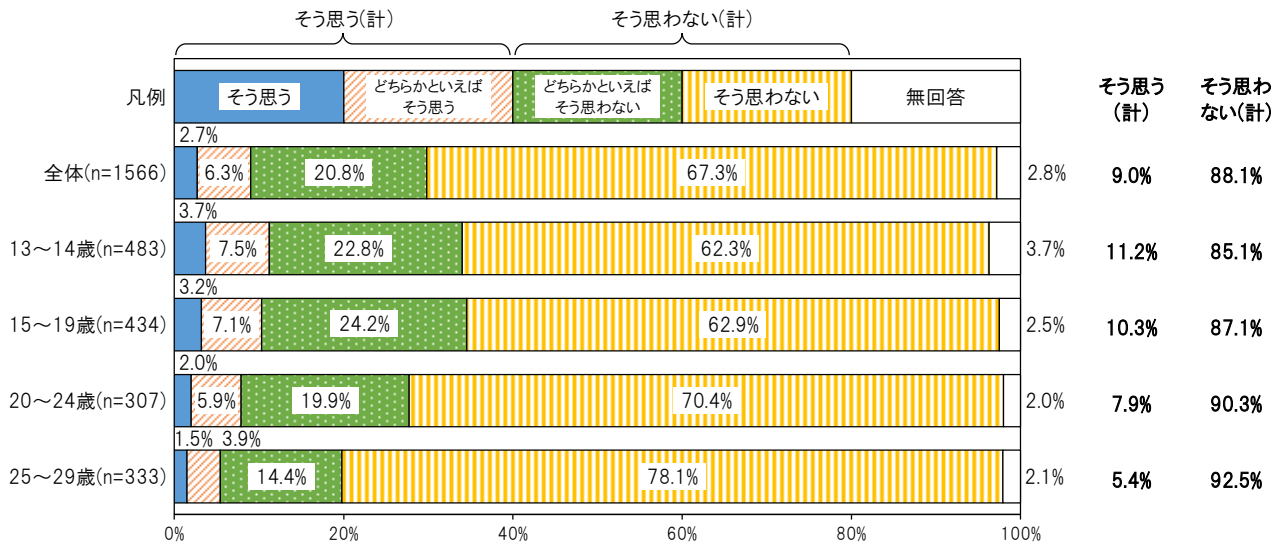
年齢別にみると、「そう思う(計)」は「15～19 歳」(57.1%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「そう思わない(計)」は「25～29 歳」(64.5%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【外国に住んでいる】

40 歳くらいになった時の姿の【外国に住んでいる】について、全体では、「そう思わない」(67.3%) が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」(20.8%) となっている。

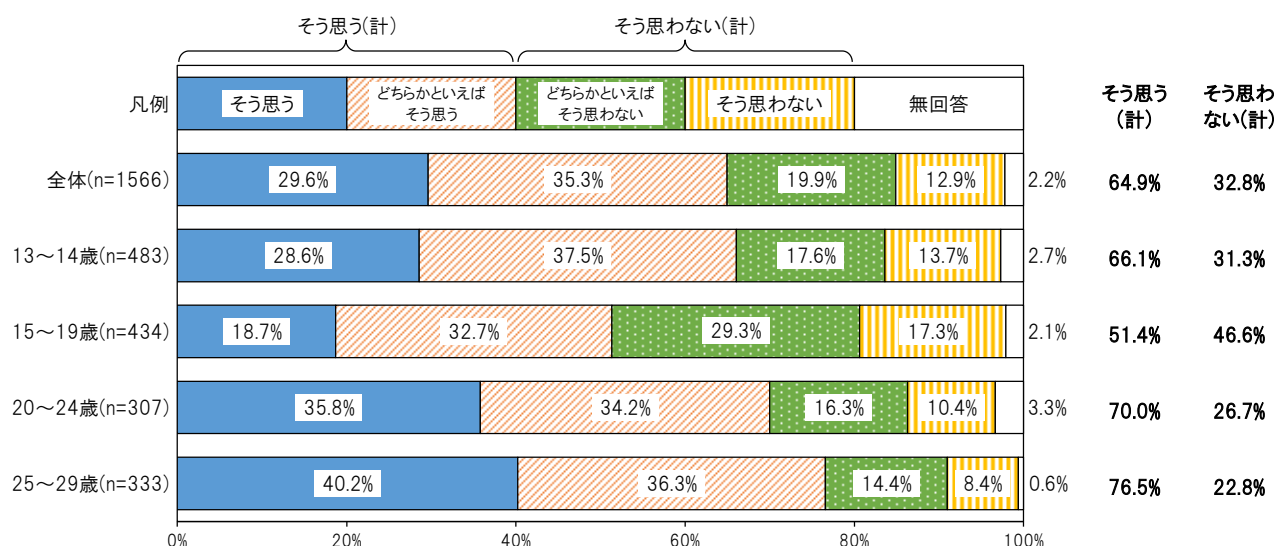
年齢別にみると、「そう思う(計)」はいずれの年齢も約 1 割となっている。一方、「そう思わない(計)」は「25～29 歳」(92.5%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



Q37 あなたは将来「鹿児島に住み続けたい」と思いますか。【ひとつだけ】

鹿児島に住み続けたいかどうかについて、全体では、「どちらかといえばそう思う」(35.3%)が最も高く、次いで「そう思う」(29.6%)となっている。

年齢別にみると、「そう思う」は「20～24歳」(35.8%)、「25～29歳」(40.2%)が他の年齢と比べ高く、約4割となっている。一方、「そう思わない(計)」は「15～19歳」(46.6%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



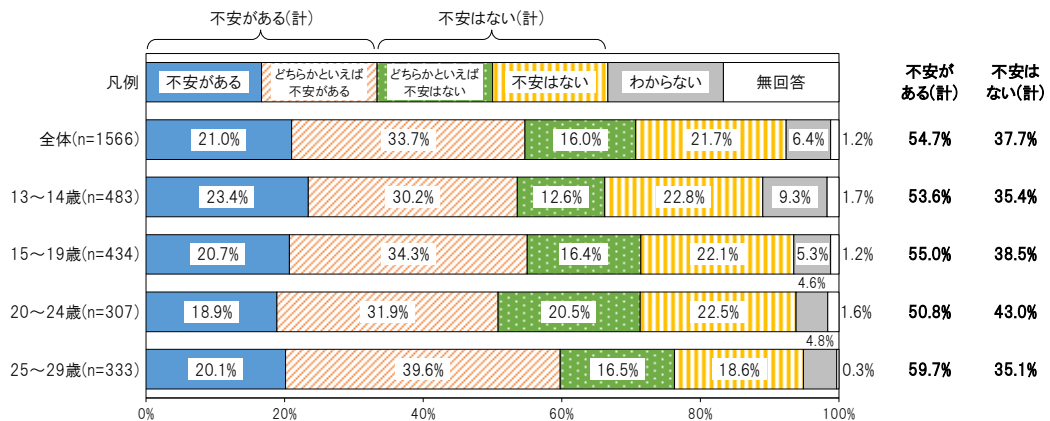
9 インターネットの安全・安心について

(1) インターネットの利用に関連するトラブルへの不安感

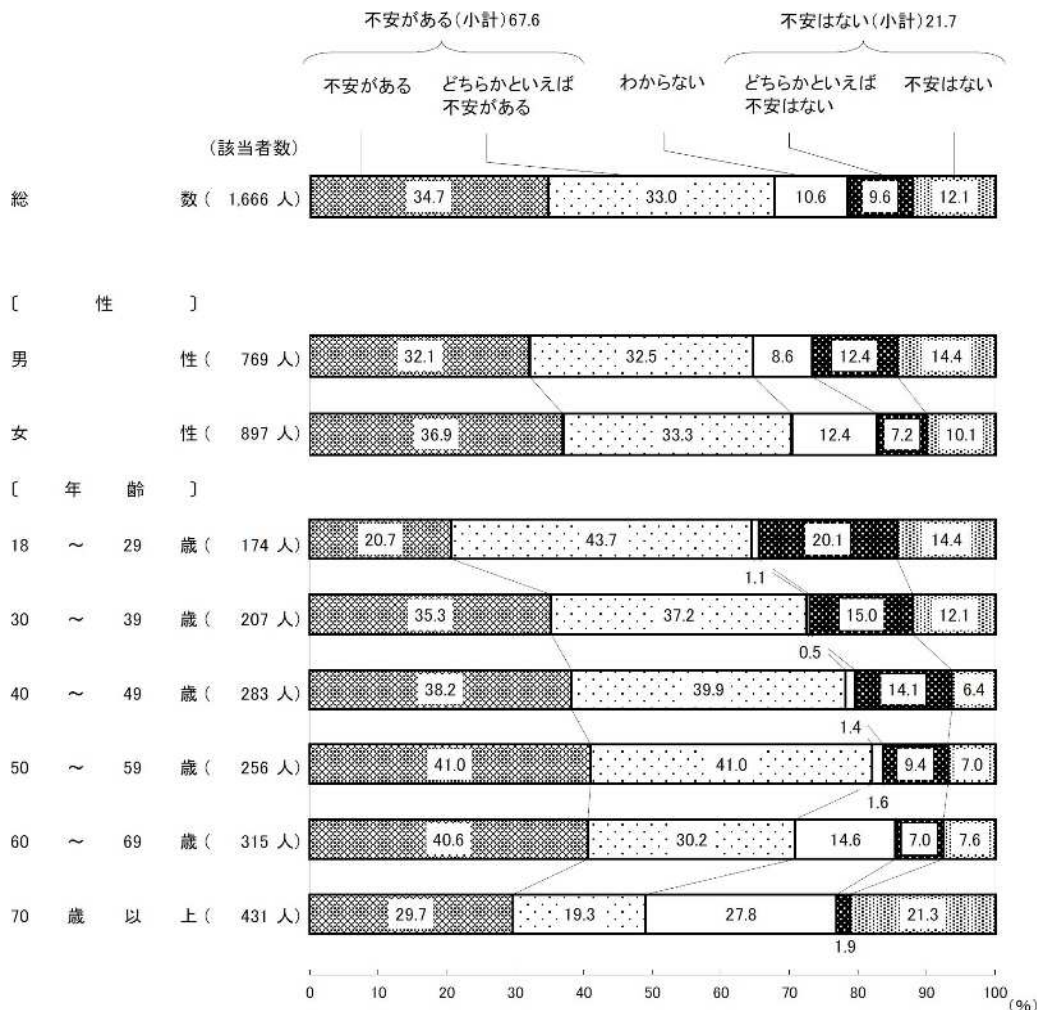
Q38 あなたは、インターネットの利用に関連するトラブルについて、不安はありますか。インターネットを利用されない方も、インターネットを利用した場合を想定してお答えください。【ひとつだけ】

インターネットの利用に関連するトラブルへの不安感について、全体では、「どちらかといえば不安がある」(33.7%)が最も高く、次いで「不安はない」(21.7%)となっている。

年齢別にみると、「不安がある(計)」は「25～29歳」(59.7%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「不安はない(計)」は「20～24歳」(43.0%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



<参考 内閣府調査(平成30年度)> ※調査対象の年齢が異なるため参考として掲載している。



(2) インターネットの利用に関連するトラブルで不安があること

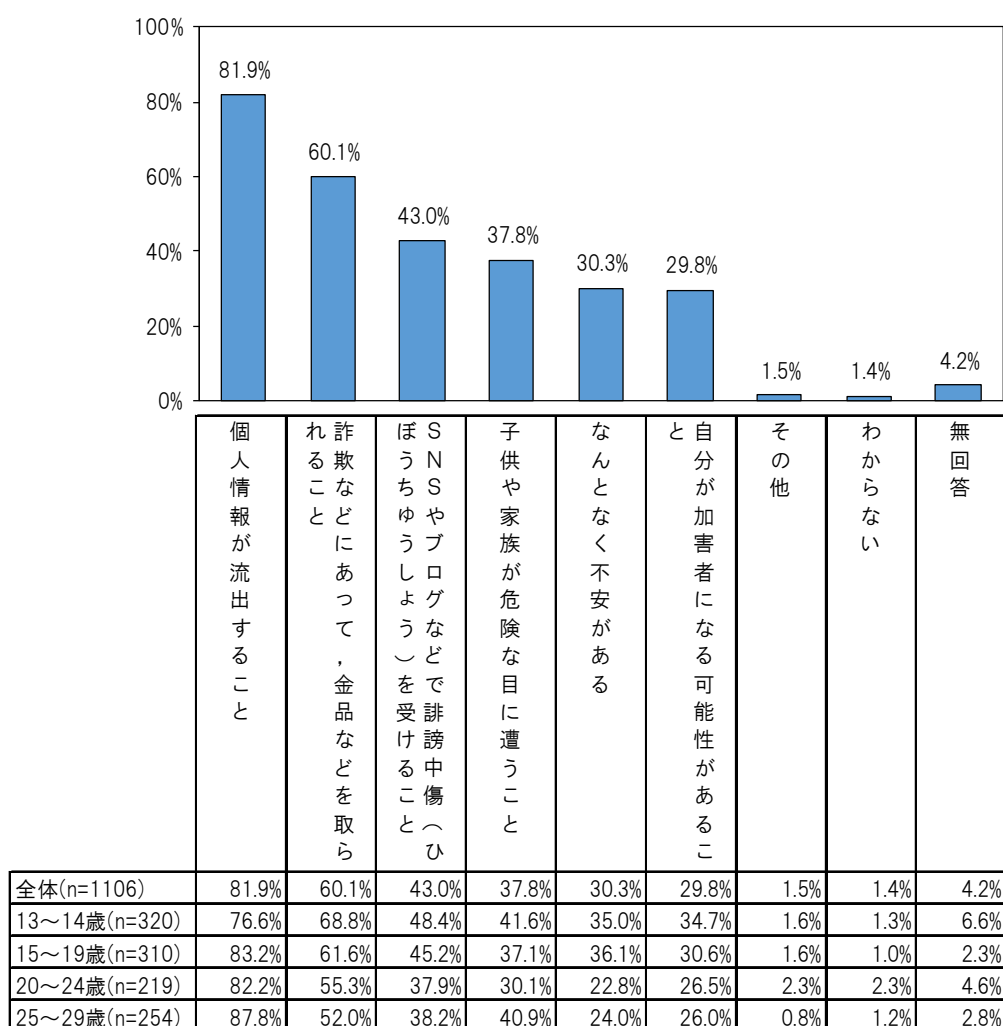
Q39 Q38で「1 不安がある」～「3 どちらかといえば不安はない」のいずれかを回答した方にお伺いします。

具体的には、どのようなことに不安がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

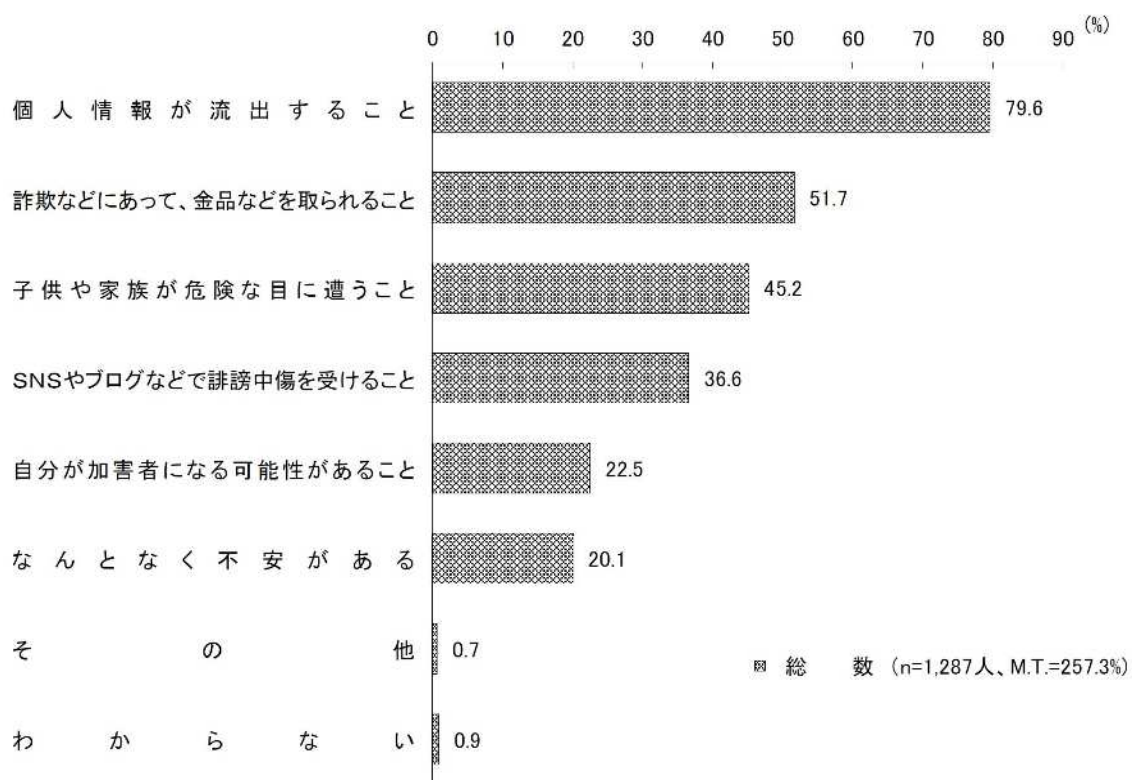
【いくつでも】

インターネットの利用に関連するトラブルで不安があることについて、全体では、「個人情報が流出すること」(81.9%)が最も高く、次いで「詐欺などにあつて、金品などを取られること」(60.1%)、「SNSやブログなどで誹謗中傷(ひぼうちゅうしょう)を受けること」(43.0%)となっている。

年齢別にみると、「個人情報が流出すること」は「25～29歳」(87.8%)が他の年代と比べ最も高くなっている。「13～14歳」は「詐欺などにあつて、金品などを取られること」(68.8%)、「SNSやブログなどで誹謗中傷(ひぼうちゅうしょう)を受けること」(48.4%)、「子供や家族が危険な目に遭うこと」(41.6%)、「自分が加害者になる可能性があること」(34.7%)の4項目が、他の年代と比べ最も高くなっている。



＜参考 内閣府調査(平成30年度)＞ ※調査対象の年齢が異なるため参考として掲載している。

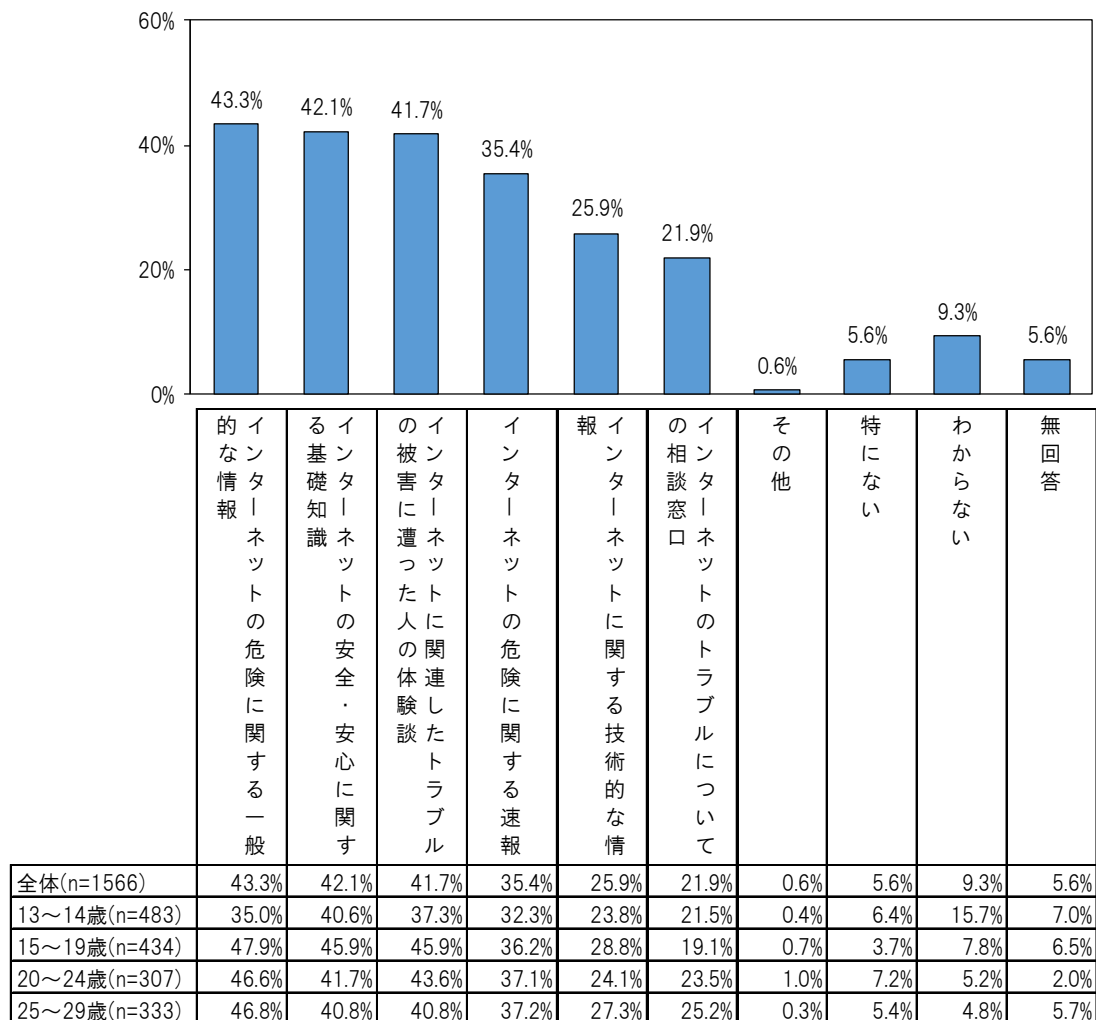


(3) インターネットの安全・安心に関する話題で参考となる情報

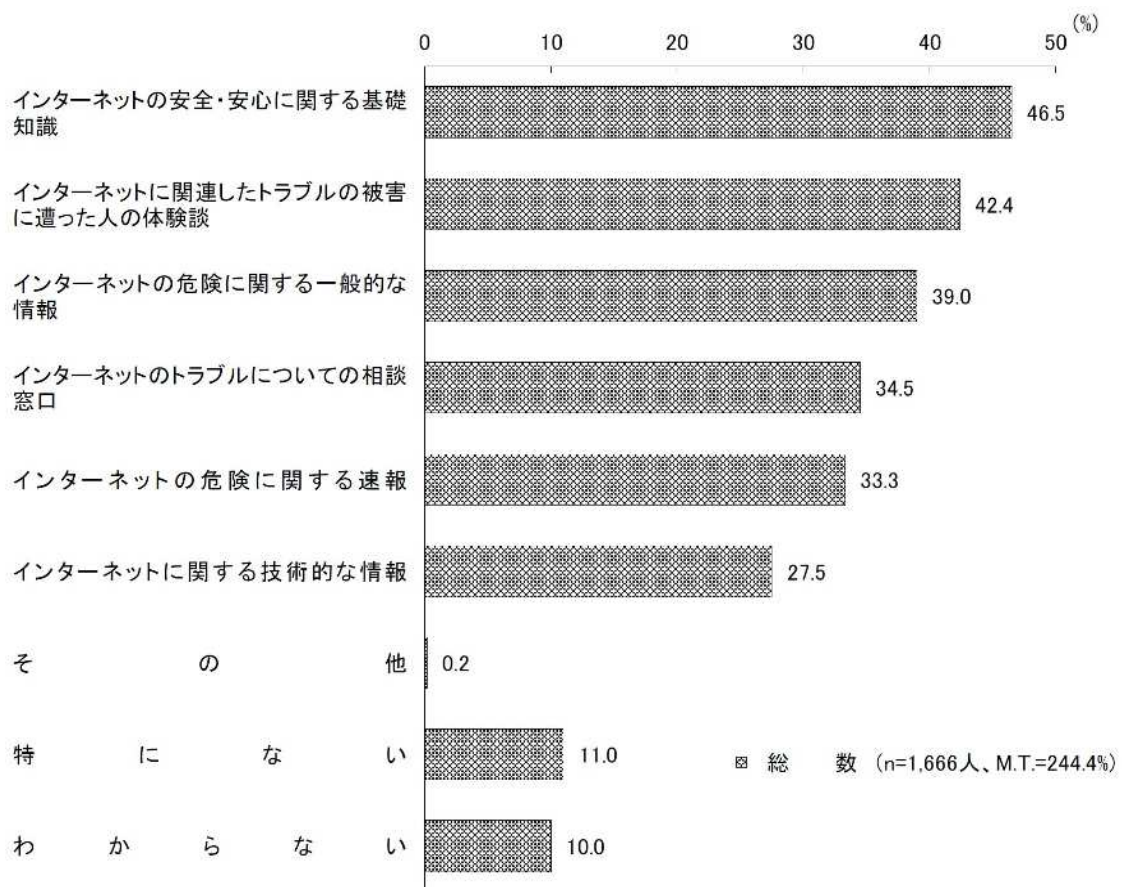
Q40 あなたがインターネットの安全・安心に関する話題で、参考になると思うのはどのような情報ですか。あてはまるものをすべて選んでください。【いくつでも】

インターネットの安全・安心に関する話題で参考となる情報について、全体では、「インターネットの危険に関する一般的な情報」(43.3%)が最も高く、次いで「インターネットの安全・安心に関する基礎知識」(42.1%)、「インターネットに関連したトラブルの被害に遭った人の体験談」(41.7%)となっている。

年齢別にみると、「15～19歳」は「インターネットの危険に関する一般的な情報」(47.9%)、「インターネットの安全・安心に関する基礎知識」(45.9%)、「インターネットに関連したトラブルの被害に遭った人の体験談」(45.9%)の3項目が、他の年齢と比べ最も高くなっている。「13～14歳」は「インターネットの安全・安心に関する基礎知識」(40.6%)が最も高くなっている。



＜参考 内閣府調査(平成30年度)＞ ※調査対象の年齢が異なるため参考として掲載している。

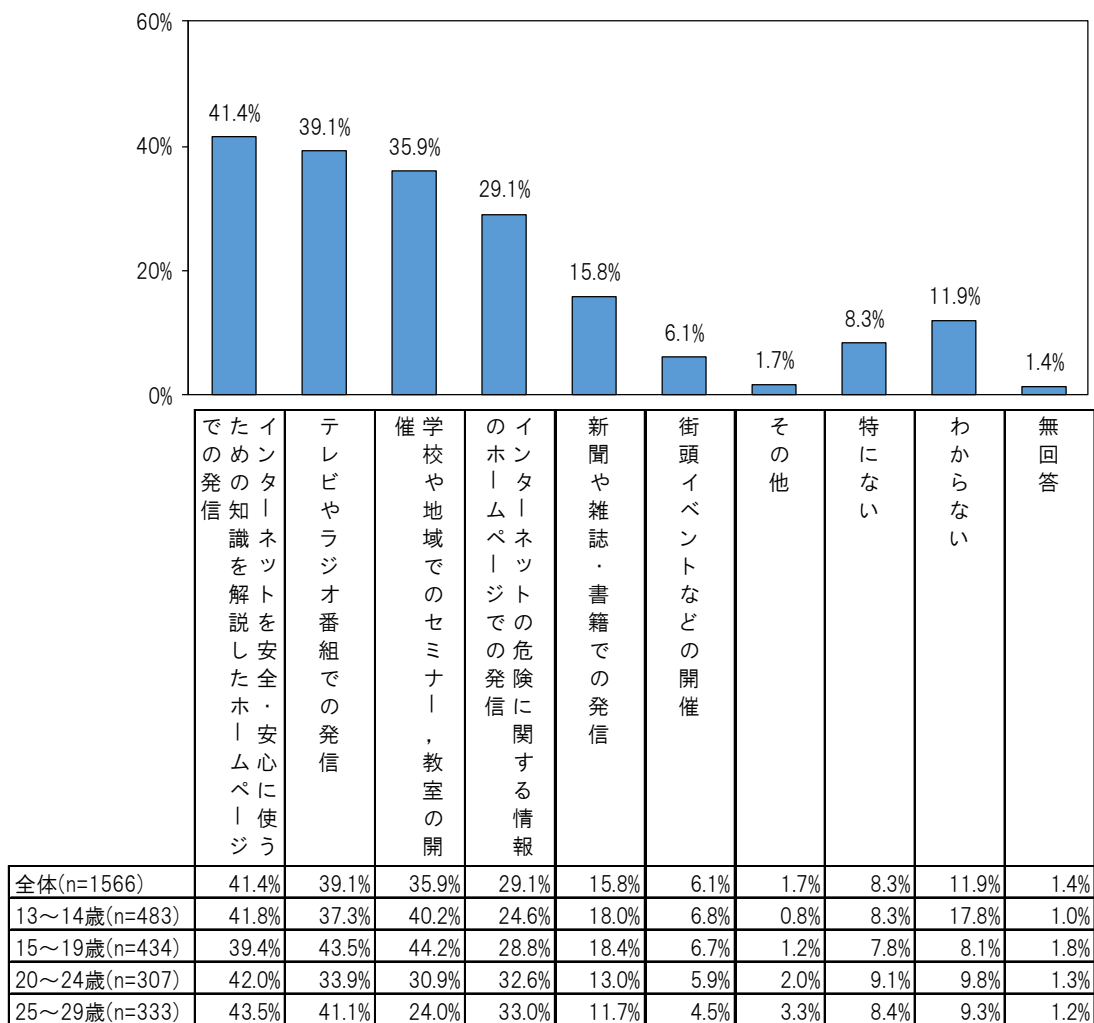


（４） インターネットの安全・安心に関する国や地方公共団体の情報発信の方法

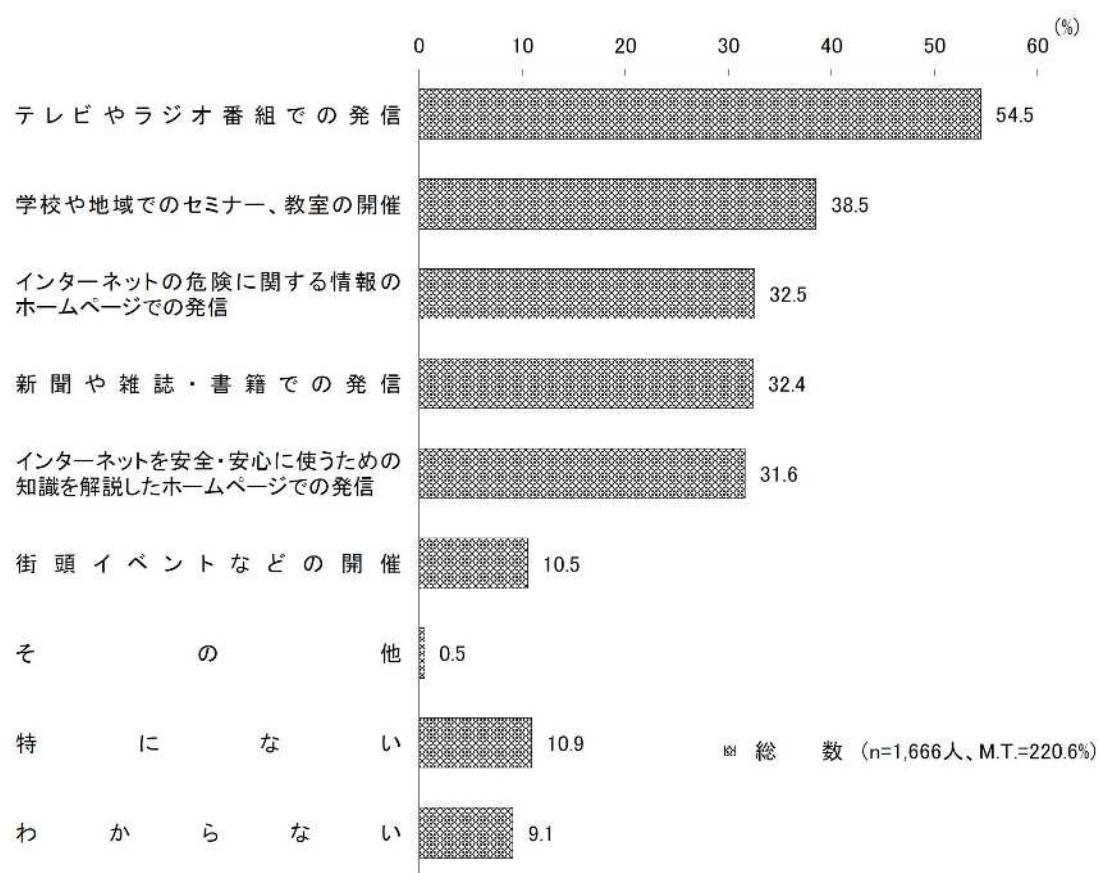
Q41 あなたは、インターネットの安全・安心に関する国や地方公共団体による情報発信について、どのような方法で行ってほしいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。【いくつでも】

インターネットの安全・安心に関する国や地方公共団体の情報発信の方法について、全体では、「インターネットを安全・安心に使うための知識を解説したホームページでの発信」（41.4%）が最も高く、次いで「テレビやラジオ番組での発信」（39.1%）,「学校や地域でのセミナー、教室の開催」（35.9%）となっている。

年齢別にみると、「15～19 歳」は「学校や地域でのセミナー、教室の開催」（44.2%）が最も高くなっている。



＜参考 内閣府調査(平成30年度)＞ ※調査対象の年齢が異なるため参考として掲載している。



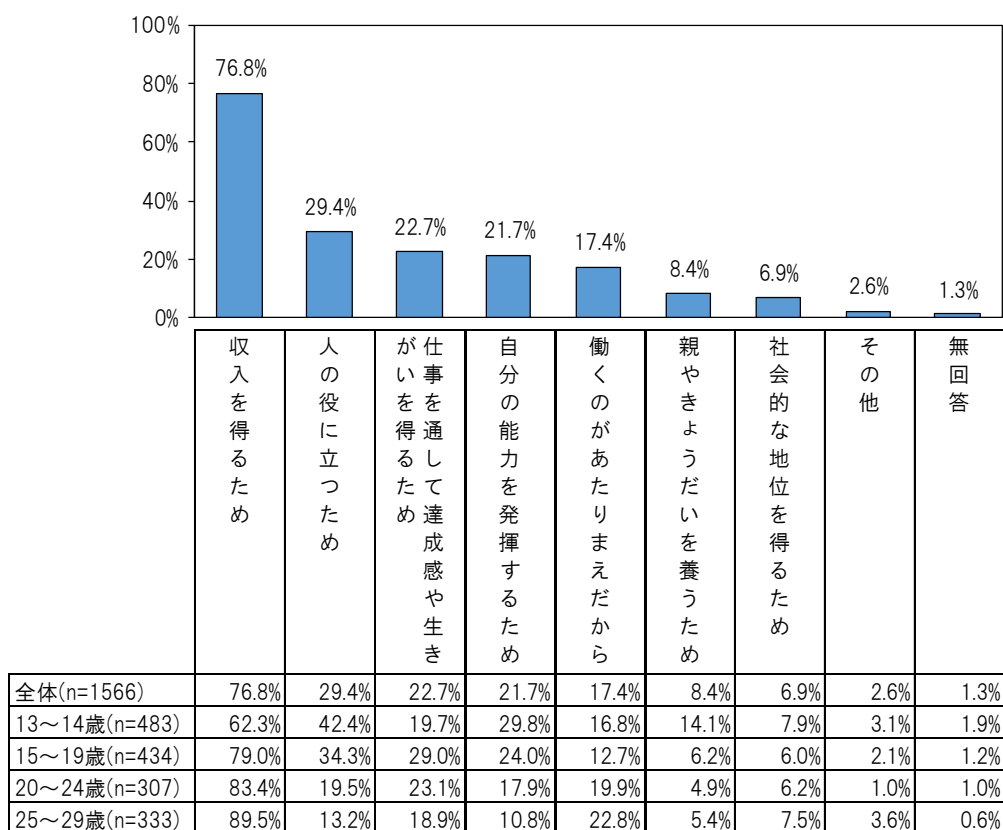
10 就労に対する意識・不安について

(1) 仕事の目的

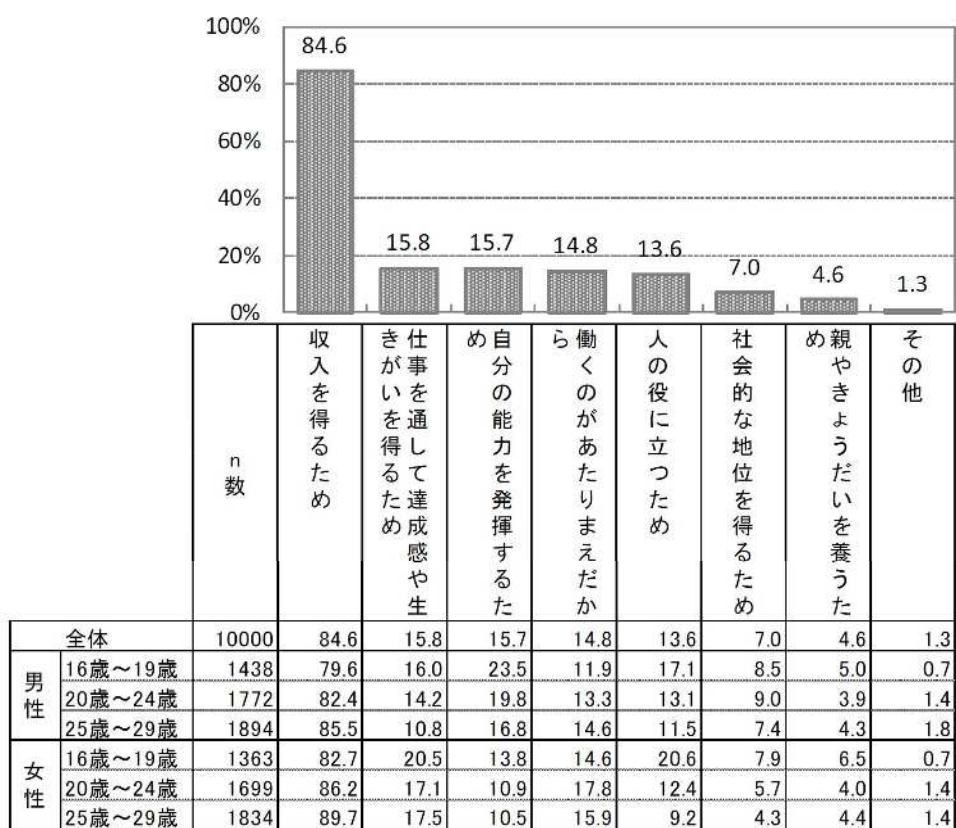
Q42 あなたは、主として、何のために仕事をするのですか。(就業していない方は、あなたの仕事に対する考え方をお答えください。)**【2つまで】**

仕事の目的について、全体では、「収入を得るため」(76.8%)が最も高く、次いで「人の役に立つため」(29.4%)、「仕事を通して達成感や生きがいを得るため」(22.7%)となっている。

年齢別にみると、「収入を得るため」は「25～29歳」(89.5%)が他の年齢と比べ最も高くなっており、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。一方、「人の役に立つため」、「自分の能力を発揮するため」は年齢が若いほど高くなる傾向がみられる。



＜参考 内閣府調査(平成29年度)＞ ※調査対象の年齢が異なるため参考として掲載している。

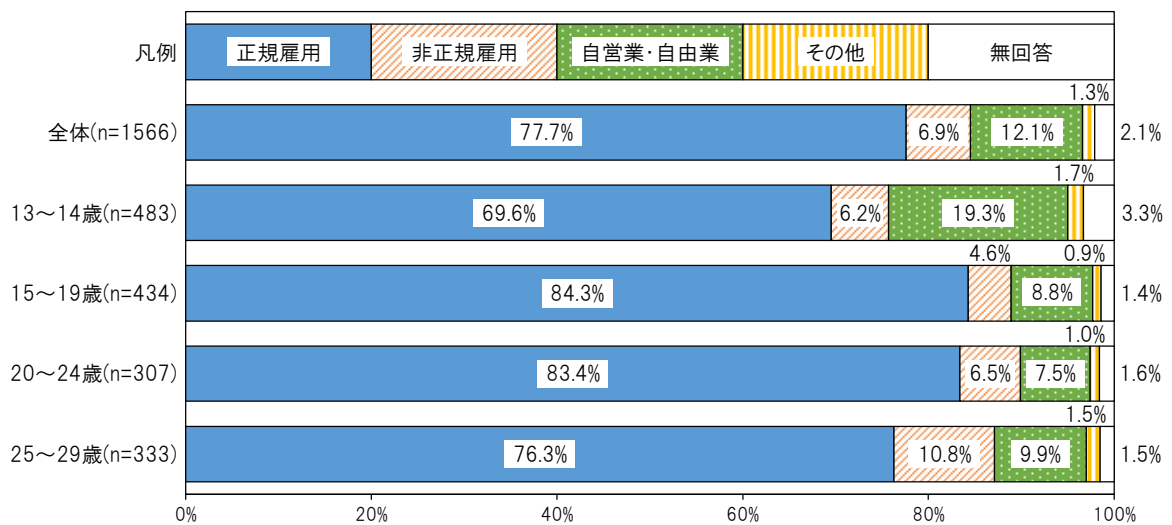


（２） 希望する雇用形態

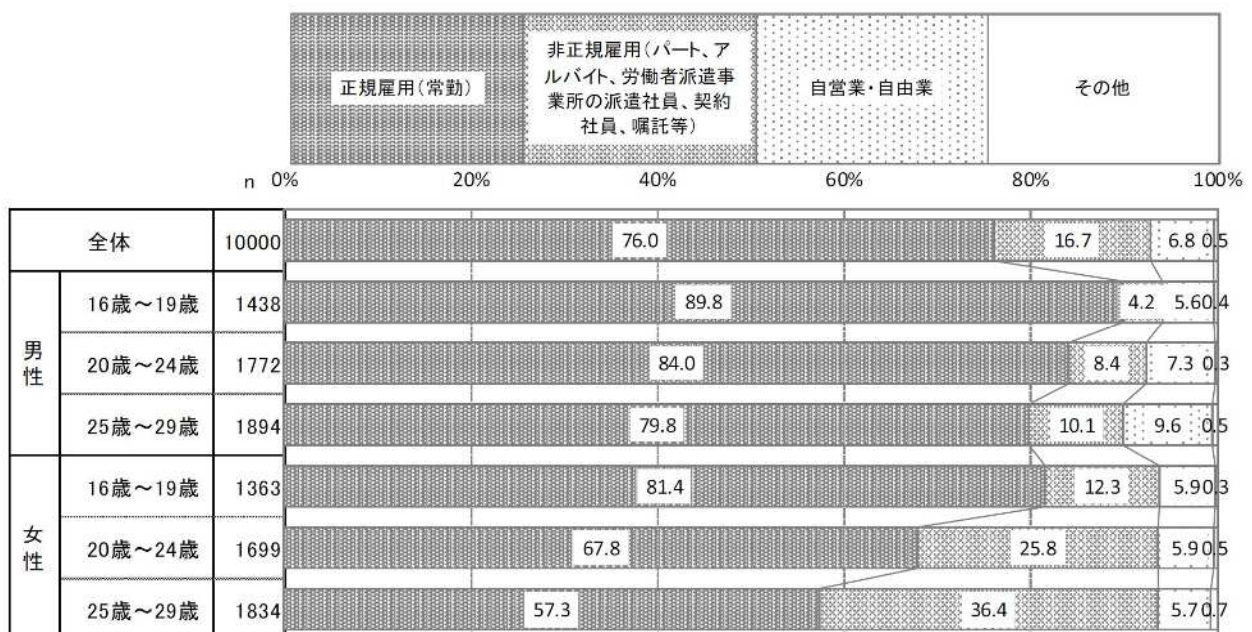
Q43 あなたが、現在、最も希望する雇用の形態等を教えてください。（就業していない方も、現在就業するとした場合に希望する雇用の形態をお答えください。）【ひとつだけ】

希望する雇用形態について、全体では、「正規雇用（正社員）」（77.7%）が最も高く、次いで「自営業・自由業（フリーランス）」（12.1%）、「非正規雇用（パート、アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員、嘱託等）」（6.9%）となっている。

年齢別にみると、「正規雇用（正社員）」は「15～19歳」（84.3%）、「20～24歳」（83.4%）が8割を超えている。「自営業・自由業（フリーランス）」は「13～14歳」（19.3%）が他の年齢と比べ最も高くなっている。



＜参考 内閣府調査(平成29年度)＞ ※調査対象の年齢が異なるため参考として掲載している。

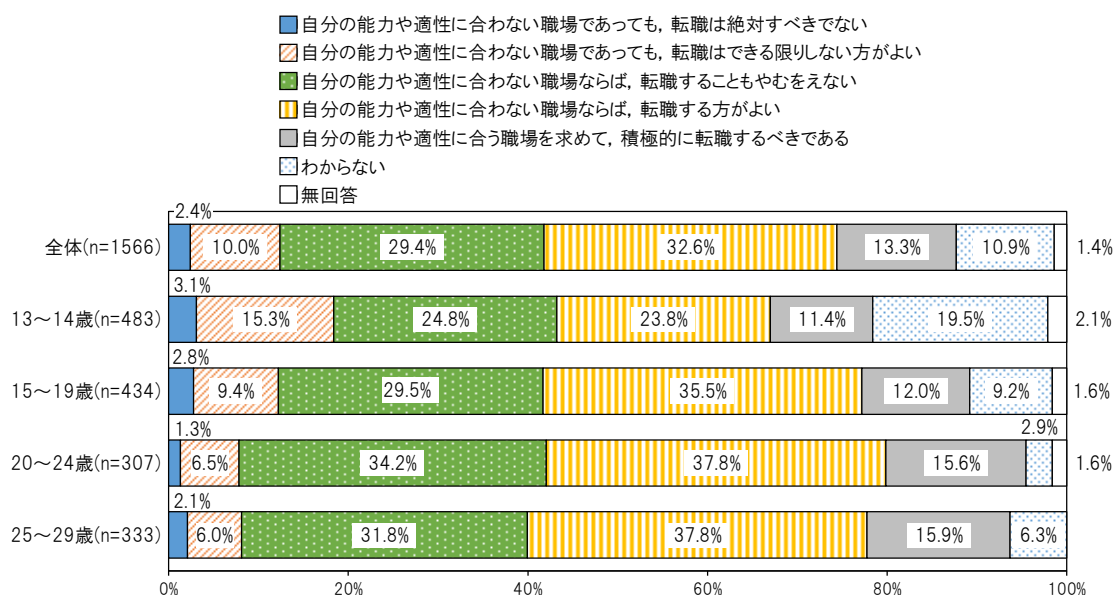


(3) 転職に対する意識

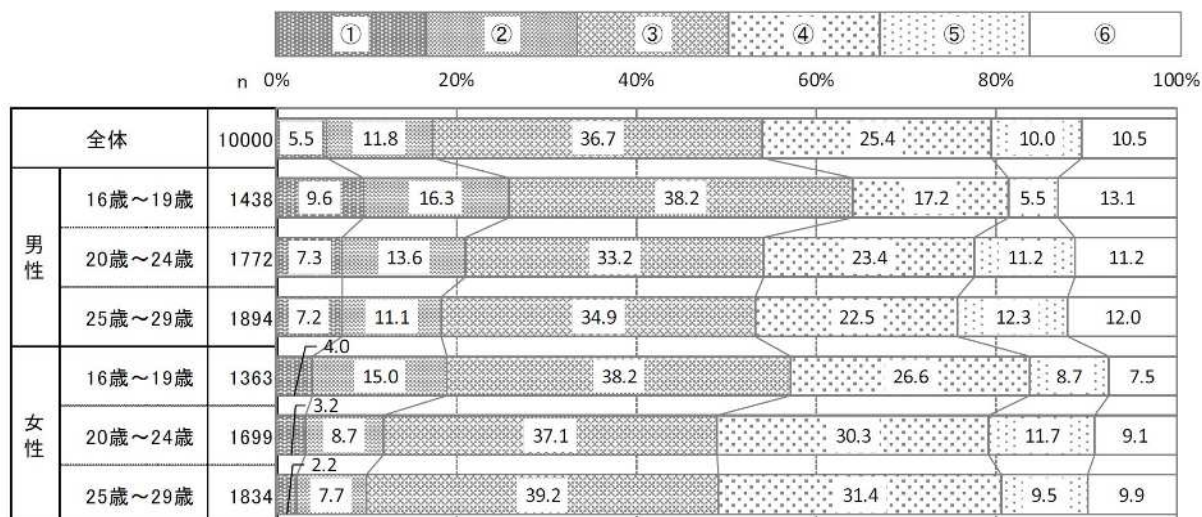
Q44 転職については、様々な考え方があります。あなたの考えに最も近いものを選んでください。
【ひとつだけ】

転職に対する意識について、全体では、「自分の能力や適性に合わない職場ならば、転職する方がよい」(32.6%)が最も高く、次いで「自分の能力や適性に合わない職場ならば、転職することもやむをえない」(29.4%),「自分の能力や適性に合う職場を求めて、積極的に転職するべきである」(13.3%)となっている。

年齢別にみると、「13～14 歳」は「自分の能力や適性に合わない職場ならば、転職することもやむをえない」(24.8%)が最も高くなっている。



<参考 内閣府調査(平成29年度)> ※調査対象の年齢が異なるため参考として掲載している。

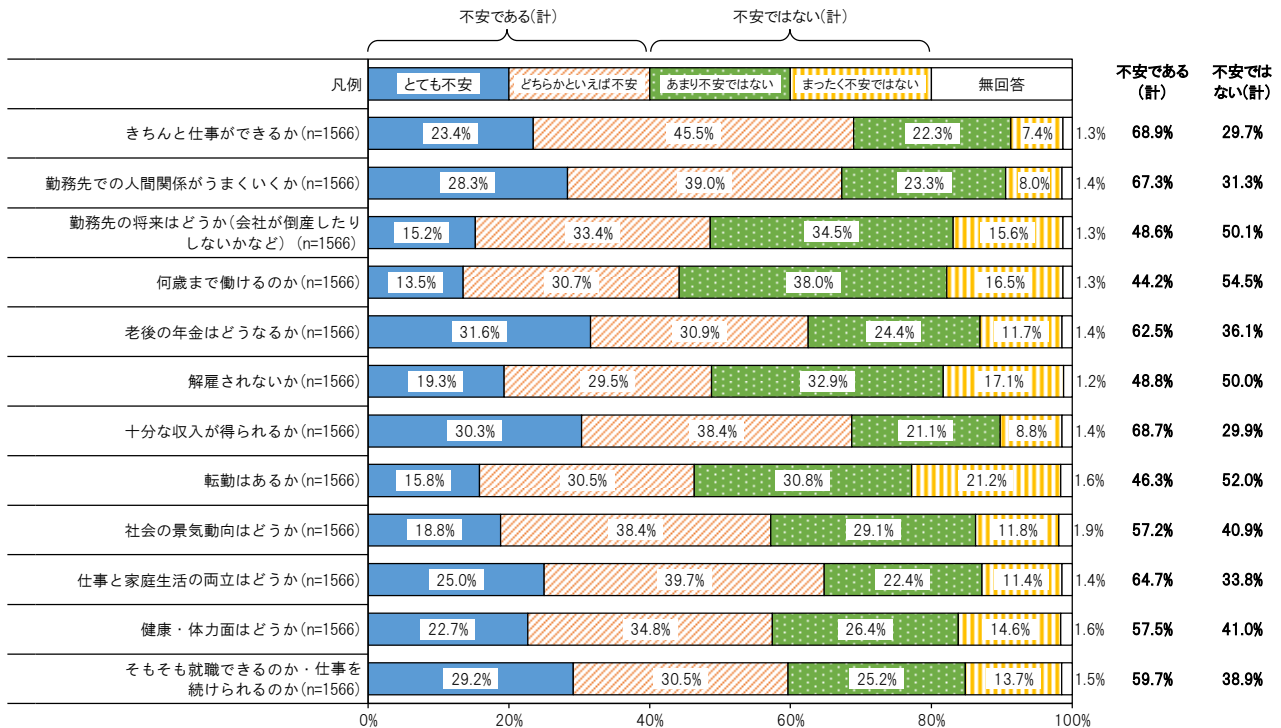


- ①自分の能力や適性に合わない職場であっても、転職は絶対すべきではない
- ②自分の能力や適性に合わない職場であっても、転職はできる限りしない方がよい
- ③自分の能力や適性に合わない職場ならば、転職することもやむをえない
- ④自分の能力や適性に合わない職場ならば、転職する方がよい
- ⑤自分の能力や適性に合う職場を求めて、積極的に転職するべきである
- ⑥わからない

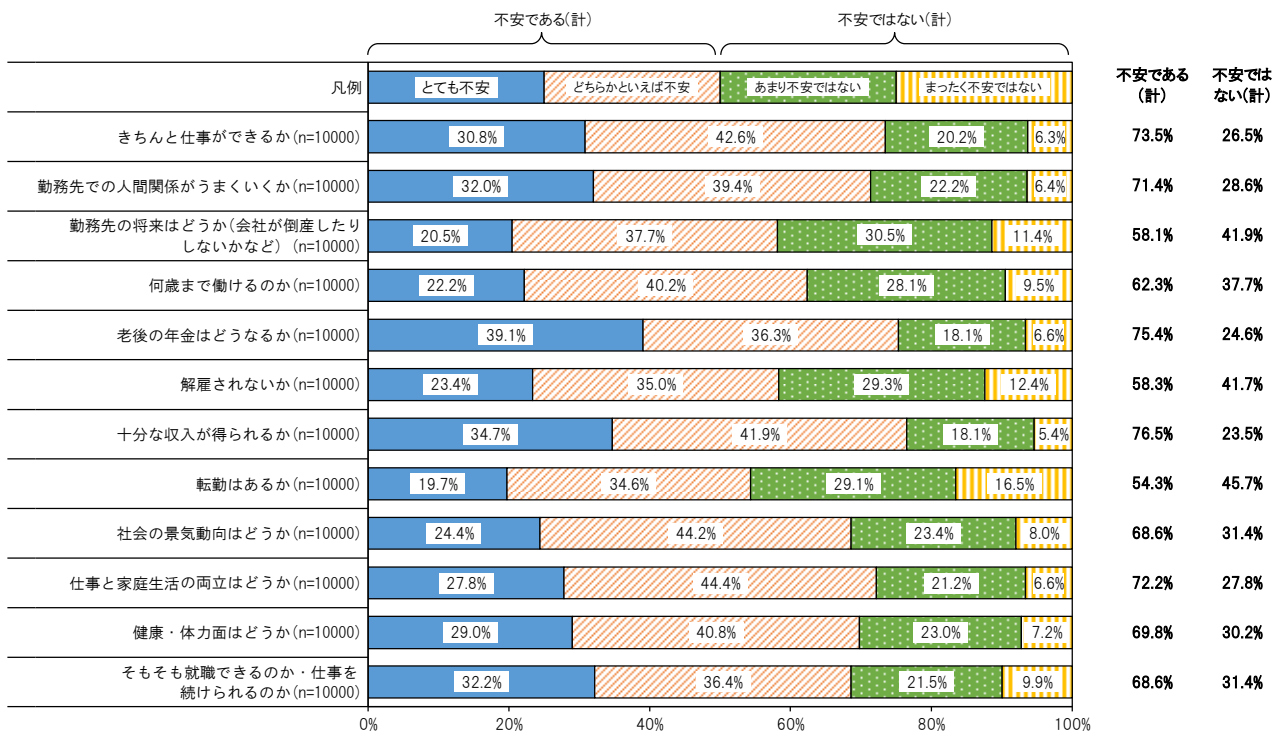
(4) 働くことへの不安

Q45 あなたは、働くことに関して、現在または将来、以下のようなことがどのくらい不安ですか。それぞれについて、あてはまるものを1つ選んでください。【それぞれひとつだけ】

働くことへの不安として、「不安である(計)」は、「きちんと仕事ができるか」(68.9%)が最も高く、次いで「十分な収入が得られるか」(68.7%)、「勤務先での人間関係がうまくいくか」(67.3%)となっている。一方、「不安ではない(計)」は、「何歳まで働けるのか」(54.5%)が最も高く、次いで「転職はあるか」(52.0%)、「勤務先の将来はどうか(会社が倒産したりしないかなど)」(50.1%)となっている。



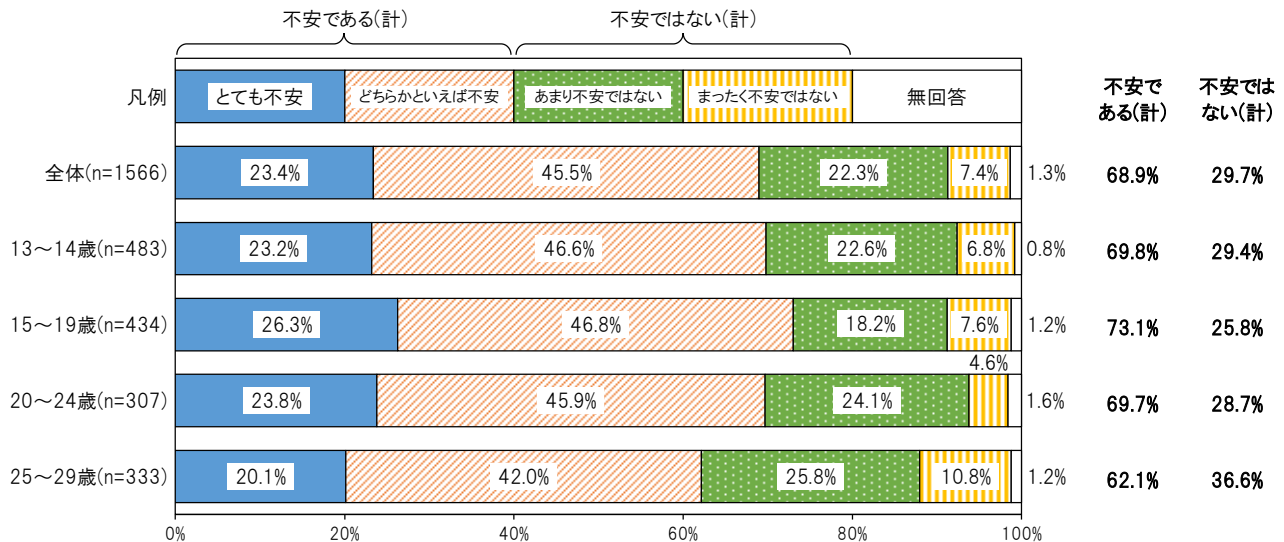
<参考 内閣府調査(平成29年度)> ※調査対象の年齢が異なるため参考として掲載している。



【きちんと仕事ができるか】

働くことへの不安の【きちんと仕事ができるか】について、全体では、「どちらかといえば不安」(45.5%)が最も高く、次いで「とても不安」(23.4%)となっている。

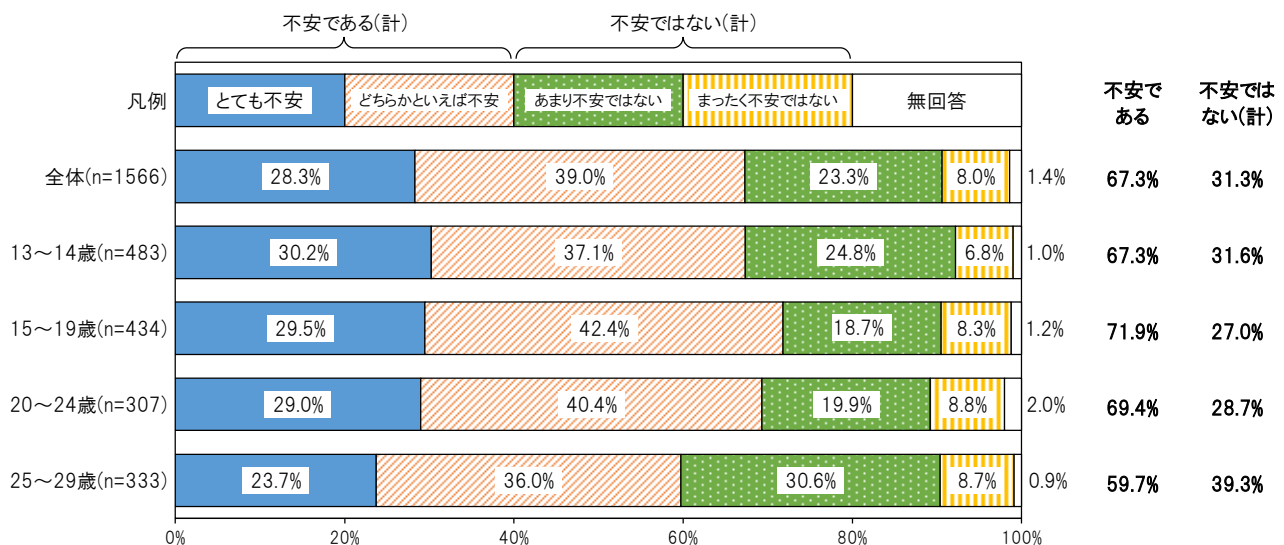
年齢別にみると、「不安である(計)」は「15～19歳」(73.1%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「不安ではない(計)」は「25～29歳」(36.6%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【勤務先での人間関係がうまくいくか】

働くことへの不安の【勤務先での人間関係がうまくいくか】について、全体では、「どちらかといえば不安」(39.0%)が最も高く、次いで「とても不安」(28.3%)となっている。

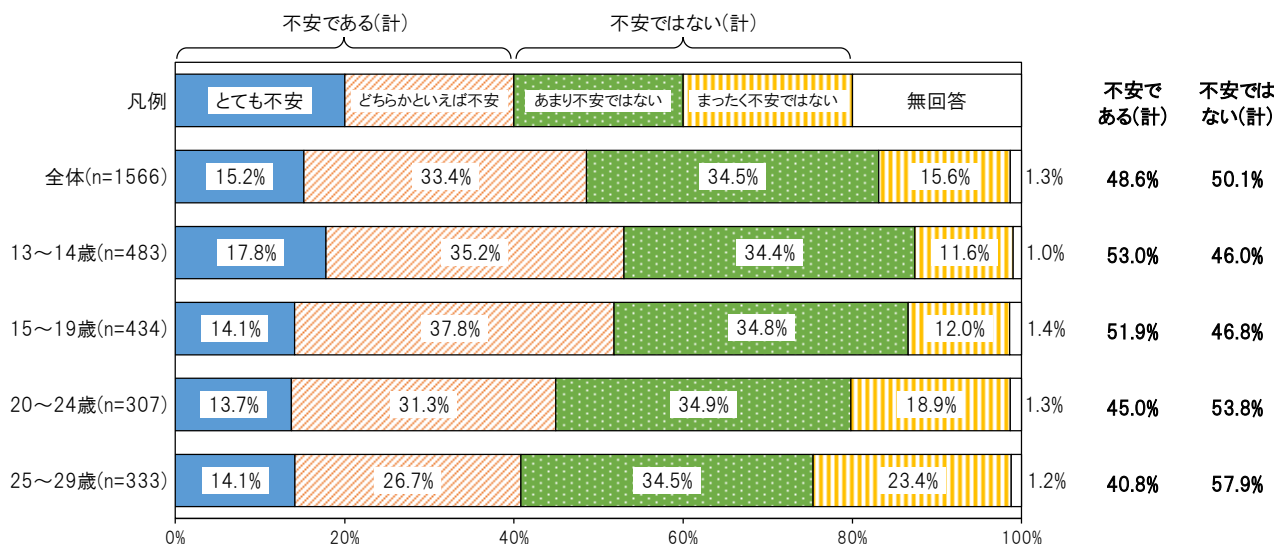
年齢別にみると、「不安である(計)」は「15～19歳」(71.9%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「不安ではない(計)」は「25～29歳」(39.3%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【勤務先の将来はどうか（会社が倒産したりしないかなど）】

働くことへの不安の【勤務先の将来はどうか（会社が倒産したりしないかなど）】について、全体では、「あまり不安ではない」（34.5%）が最も高く、次いで「どちらかといえば不安」（33.4%）となっている。

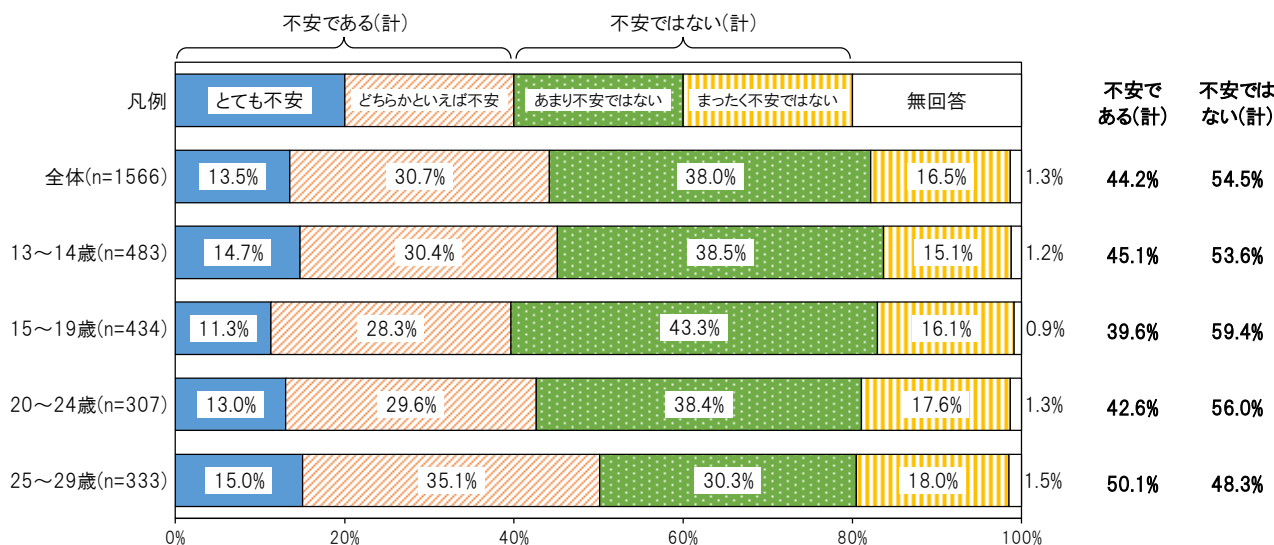
年齢別にみると、「不安である（計）」は「13～14歳」（53.0%）、「15～19歳」（51.9%）が5割を超えている。一方、「不安ではない（計）」は「20～24歳」（53.8%）、「25～29歳」（57.9%）が5割を超えている。



【何歳まで働けるのか】

働くことへの不安の【何歳まで働けるのか】について、全体では、「あまり不安ではない」（38.0%）が最も高く、次いで「どちらかといえば不安」（30.7%）となっている。

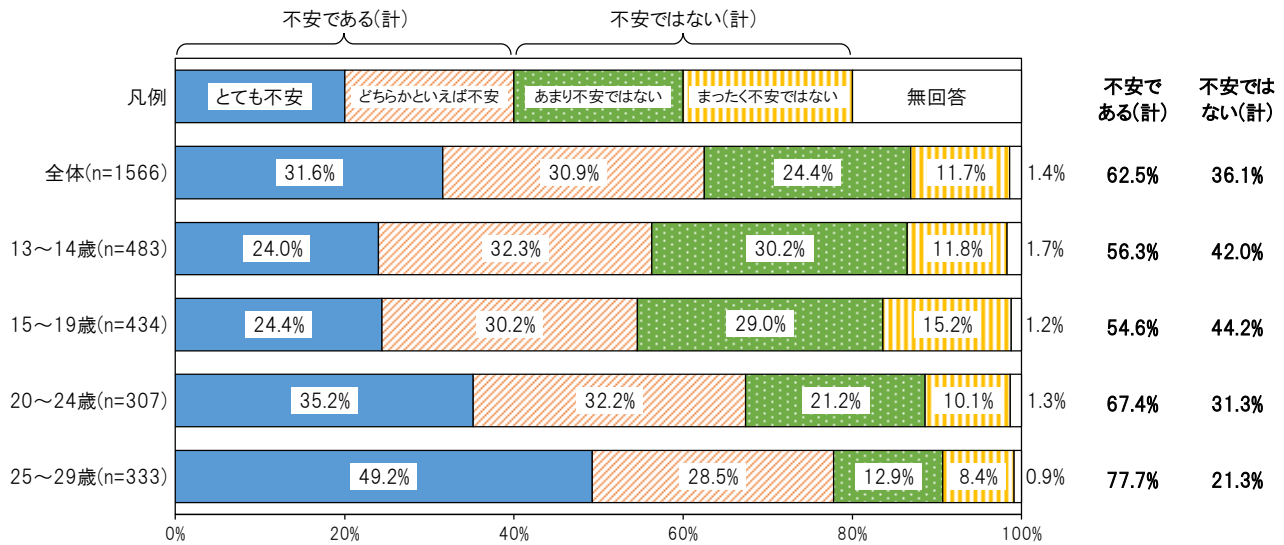
年齢別にみると、「不安である（計）」は「25～29歳」（50.1%）が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「不安ではない（計）」は「15～19歳」（59.4%）が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【老後の年金はどうか】

働くことへの不安の【老後の年金はどうか】について、全体では、「とても不安」(31.6%) が最も高く、次いで「どちらかといえば不安」(30.9%) となっている。

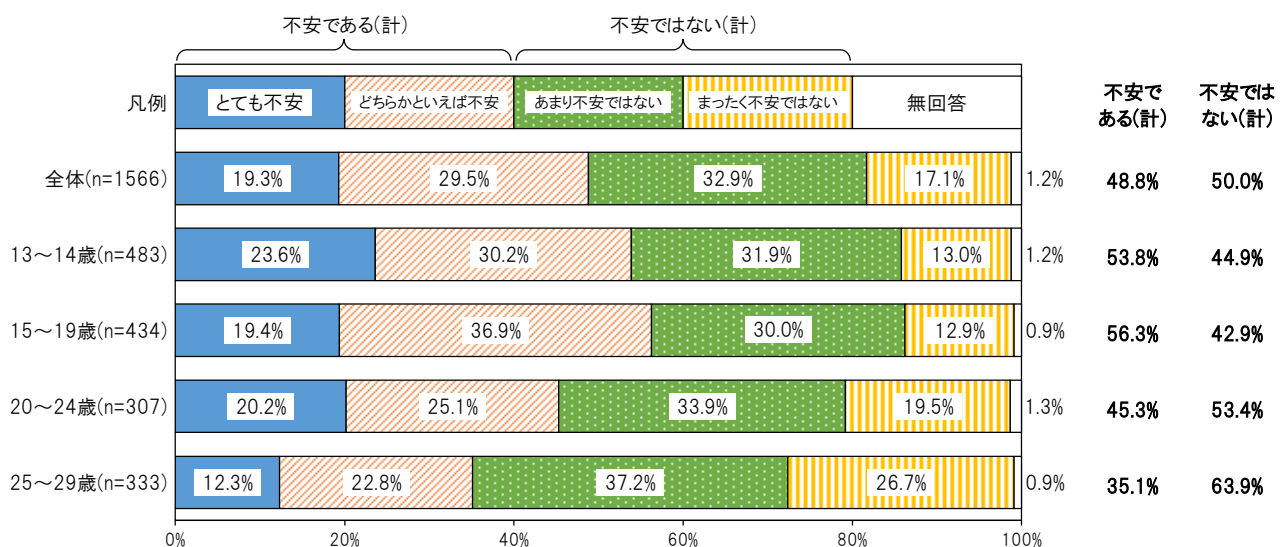
年齢別にみると、「とても不安」は「25～29 歳」(49.2%) が他の年齢と比べ最も高くなっており、約 5 割となっている。



【解雇されないか】

働くことへの不安の【解雇されないか】について、全体では、「あまり不安ではない」(32.9%) が最も高く、次いで「どちらかといえば不安」(29.5%) となっている。

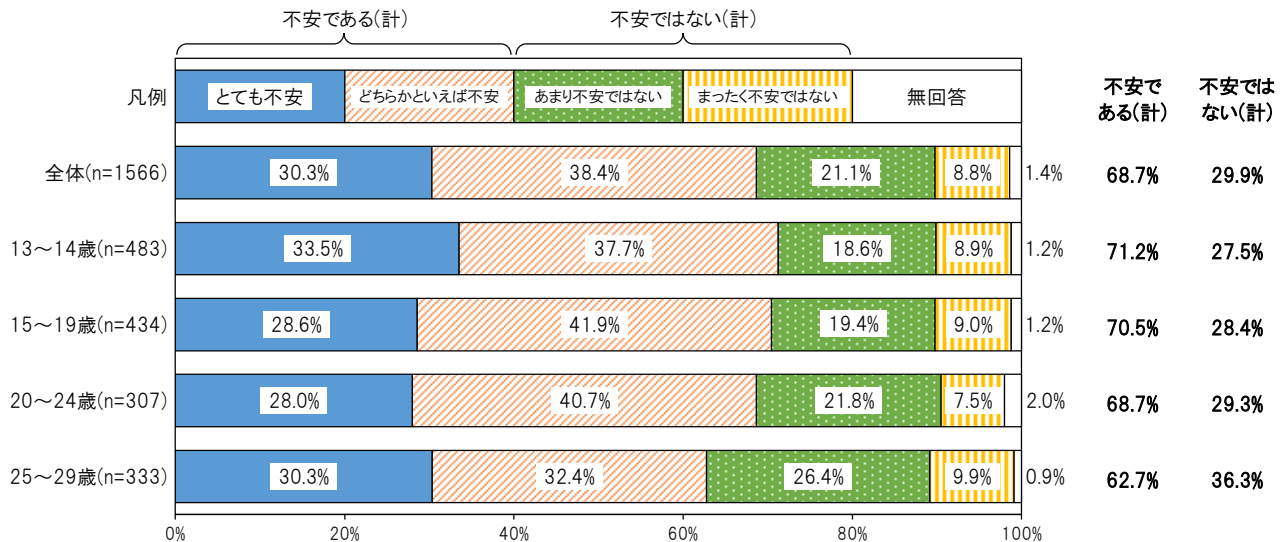
年齢別にみると、「不安である(計)」は「15～19 歳」(56.3%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「不安ではない(計)」は「25～29 歳」(63.9%) が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【十分な収入が得られるか】

働くことへの不安の【十分な収入が得られるか】について、全体では、「どちらかといえば不安」(38.4%)が最も高く、次いで「とても不安」(30.3%)となっている。

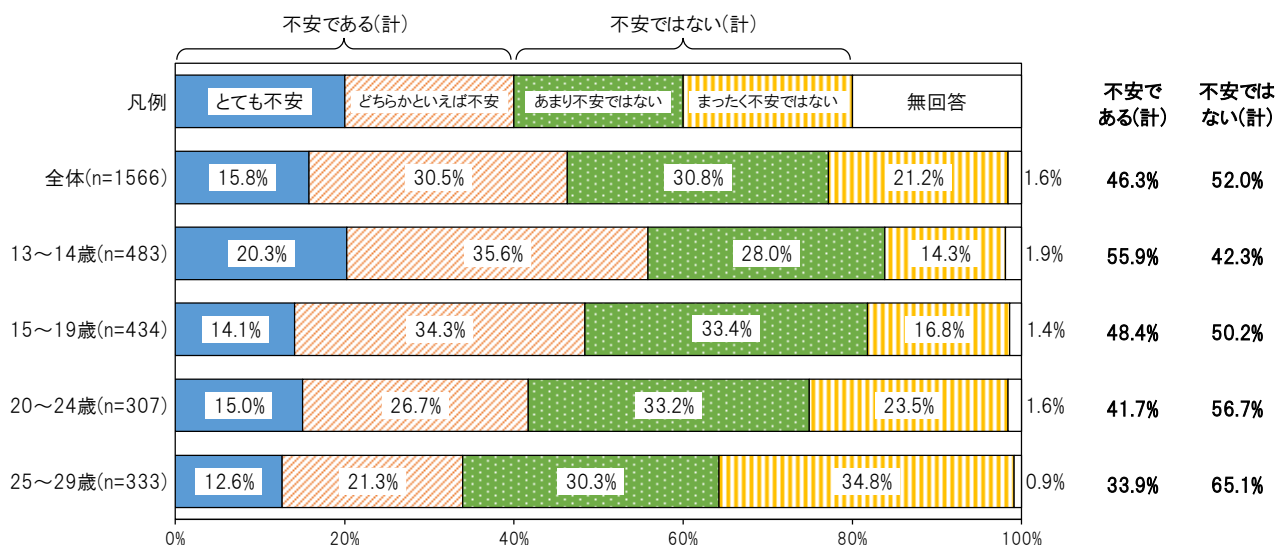
年齢別にみると、「不安である(計)」は「13～14歳」(71.2%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「不安ではない(計)」は「25～29歳」(36.3%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【転職はあるか】

働くことへの不安の【転職はあるか】について、全体では、「あまり不安ではない」(30.8%)が最も高く、次いで「どちらかといえば不安」(30.5%)となっている。

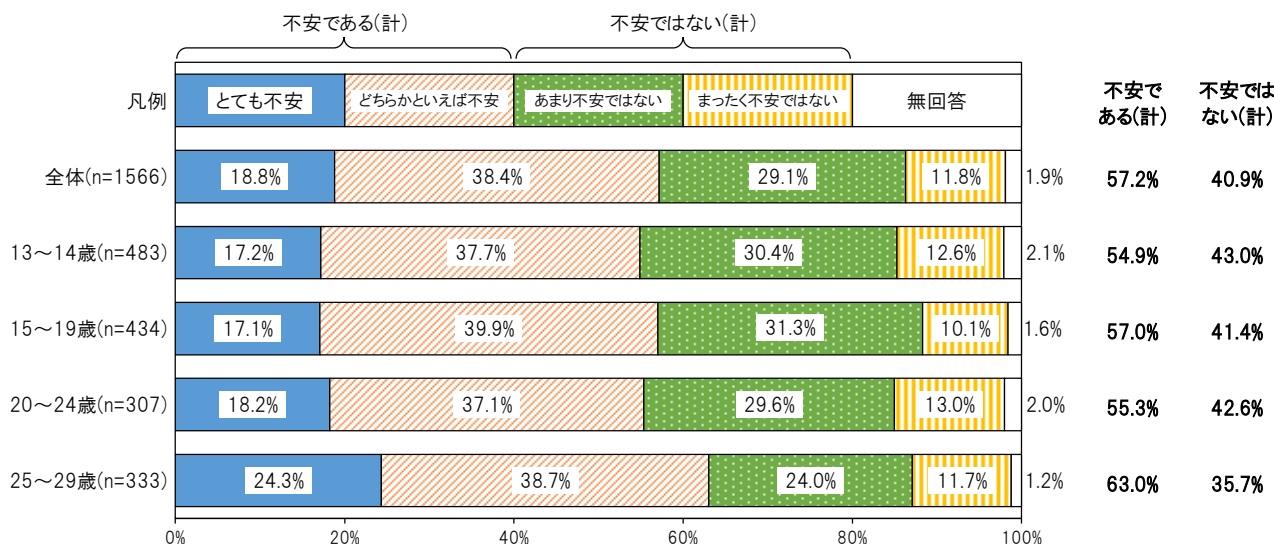
年齢別にみると、「不安である(計)」は「13～14歳」(55.9%)が他の年齢と比べ最も高くなっており、年齢が若いほど高くなる傾向がみられる。一方、「不安ではない(計)」は「25～29歳」(65.1%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【社会の景気動向はどうか】

働くことへの不安の【社会の景気動向はどうか】について、全体では、「どちらかといえば不安」(38.4%)が最も高く、次いで「あまり不安ではない」(29.1%)となっている。

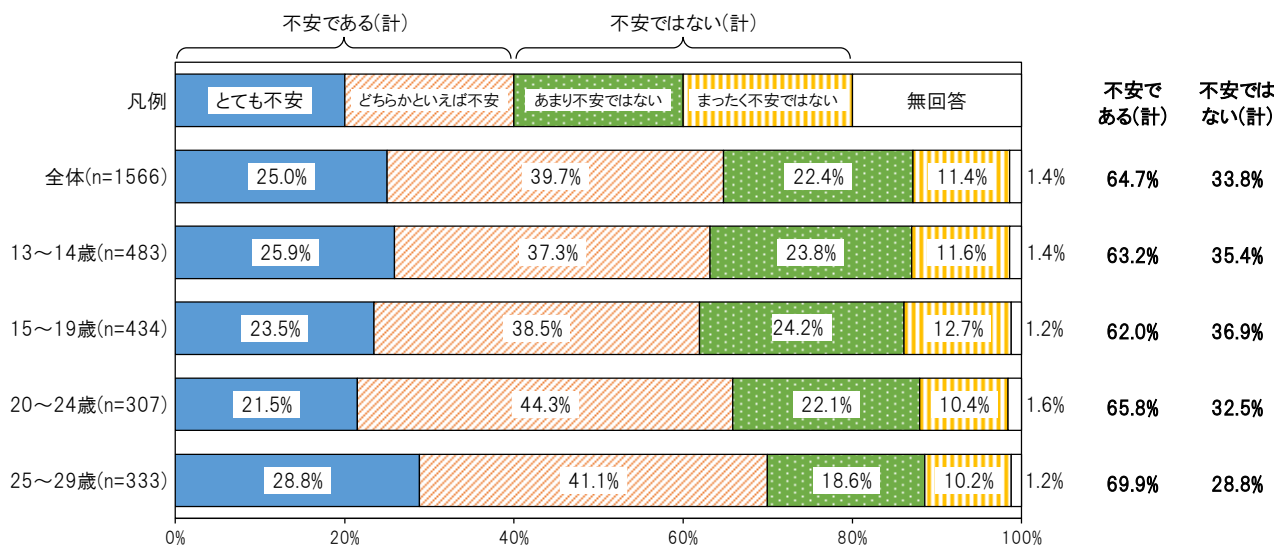
年齢別にみると、「不安である(計)」は「25～29歳」(63.0%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「不安ではない(計)」は「13～14歳」(43.0%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【仕事と家庭生活の両立はどうか】

働くことへの不安の【仕事と家庭生活の両立はどうか】について、全体では、「どちらかといえば不安」(39.7%)が最も高く、次いで「とても不安」(25.0%)となっている。

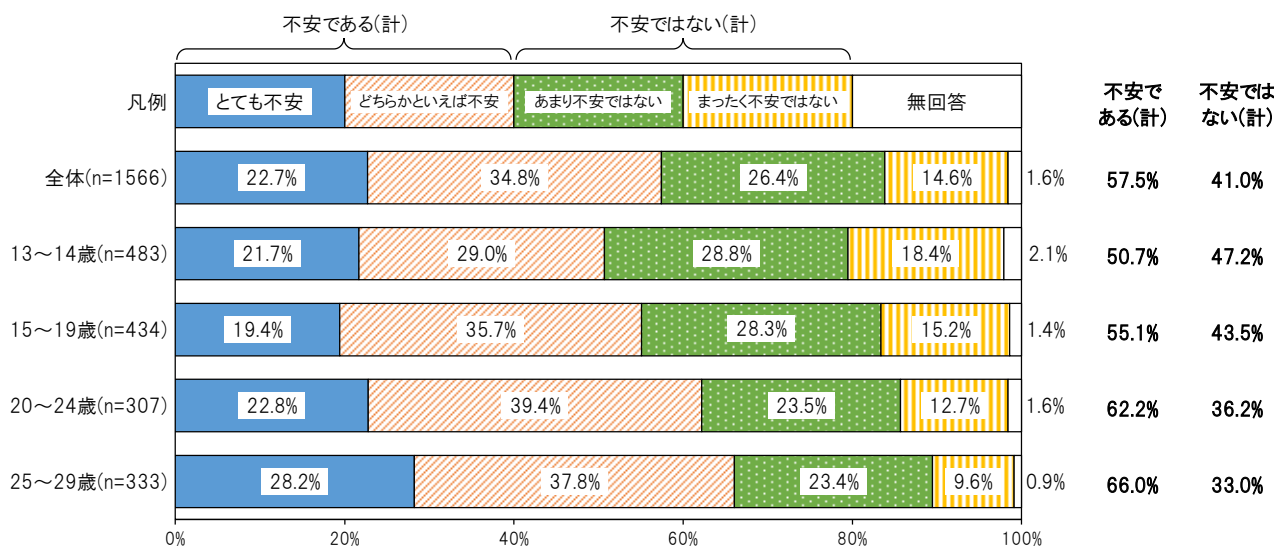
年齢別にみると、「不安である(計)」は「25～29歳」(69.9%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。一方、「不安ではない(計)」は「15～19歳」(36.9%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。



【健康・体力面はどうか】

働くことへの不安の【健康・体力面はどうか】について、全体では、「どちらかといえば不安」(34.8%)が最も高く、次いで「あまり不安ではない」(26.4%)となっている。

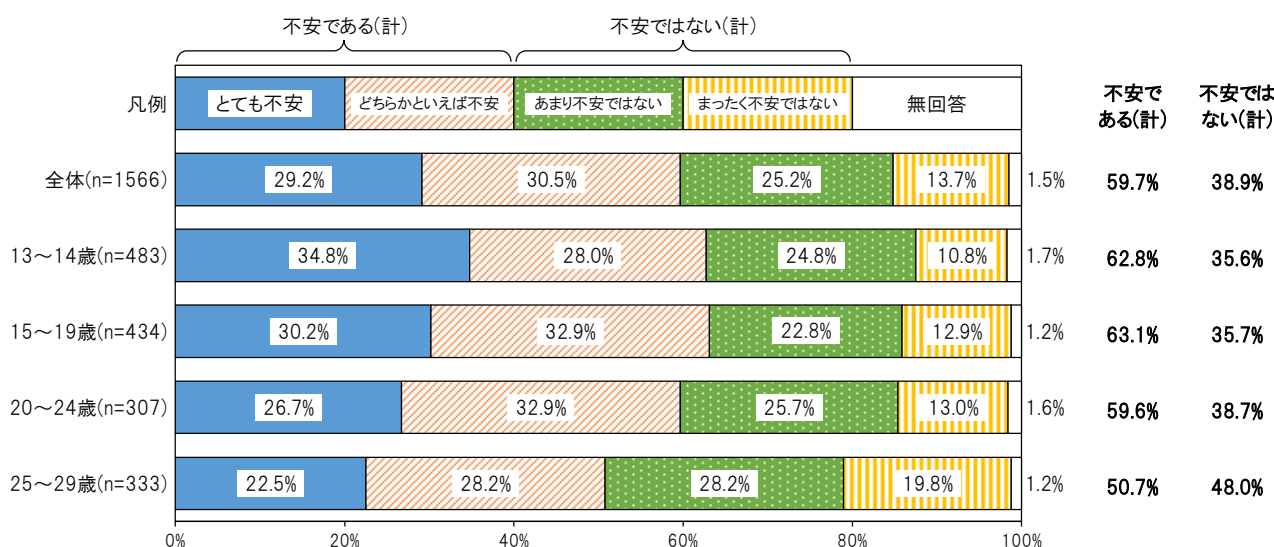
年齢別にみると、「不安である(計)」は「25～29歳」(66.0%)が他の年齢と比べ最も高くなっており、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。一方、「不安ではない(計)」は「13～14歳」(47.2%)が他の年齢と比べ最も高くなっており、



【そもそも就職できるのか・仕事を続けられるのか】

働くことへの不安の【そもそも就職できるのか・仕事を続けられるのか】について、全体では、「どちらかといえば不安」(30.5%)が最も高く、次いで「とても不安」(29.2%)となっている。

年齢別にみると、「とても不安」は「13～14歳」(34.8%)が他の年齢と比べ最も高くなっており、年齢が若いほど高くなる傾向がみられる。



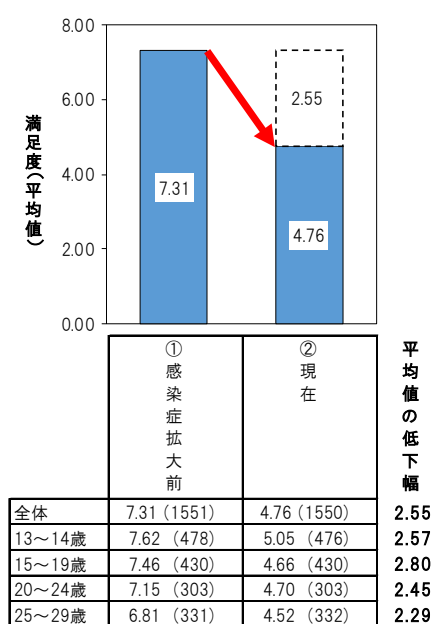
1 1 新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識の変化について

(1) 生活全体の満足度

Q46 全体としての生活の満足・不満の程度について、「全く満足していない」を0点、「非常に満足している」を10点とすると、①新型コロナウイルス感染症拡大前（令和元年（西暦2019年）12月以前）と②現在の生活、それぞれ何点ぐらいになると思いますか。あてはまる点数を選んでください。
【ひとつだけ】

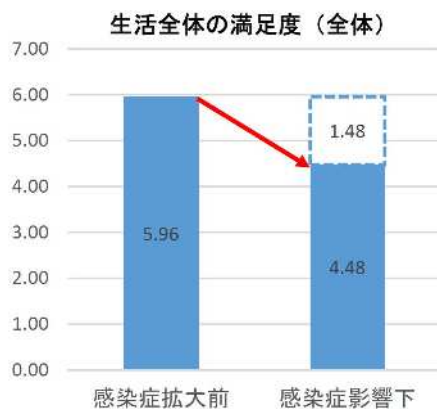
生活全体の満足度について、新型コロナウイルス感染症拡大前(7.31)と比較すると現在(4.76)の低下幅は2.55となっている。

年齢別にみると、「13～14歳」が「感染症拡大前」(7.62)と「現在」(5.05)ともに他の年齢と比べ最も高くなっている。低下幅は「15～19歳」(2.80)が他の年齢と比べ最も大きくなっている。



※平均値は回答数を分母として算出
(カッコ内の数値は回答数)

＜参考 内閣府調査(令和2年度)＞ ※調査対象の年齢が異なるため参考として掲載している。

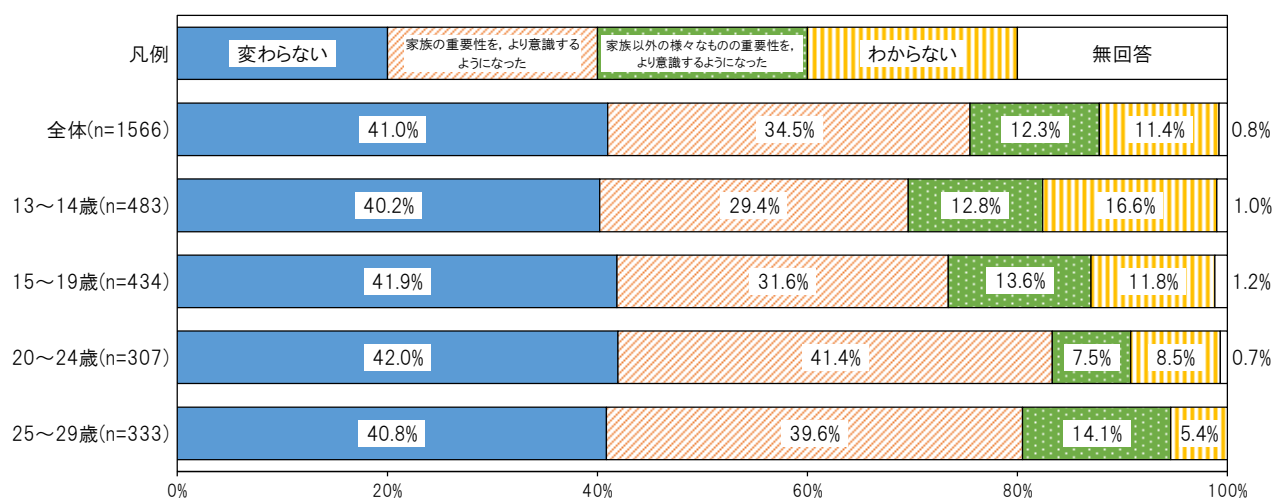


（２） 感染症拡大前と比較した意識の変化

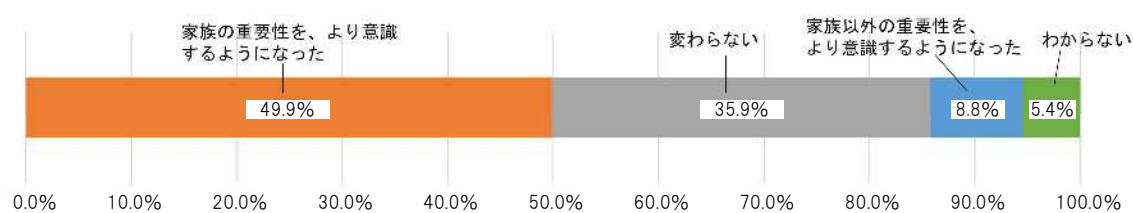
Q47 新型コロナウイルス感染症拡大前（令和元年（西暦 2019 年）12 月以前）に比べて、家族の重要性に関する意識はどのように変化しましたか。【ひとつだけ】

感染症拡大前と比較した家族の重要性に関する意識の変化について、全体では、「変わらない」（41.0%）が最も高く、次いで「家族の重要性を、より意識するようになった」（34.5%）となっている。

年齢別にみると、「家族の重要性を、より意識するようになった」は「20～24 歳」（41.4%）が他の年齢と比べ最も高くなっている。また、「変わらない」は年齢による大きな違いはみられない。



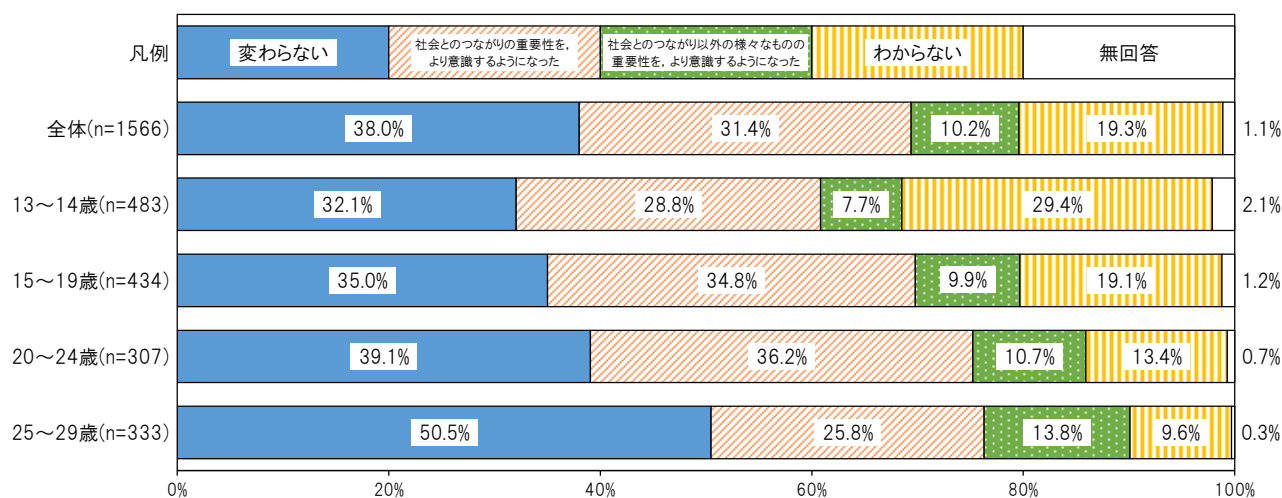
<参考 内閣府調査(令和2年度)> ※調査対象の年齢が異なるため参考として掲載している。



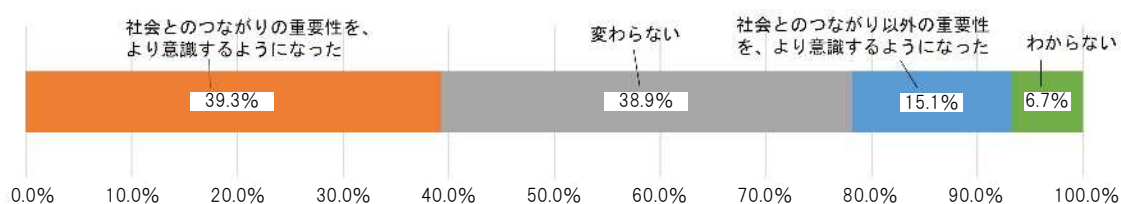
Q48 新型コロナウイルス感染症拡大前（令和元年（西暦 2019 年）12 月以前）に比べて、社会とのつながりの重要性に関する意識はどのように変化しましたか。【ひとつだけ】

感染症拡大前と比較した社会とのつながりの重要性に関する意識の変化について、全体では、「変わらない」(38.0%)が最も高く、次いで「社会とのつながりの重要性を、より意識するようになった」(31.4%)となっている。

年齢別にみると、「社会とのつながりの重要性を、より意識するようになった」は「20～24 歳」(36.2%)が他の年齢と比べ最も高くなっている。また、「変わらない」は年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。



＜参考 内閣府調査(令和2年度)＞ ※調査対象の年齢が異なるため参考として掲載している。

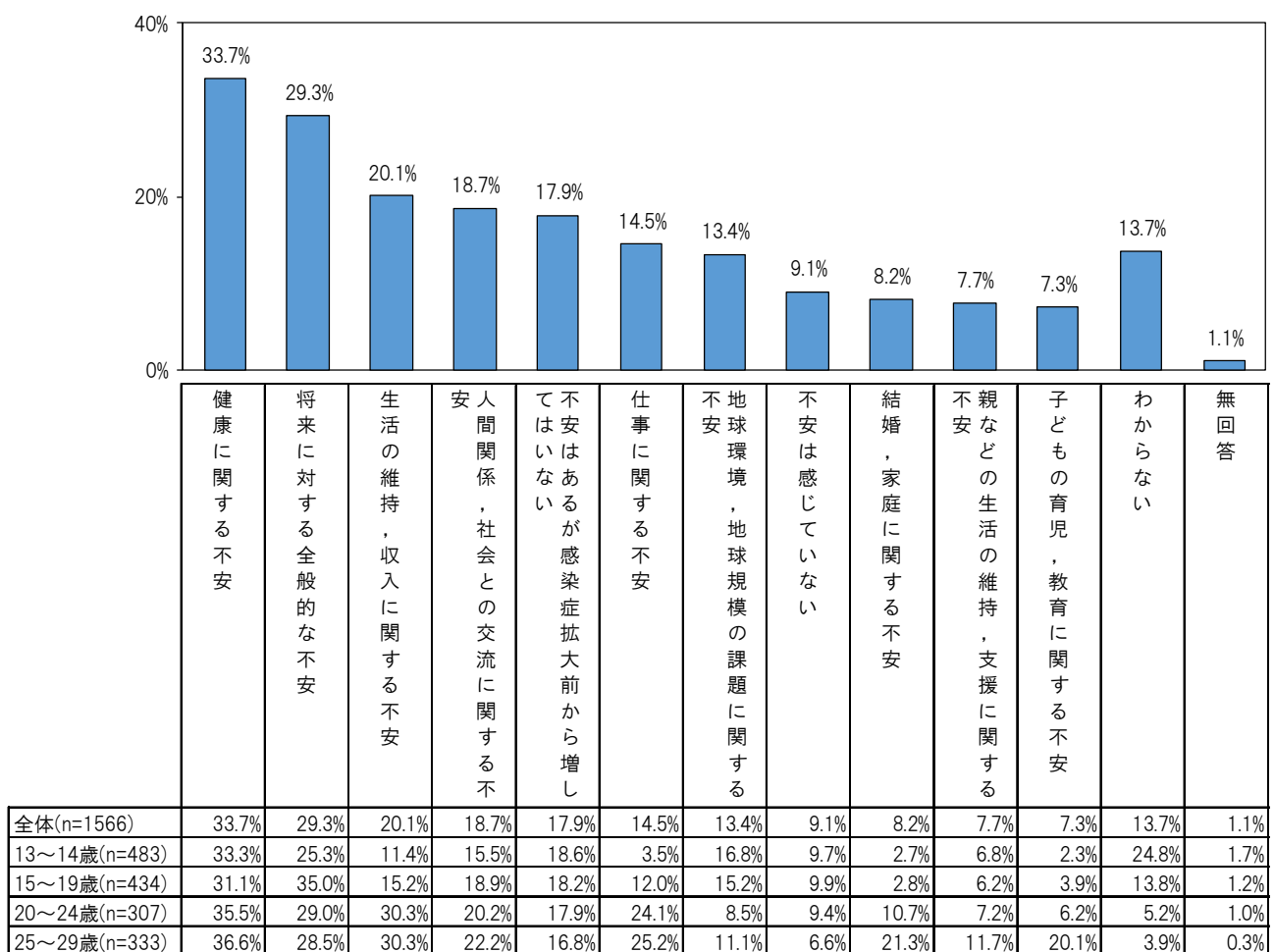


(3) 不安の増加

Q49 新型コロナウイルス感染症拡大前（令和元年（西暦 2019 年）12 月以前）に比べて不安が増していることがありますか。ある場合はどのような不安か、あてはまるものをすべて選んでください。
【いくつでも】

感染症拡大前と比較した不安の増加について、全体では、「健康に関する不安」(33.7%) が最も高く、次いで「将来に対する全般的な不安」(29.3%)、「生活の維持，収入に関する不安」(20.1%) となっている。

年齢別にみると、「15～19 歳」は「将来に対する全般的な不安」(35.0%) が最も高くなっている。「仕事に関する不安」，「結婚，家庭に関する不安」は「20～24 歳」と「25～29 歳」が他の年齢と比べ高くなっている。



＜参考 内閣府調査(令和２年度)＞ ※調査対象の年齢が異なるため参考として掲載している。

(回答者数/回答対象者数)	全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
健康	32.7%	22.6%	22.7%	28.3%	30.6%	35.7%	43.7%	47.7%
将来全般	29.8%	36.9%	27.2%	24.8%	28.1%	30.7%	33.9%	36.9%
生活の維持、収入	28.0%	15.8%	29.2%	32.8%	36.3%	29.7%	20.0%	15.0%
仕事	21.0%	16.1%	28.1%	24.4%	28.0%	21.5%	10.6%	3.4%
人間関係、社会との交流	15.3%	20.8%	17.0%	15.8%	13.6%	12.4%	15.3%	18.1%
親などの生活の維持、支援	12.4%	8.0%	8.7%	13.5%	16.1%	17.5%	12.0%	3.2%
子どもの育児、教育	10.2%	2.1%	8.0%	22.4%	18.3%	6.2%	1.8%	1.3%
地球環境、地球規模の課題	9.5%	8.3%	5.3%	5.6%	7.5%	9.2%	16.1%	20.3%
結婚、家庭	7.7%	5.1%	15.3%	13.1%	6.8%	3.2%	1.8%	0.9%
不安はあるが増してはいない	17.8%	15.2%	13.6%	15.8%	18.5%	19.3%	21.8%	21.0%
不安はない	6.2%	7.4%	6.9%	5.8%	5.4%	6.6%	5.9%	6.5%
わからない	7.7%	12.5%	10.5%	8.9%	7.3%	6.8%	5.1%	3.6%

調査票

「子ども・若者に関する意識調査」調査票

以下の質問について、該当する番号に「○」をつけてください。

F 1 あなたの性別をお知らせください。【ひとつだけ】

◆ 統計データの集計上必要なため回答ください。

1 男性	2 女性	3 その他	4 答えたくない
------	------	-------	----------

F2 あなたの令和4年3月31日時点の年齢をお答えください。【ひとつだけ】

1	13~14 歳	2	15~19 歳	3	20~24 歳	4	25~29 歳
---	---------	---	---------	---	---------	---	---------

F3 あなたの職業をお答えください。【ひとつだけ】

- 1 学生（中学生，高校生，専門学校生，大学生・短期大学生，大学院生，予備校生など）
- 2 正規職員（自営業を含む）
- 3 パート・アルバイト，契約社員など非正規職員
- 4 専業主婦・主夫
- 5 無業者（休職中の人を含む）
- 6 その他（家事手伝い，主に自宅で勉強中の人など）（

F4 あなたの就業経験（パート・アルバイトを含む）についてお答えください。【ひとつだけ】

- 1 現在、就業している
- 2 現在は就業していないが、過去に就業経験がある
- 3 これまでに就業経験はない

Q1 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。【それぞれひとつだけ】

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
自分には自分らしさというものがあると思う	1	2	3	4
自分の欲しいものをがまんすることが苦手だ	1	2	3	4
今の自分を変えたいと思う	1	2	3	4
将来よりも今の生活を楽しまたい	1	2	3	4
努力すれば希望する職業につくことができる	1	2	3	4
自分の将来は運やチャンスによって決まる	1	2	3	4
人生で起こることは、結局は自分に原因があると思う	1	2	3	4
他人に迷惑がかからない限り、どんな考えや行動をとろうが、自分の自由だと思う	1	2	3	4
今の自分が好きだ	1	2	3	4
自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ	1	2	3	4
自分の親（保護者）から愛されていると思う	1	2	3	4
うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む	1	2	3	4
自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	1	2	3	4
いまの自分自身に満足している	1	2	3	4
自分は役に立たないと強く感じる	1	2	3	4

Q2 あなたは、今の生活が充実していると思いますか。あなたの実感をお答えください。
【ひとつだけ】

1 充実している	2 どちらかといえば充実している
3 どちらかといえば充実していない	4 充実していない

Q3 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地のよい場所など）になっていますか。【それぞれひとつだけ】

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
自分の部屋	1	2	3	4
家庭（実家や親族の家を含む）	1	2	3	4
学校（卒業した学校を含む）	1	2	3	4
職場（過去の職場を含む）	1	2	3	4
地域（現在住んでいる場所やそこにある施設など）	1	2	3	4
インターネット空間	1	2	3	4

Q4 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験(※)があったと思いますか。最もあてはまるものを選んでください。【ひとつだけ】
※ 不登校、ひきこもり、ニート、高校中退など、社会生活や日常生活のしづらさを感じた経験と考えてください。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 あった | 2 どちらかといえばあった |
| 3 どちらかといえばなかった | 4 なかった |
| 5 わからない、答えられない | |

【Q4で選んだ回答によって、以下の質問に進んでください】

- ・ 「1 あった」若しくは「2 どちらかといえばあった」を選択 → Q5へ
- ・ それ以外を選択 → Q11 (6 ページ) へ

Q5～Q10は、Q4で「1 あった」若しくは「2 どちらかといえばあった」と回答した方にお伺いします。

Q5 Q4の問題を経験した主な理由は何ですか。「自分自身」、「家族・家庭」、「学校」、「仕事」の欄ごとに、あてはまるものをすべて選んでください。【いくつでも】

〈自分自身について〉

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 人づきあいが苦手だから | 2 精神的な病気だったから |
| 3 身体的な病気・ケガだったから | 4 何事も否定的に考えてしまったから |
| 5 勉強が苦手だから | 6 悩みなどを相談できなかったから |
| 7 その他 | 8 特にない |
| 9 わからない | |

〈家族・家庭について〉

- | |
|--|
| 1 家族内の不和や離別があったから |
| 2 家庭内で孤立していたから（家族間でのコミュニケーションが希薄だったから） |
| 3 親（保護者）からの自分への過度な期待があったから |
| 4 親（保護者）から放任されていたから |
| 5 親（保護者）のしつけが厳しかったから |
| 6 親（保護者）から虐待されていたから |
| 7 親（保護者）の過干渉があったから |
| 8 親（保護者）の甘やかしがあったから |
| 9 親（保護者）への反発があったから |
| 10 家庭が貧しかったから |
| 11 家庭が裕福で生活の心配がいらなかったから |
| 12 その他 |
| 13 特にない |
| 14 わからない |

〈学校について〉

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1 大学受験に失敗したから | 2 高校受験に失敗したから |
| 3 中学受験に失敗したから | 4 大学、短大、高専、専門学校を中退したから |
| 5 成績が悪かったから | 6 先生との関係が悪かったから |
| 7 友達との関係が悪かったから | 8 校則に合わせるのが嫌だったから |
| 9 集団行動が苦手だったから | 10 いじめられたから |
| 11 不本意な入学をしたから | 12 体罰やハラスメントがあったから |
| 13 その他 | 14 特にない |
| 15 わからない | |

〈仕事・職場について〉

◆ F 4（1 ページ）で「1 現在、就業している」若しくは「2 現在は就業していないが、過去に就業経験がある」と答えた方のみお答えください。

- | |
|----------------------------|
| 1 就職に失敗したから |
| 2 就職先を退職したから |
| 3 就職先を解雇されたから |
| 4 仕事上の大きなミスをしたから |
| 5 仕事の量や内容が自分の能力を超えていたから |
| 6 職場でいじめられたから |
| 7 職場になじめなかったから |
| 8 上司や同僚との関係が悪かったから |
| 9 働く意味がわからないから |
| 10 働きたくないから |
| 11 いわゆる充電をしたかったから |
| 12 仕事が自分に向いてなかったから |
| 13 自分の才能や特技を生かせる仕事ではなかったから |
| 14 本当に自分のやりたい仕事ではなかったから |
| 15 その他 |
| 16 特にない |
| 17 わからない |

Q 6 Q 4の問題を経験した事柄の中で、特に影響が強かったと思うことは何ですか。
【2つまで】

- | | |
|-----------|------------|
| 1 自分自身の問題 | 2 家族・家庭の問題 |
| 3 学校の問題 | 4 仕事・職場の問題 |

Q7 あなたは今まで次のような人たちから支援を受けたことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。【いくつでも】

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 1 スクールカウンセラー | 2 スクールソーシャルワーカー |
| 3 学校の先生 | 4 医師や保健師などの医療関係者 |
| 5 臨床心理士や各種カウンセラー | 6 ケースワーカー |
| 7 キャリアコンサルタント | 8 ピアサポーター（あなたと同じ悩みを持った経験者） |
| 9 自然体験など体験活動の指導員 | 10 その他（ ） |
| 11 支援を受けたことがない | |

【Q7で選んだ回答によって、以下の質問に進んでください】

- ・ 「1 スクールカウンセラー」～「10 その他」のいずれかを選択 → **Q8へ**
- ・ 「11 支援を受けたことがない」を選択 → **Q9へ**

Q8 Q7で「1 スクールカウンセラー」～「10 その他」のいずれかを回答した方にお伺いします。
Q7の中で最も役に立ったと思うものを1つ選んでください。【ひとつだけ】

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 1 スクールカウンセラー | 2 スクールソーシャルワーカー |
| 3 学校の先生 | 4 医師や保健師などの医療関係者 |
| 5 臨床心理士や各種カウンセラー | 6 ケースワーカー |
| 7 キャリアコンサルタント | 8 ピアサポーター（あなたと同じ悩みを持った経験者） |
| 9 自然体験など体験活動の指導員 | 10 その他（ ） |
| 11 効果がなかったものはない | |

Q9 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった状態が改善した経験があったと思いますか。最もあてはまるものを選んでください。
【ひとつだけ】

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 あった | 2 どちらかといえばあった |
| 3 どちらかといえばなかった | 4 なかった |
| 5 わからない、答えられない | |

【Q9で選んだ回答によって、以下の質問に進んでください】

- ・ 「1 あった」若しくは「2 どちらかといえばあった」を選択 → **Q10へ**
- ・ それ以外を選択 → **Q11へ**

Q10 Q9で「1 あった」若しくは「2 どちらかといえばあった」と回答した方にお伺いします。
Q9のような改善した経験はどのようなことがきっかけだったと思いますか。最もあてはまるものを選んでください。【ひとつだけ】

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1 就職・転職したこと | 2 家族や友人の助け |
| 3 学校に相談したこと | 4 支援機関・医療機関に相談したこと |
| 5 趣味の活動に参加したこと | 6 時間の経過で状況が変化したこと |
| 7 わからない、答えられない | |

Q11 家族・親族とあなたのかかわりはどのようなものですか。【それぞれひとつだけ】

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
会話やメール等をよくしている	1	2	3	4
何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4
楽しく話せる時がある	1	2	3	4
困ったときは助けてくれる	1	2	3	4
他の人には言えない本音を話せることがある	1	2	3	4
強いつながりを感じている	1	2	3	4

Q12 学校で出会った友人（※）とあなたのかかわりはどのようなものですか。

【それぞれひとつだけ】

※ 現在通っている学校の友人、かつての同窓生など

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
会話やメール等をよくしている	1	2	3	4
何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4
楽しく話せる時がある	1	2	3	4
困ったときは助けてくれる	1	2	3	4
他の人には言えない本音を話せることがある	1	2	3	4
強いつながりを感じている	1	2	3	4

Q13 職場・アルバイト関係の人（※）とあなたのかかわりはどのようなものですか。

【それぞれひとつだけ】

※ 現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など

◆ F4（1ページ）で「1 現在、就業している」若しくは「2 現在は就業していないが、過去に就業経験がある」と答えた方のみお答えください。

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
会話やメール等をよくしている	1	2	3	4
何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4
楽しく話せる時がある	1	2	3	4
困ったときは助けてくれる	1	2	3	4
他の人には言えない本音を話せることがある	1	2	3	4
強いつながりを感じている	1	2	3	4

Q14 地域の人(※)とあなたのかかわりはどのようなものですか。【それぞれひとつだけ】

※ 近所の人, 町内会などの知人, 消防団などの地域活動での知人, 塾や習い事での知人, 参加しているNPO法人など

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
会話やメール等をよくしている	1	2	3	4
何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4
楽しく話せる時がある	1	2	3	4
困ったときは助けてくれる	1	2	3	4
他の人には言えない本音を話せることがある	1	2	3	4
強いつながりを感じている	1	2	3	4

Q15 インターネット上における人(※1)やコミュニティ(※2)とあなたのかかわりはどのようなものですか。【それぞれひとつだけ】

※1 具体的には, 面識がない, あるいは数回会ったことがあるが, 基本的にはネット中心の付き合いの人

※2 インターネット上の交流の場 (SNSを活用したオンラインサロン など)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
会話やメール等をよくしている	1	2	3	4
何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4
楽しく話せる時がある	1	2	3	4
困ったときは助けてくれる	1	2	3	4
他の人には言えない本音を話せることがある	1	2	3	4
強いつながりを感じている	1	2	3	4

Q16 あなたは, 子供・若者を対象とした育成支援機関等を知っていますか。知っている育成支援機関等をすべて選んでください。【いくつでも】

- 1 子ども・若者総合相談センター, 教育相談所・相談室などの相談機関
- 2 児童相談所や福祉事務所, こども総合療育センター, 家庭児童相談室などの児童福祉機関
- 3 職業安定所(ハローワーク)やジョブカフェ, 地域若者サポートステーション, ポリテクセンターなどの就労支援機関
- 4 少年自然の家・青年の家等
- 5 青少年センターや青少年プラザなど, 若者の自主的な活動を支援する施設
- 6 児童館
- 7 教育支援センター(適応指導教室)
- 8 精神保健福祉センター
- 9 ひきこもり地域支援センター
- 10 発達障害者支援センター
- 11 フリースクール(フリースペース)
- 12 通信制高校のサポート校
- 13 民間施設(自然体験活動, 学習支援, 就労支援, ひきこもり支援など若者育成支援を行うNPOなど)
- 14 その他の施設・機関()
- 15 知っている育成支援機関等はない

Q17 Q16の機関について利用したいと思いますか。【ひとつだけ】

- 1 利用したいと思う
- 2 どちらかといえば利用したいと思う
- 3 どちらかといえば利用したいと思わない
- 4 利用したいと思わない

【Q17で選んだ回答によって、以下の質問に進んでください】

- ・ 「1 利用したいと思う」若しくは「2 どちらかといえば利用したいと思う」を選択
→ Q18へ
- ・ 「3 どちらかといえば利用したいと思わない」若しくは「4 利用したいと思わない」を選択
→ Q19へ

Q18 Q17で「1 利用したいと思う」若しくは「2 どちらかといえば利用したいと思う」と回答した方にお伺いします。

Q16の機関を利用したいと思った理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。【いくつでも】

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 さまざまな知識や経験を得られるから | 2 自分の考えが広がるきっかけになるから |
| 3 将来像が具体的になるから | 4 不安や悩みの解消につながるから |
| 5 遊び場になっているから | 6 便利だから |
| 7 友人に会えるから | 8 楽しいから |
| 9 その他（ | ） |

Q19 Q17で「3 どちらかといえば利用したいと思わない」若しくは「4 利用したいと思わない」と回答した方にお伺いします。

Q16の機関を利用したくないと思った理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。【いくつでも】

- 1 相談するのは家族や先生、友人など身近な人の方が有意義だと思うから
- 2 新しく得られるものがなさそうだと思うから
- 3 不安や悩みの解消にはならないと思うから
- 4 他に楽しい場所があるから
- 5 知らない人ばかりで楽しめないと思うから
- 6 周囲に知られるのが嫌だから
- 7 行くのが面倒だから
- 8 自分には関係ない場所だと思うから
- 9 機関について知らなかったから
- 10 その他（

Q20 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができないようなときに、どのような支援があると良いと思いますか。最もよいと思うものを1つ選んでください。
【ひとつだけ】

- 1 低い家賃で住めるところ（寮や下宿のようなところ）
- 2 生活や就学のための経済的補助
- 3 進路や生活などについて何でも相談できる施設や人
- 4 仲間と出会え、一緒に活動できる施設・場所
- 5 読み書き計算などの基礎的な学習への支援
- 6 職場実習などの就労のための支援
- 7 その他（ ）
- 8 特にない
- 9 支援について、わからない

Q21 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができないようなときに、どのような機関や人なら、相談したり、支援を受けたりしやすいと感じますか。あてはまるものをすべて選んでください。【いくつでも】

- 1 家族や親戚
- 2 友人・知人
- 3 学校の先生
- 4 学校にいるカウンセラーなどの専門家
- 5 公的な支援機関や専門家
- 6 民間の支援団体や専門家
- 7 同じ経験を持つ当事者や家族の会
- 8 その他（ ）
- 9 誰にも相談したり、支援を受けたりしたいと思わない
- 10 わからない

Q22 公的な支援機関や専門家から支援を受ける場合に、どのような形で支援を受けたいと思いますか。【いくつでも】

- 1 電話で相談する
- 2 メールで相談する
- 3 SNSで相談する
- 4 学校で相談する
- 5 施設に通って相談する
- 6 自宅で相談する（自宅を訪問した相談員に相談する）
- 7 施設で自由に過ごす（居場所、フリースペース）
- 8 自宅を離れ、施設に住み込んで日常生活や就労に関しての支援を受けたり相談したりする
- 9 少年自然の家・青年の家等の活動プログラムへの参加
- 10 その他（ ）
- 11 誰にも相談したり、支援を受けたりしたいと思わない
- 12 わからない

Q23 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができないような場合に、相談したり、支援を受けたりするとき、どのようなタイプの人がよいですか。あてはまるものの3つまで選んでください。【3つまで】

- 1 自分の祖父母と同じくらいの年代の人
- 2 自分の親と同じくらいの年代の人
- 3 年上だが年齢は自分とあまり離れていない人
- 4 自分と同学年の人
- 5 自分より年下の人
- 6 同じ悩みや経験を持っている人
- 7 親身に話を聞いてくれる人
- 8 ぐいぐいと自分をリードしてくれる人
- 9 自分の意見を尊重してくれてあまり指導的ではない人
- 10 助言したり相談に乗ったりしてくれるだけでなく一緒に行動してくれる人
- 11 資格を持っているなど専門性が高い人
- 12 その他（ ）
- 13 わからない

Q24 あなたは悩み事や困ったことがあるとき、それを解決、改善する方法について、どのように調べていますか。【いくつでも】

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 1 インターネットで検索する | 2 掲示板やSNSで解決方法を質問する、募集する |
| 3 家族や親せきに相談する | 4 友人・知人（家族や親せき以外）に相談する |
| 5 学校の先生に相談する | 6 公的機関に問い合わせる |
| 7 本で調べる | 8 その他（ ） |
| 9 特別調べることはない | |

Q25 学校や職場以外で他の人と一緒に行う活動について、数年（2～3年）以内にしたこととしてあてはまると思うものをすべて選んでください。【いくつでも】

- 1 映画，展覧会，音楽などの鑑賞
- 2 絵画や音楽などの創作活動
- 3 スポーツ（観戦含む）
- 4 自然体験（キャンプ，川遊び，天体観測など）
- 5 国際交流（外国人との交流，ホームステイなど）
- 6 観光
- 7 自己啓発（語学教室など）
- 8 ボランティア（老人ホーム訪問，小・中学生への学習支援など）
- 9 地域行事（祭りなど）
- 10 地域活動（清掃，防災など）
- 11 あてはまるものはない

Q26 学校や職場以外で他の人と一緒に行う活動について、これからしてみたいこととしてあてはまると思うものを選んでください。【それぞれひとつだけ】

	参加したい	どちらかといえば 参加したい	どちらかといえば 参加したくない	参加したくない
映画、展覧会、音楽などの鑑賞	1	2	3	4
絵画や音楽などの創作活動	1	2	3	4
スポーツ（観戦含む）	1	2	3	4
自然体験（キャンプ、川遊び、天体観測など）	1	2	3	4
国際交流（外国人との交流、ホームステイなど）	1	2	3	4
観光	1	2	3	4
自己啓発（語学教室など）	1	2	3	4
ボランティア（老人ホーム訪問、小・中学生への学習支援など）	1	2	3	4
地域行事（祭りなど）	1	2	3	4
地域活動（清掃、防災など）	1	2	3	4

Q27 あなたは、どのような場合に、学校や職場以外で他の人と一緒に行く活動（趣味の活動やボランティア、イベントなど）に参加しようと思いますか。【いくつでも】

- 1 楽しめそうなとき
- 2 いろんな人との出会いが期待できるとき
- 3 自分のやりたいことを発見できそうなとき
- 4 自由時間を有効に使うことが期待できるとき
- 5 自分の抱えている問題の解決が期待できるとき
- 6 新しい技術や能力を身につけたり経験を積んだりすることが期待できるとき
- 7 進学、就職などで有利になることが期待できるとき
- 8 困っている人の手助けになりそうなとき
- 9 地域や社会をよりよくするのに役立ちそうなとき
- 10 その他（ ）
- 11 参加したいと思わない

Q28 あなたは他の人と一緒に行く活動に参加するとき、どのような場所であれば参加したいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。【いくつでも】

- | | |
|--------------|------------------|
| 1 自宅やその近く | 2 通勤・通学などの日常生活圏内 |
| 3 住んでいる都道府県内 | 4 近隣の都道府県 |
| 5 日本全国 | 6 海外 |
| 7 都市部 | 8 農山漁村 |
| 9 インターネット上 | |

Q29 他の人と一緒に行く活動はどのような場所で行えるのが良いと思いますか。【いくつでも】

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 自分の部屋 | 2 公園 |
| 3 公民館 | 4 図書館 |
| 5 青少年センターなどの若者施設 | 6 学校（空き教室や廃校を含む） |
| 7 体育館・競技場 | 8 ショッピングモールなど商業施設 |
| 9 テーマパーク | 10 喫茶店・レストラン |
| 11 海・山・川など | 12 その他（ ） |

Q32 Q31で「1 そう思う」若しくは「2 どちらかといえばそう思う」と回答した方にお伺いします。

具体的に何を通して社会のために役立ちたいと考えていますか。あてはまるものをすべて選んでください。【いくつでも】

- 1 青少年健全育成に関する活動（ボーイスカウト・ガールスカウト活動、子供会など）
- 2 体育・スポーツ・文化に関する活動（スポーツ・レクリエーション指導、祭り、学校でのクラブ活動における指導など）
- 3 自主防災活動や災害援助活動
- 4 公共施設での活動（公民館における託児、博物館の展示説明員など）
- 5 人々の学習活動に関する指導、助言、運営協力などの活動（料理、英語、書道など）
- 6 国際交流（協力）に関する活動（通訳、難民援助、技術援助、留学生援助など）
- 7 社会福祉に関する活動（老人や障害者などに対する介護、身の回りの世話、給食、保育など）
- 8 非行少年等の立ち直り支援に関する活動（相談支援、レクリエーション活動など）
- 9 保健・医療・衛生に関する活動（病院ボランティアなど）
- 10 自然・環境保護に関する活動（緑化活動、環境美化、リサイクル活動、牛乳パックの回収など）
- 11 交通安全に関する活動（子供の登下校時の安全監視など）
- 12 募金活動、チャリティーバザー
- 13 町内会などの地域活動（お祝い事や不幸などの手伝い、町内会や自治会などの役員、防犯や防火活動など）
- 14 家事や子供の養育を通して
- 15 自分の職業を通して
- 16 農山漁村での活動（地域おこし協力隊、荒廃森林の整備、過疎地域におけるボランティア活動など）
- 17 その他
- 18 わからない

Q33 あなたはボランティア活動に興味がありますか。【ひとつだけ】

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 ある | 2 どちらかといえばある |
| 3 どちらかといえばない | 4 ない |
| 5 わからない | |

【Q33 で選んだ回答によって、以下の質問に進んでください】

- ・ 「1 ある」若しくは「2 どちらかといえばある」を選択 → Q34へ
- ・ それ以外を選択 → Q35へ

Q34 Q33で「1 ある」若しくは「2 どちらかといえばある」と回答した方にお伺いします。
 あなたがボランティア活動に興味があるのは、どのような気持ちからですか。
 【いくつでも】

- 1 地域や社会をよりよくしたい
- 2 困っている人の手助けをしたい
- 3 新しい技術や能力を身につけたり経験を積んだりしたい
- 4 自分のやりたいことを発見したい
- 5 いろいろな人と出会いたい
- 6 進学、就職などで有利になるようにしたい
- 7 自由時間を有効に使いたいから
- 8 周りの人がやっているから
- 9 その他
- 10 わからない

Q35 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。【ひとつだけ】

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 希望がある | 2 どちらかといえば希望がある |
| 3 どちらかといえば希望がない | 4 希望がない |

Q36 あなたが40歳くらいになったとき、どのようになっていると思いますか。それぞれについて、あてはまるものを1つ選んでください。【それぞれひとつだけ】

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
お金持ちになっている	1	2	3	4
自由にのんびり暮らしている	1	2	3	4
世界で活躍している	1	2	3	4
多くの人の役に立っている	1	2	3	4
有名になっている	1	2	3	4
子供を育てている	1	2	3	4
親を大切にしている	1	2	3	4
幸せになっている	1	2	3	4
結婚している	1	2	3	4
出世している	1	2	3	4
外国に住んでいる	1	2	3	4

Q37 あなたは将来「鹿児島に住み続けたい」と思いますか。【ひとつだけ】

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |

Q38 あなたは、インターネットの利用に関連するトラブルについて、不安はありますか。インターネットを利用されない方も、インターネットを利用した場合を想定してお答えください。【ひとつだけ】

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 不安がある | 2 どちらかといえば不安がある |
| 3 どちらかといえば不安はない | 4 不安はない |
| 5 わからない | |

【Q38 で選んだ回答によって、以下の質問に進んでください】

- ・ 「1 不安がある」～「3 どちらかといえば不安はない」のいずれかを選択 → Q39へ
- ・ それ以外を選択 → Q40へ

Q39 Q38 で「1 不安がある」～「3 どちらかといえば不安はない」のいずれかを回答した方にお伺いします。

具体的には、どのようなことに不安がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。【いくつでも】

- | |
|-----------------------------------|
| 1 詐欺などにあって、金品などを取られること |
| 2 個人情報が出ること |
| 3 SNSやブログなどで誹謗中傷（ひぼうちゅうしょう）を受けること |
| 4 子供や家族が危険な目に遭うこと |
| 5 なんとなく不安がある |
| 6 自分が加害者になる可能性があること |
| 7 その他（ ） |
| 8 わからない |

Q40 あなたがインターネットの安全・安心に関する話題で、参考になると思うのはどのような情報ですか。あてはまるものをすべて選んでください。【いくつでも】

- | |
|--------------------------------|
| 1 インターネットの危険に関する速報 |
| 2 インターネットの危険に関する一般的な情報 |
| 3 インターネットに関連したトラブルの被害に遭った人の体験談 |
| 4 インターネットの安全・安心に関する基礎知識 |
| 5 インターネットに関する技術的な情報 |
| 6 インターネットのトラブルについての相談窓口 |
| 7 その他（ ） |
| 8 特になし |
| 9 わからない |

Q41 あなたは、インターネットの安全・安心に関する国や地方公共団体による情報発信について、どのような方法で行ってほしいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。【いくつでも】

- 1 インターネットを安全・安心に使うための知識を解説したホームページでの発信
- 2 インターネットの危険に関する情報のホームページでの発信
- 3 テレビやラジオ番組での発信
- 4 新聞や雑誌・書籍での発信
- 5 学校や地域でのセミナー，教室の開催
- 6 街頭イベントなどの開催
- 7 その他（ ）
- 8 特にない
- 9 わからない

Q42 あなたは、主として、何のために仕事をするのですか。（就業していない方は、あなたの仕事に対する考え方をお答えください。）【2つまで】

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1 自分の能力を発揮するため | 2 収入を得るため |
| 3 社会的な地位を得るため | 4 人の役に立つため |
| 5 仕事を通して達成感や生きがいを得るため | 6 親やきょうだいを養うため |
| 7 働くのがあたりまえだから | 8 その他（ ） |

Q43 あなたが、現在、最も希望する雇用の形態等を教えてください。（就業していない方も、現在就業するとした場合に希望する雇用の形態をお答えください。）【ひとつだけ】

- 1 正規雇用（正社員）
- 2 非正規雇用（パート、アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員、嘱託等）
- 3 自営業・自由業（フリーランス）
- 4 その他（ ）

Q44 転職については、様々な考え方があります。あなたの考えに最も近いものを選んでください。【ひとつだけ】

- 1 自分の能力や適性に合わない職場であっても、転職は絶対すべきでない
- 2 自分の能力や適性に合わない職場であっても、転職はできる限りしない方がよい
- 3 自分の能力や適性に合わない職場ならば、転職することもやむをえない
- 4 自分の能力や適性に合わない職場ならば、転職する方がよい
- 5 自分の能力や適性に合う職場を求めて、積極的に転職するべきである
- 6 わからない

Q45 あなたは、働くことに関して、現在または将来、以下のようなことがどのくらい不安ですか。それぞれについて、あてはまるものを1つ選んでください。

	とても不安	どちらかといえは不安	あまり不安ではない	まったく不安ではない
きちんと仕事ができるか	1	2	3	4
勤務先での人間関係がうまくいくか	1	2	3	4
勤務先の将来はどうか（会社が倒産したりしないかなど）	1	2	3	4
何歳まで働けるのか	1	2	3	4
老後の年金はどうか	1	2	3	4
解雇されないか	1	2	3	4
十分な収入が得られるか	1	2	3	4
転勤はあるか	1	2	3	4
社会の景気動向はどうか	1	2	3	4
仕事と家庭生活の両立はどうか	1	2	3	4
健康・体力面はどうか	1	2	3	4
そもそも就職できるのか・仕事を続けられるのか	1	2	3	4

① 新型コロナウイルス感染症拡大前【ひとつだけ】

② 現在【ひとつだけ】

Q47 新型コロナウイルス感染症拡大前（令和元年（西暦 2019 年）12 月以前）に比べて、家族の重要性に関する意識はどのように変化しましたか。【ひとつだけ】

Q48 新型コロナウイルス感染症拡大前（令和元年（西暦 2019 年）12 月以前）に比べて、社会とのつながりの重要性に関する意識はどのように変化しましたか。
【ひとつだけ】

- 1 変わらない
- 2 社会とつながりの重要性を、より意識するようになった
- 3 社会とのつながり以外の様々なものの重要性を、より意識するようになった
- 4 わからない

Q49 新型コロナウイルス感染症拡大前（令和元年（西暦 2019 年）12 月以前）に比べて不安が増していることがありますか。ある場合はどのような不安か、あてはまるものをすべて選んでください。【いくつでも】

- 1 不安はあるが感染症拡大前から増してはいない
- 2 不安は感じていない
- 3 生活の維持，収入に関する不安
- 4 仕事に関する不安
- 5 結婚，家庭に関する不安
- 6 健康に関する不安
- 7 子どもの育児，教育に関する不安
- 8 親などの生活の維持，支援に関する不安
- 9 人間関係，社会との交流に関する不安
- 10 地球環境，地球規模の課題に関する不安
- 11 将来に対する全般的な不安
- 12 わからない

調査は以上で終了となります。ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに郵便ポストに投函してください。

パソコン・タブレット・スマートフォンでオンライン回答された場合は、調査票（この冊子）の返送は不要です。重複して回答されないようご注意ください。

子ども・若者に関する意識調査
報告書

令和３年９月

鹿児島県 総務部 男女共同参画局 青少年男女共同参画課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町１０番１号

TEL : 099-286-2554 FAX : 099-286-5541